

茅ヶ崎市  
男女共同参画に関する市民意識調査  
報告書

令和2年1月  
茅ヶ崎市



# \* 目 次 \*

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	3
2 調査の方法 .....	3
3 調査内容 .....	3
4 回収結果 .....	3
5 調査結果の見方 .....	4
6 他調査との比較について .....	4
<b>第2章 調査結果の詳細</b> .....	<b>7</b>
1 回答者の属性 .....	9
2 男女の平等について .....	12
問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方 .....	12
問8 男女の地位の平等の考え方 .....	15
問9 今後、男女があらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うこと .....	21
3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について .....	23
問10 女性が職業を持つことについての考え方 .....	23
問11 女性が働き続けるために必要なこと .....	26
問12 家庭における役割分担 .....	35
問13 家事・育児に費やす時間 .....	43
問14 生活における「仕事」「家庭生活」「地域生活」「個人生活」の優先度 .....	47
問15 男女がともに家事・子育て・介護などに参加するために必要なこと .....	52
4 女性の活躍推進について .....	55
問16 「女性活躍推進法」という言葉の認知状況 .....	55
問17 政策・方針決定の過程に女性が増加することに伴う影響 .....	57
問18 政策・方針決定の過程に参加する女性が少ない理由 .....	59
問19 女性活躍推進に必要なこと .....	61
5 社会参加・地域参加について .....	63
問20 仕事や学校以外でどのような活動に参加したか .....	63
問20-1 参加していない理由 .....	65
6 防災について .....	67
問21 防災分野に女性の視点は活かされているか .....	67
問22 防災分野で女性の視点を活かすために重要なこと .....	69

7	人権について	74
問 23	配偶者・パートナー間における暴力行為への考え方	74
問 24	配偶者・パートナーからの暴力被害等の相談先窓口の認知状況	80
問 25	配偶者・パートナー間における暴力の経験	83
問 25-1	どこに（誰に）相談したか	90
問 25-2	相談しなかった（できなかった）理由	91
問 26	暴力の防止や被害者支援のために必要なこと	93
問 27	女性が健康を守り、性や妊娠・出産について自ら決めるうえで必要なこと	95
8	教育、性の表現について	97
問 28	「メディアリテラシー」という言葉の認知状況	97
問 29	メディアでの性別役割分担や性・暴力表現に対する考え方	99
問 30	男女共同参画社会の実現のために教育で必要な取組	101
9	性の多様性について	106
問 31	「性的マイノリティ」という言葉の認知状況	106
問 32	自己の性別や恋愛対象となる性別について悩んだことの有無	108
問 33	周囲の性的マイノリティの存在	109
問 34	性の多様性を認め合う社会構築のための取組についての認識	110
問 34-1	性の多様性を認め合う社会構築のため必要な取組	112
10	市の取組について	114
問 35	男女共同参画推進センターの利用、認知状況	114
問 36	男女共同参画社会の実現のために必要な市の取組	116
11	自由意見	126
<b>第3章 調査結果のまとめ</b>		<b>131</b>
<b>資料編</b>		<b>141</b>

**❖ 第1章 調査の概要 ❖**



# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、市民の男女共同参画に関する家庭、地域、職場など様々な場における意識や実態等を把握し、次期「男女共同参画推進プラン」策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

## 2 調査の方法

調査地域	茅ヶ崎市全域
調査対象	市内在住の18歳以上の男女3,000人
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和元年8月26日～9月13日

## 3 調査内容

- 男女の平等について
- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について
- 女性の活躍推進について
- 社会参加・地域参加について
- 防災について
- 人権について
- 教育、性の表現について
- 性の多様性について
- 市の取組について

## 4 回収結果

配布数	3,000
有効回収数	1,293
有効回収率	43.1%

## 5 調査結果の見方

- ・調査結果の数値は、原則として回答率（％）で表記しています。
- ・表では、原則として上段は実数、下段は割合（％）（小数第一位まで）として表記してあります。表中に「－」と表示してあるのは、回答者がいなかった場合です。
- ・回答率（％）は、その設問の回答者数を基数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの割合を合計すると 100.0％を超えることがあります。
- ・回答率（％）は、小数第二位を四捨五入により端数処理しています。そのため、属性ごとの回答比率の合計が、合計欄の数値と一致しないことがあります。
- ・アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図・表や本文では要約して短く表現している場合があります。
- ・各設問において、性別や年代など基本属性に「無回答」があるため、全体の数値と各項目の数値の合計が一致しないことがあります。
- ・回答者数が極端に少ないものについては、原則として分析対象から外しています。ただし、その場合でも調査結果には参考値として掲載しています。

## 6 他調査との比較について

この報告書では、本文中で以下の調査結果との比較を行っています。なお、今回の調査と以下の調査では設問文や選択肢の一部が異なっている場合があること、調査手法が異なっていることから、調査結果の比較に当たっては留意が必要です。

<b>(1) 茅ヶ崎市「男女共同参画に関する市民意識調査」【前回調査】</b>	
対 象	市内在住の 18 歳以上の男女 3,000 人
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	平成 26 年 1 月 17 日～2 月 7 日
回収状況	有効回収率 43.5%

<b>(2) 茅ヶ崎市「男女参画社会に関する市民アンケート調査」【前々回調査】</b>	
対 象	市内在住の 18 歳以上の男女 3,000 人
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	平成 21 年 10 月～11 月
回収状況	有効回収率 53.9%

<b>(3) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」</b>	
対 象	全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 5,000 人
調査方法	調査員による個別面接聴取
調査期間	平成 28 年 8 月 25 日～9 月 11 日
回収状況	有効回収率 61.2%

<b>(4) 内閣府「男女間における暴力に関する調査」</b>	
対 象	全国 20 歳以上の男女 5,000 人
調査方法	郵送留置訪問回収法
調査期間	平成 29 年 12 月
回収状況	有効回収率 67.5%

<b>(5) 神奈川県「平成 28 年度県民ニーズ調査（課題調査）」</b>	
対 象	県内在住の 18 歳以上の男女 3,000 人
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	平成 28 年 10 月 7 日～10 月 31 日
回収状況	有効回収率 43.8%



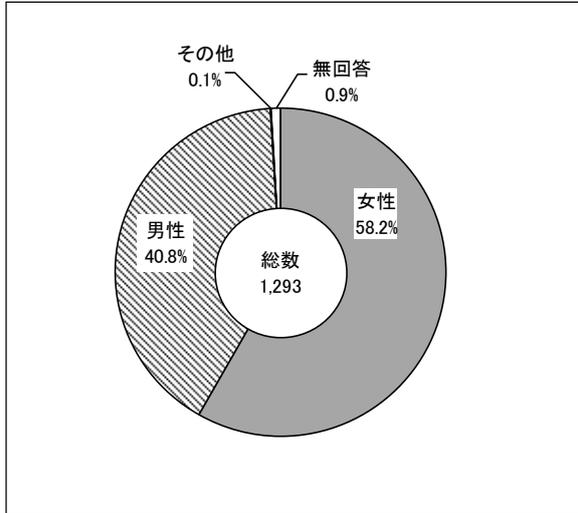
## ❖ 第2章 調査結果の詳細 ❖



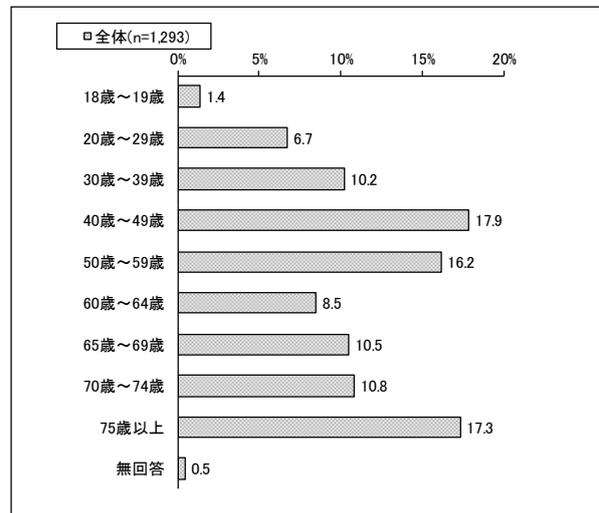
# 第2章 調査結果の詳細

## 1 回答者の属性

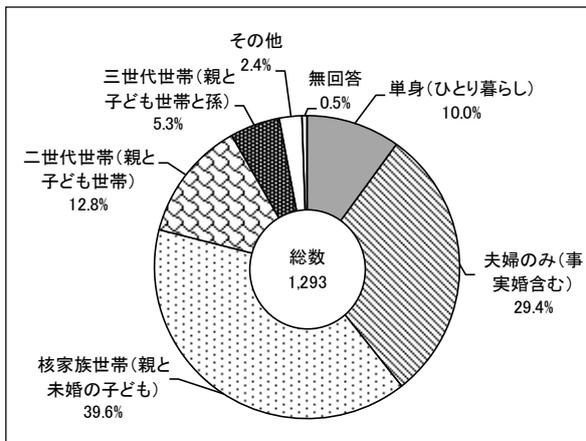
問1 性別



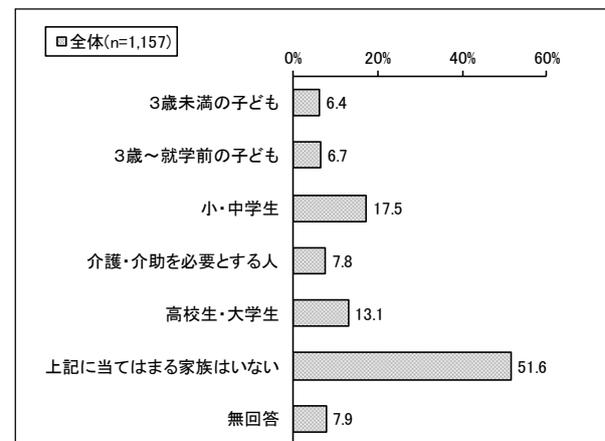
問2 年齢



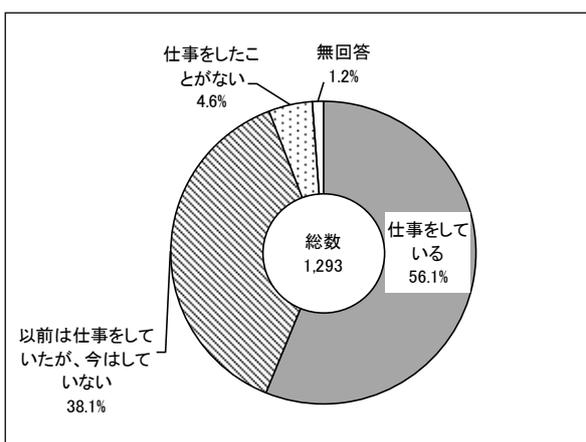
問3 世帯構成



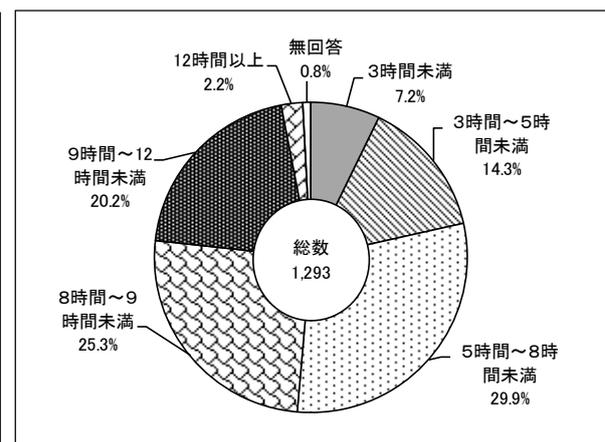
問3-1 育児、介護している家族の有無



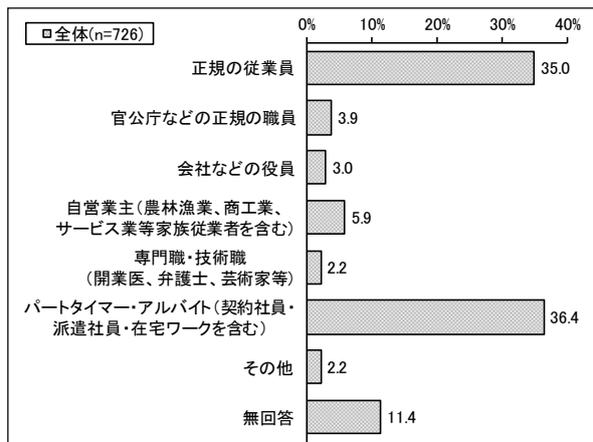
問4 就業の有無



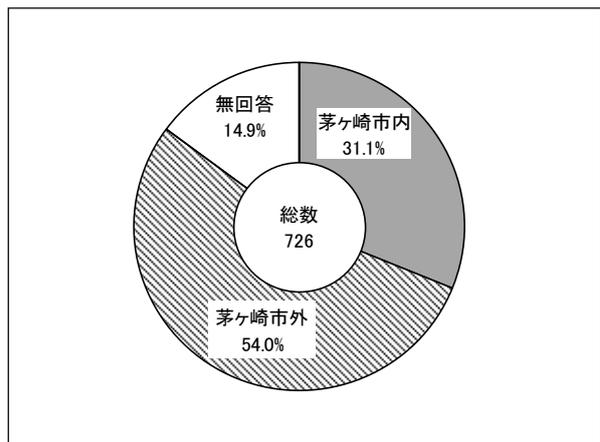
問4-1 平均就労時間



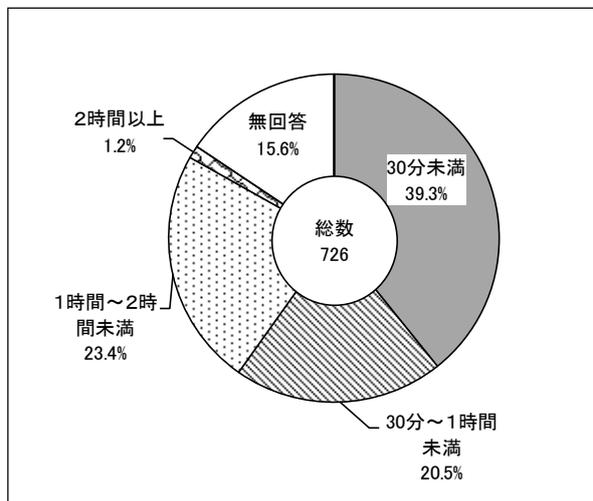
### 問 4-2 就業形態



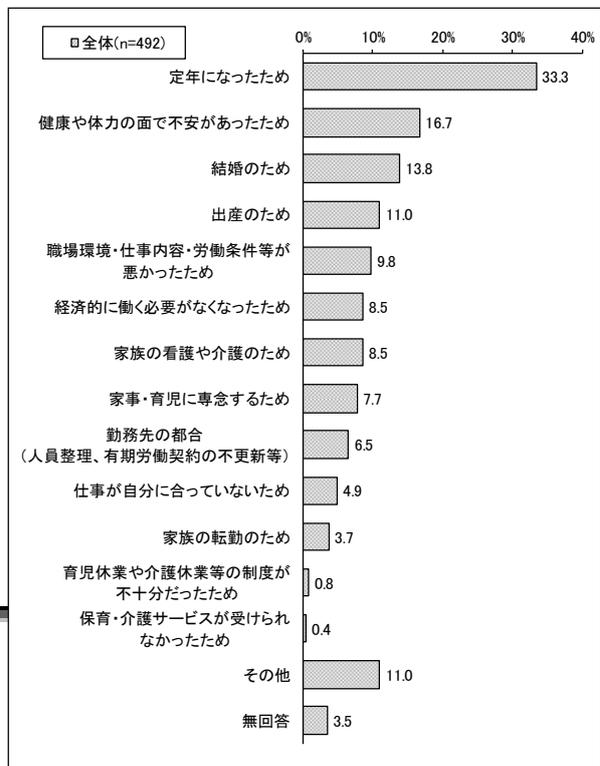
### 問 4-3 就業先の場所



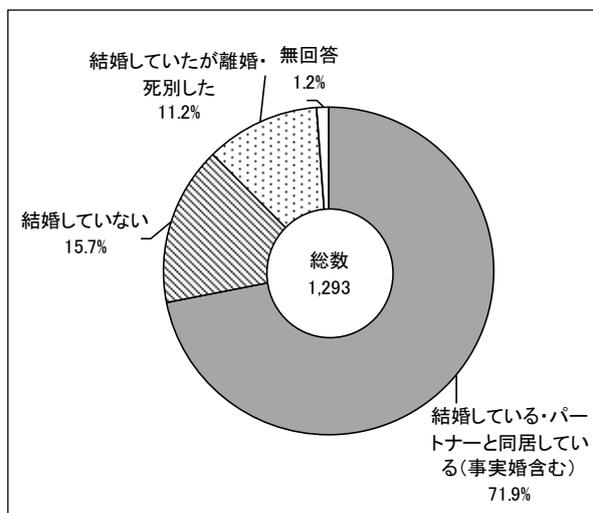
### 問 4-3 通勤時間



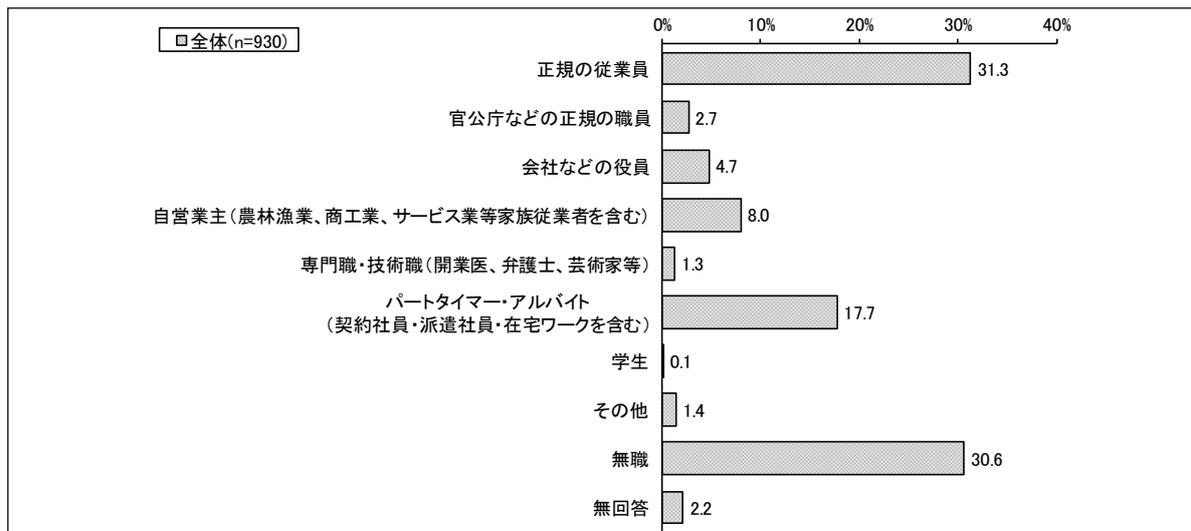
### 問 4-4 仕事を辞めた理由



### 問 5 婚姻状況

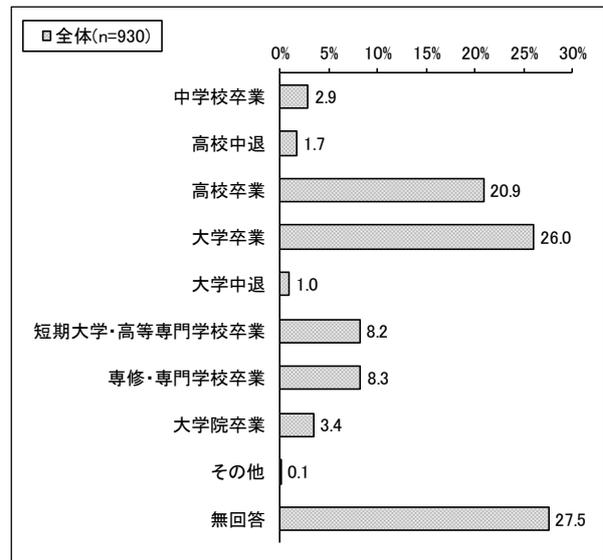
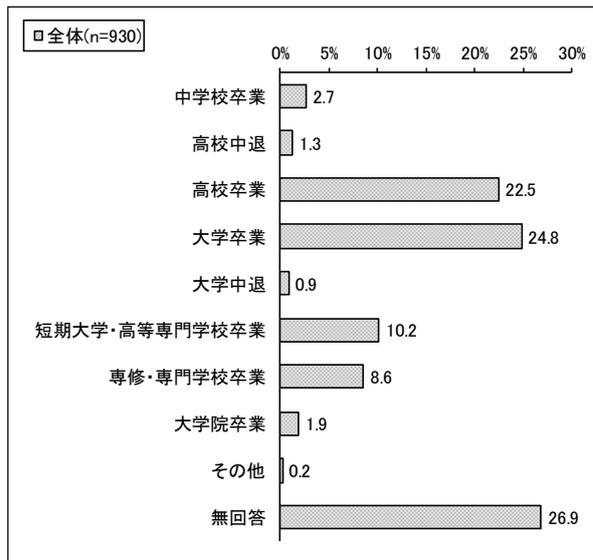


## 問5-1 配偶者・パートナーの就業形態

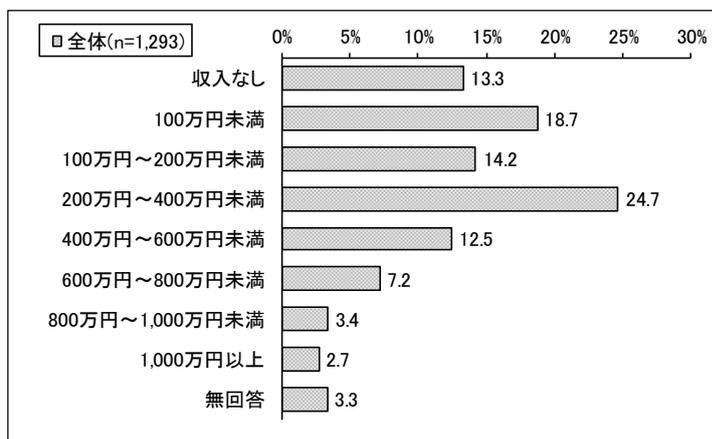


## 問5-2 最終学歴(本人)

(配偶者・パートナー)



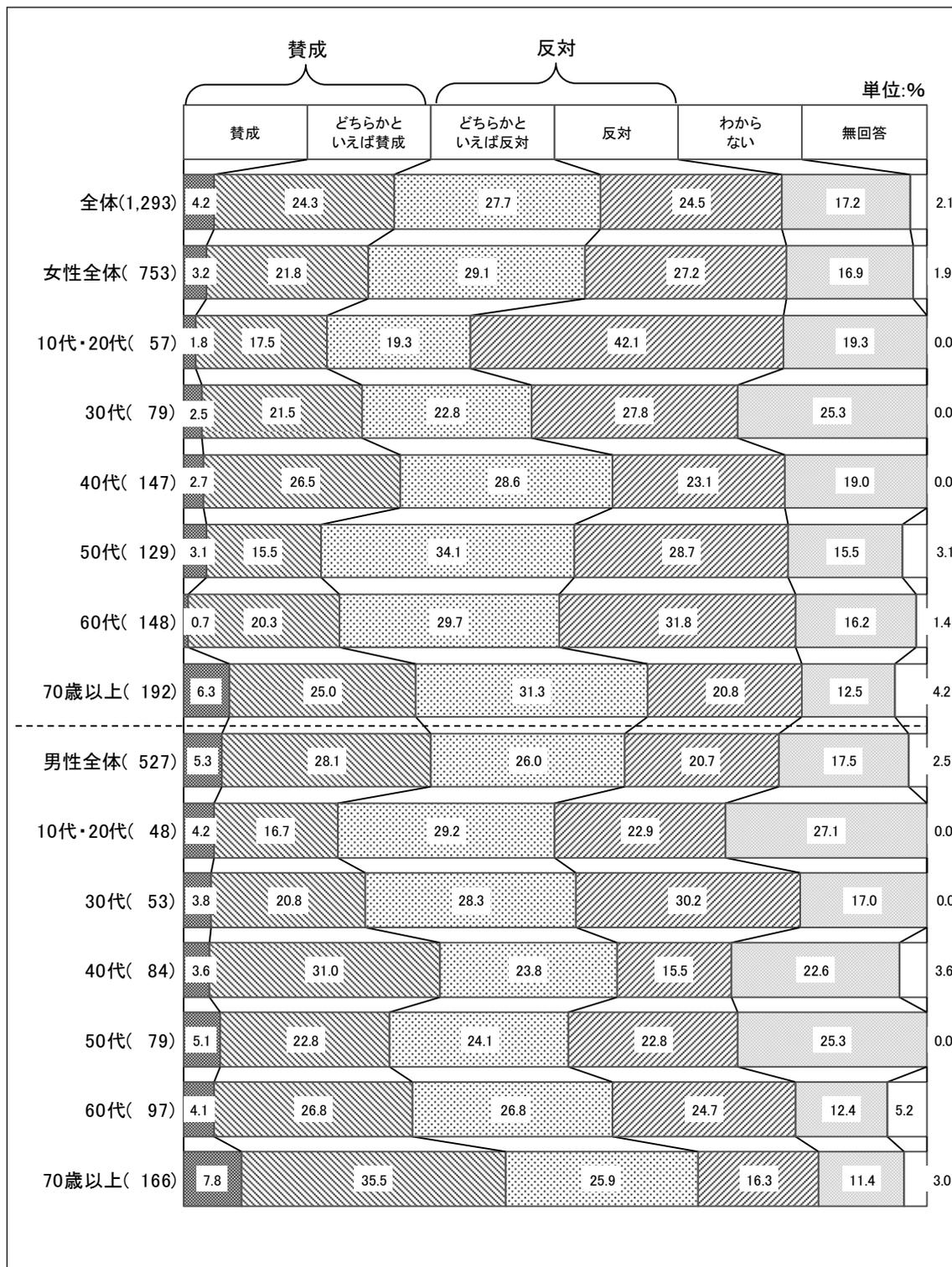
## 問6 1年間の収入(税込みの年間所得)



## 2 男女の平等について

### 問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つだけ)



### ○全体の傾向

“賛成”（「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計）が全体の28.5%であり、“反対”（「反対」「どちらかといえば反対」の合計）が52.2%となっています。

### ○男女別の傾向

女性は“賛成”が2割強、“反対”が6割弱であり、男性は“賛成”が3割強、“反対”が5割弱となっており、男女とも“反対”が多数を占めています。女性の“反対”の割合は男性を9ポイント上回っており、男性の“賛成”の割合は女性を8ポイント上回っています。

### ○男女・年代別の傾向

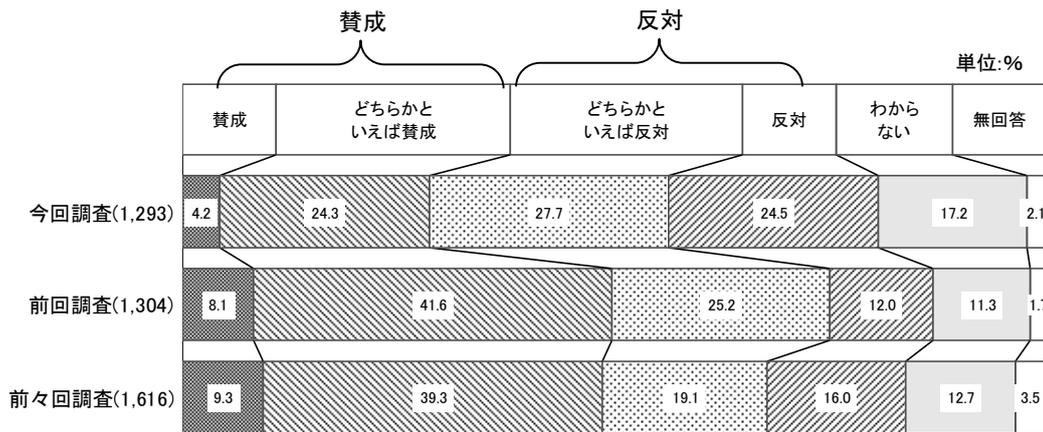
“賛成”は男性70歳以上（43.3%）で最も高く、次いで男性40代（34.6%）、女性70歳以上（31.3%）となっています。一方、“反対”は女性50代（62.8%）で最も割合が高く、女性60代（61.5%）、女性10代・20代（61.4%）と続いており、女性のすべての年代で5割を超えています。

		全体	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答		
全体		930	38	236	264	223	155	14		
		100.0	4.1	25.4	28.4	24.0	16.7	1.5		
性・夫婦の働き方別	女性	女性合計	542	15	122	166	142	92	5	
			100.0	2.8	22.5	30.6	26.2	17.0	0.9	
		共働きである	252	5	46	84	78	37	2	
			100.0	2.0	18.3	33.3	31.0	14.7	0.8	
		片働きである	198	6	54	55	44	37	2	
			100.0	3.0	27.3	27.8	22.2	18.7	1.0	
		夫婦とも働いていない	79	3	18	23	17	18	-	
			100.0	3.8	22.8	29.1	21.5	22.8	-	
		無回答	13	1	4	4	3	-	1	
			100.0	7.7	30.8	30.8	23.1	-	7.7	
		男性	男性合計	377	21	112	97	78	60	9
			100.0	5.6	29.7	25.7	20.7	15.9	2.4	
		共働きである	154	6	41	40	36	27	4	
		100.0	3.9	26.6	26.0	23.4	17.5	2.6		
	片働きである	121	6	39	32	23	19	2		
		100.0	5.0	32.2	26.4	19.0	15.7	1.7		
	夫婦とも働いていない	93	9	28	24	18	13	1		
		100.0	9.7	30.1	25.8	19.4	14.0	1.1		
	無回答	9	-	4	1	1	1	2		
		100.0	-	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2		
	無回答	11	2	2	1	3	3	-		
		100.0	18.2	18.2	9.1	27.3	27.3	-		

### ○男女・夫婦の働き方別の傾向

回答者の性別、働き方を問わず、“反対”が“賛成”を上回っています。共働き世帯の女性では“反対”が64.3%となっており、片働き世帯の女性及び夫婦とも働いていない世帯の女性の割合を13ポイント以上上回っています。男性では、夫婦の働き方を問わず“反対”が4割台半ばから5割弱となっています。

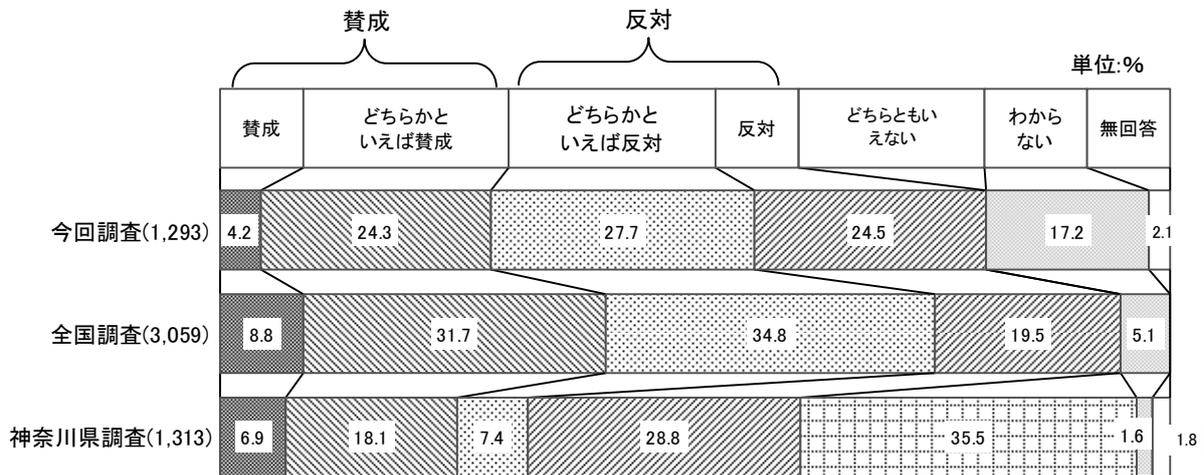
### ▼ 前回、前々回調査との比較



#### ●前回、前々回調査との比較

前々回調査から前回調査にかけては、“賛成”“反対”とも割合に大きな変化が見られませんでした。前回調査から今回調査にかけて“賛成”が21ポイント減少し、“反対”が15ポイント増加しています。特に、前回調査から今回調査にかけて「反対」が12ポイント増加していることから、茅ヶ崎市において性別役割分担の考え方を否定する意識が強くなっていることがわかります。

### ▼ 他調査との比較



※今回調査、全国調査では「どちらともいえない」なし。

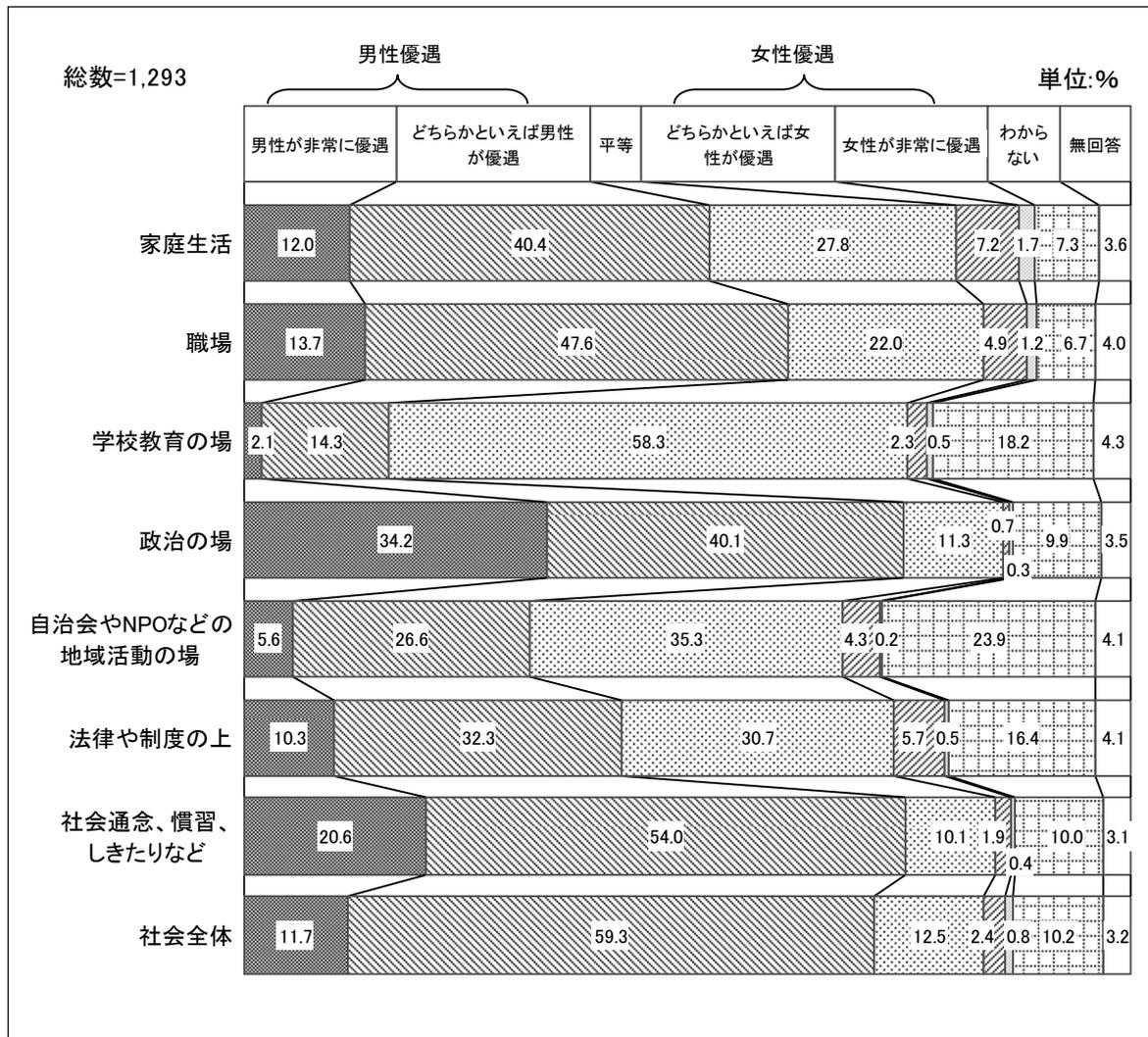
※選択肢の表現は調査によって一部異なる。

#### ●他調査との比較

全国調査では、“賛成”が40.5%、“反対”が54.3%となっており、神奈川県調査では“賛成”が25.0%、“反対”が36.2%となっています。各調査とも“反対”が“賛成”を上回っており、“反対”の割合は今回調査と全国調査のいずれも5割強となっています。

## 問8 男女の地位の平等の考え方

あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。各項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。(〇は各項目に1つずつ)



### ○全体の傾向

多くの分野について“男性優遇”(「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)という意識が強くなっており、『政治の場』『社会通念、慣習、しきたりなど』『社会全体』では7割強を占めています。このほか、『学校教育の場』では「平等」が58.3%となっています。また、『自治会やNPOなどの地域活動の場』では“男性優遇”と「平等」がそれぞれ3割台となっています。



○男女・年代別の傾向

①家庭生活

		全体	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
全体		1,293	12.0	40.4	27.8	7.2	1.7	7.3	3.6
性・年代別	女性合計	753	17.1	44.1	21.2	5.3	1.2	6.5	4.5
	10代・20代	57	8.8	36.8	22.8	10.5	-	21.1	-
	30代	79	19.0	43.0	20.3	5.1	2.5	7.6	2.5
	40代	147	17.0	40.1	29.9	4.8	2.0	5.4	0.7
	50代	129	19.4	46.5	22.5	4.7	-	3.1	3.9
	60代	148	16.2	54.1	17.6	4.1	-	4.1	4.1
	70歳以上	192	17.7	40.6	16.7	5.7	2.1	6.8	10.4
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	男性合計	527	4.6	35.3	37.2	9.9	2.5	8.2	2.5
	10代・20代	48	4.2	16.7	41.7	14.6	-	22.9	-
30代	53	1.9	26.4	32.1	18.9	7.5	11.3	1.9	
40代	84	4.8	32.1	35.7	10.7	3.6	11.9	1.2	
50代	79	3.8	32.9	44.3	7.6	3.8	7.6	-	
60代	97	2.1	46.4	34.0	7.2	1.0	4.1	5.2	
70歳以上	166	7.2	39.8	36.7	7.8	1.2	3.6	3.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	15.4	38.5	23.1	7.7	-	15.4	-	

②職場

		全体	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
全体		1,293	13.7	47.6	22.0	4.9	1.2	6.7	4.0
性・年代別	女性合計	753	17.3	46.1	19.9	3.7	0.4	7.8	4.8
	10代・20代	57	10.5	52.6	21.1	8.8	-	7.0	-
	30代	79	13.9	46.8	25.3	7.6	1.3	3.8	1.3
	40代	147	19.0	40.1	25.9	5.4	0.7	7.5	1.4
	50代	129	18.6	48.1	25.6	1.6	-	3.1	3.1
	60代	148	18.9	50.0	16.9	1.4	0.7	8.1	4.1
	70歳以上	192	16.7	44.3	11.5	2.6	-	13.0	12.0
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	男性合計	527	8.5	49.7	25.2	6.6	2.3	4.7	2.8
	10代・20代	48	6.3	39.6	27.1	6.3	6.3	14.6	-
30代	53	11.3	41.5	26.4	11.3	9.4	-	-	
40代	84	4.8	54.8	20.2	14.3	1.2	3.6	1.2	
50代	79	8.9	46.8	29.1	7.6	3.8	3.8	-	
60代	97	9.3	49.5	28.9	5.2	-	2.1	5.2	
70歳以上	166	9.6	54.2	22.9	1.8	-	6.0	5.4	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	15.4	46.2	15.4	-	-	15.4	7.7	

③学校教育の場

		全体	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
全体		1,293	2.1	14.3	58.3	2.3	0.5	18.2	4.3
性・年代別	女性合計	753	3.1	15.3	56.8	1.3	0.4	18.7	4.4
	10代・20代	57	-	10.5	71.9	5.3	-	12.3	-
	30代	79	3.8	5.1	65.8	1.3	-	21.5	2.5
	40代	147	2.7	17.7	61.2	0.7	1.4	16.3	-
	50代	129	1.6	17.8	55.0	2.3	-	20.9	2.3
	60代	148	2.0	20.9	54.7	-	-	18.2	4.1
	70歳以上	192	5.2	13.0	48.4	1.0	0.5	20.3	11.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	男性合計	527	0.6	12.7	61.1	3.8	0.8	17.1	4.0
	10代・20代	48	-	10.4	64.6	12.5	2.1	10.4	-
30代	53	-	9.4	67.9	5.7	-	15.1	1.9	
40代	84	-	6.0	54.8	4.8	-	33.3	1.2	
50代	79	-	17.7	55.7	3.8	2.5	19.0	1.3	
60代	97	1.0	13.4	60.8	1.0	1.0	17.5	5.2	
70歳以上	166	1.2	15.1	63.9	1.8	-	10.2	7.8	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	7.7	23.1	30.8	-	-	30.8	7.7	

④政治の場

		全体	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
全体		1,293	34.2	40.1	11.3	0.7	0.3	9.9	3.5
性・年代別	女性合計	753	39.3	39.3	6.8	0.3	0.1	10.4	3.9
	10代・20代	57	38.6	40.4	7.0	-	-	14.0	-
	30代	79	41.8	40.5	3.8	-	-	13.9	-
	40代	147	39.5	42.9	8.2	-	-	9.5	-
	50代	129	36.4	45.0	7.0	-	-	9.3	2.3
	60代	148	41.9	41.9	4.1	0.7	0.7	8.1	2.7
	70歳以上	192	38.0	30.2	8.9	0.5	-	10.9	11.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	男性合計	527	26.9	41.4	18.0	1.3	0.6	8.7	3.0
	10代・20代	48	22.9	35.4	22.9	-	-	18.8	-
30代	53	39.6	35.8	7.5	5.7	1.9	9.4	-	
40代	84	28.6	48.8	13.1	-	-	8.3	1.2	
50代	79	30.4	35.4	19.0	1.3	2.5	10.1	1.3	
60代	97	21.6	46.4	21.6	1.0	-	4.1	5.2	
70歳以上	166	24.7	41.0	19.9	1.2	-	7.8	5.4	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	30.8	38.5	-	-	-	30.8	-	

『家庭生活』で“男性優遇”の割合が最も高いのは女性 60 代 (70.3%) であり、女性 50 代 (65.9%) が続きます。一方、「平等」の割合は男性 10 代・20 代と 50 代で 4 割強となっています。

『職場』で“男性優遇”の割合が最も高いのは女性 60 代 (68.9%) であり、女性 50 代 (66.7%) が続きます。

『学校教育の場』で「平等」の割合が最も高いのは女性 10 代・20 代 (71.9%) であり、男性 30 代 (67.9%) が続きます。「平等」の割合は、女性 70 歳以上 (48.4%) を除く全ての年代で男女とも 5 割以上となっています。

『政治の場』で“男性優遇”の割合が最も高いのは女性 60 代 (83.8%) であり、女性 40 代 (82.4%) が続きます。一方、「平等」の割合は男性 10 代・20 代と 60 代で 2 割強となっていますが、女性では全ての年代で 1 割に達していません。

⑤自治会やNPOなどの地域活動の場

	全体	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答	
全体	1,293	5.6	26.6	35.3	4.3	0.2	23.9	4.1	
性・年代別	女性合計	753	7.2	30.0	30.8	3.9	0.4	23.8	4.0
	10代・20代	57	3.5	22.8	19.3	7.0	-	47.4	-
	30代	79	8.9	20.3	31.6	1.3	-	36.7	1.3
	40代	147	7.5	29.9	33.3	5.4	-	23.1	0.7
	50代	129	7.0	31.0	30.2	4.7	-	24.8	2.3
	60代	148	8.1	34.5	35.1	1.4	1.4	16.2	3.4
	70歳以上	192	6.3	32.3	29.2	4.2	0.5	17.2	10.4
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	男性合計	527	3.2	22.0	41.4	4.9	-	24.1	4.4
	10代・20代	48	4.2	14.6	27.1	2.1	-	52.1	-
30代	53	1.9	11.3	39.6	9.4	-	37.7	-	
40代	84	4.8	25.0	38.1	1.2	-	28.6	2.4	
50代	79	2.5	17.7	43.0	7.6	-	25.3	3.8	
60代	97	2.1	26.8	40.2	5.2	-	20.6	5.2	
70歳以上	166	3.6	25.3	47.6	4.8	-	10.8	7.8	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	7.7	15.4	53.8	-	-	23.1	-	

⑥法律や制度の上

	全体	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答	
全体	1,293	10.3	32.3	30.7	5.7	0.5	16.4	4.1	
性・年代別	女性合計	753	14.7	34.3	25.1	3.9	-	17.8	4.2
	10代・20代	57	12.3	38.6	24.6	1.8	-	22.8	-
	30代	79	16.5	25.3	22.8	10.1	-	24.1	1.3
	40代	147	17.7	32.0	30.6	3.4	-	15.6	0.7
	50代	129	13.2	39.5	21.7	6.2	-	17.1	2.3
	60代	148	12.2	39.2	27.0	2.7	-	15.5	3.4
	70歳以上	192	15.1	31.3	22.9	1.6	-	17.7	11.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	男性合計	527	4.0	29.2	38.5	8.5	1.3	14.4	4.0
	10代・20代	48	6.3	12.5	35.4	18.8	-	27.1	-
30代	53	-	30.2	26.4	24.5	3.8	15.1	-	
40代	84	2.4	28.6	35.7	10.7	-	21.4	1.2	
50代	79	5.1	29.1	34.2	11.4	5.1	12.7	2.5	
60代	97	5.2	36.1	42.3	3.1	-	7.2	6.2	
70歳以上	166	4.2	30.1	44.6	1.2	0.6	12.0	7.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	7.7	38.5	38.5	-	-	15.4	-	

⑦社会通念、慣習、しきたりなど

	全体	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答	
全体	1,293	20.6	54.0	10.1	1.9	0.4	10.0	3.1	
性・年代別	女性合計	753	27.4	48.2	8.2	1.3	0.1	11.3	3.5
	10代・20代	57	31.6	38.8	7.0	3.5	-	21.1	-
	30代	79	24.1	48.1	7.6	-	-	19.0	1.3
	40代	147	28.6	53.7	8.2	1.4	-	8.2	-
	50代	129	31.0	49.6	8.5	0.8	-	7.8	2.3
	60代	148	31.8	49.3	7.4	0.7	0.7	8.1	2.0
	70歳以上	192	20.3	45.8	9.4	2.1	-	12.5	9.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	男性合計	527	11.4	61.5	13.1	2.7	0.8	8.0	2.7
	10代・20代	48	14.6	43.8	18.8	2.1	-	20.8	-
30代	53	9.4	60.4	11.3	5.7	3.8	7.5	1.9	
40代	84	14.3	53.6	17.9	3.6	-	9.5	1.2	
50代	79	11.4	69.6	8.9	3.8	-	6.3	-	
60代	97	9.3	70.1	11.3	1.0	1.0	2.1	5.2	
70歳以上	166	10.8	62.0	12.7	1.8	0.6	7.8	4.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	-	84.6	-	-	-	15.4	-	

⑧社会全体

	全体	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答	
全体	1,293	11.7	59.3	12.5	2.4	0.8	10.2	3.2	
性・年代別	女性合計	753	16.2	57.9	10.1	1.2	0.4	10.5	3.7
	10代・20代	57	10.5	61.4	12.3	1.8	-	14.0	-
	30代	79	20.3	44.3	11.4	5.1	-	17.7	1.3
	40代	147	15.6	58.5	13.6	1.4	0.7	10.2	-
	50代	129	17.1	62.0	10.1	-	0.8	7.8	2.3
	60代	148	15.5	68.2	6.1	0.7	-	6.1	3.4
	70歳以上	192	16.1	51.6	9.4	0.5	0.5	12.0	9.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	男性合計	527	5.3	61.1	16.1	4.2	1.3	9.5	2.5
	10代・20代	48	2.1	50.0	16.7	14.6	-	16.7	-
30代	53	1.9	62.3	9.4	5.7	9.4	11.3	-	
40代	84	7.1	50.0	20.2	4.8	-	15.5	2.4	
50代	79	3.8	64.6	11.4	7.6	1.3	11.4	-	
60代	97	6.2	69.1	15.5	1.0	-	3.1	5.2	
70歳以上	166	6.6	63.3	18.7	0.6	0.6	6.6	3.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	7.7	69.2	-	-	-	23.1	-	

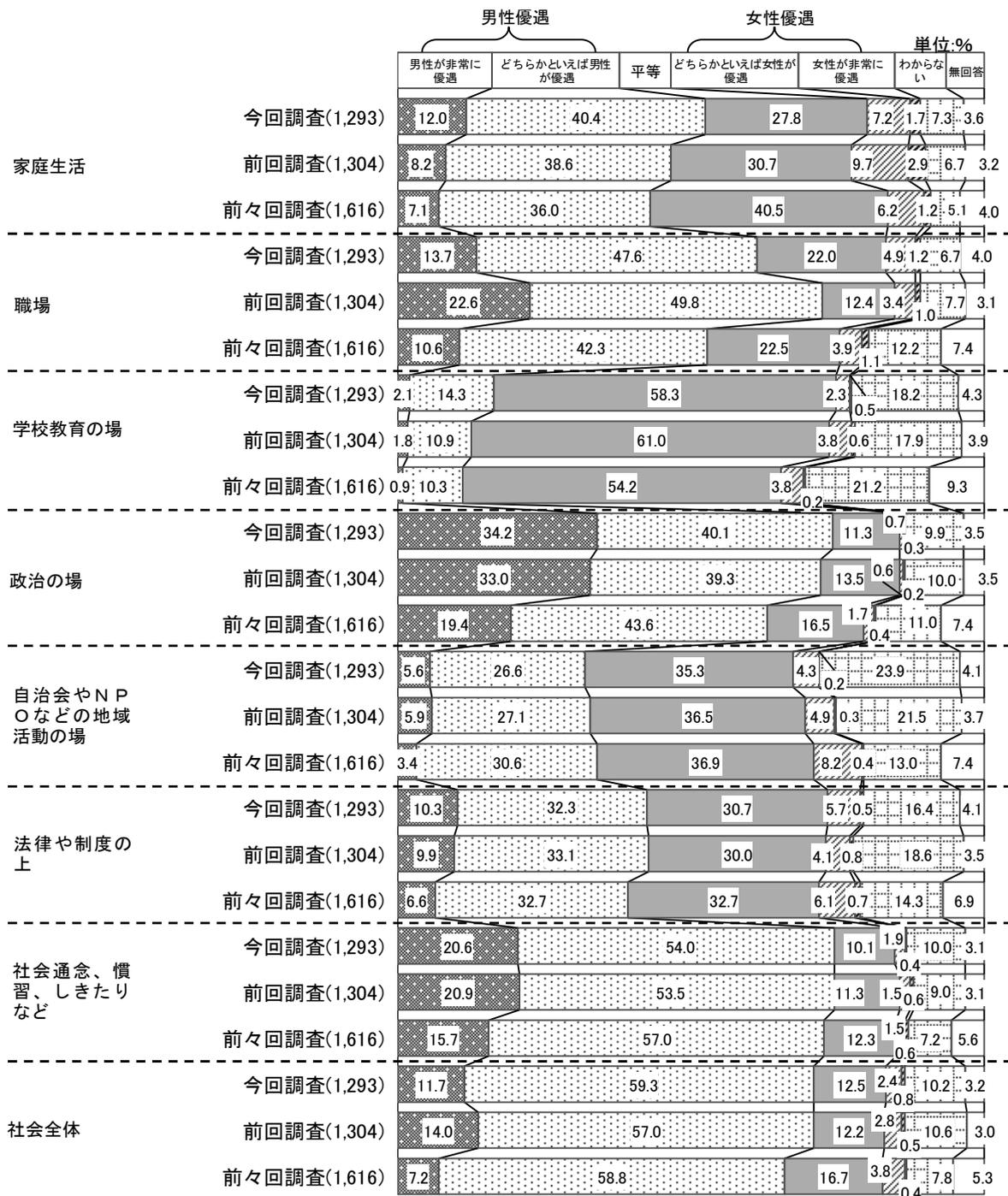
『自治会やNPOなどの地域活動の場』で“男性優遇”の割合が最も高いのは女性 60代 (42.6%) であり、女性 70歳以上 (38.6%) が続きます。一方、「平等」の割合は男性 70歳以上で5割弱となっています。

『法律や制度の上』で“男性優遇”の割合が最も高いのは女性 50代 (52.7%) であり、女性 60代 (51.4%) が続きます。一方、「平等」の割合は男性 60代と男性 70歳以上で4割強となっています。

『社会通念、慣習、しきたりなど』で“男性優遇”の割合が最も高いのは女性 40代 (82.3%) であり、女性 60代 (81.1%) が続きます。

『社会全体』で“男性優遇”の割合が最も高いのは女性 60代 (83.7%) であり、女性 50代 (79.1%) が続きます。

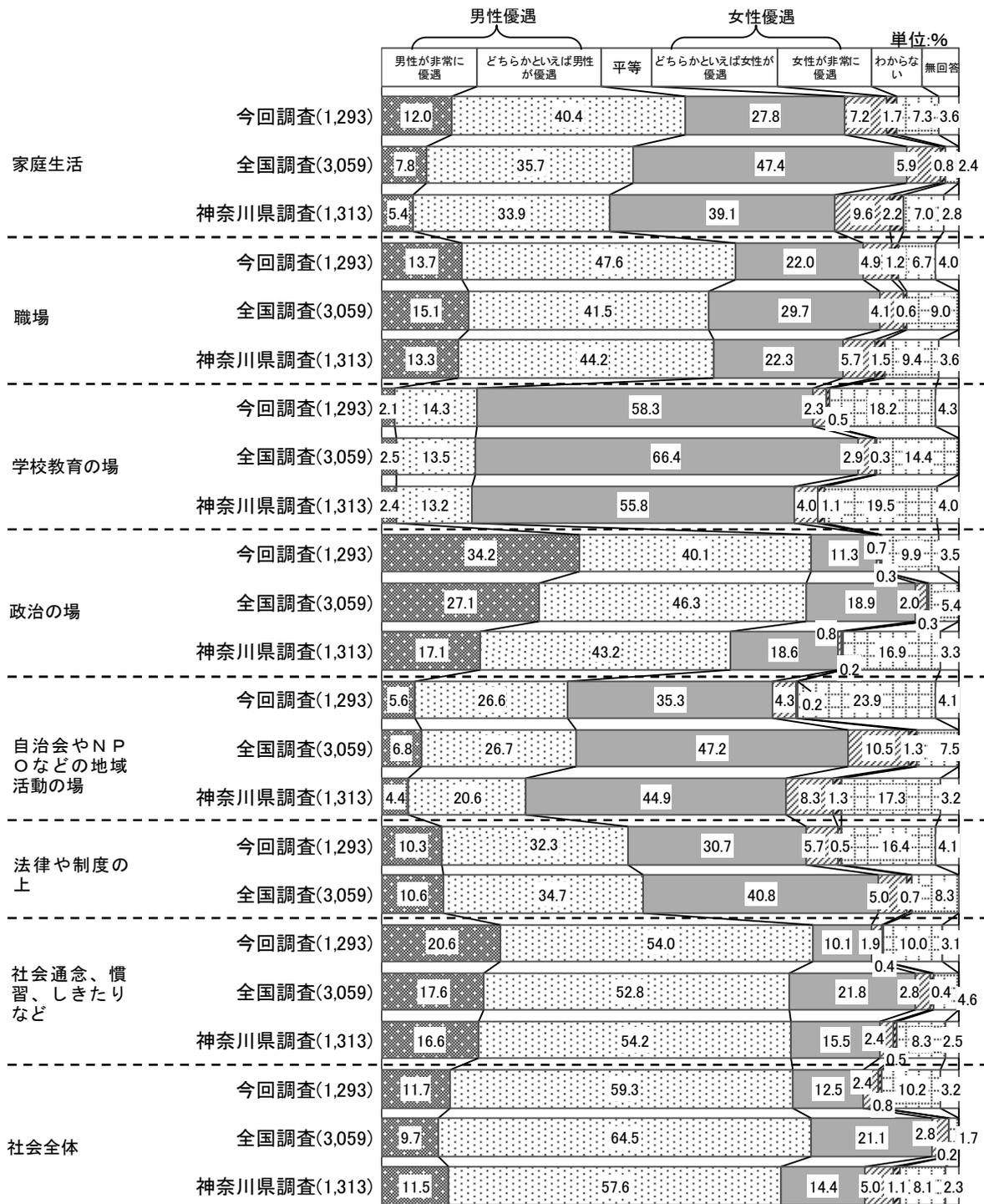
▼ 前回、前々回調査との比較



● 前回、前々回調査との比較

『家庭生活』『学校教育の場』『政治の場』では、前々回調査から今回調査にかけて“男性優遇”が増加を続けており、前回調査から今回調査にかけて「平等」が減少しています。『職場』では、前々回調査から前回調査にかけて“男性優遇”が増加して「平等」が減少したものの、前回調査から今回調査にかけては“男性優遇”が減少し、「平等」が増加しています。『職場』の“男性優遇”の割合は、前々回調査から今回調査にかけて8ポイント増加しています。

▼ 他調査との比較



※「政治の場」は神奈川県調査では「議会、行政等の政策決定の場」

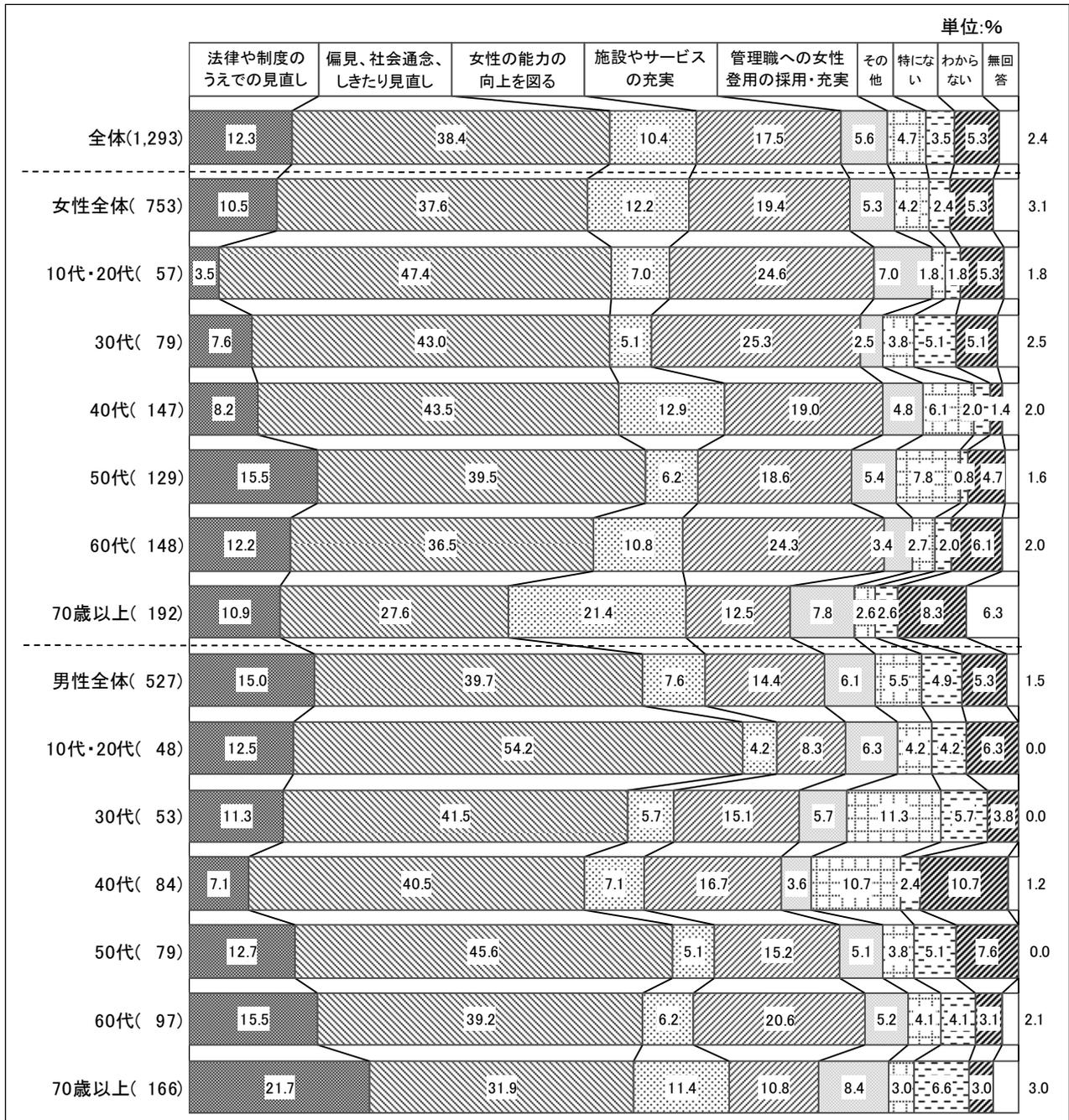
●他調査との比較

多くの分野について、今回調査の「平等」の割合が全国調査、神奈川県調査の割合を下回っています。また、『家庭生活』『職場』『学校教育の場』『政治の場』『社会通念、慣習、しきたりなど』では、今回調査の“男性優遇”の割合が全国調査、神奈川県調査の割合を上回っています。

## 問9 今後、男女があらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うこと

今後、男女があらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。

(〇は1つだけ)



### ○全体の傾向

「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」が38.4%で最も高く、次いで「女性の就業、社会進出を支援する施設やサービスの充実を図ること」(17.5%)、「法律や制度のうえで見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」(12.3%)、「女性が経済力をつけたり、技術を習得するなど、積極的に能力の向上を図ること」(10.4%)となっています。

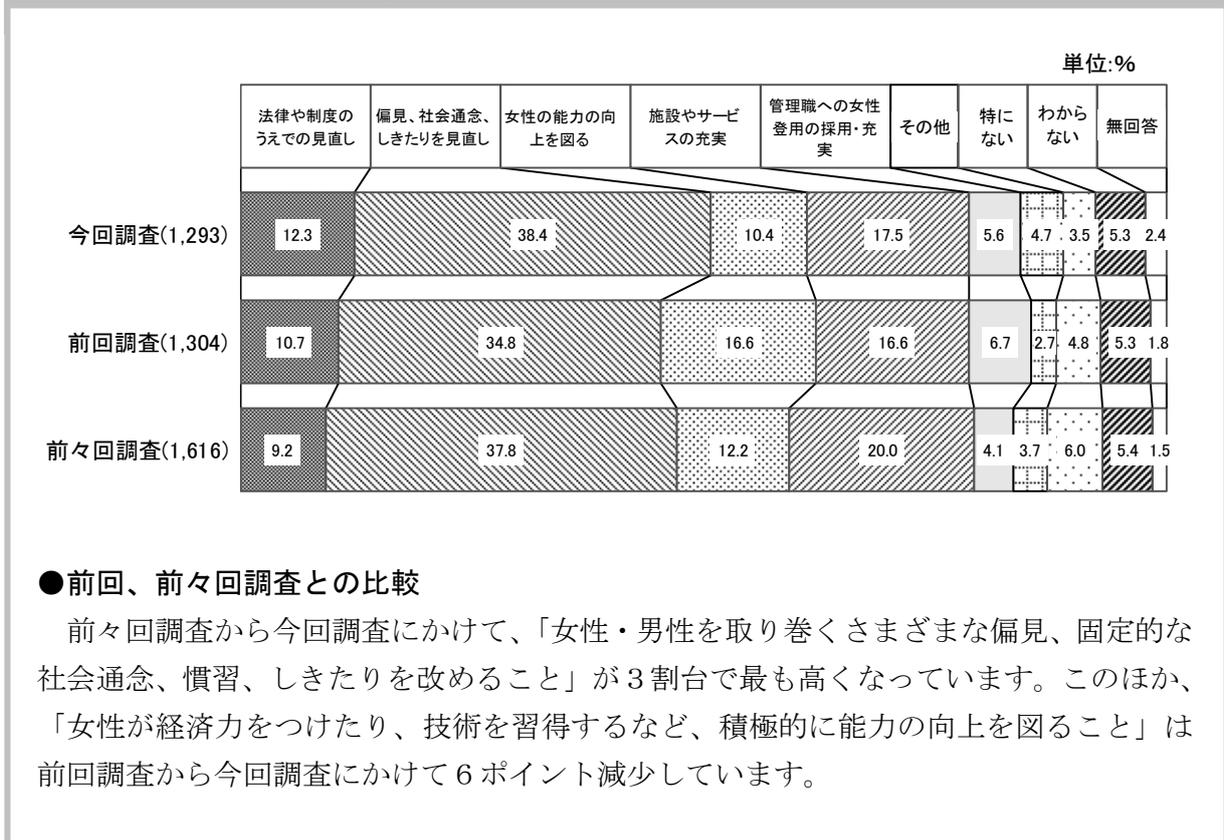
## ○男女別の傾向

女性の「女性の就業、社会進出を支援する施設やサービスの充実を図ること」は19.4%であり、男性を5ポイント上回っています。

## ○男女・年代別の傾向

「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」は男性10代・20代（54.2%）で最も割合が高く、女性10代・20代（47.4%）、男性50代（45.6%）が続きます。「女性の就業、社会進出を支援する施設やサービスの充実を図ること」は女性30代（25.3%）で、「法律や制度のうへで見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」は男性70歳以上（21.7%）で最も割合が高くなっています。

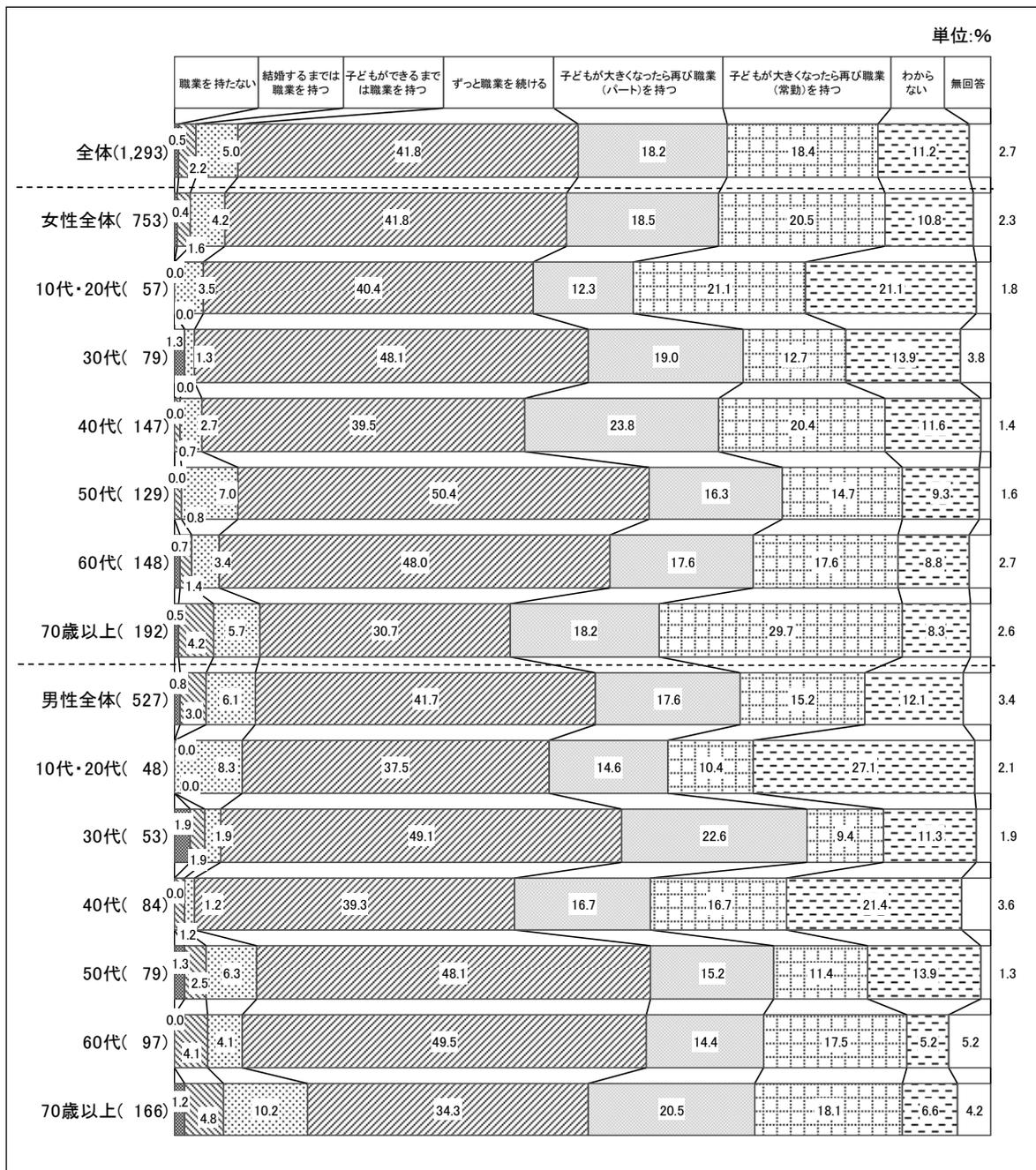
### ▼ 前回、前々回調査との比較



### 3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

#### 問 10 女性が職業を持つことについての考え方

一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。次の中からあなたの考えに最も近いものをお選びください。（○は1つだけ）



#### ○全体の傾向

「子どもができてもしっかりと職業を続ける方がよい」が 41.8%で最も高く、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業（常勤）を持つ方がよい」（18.4%）、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業（パート）を持つ方がよい」（18.2%）、「わから

ない」(11.2%)が続きます。

### ○男女別の傾向

女性の「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業(常勤)を持つ方がよい」は20.5%であり、男性を5ポイント上回っています。

### ○男女・年代別の傾向

「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」は女性50代(50.4%)で最も割合が高く、男性60代(49.5%)、男性30代(49.1%)が続きます。「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業(常勤)を持つ方がよい」は女性70歳以上(29.7%)で、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業(パート)を持つ方がよい」は女性40代(23.8%)で最も割合が高くなっています。

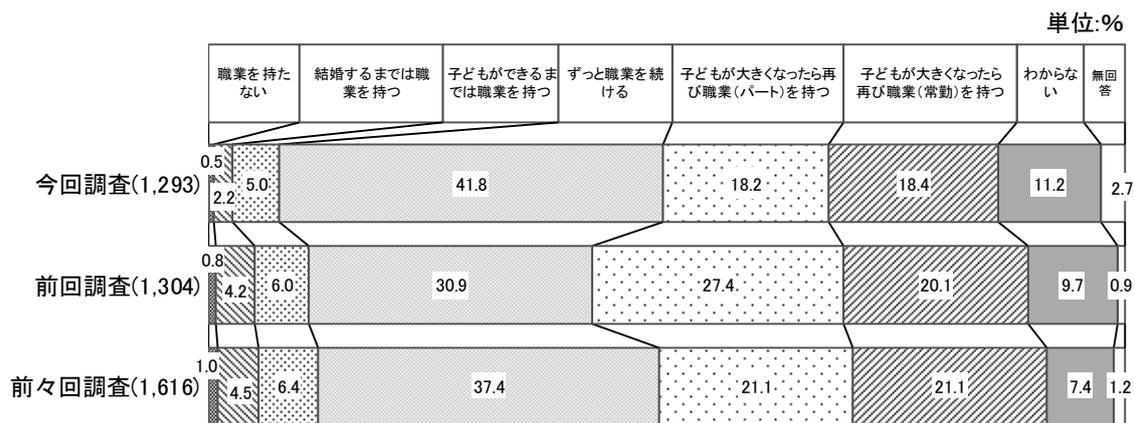
		全体	職業を持たない	結婚するまでは職業を持つ	子どもができるまでは職業を持つ	ずっと職業を続ける	子どもが大きくなったら再び職業(パート)を持つ	子どもが大きくなったら再び職業(常勤)を持つ	わからない	無回答
全体		930 100.0	6 0.6	19 2.0	46 4.9	397 42.7	180 19.4	167 18.0	93 10.0	22 2.4
性・夫婦の働き方別	女性	542 100.0	3 0.6	6 1.1	21 3.9	233 43.0	110 20.3	106 19.6	54 10.0	9 1.7
	共働きである	252 100.0	1 0.4	3 1.2	8 3.2	126 50.0	45 17.9	41 16.3	24 9.5	4 1.6
	片働きである	198 100.0	2 1.0	2 1.0	7 3.5	71 35.9	47 23.7	45 22.7	20 10.1	4 2.0
	夫婦とも働いていない	79 100.0	-	1 1.3	6 7.6	28 35.4	16 20.3	18 22.8	10 12.7	-
	無回答	13 100.0	-	-	-	8 61.5	2 15.4	2 15.4	2 15.4	1 7.7
	男性	377 100.0	3 0.8	13 3.4	24 6.4	159 42.2	67 17.8	59 15.6	39 10.3	13 3.4
	共働きである	154 100.0	1 0.6	3 1.9	7 4.5	81 52.6	20 13.0	21 13.6	17 11.0	4 2.6
	片働きである	121 100.0	-	8 6.6	5 4.1	44 36.4	27 22.3	19 15.7	13 10.7	5 4.1
	夫婦とも働いていない	93 100.0	2 2.2	2 2.2	10 10.8	31 33.3	18 19.4	18 19.4	9 9.7	3 3.2
	無回答	9 100.0	-	-	2 22.2	3 33.3	2 22.2	2 11.1	1 11.1	1 11.1
無回答	11 100.0	-	-	9 9.1	5 45.5	3 27.3	2 18.2	-	-	

### ○男女・夫婦の働き方別の傾向

回答者の性別、働き方を問わず、「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」の割合が最も高くなっています。共働きの世帯では「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」が5割から5割強であり「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業(常勤)を持つ方がよい」「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業(パート)を持つ方がよい」を32ポイント以上上回っています。

片働き世帯及び夫婦とも働いていない世帯では、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」(「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業(常勤)を持つ方がよい」「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業(パート)を持つ方がよい」の合計)が、「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」を上回っています。

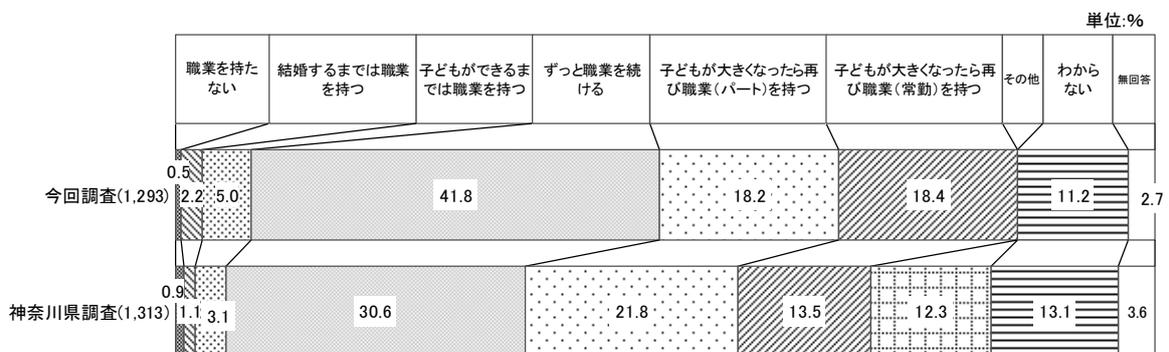
## ▼ 前回、前々回調査との比較



### ●前回、前々回調査との比較

前回調査から今回調査にかけて、「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」の割合が 10 ポイント増加しています。また、前々回調査と前回調査では、“子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい”が「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」を上回っていましたが、今回調査では「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」が“子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい”を 5 ポイント上回っています。

## ▼ 他調査との比較



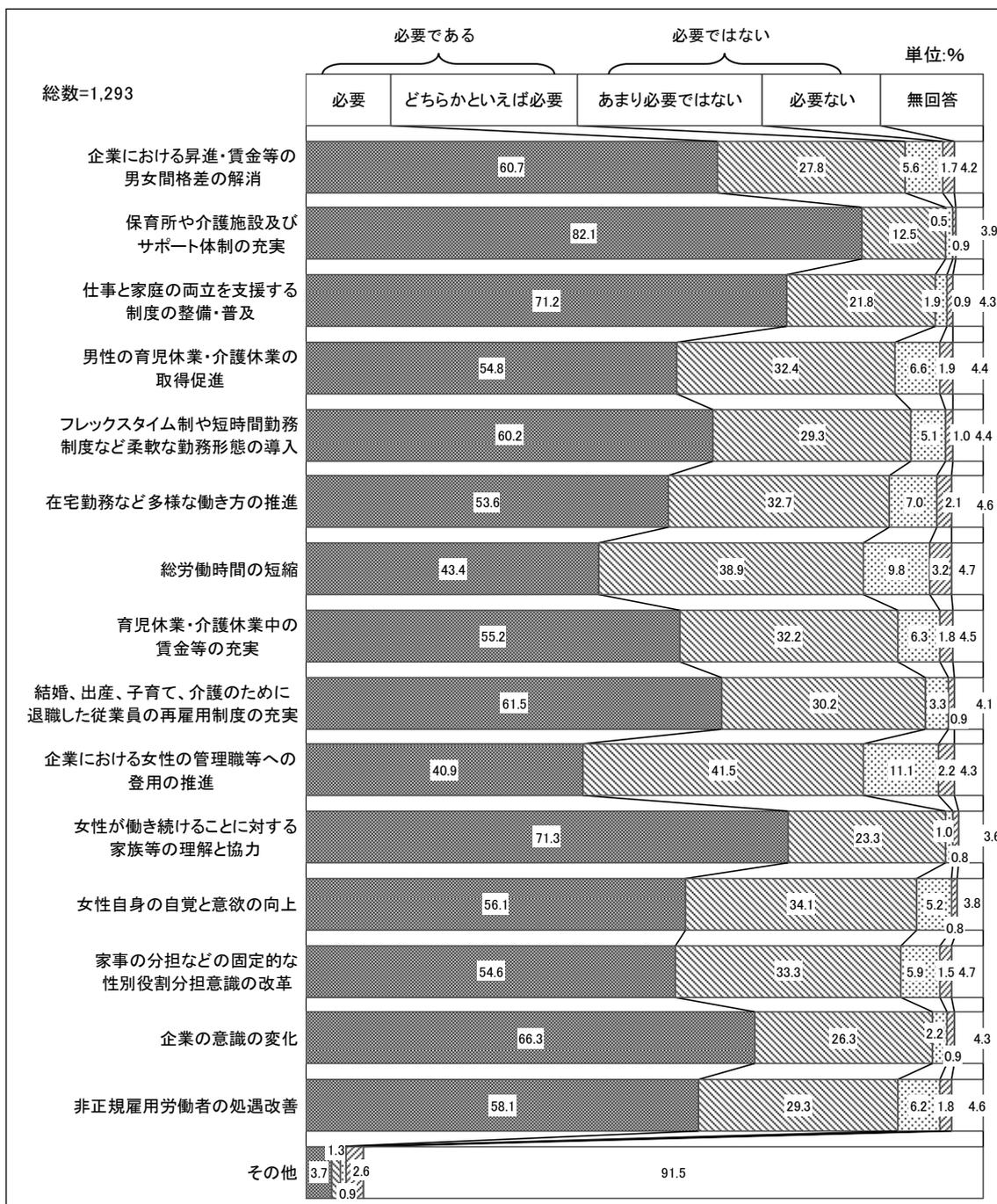
※今回調査では「その他」なし。

### ●他調査との比較

今回調査の「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」は、神奈川県調査の割合を 11 ポイント上回っています。このほか、“子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい”は、今回調査、神奈川県調査とも 4 割弱となっています。

## 問 11 女性が働き続けるために必要なこと

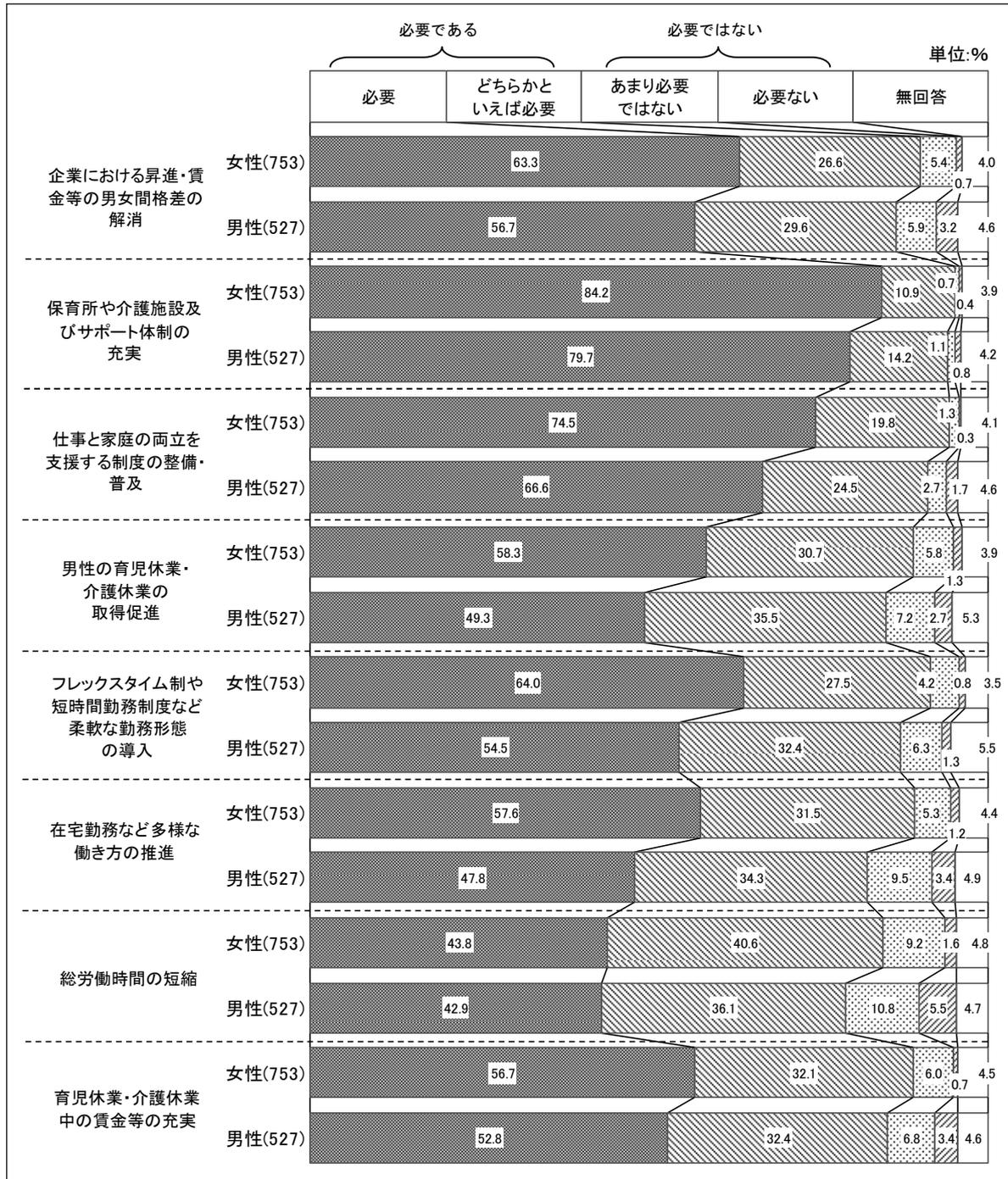
女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。各項目について、あてはまる番号をお選びください。現在、働いていない方は、過去の経験やイメージでも結構です。なお、(○は各項目に1つずつ)

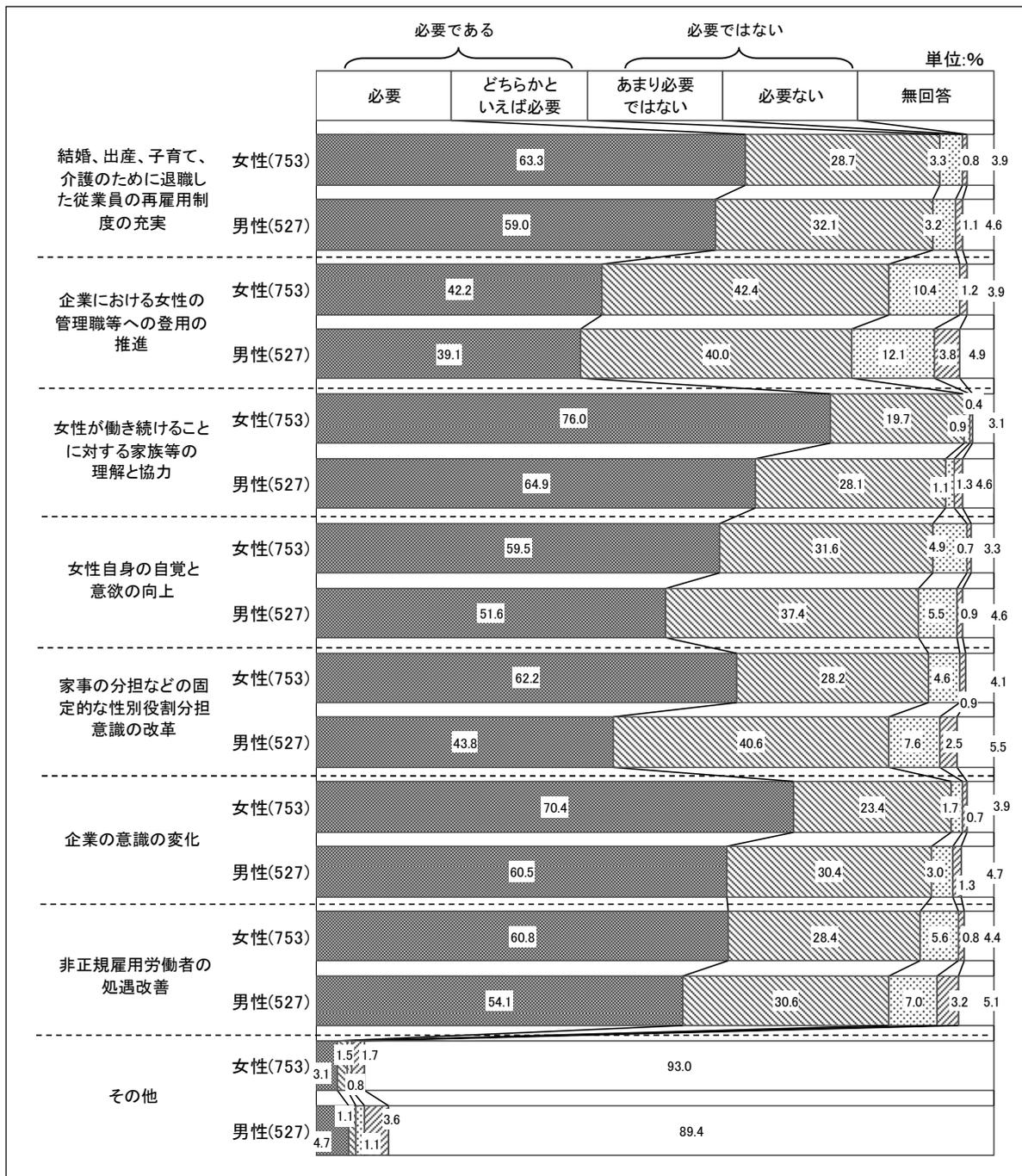


### ○全体の傾向

『その他』を除く各項目とも、“必要である”（「必要」「どちらかといえば必要」の合計）が8割から9割台となっており、特に『保育所や介護施設及びサポート体制の充実』（82.1%）、

『女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力』(71.3%)、『仕事と家庭の両立を支援する制度の整備・普及』(71.2%)では「必要」が7割以上を占めています。一方、『企業における女性の管理職等への登用の推進』(13.3%)、『総労働時間の短縮』(13.0%)では“必要ではない”(「あまり必要ではない」「必要ない」の合計)が1割強となっています。





### ○男女別の傾向

大半の項目について、男女とも“必要である”が8割から9割台となっています。『総労働時間の短縮』『企業における女性の管理職等への登用の推進』では男性の“必要である”が7割台にとどまっており、女性の割合を5ポイント下回っています。

『保育所や介護施設及びサポート体制の充実』では「必要」が男女とも8割前後となっており、女性の就労継続について特に強く意識されていることがわかります。このほか、『家事の分担などの固定的な性別役割分担意識の改革』では女性の「必要」の割合が男性を18ポイント、『女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力』では11ポイント上回っています。

○男女・年代別の傾向

①企業における昇進・賃金等の男女間格差の解消

		全体	必要	どちらか かとい え必要	あまり 必要で はない	必要 ない	無回 答		
全体		1,293	60.7	27.8	5.6	1.7	4.2		
性・ 年代別	女性	女性合計	753	63.3	26.6	5.4	0.7	4.0	
		10代・20代	57	70.2	24.6	3.5	-	1.8	
		30代	79	65.8	22.8	8.9	1.3	1.3	
		40代	147	65.3	27.9	5.4	-	1.4	
		50代	129	70.5	25.6	2.3	-	1.6	
		60代	148	68.9	23.6	2.7	0.7	4.1	
		70歳以上	192	49.5	30.7	8.9	1.6	9.4	
		無回答	1	100.0	-	-	-	-	
		男性	男性合計	527	56.7	29.6	5.9	3.2	4.6
		10代・20代	48	68.8	22.9	2.1	4.2	2.1	
	30代	53	43.4	43.4	9.4	1.9	1.9		
	40代	84	60.7	27.4	8.3	2.4	1.2		
	50代	79	73.4	19.0	1.3	5.1	1.3		
	60代	97	58.8	30.9	2.1	2.1	6.2		
	70歳以上	166	46.4	32.5	9.0	3.6	8.4		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
	無回答	13	69.2	30.8	-	-	-		

②保育所や介護施設及びサポート体制の充実

		全体	必要	どちらか かとい え必要	あまり 必要で はない	必要 ない	無回 答		
全体		1,293	82.1	12.5	0.9	0.5	3.9		
性・ 年代別	女性	女性合計	753	84.2	10.9	0.7	0.4	3.9	
		10代・20代	57	91.2	7.0	-	-	1.8	
		30代	79	87.3	10.1	1.3	-	1.3	
		40代	147	86.4	10.9	2.0	-	0.7	
		50代	129	84.5	11.6	0.8	-	3.1	
		60代	148	87.8	9.5	-	-	2.7	
		70歳以上	192	76.0	13.0	-	1.6	9.4	
		無回答	1	100.0	-	-	-	-	
		男性	男性合計	527	79.7	14.2	1.1	0.8	4.2
		10代・20代	48	72.9	18.8	2.1	2.1	4.2	
	30代	53	83.0	15.1	1.9	-	-		
	40代	84	88.1	9.5	1.2	-	1.2		
	50代	79	89.9	8.9	-	-	1.3		
	60代	97	88.7	7.2	-	-	4.1		
	70歳以上	166	66.3	21.7	1.8	1.8	8.4		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
	無回答	13	61.5	30.8	7.7	-	-		

③仕事と家庭の両立を支援する制度の整備・普及

		全体	必要	どちらか かとい え必要	あまり 必要で はない	必要 ない	無回 答		
全体		1,293	71.2	21.8	1.9	0.9	4.3		
性・ 年代別	女性	女性合計	753	74.5	19.8	1.3	0.3	4.1	
		10代・20代	57	84.2	12.3	1.8	-	1.8	
		30代	79	84.8	12.7	1.3	-	1.3	
		40代	147	79.6	17.7	1.4	-	1.4	
		50代	129	72.9	24.0	0.8	-	2.3	
		60代	148	77.0	18.9	0.7	-	3.4	
		70歳以上	192	62.5	24.5	2.1	1.0	9.9	
		無回答	1	100.0	-	-	-	-	
		男性	男性合計	527	66.6	24.5	2.7	1.7	4.6
		10代・20代	48	60.4	29.2	6.3	2.1	2.1	
	30代	53	81.1	11.3	7.5	-	-		
	40代	84	82.1	14.3	1.2	1.2	1.2		
	50代	79	77.2	17.7	1.3	2.5	1.3		
	60代	97	67.0	23.7	3.1	-	6.2		
	70歳以上	166	50.6	36.1	1.2	3.0	9.0		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
	無回答	13	61.5	30.8	-	-	7.7		

④男性の育児休業・介護休業の取得促進

		全体	必要	どちらか かとい え必要	あまり 必要で はない	必要 ない	無回 答		
全体		1,293	54.8	32.4	6.6	1.9	4.4		
性・ 年代別	女性	女性合計	753	58.3	30.7	5.8	1.3	3.9	
		10代・20代	57	63.2	33.3	1.8	-	1.8	
		30代	79	68.4	21.5	8.9	-	1.3	
		40代	147	52.4	37.4	8.2	0.7	1.4	
		50代	129	69.8	24.8	3.1	-	2.3	
		60代	148	60.1	31.8	2.7	2.0	3.4	
		70歳以上	192	47.9	31.8	8.3	3.1	8.9	
		無回答	1	100.0	-	-	-	-	
		男性	男性合計	527	49.3	35.5	7.2	2.7	5.3
		10代・20代	48	64.6	31.3	2.1	-	2.1	
	30代	53	52.8	37.7	7.5	1.9	-		
	40代	84	57.1	33.3	6.0	1.2	2.4		
	50代	79	57.0	34.2	3.8	3.8	1.3		
	60代	97	50.5	37.1	5.2	1.0	6.2		
	70歳以上	166	35.5	36.7	12.0	4.8	10.8		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
	無回答	13	69.2	7.7	23.1	-	-		

『企業における昇進・賃金等の男女間格差の解消』で「必要」の割合が最も高いのは男性50代（73.4%）であり、女性50代（70.5%）が続きます。

『保育所や介護施設及びサポート体制の充実』で「必要」の割合が最も高いのは女性10代・20代（91.2%）であり、男性50代（89.9%）が続きます。

『仕事と家庭の両立を支援する制度の整備・普及』で「必要」の割合が最も高いのは女性30代（84.8%）であり、女性10代・20代（84.2%）が続きます。

『男性の育児休業・介護休業の取得促進』で「必要」の割合が最も高いのは女性50代（69.8%）、女性30代（68.4%）が続きます。

**⑤フレックスタイム制や短時間勤務制度など**

**柔軟な勤務形態の導入**

		全体	必要	どちらかとい えば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	60.2	29.3	5.1	1.0	4.4
性・年代別	女性合計	753	64.0	27.5	4.2	0.8	3.5
	10代・20代	57	64.9	29.8	1.8	-	3.5
	30代	79	82.3	16.5	-	-	1.3
	40代	147	70.7	27.9	0.7	-	0.7
	50代	129	76.7	20.2	1.6	-	1.6
	60代	148	66.2	28.4	2.0	-	3.4
	70歳以上	192	40.6	35.4	13.0	3.1	7.8
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	54.5	32.4	6.3	1.3	5.5
	10代・20代	48	50.0	39.6	8.3	-	2.1
30代	53	60.4	30.2	7.5	1.9	-	
40代	84	67.9	26.2	2.4	1.2	2.4	
50代	79	69.6	25.3	2.5	1.3	1.3	
60代	97	53.6	30.9	8.2	1.0	6.2	
70歳以上	166	40.4	38.6	7.8	1.8	11.4	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	69.2	7.7	7.7	-	15.4	

**⑥在宅勤務など多様な働き方の推進**

		全体	必要	どちらかとい えば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	53.6	32.7	7.0	2.1	4.6
性・年代別	女性合計	753	57.6	31.5	5.3	1.2	4.4
	10代・20代	57	56.1	36.8	3.5	1.8	1.8
	30代	79	72.2	21.5	5.1	-	1.3
	40代	147	70.7	24.5	4.1	-	0.7
	50代	129	66.7	31.0	1.6	-	0.8
	60代	148	57.4	33.1	5.4	-	4.1
	70歳以上	192	35.9	38.5	9.4	4.2	12.0
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	47.8	34.3	9.5	3.4	4.9
	10代・20代	48	54.2	43.8	-	-	2.1
30代	53	52.8	35.8	5.7	5.7	-	
40代	84	61.9	28.6	6.0	1.2	2.4	
50代	79	63.3	24.1	6.3	5.1	1.3	
60代	97	46.4	35.1	10.3	2.1	6.2	
70歳以上	166	30.7	38.6	16.3	4.8	9.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	53.8	38.5	7.7	-	-	

**⑦総労働時間の短縮**

		全体	必要	どちらかとい えば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	43.4	38.9	9.8	3.2	4.7
性・年代別	女性合計	753	43.8	40.6	9.2	1.6	4.8
	10代・20代	57	47.4	38.6	8.8	1.8	3.5
	30代	79	60.8	27.8	8.9	1.3	1.3
	40代	147	52.4	38.1	8.2	0.7	0.7
	50代	129	43.4	44.2	9.3	1.6	1.6
	60代	148	45.9	41.2	8.1	0.7	4.1
	70歳以上	192	28.1	45.8	10.4	3.1	12.5
	無回答	1	-	-	100.0	-	-
	男性合計	527	42.9	36.1	10.8	5.5	4.7
	10代・20代	48	45.8	37.5	10.4	4.2	2.1
30代	53	43.4	39.6	11.3	5.7	-	
40代	84	57.1	33.3	4.8	2.4	2.4	
50代	79	49.4	31.6	7.6	11.4	-	
60代	97	37.1	40.2	15.5	2.1	5.2	
70歳以上	166	34.9	35.5	12.7	6.6	10.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	38.5	53.8	7.7	-	-	

**⑧育児休業・介護休業中の賃金等の充実**

		全体	必要	どちらかとい えば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	55.2	32.2	6.3	1.8	4.5
性・年代別	女性合計	753	56.7	32.1	6.0	0.7	4.5
	10代・20代	57	66.7	28.1	1.8	-	3.5
	30代	79	68.4	24.1	6.3	-	1.3
	40代	147	59.9	29.9	8.2	1.4	0.7
	50代	129	57.4	33.3	6.2	0.8	2.3
	60代	148	59.5	31.8	4.1	-	4.7
	70歳以上	192	43.8	38.0	6.8	1.0	10.4
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	52.8	32.4	6.8	3.4	4.6
	10代・20代	48	62.5	20.8	8.3	6.3	2.1
30代	53	52.8	34.0	11.3	1.9	-	
40代	84	64.3	28.6	4.8	1.2	1.2	
50代	79	55.7	32.9	5.1	5.1	1.3	
60代	97	54.6	32.0	4.1	3.1	6.2	
70歳以上	166	41.6	37.3	8.4	3.6	9.0	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	69.2	23.1	7.7	-	-	

『フレックスタイム制や短時間勤務制度など柔軟な勤務形態の導入』で「必要」の割合が最も高いのは女性30代（82.3%）であり、女性50代（76.7%）が続きます。

『在宅勤務など多様な働き方の推進』で「必要」の割合が最も高いのは女性30代（72.2%）であり、女性40代（70.7%）が続きます。

『総労働時間の短縮』で“必要である”の割合が最も高いのは女性40代（90.5%）であり、男性40代（90.4%）が続きます。「必要」の割合が最も高いのは女性30代（60.8%）であり、男性40代（57.1%）が続きます。

『育児休業・介護休業中の賃金等の充実』で「必要」の割合が最も高いのは女性30代（68.4%）であり、女性10代・20代（66.7%）が続きます。

**⑨結婚、出産、子育て、介護のために退職**

**した従業員の再雇用制度の充実**

		全体	必要	どちらか 必要とい	あまり 必要で はない	必要 ない	無 回答
全体		1,293	61.5	30.2	3.3	0.9	4.1
性・ 年代別	女性	753	63.3	28.7	3.3	0.8	3.9
	10代・20代	57	68.4	29.8	-	-	1.8
	30代	79	74.7	19.0	3.8	1.3	1.3
	40代	147	66.7	28.6	3.4	-	1.4
	50代	129	58.9	33.3	5.4	0.8	1.6
	60代	148	65.5	27.0	3.4	-	4.1
	70歳以上	192	55.7	30.7	2.6	2.1	8.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性	527	59.0	32.1	3.2	1.1	4.6
	10代・20代	48	56.3	31.3	8.3	2.1	2.1
30代	53	60.4	30.2	7.5	1.9	-	
40代	84	60.7	32.1	4.8	1.2	1.2	
50代	79	72.2	24.1	2.5	-	1.3	
60代	97	63.9	29.9	-	-	6.2	
70歳以上	166	49.4	38.0	1.8	1.8	9.0	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	53.8	38.5	7.7	-	-	

**⑩企業における女性の管理職等への登用の推進**

		全体	必要	どちらか 必要とい	あまり 必要で はない	必要 ない	無 回答
全体		1,293	40.9	41.5	11.1	2.2	4.3
性・ 年代別	女性	753	42.2	42.4	10.4	1.2	3.9
	10代・20代	57	43.9	31.6	22.8	-	1.8
	30代	79	46.8	36.7	13.9	1.3	1.3
	40代	147	38.1	44.2	16.3	0.7	0.7
	50代	129	41.9	51.2	5.4	-	1.6
	60代	148	39.9	48.0	8.1	-	4.1
	70歳以上	192	44.8	36.5	5.7	3.6	9.4
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性	527	39.1	40.0	12.1	3.8	4.9
	10代・20代	48	37.5	35.4	18.8	6.3	2.1
30代	53	28.3	37.7	24.5	9.4	-	
40代	84	41.7	41.7	11.9	3.6	1.2	
50代	79	39.2	41.8	10.1	6.3	2.5	
60代	97	50.5	35.1	7.2	1.0	6.2	
70歳以上	166	34.9	43.4	10.2	1.8	9.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	38.5	53.8	7.7	-	-	

**⑪女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力**

		全体	必要	どちらか 必要とい	あまり 必要で はない	必要 ない	無 回答
全体		1,293	71.3	23.3	1.0	0.8	3.6
性・ 年代別	女性	753	76.0	19.7	0.9	0.4	3.1
	10代・20代	57	64.9	29.8	3.5	-	1.8
	30代	79	79.7	16.5	2.5	-	1.3
	40代	147	79.6	17.7	1.4	0.7	0.7
	50代	129	82.2	16.3	-	-	1.6
	60代	148	77.7	19.6	-	-	2.7
	70歳以上	192	69.3	21.9	0.5	1.0	7.3
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性	527	64.9	28.1	1.1	1.3	4.6
	10代・20代	48	64.6	31.3	-	2.1	2.1
30代	53	71.7	22.6	3.8	1.9	-	
40代	84	63.1	33.3	1.2	1.2	1.2	
50代	79	74.7	22.8	1.3	-	1.3	
60代	97	69.1	24.7	-	-	6.2	
70歳以上	166	56.6	30.7	1.2	2.4	9.0	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	61.5	38.5	-	-	-	

**⑫女性自身の自覚と意欲の向上**

		全体	必要	どちらか 必要とい	あまり 必要で はない	必要 ない	無 回答
全体		1,293	56.1	34.1	5.2	0.8	3.8
性・ 年代別	女性	753	59.5	31.6	4.9	0.7	3.3
	10代・20代	57	42.1	43.9	12.3	-	1.8
	30代	79	57.0	31.6	7.6	2.5	1.3
	40代	147	57.8	34.7	6.1	0.7	0.7
	50代	129	61.2	33.3	3.9	-	1.6
	60代	148	64.9	27.7	3.4	0.7	3.4
	70歳以上	192	61.5	27.6	2.6	0.5	7.8
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性	527	51.6	37.4	5.5	0.9	4.6
	10代・20代	48	50.0	37.5	10.4	-	2.1
30代	53	34.0	47.2	13.2	5.7	-	
40代	84	46.4	44.0	8.3	-	1.2	
50代	79	57.0	36.7	5.1	-	1.3	
60代	97	55.7	33.0	4.1	1.0	6.2	
70歳以上	166	55.4	33.7	1.2	0.6	9.0	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	46.2	46.2	7.7	-	-	

『結婚、出産、子育て、介護のために退職した従業員の再雇用制度の充実』で「必要」の割合が最も高いのは女性30代（74.7%）であり、男性50代（72.2%）が続きます。

『企業における女性の管理職等への登用の推進』で“必要である”の割合が最も高いのは女性50代（93.1%）であり、女性60代（87.9%）が続きます。「必要」の割合が最も高いのは男性60代（50.5%）であり、女性30代（46.8%）が続きます。

『女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力』で「必要」の割合が最も高いのは女性50代（82.2%）であり、女性30代（79.7%）が続きます。

『女性自身の自覚と意欲の向上』で「必要」の割合が最も高いのは女性60代（64.9%）であり、女性70歳以上（61.5%）が続きます。

### ⑬家事の分担などの固定的な性別役割分担意識の改革

		全体	必要	どちらかとい えれば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	54.6	33.3	5.9	1.5	4.7
性・年代別	女性合計	753	62.2	28.2	4.6	0.9	4.1
	10代・20代	57	61.4	28.1	7.0	1.8	1.8
	30代	79	81.0	11.4	5.1	-	2.5
	40代	147	67.3	27.2	3.4	0.7	1.4
	50代	129	69.8	27.1	1.6	-	1.6
	60代	148	60.8	32.4	2.7	0.7	3.4
	70歳以上	192	46.4	33.3	8.3	2.1	9.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	43.8	40.6	7.6	2.5	5.5
	10代・20代	48	58.3	27.1	4.2	6.3	4.2
	30代	53	45.3	41.5	11.3	1.9	-
	40代	84	53.6	38.1	6.0	1.2	1.2
	50代	79	53.2	39.2	2.5	3.8	1.3
	60代	97	46.4	37.1	7.2	1.0	8.2
70歳以上	166	28.3	48.2	10.8	2.4	10.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	53.8	30.8	7.7	-	7.7	

### ⑭企業の意識の変化

		全体	必要	どちらかとい えれば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	66.3	26.3	2.2	0.9	4.3
性・年代別	女性合計	753	70.4	23.4	1.7	0.7	3.9
	10代・20代	57	82.5	15.8	-	-	1.8
	30代	79	74.7	21.5	2.5	-	1.3
	40代	147	73.5	23.1	2.0	-	1.4
	50代	129	73.6	24.8	-	-	1.6
	60代	148	73.6	20.9	1.4	0.7	3.4
	70歳以上	192	57.8	27.6	3.1	2.1	9.4
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	60.5	30.4	3.0	1.3	4.7
	10代・20代	48	60.4	29.2	4.2	4.2	2.1
	30代	53	62.3	35.8	1.9	-	-
	40代	84	64.3	34.5	-	-	1.2
	50代	79	70.9	22.8	2.5	2.5	1.3
	60代	97	63.9	27.8	2.1	-	6.2
70歳以上	166	51.2	31.9	5.4	1.8	9.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	61.5	30.8	-	-	7.7	

### ⑮非正規雇用労働者の処遇改善

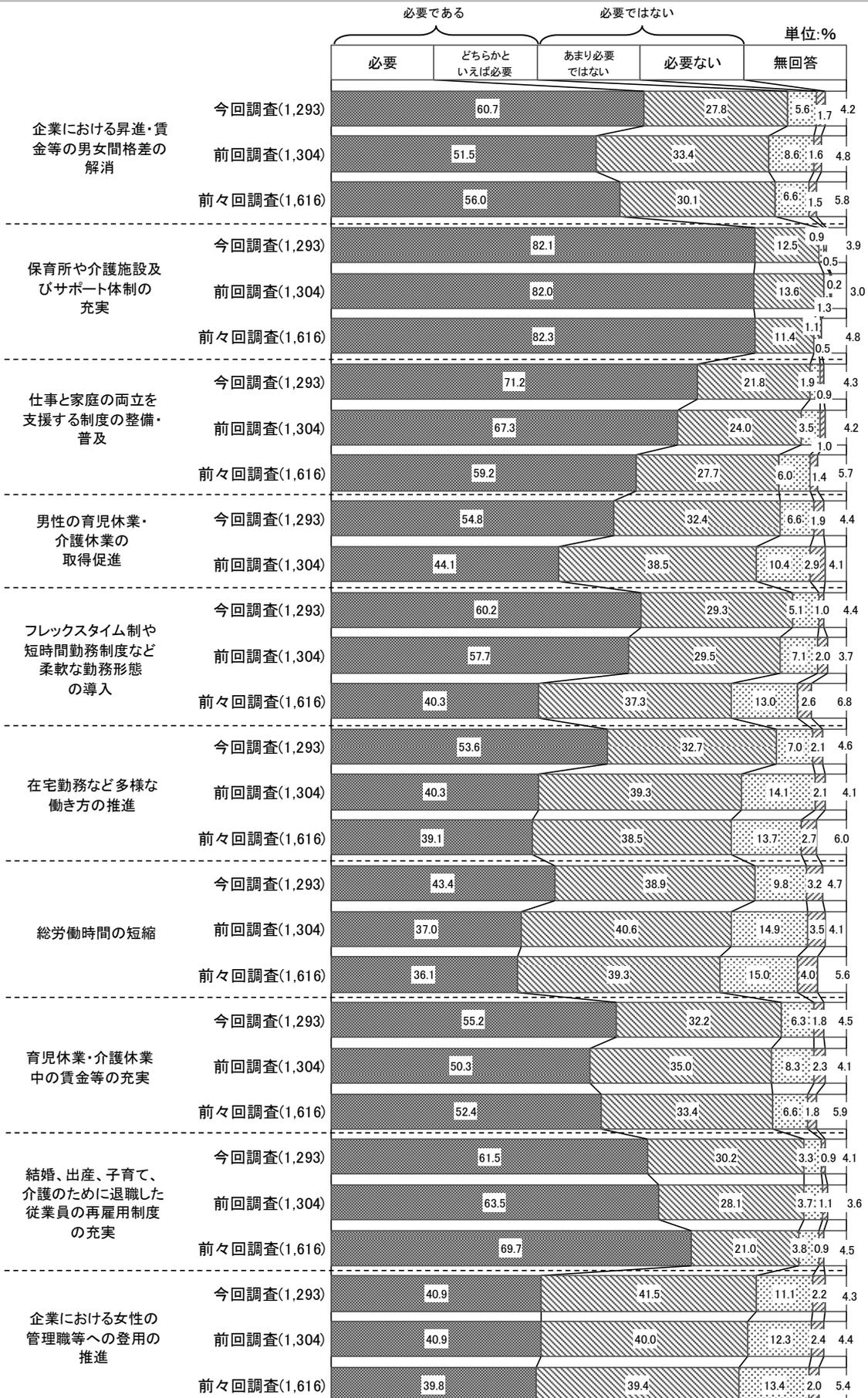
		全体	必要	どちらかとい えれば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	58.1	29.3	6.2	1.8	4.6
性・年代別	女性合計	753	60.8	28.4	5.6	0.8	4.4
	10代・20代	57	45.6	38.6	12.3	1.8	1.8
	30代	79	59.5	30.4	7.6	-	2.5
	40代	147	57.1	34.0	6.8	0.7	1.4
	50代	129	65.1	27.1	5.4	0.8	1.6
	60代	148	70.3	22.3	3.4	0.7	3.4
	70歳以上	192	58.3	26.0	3.6	1.0	10.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	54.1	30.6	7.0	3.2	5.1
	10代・20代	48	54.2	29.2	10.4	4.2	2.1
	30代	53	49.1	28.3	13.2	7.5	1.9
	40代	84	47.6	36.9	11.9	2.4	1.2
	50代	79	55.7	34.2	2.5	6.3	1.3
	60代	97	57.7	28.9	5.2	1.0	7.2
70歳以上	166	56.0	27.7	4.8	1.8	9.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	61.5	30.8	7.7	-	-	

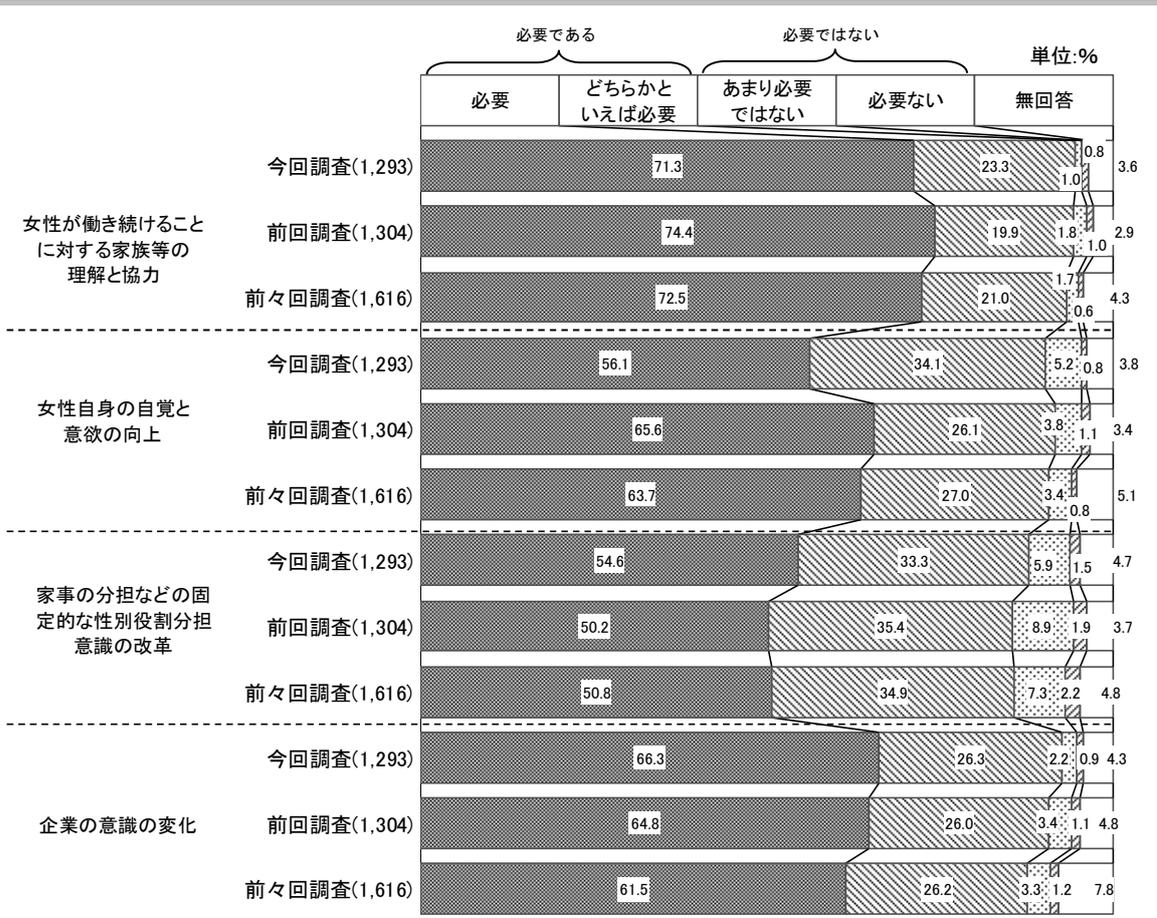
『家事の分担などの固定的な性別役割分担意識の改革』で「必要」の割合が最も高いのは女性30代（81.0%）であり、女性50代（69.8%）が続きます。

『企業の意識の変化』で「必要」の割合が最も高いのは女性10代・20代（82.5%）であり、女性30代（74.7%）が続きます。

『非正規雇用労働者の処遇改善』で「必要」の割合が最も高いのは女性60代（70.3%）であり、女性50代（65.1%）が続きます。

▼ 前回、前々回調査との比較





※「フレックスタイム制や短時間勤務制度など柔軟な勤務形態の導入」は前々回調査では「フレックスタイム制の導入」。「家事的分担などの固定的な性別役割分担意識の改革」は前々回調査では「男性の家事の分担などの固定的な性別役割分担意識の改革」。

●前回、前々回調査との比較

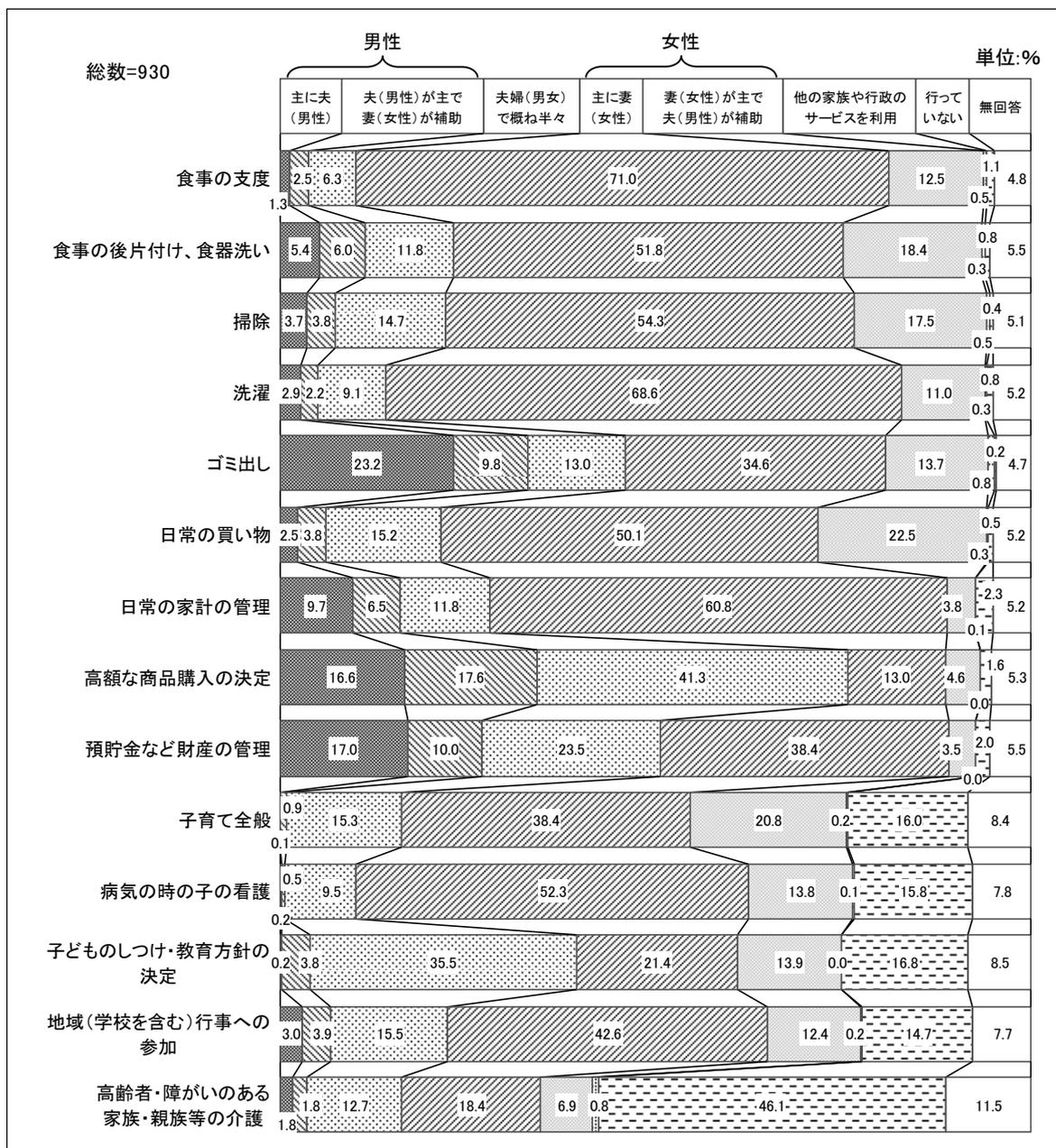
『企業における昇進・賃金等の男女間格差の解消』『男性の育児休業・介護休業の取得促進』『在宅勤務など多様な働き方の推進』『総労働時間の短縮』では、今回調査の「必要」の割合が前々回調査及び前回調査を上回っており、前回調査から今回調査にかけていずれも5ポイント以上増加しています。一方、『女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力』『女性自身の自覚と意欲の向上』では、前回調査から今回調査にかけて「必要」の割合が減少しており、今回調査の「必要」は前々回調査の割合を下回っています。

## 問 12 家庭における役割分担

結婚している、もしくはパートナーと同居している方にお伺いします。

実際にあなたの家庭では家事・子育て・介護などを、夫婦（男女）のどなたが分担していますか。各項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。

(○は各項目に1つずつ)

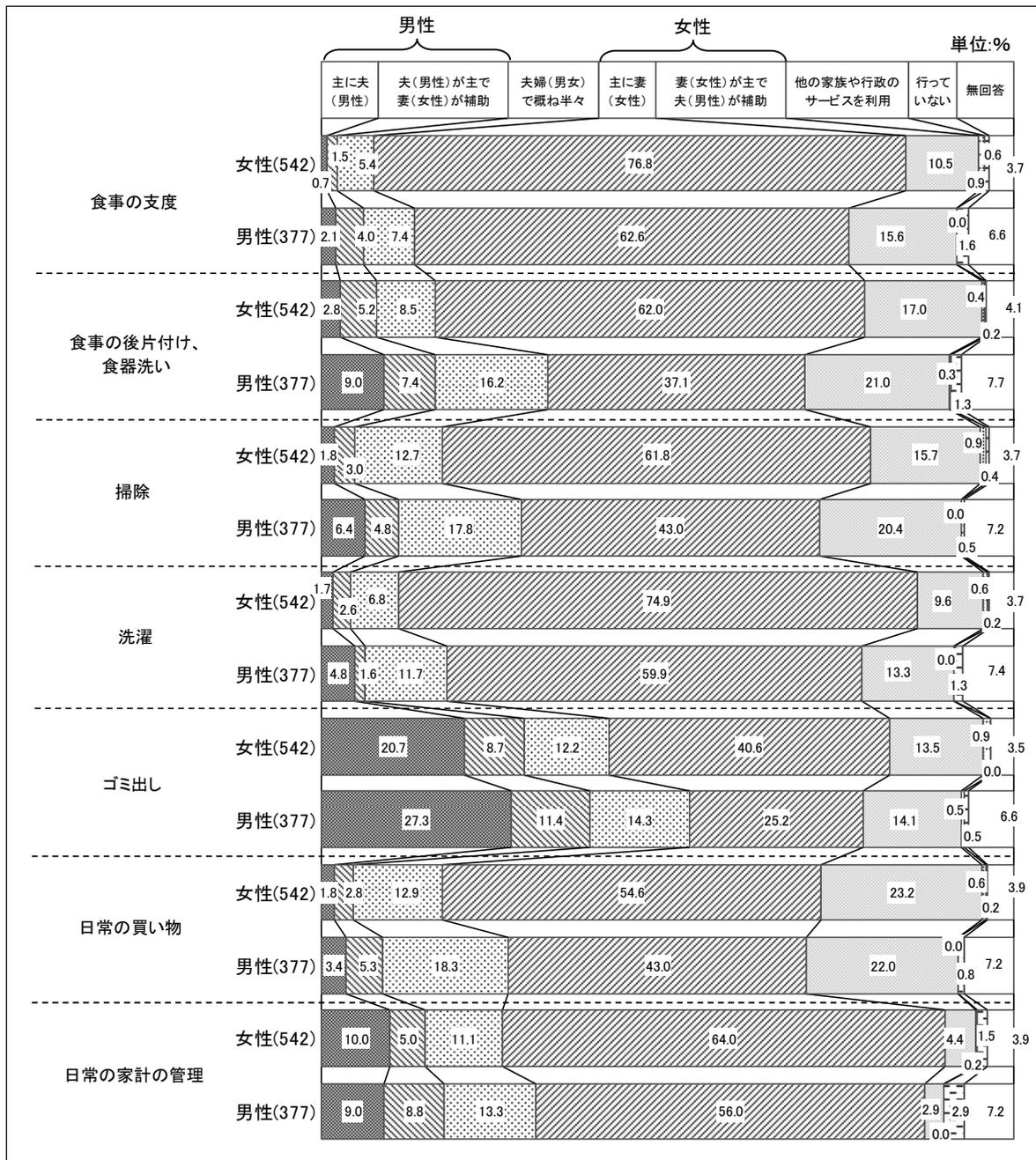


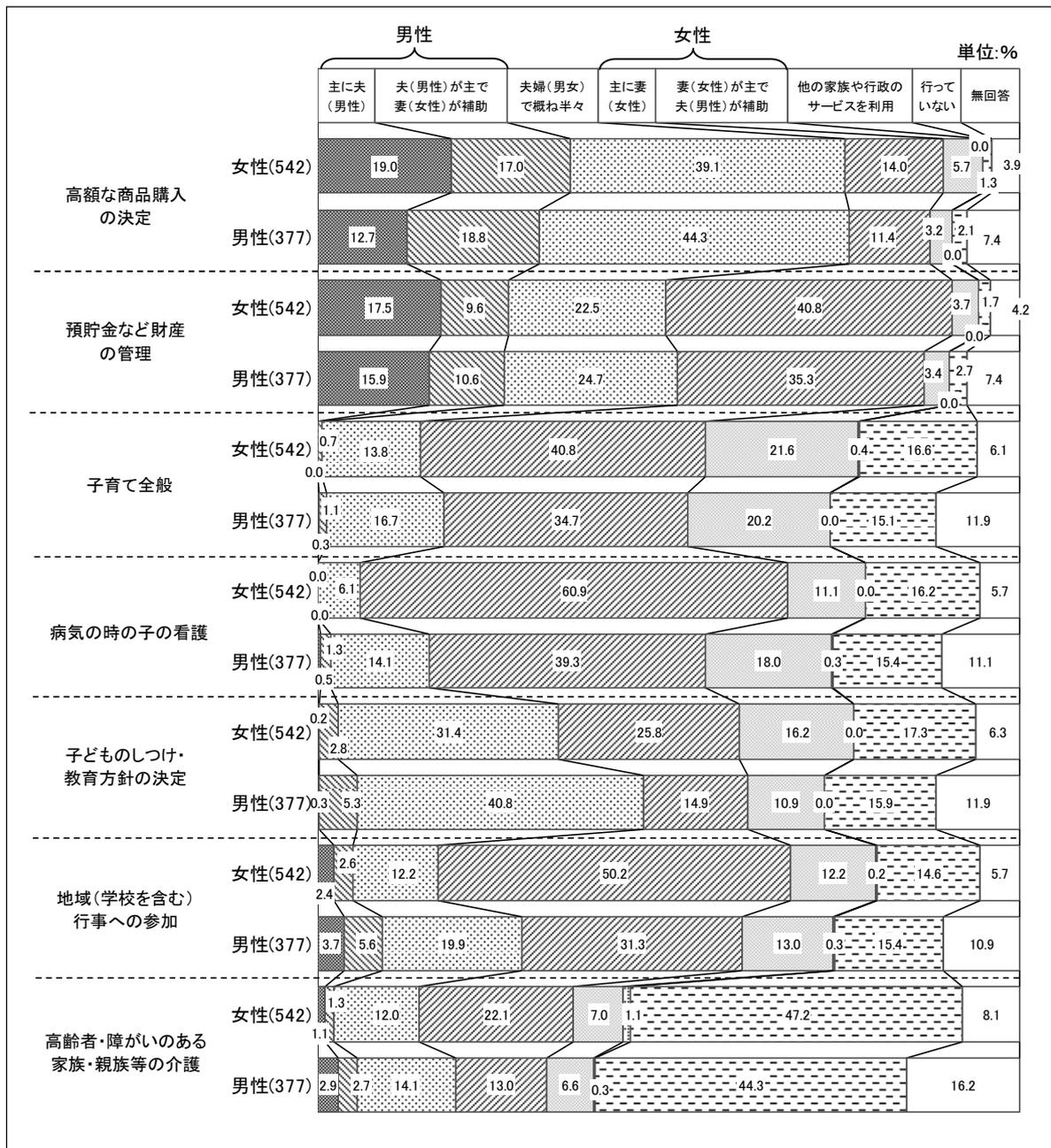
### ○全体の傾向

『高額な商品購入の決定』『子どものしつけ・教育方針の決定』を除く各項目とも、“女性”（「主に妻(女性)」「妻(女性)が主で夫(男性)が補助」の合計）が“男性”（「主に夫(男性)」「夫(男性)が主で妻(女性)が補助」の合計）と「夫婦(男女)で概ね半々」

を上回っており、『食事の支度』『洗濯』では8割前後を占めています。

『高額な商品購入の決定』では「夫婦（男女）で概ね半々」が41.3%で“男性”（34.2%）、“女性”（17.6%）を上回っており、『子どものしつけ・教育方針の決定』では「夫婦（男女）で概ね半々」と“女性”がそれぞれ3割台半ばとなっています。





### ○男女別の傾向

多くのことごとについて、回答者の性別を問わず「主に妻（女性）」の割合が最も高くなっており、『食事の支度』『洗濯』『日常の家計の管理』では男女とも5割以上となっています。

また、各項目とも女性回答者の「主に妻（女性）」の割合が男性回答者の「主に妻（女性）」の割合を上回っており、特に『食事の後片付け、食器洗い』『掃除』『病気の時の子の看護』『地域（学校を含む）行事への参加』ではその差が20ポイント前後となっています。

○男女・年代別の傾向

①食事の支度

性・年代別	全体	食事の支度						行っていない	無回答	
		主に夫(男性)	妻(男性)が主で	夫婦(男女)で概ね半々	主に妻(女性)	妻(女性)が主で	他の家族や行政のサービスを利用			
全体	930	1.3	2.5	6.3	71.0	12.5	0.5	1.1	4.8	
女性	女性合計	542	0.7	1.5	5.4	76.8	10.5	0.9	0.6	3.7
	10代・20代	12	8.3	-	8.3	66.7	8.3	-	-	8.3
	30代	62	-	-	6.5	79.0	12.9	1.6	-	-
	40代	123	-	2.4	5.7	78.0	11.4	0.8	-	1.6
	50代	110	0.9	-	9.1	73.6	11.8	0.9	1.8	1.8
	60代	127	0.8	1.6	3.1	75.6	11.8	-	-	7.1
	70歳以上	108	0.9	2.8	2.8	79.6	5.6	1.9	0.9	5.6
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
男性	男性合計	377	2.1	4.0	7.4	62.6	15.6	-	1.6	6.6
	10代・20代	5	-	-	-	60.0	40.0	-	-	-
	30代	33	-	-	9.1	63.6	27.3	-	-	-
	40代	62	-	3.2	4.8	69.4	21.0	-	-	1.6
	50代	57	1.8	1.8	8.8	68.4	10.5	-	1.8	7.0
	60代	78	1.3	5.1	6.4	59.0	17.9	-	1.3	9.0
	70歳以上	142	4.2	5.6	8.5	59.2	10.6	-	2.1	9.9
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	-	-	18.2	72.7	-	-	-	9.1	

②食事の後片付け、食器洗い

性・年代別	全体	食事の後片付け、食器洗い						行っていない	無回答	
		主に夫(男性)	妻(男性)が主で	夫婦(男女)で概ね半々	主に妻(女性)	妻(女性)が主で	他の家族や行政のサービスを利用			
全体	930	5.4	6.0	11.8	51.8	18.4	0.3	0.8	5.5	
女性	女性合計	542	2.8	5.2	8.5	62.0	17.0	0.4	0.2	4.1
	10代・20代	12	-	8.3	25.0	33.3	25.0	-	-	8.3
	30代	62	1.6	8.1	9.7	58.1	22.6	-	-	-
	40代	123	2.4	1.6	10.6	65.0	18.7	-	-	1.6
	50代	110	2.7	5.5	8.2	64.5	16.4	0.9	-	1.8
	60代	127	3.9	4.7	7.1	60.6	16.5	-	-	7.1
	70歳以上	108	2.8	7.4	5.6	63.0	12.0	0.9	0.9	7.4
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
男性	男性合計	377	9.0	7.4	16.2	37.1	21.0	0.3	1.3	7.7
	10代・20代	5	20.0	-	-	60.0	20.0	-	-	-
	30代	33	12.1	18.2	12.1	27.3	30.3	-	-	-
	40代	62	8.1	9.7	14.5	40.3	25.8	-	-	1.6
	50代	57	8.8	3.5	12.3	45.6	19.3	1.8	1.8	7.0
	60代	78	6.4	5.1	21.8	32.1	24.4	-	-	10.3
	70歳以上	142	9.9	7.0	16.9	36.6	15.5	-	2.1	12.0
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	9.1	-	27.3	54.5	-	-	-	9.1	

③掃除

性・年代別	全体	掃除						行っていない	無回答	
		主に夫(男性)	妻(男性)が主で	夫婦(男女)で概ね半々	主に妻(女性)	妻(女性)が主で	他の家族や行政のサービスを利用			
全体	930	3.7	3.8	14.7	54.3	17.5	0.5	0.4	5.1	
女性	女性合計	542	1.8	3.0	12.7	61.8	15.7	0.9	0.4	3.7
	10代・20代	12	-	-	-	66.7	25.0	-	-	8.3
	30代	62	-	1.6	16.1	62.9	19.4	-	-	-
	40代	123	0.8	2.4	11.4	65.9	17.1	0.8	-	1.6
	50代	110	2.7	2.7	12.7	60.9	16.4	0.9	1.8	1.8
	60代	127	2.4	3.9	12.6	57.5	15.7	-	-	7.9
	70歳以上	108	2.8	3.7	13.9	62.0	10.2	2.8	-	4.6
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
男性	男性合計	377	6.4	4.8	17.8	43.0	20.4	-	0.5	7.2
	10代・20代	5	20.0	-	20.0	40.0	-	-	-	-
	30代	33	3.0	3.0	27.3	42.4	24.2	-	-	-
	40代	62	4.8	3.2	9.7	48.4	33.9	-	-	-
	50代	57	3.5	3.5	19.3	49.1	17.5	-	-	7.0
	60代	78	3.8	10.3	16.7	39.7	19.2	-	1.3	9.0
	70歳以上	142	9.9	3.5	19.0	40.8	14.8	-	0.7	11.3
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	-	9.1	9.1	72.7	9.1	-	-	-	

④洗濯

性・年代別	全体	洗濯						行っていない	無回答	
		主に夫(男性)	妻(男性)が主で	夫婦(男女)で概ね半々	主に妻(女性)	妻(女性)が主で	他の家族や行政のサービスを利用			
全体	930	2.9	2.2	9.1	68.6	11.0	0.3	0.8	5.2	
女性	女性合計	542	1.7	2.6	6.8	74.9	9.6	0.6	0.2	3.7
	10代・20代	12	-	-	16.7	58.3	16.7	-	-	8.3
	30代	62	-	4.8	9.7	75.8	9.7	-	-	-
	40代	123	2.4	3.3	7.3	74.8	9.8	0.8	-	1.6
	50代	110	0.9	2.7	7.3	74.5	10.9	0.9	0.9	1.8
	60代	127	2.4	2.4	4.7	73.2	9.4	-	-	7.9
	70歳以上	108	1.9	0.9	5.6	78.7	7.4	0.9	-	4.6
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
男性	男性合計	377	4.8	1.6	11.7	59.9	13.3	-	1.3	7.4
	10代・20代	5	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-
	30代	33	3.0	3.0	18.2	57.6	18.2	-	-	-
	40代	62	6.5	-	11.3	59.7	21.0	-	-	1.6
	50代	57	3.5	1.8	10.5	63.2	12.3	-	1.8	7.0
	60代	78	3.8	3.8	10.3	61.5	10.3	-	1.3	9.0
	70歳以上	142	5.6	-	11.3	59.9	9.9	-	1.4	12.0
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	-	-	36.4	54.5	-	-	-	9.1	

『食事の支度』で“女性”の割合が最も高いのは女性30代(91.9%)であり、男性40代(90.3%)が続きます。

『食事の後片付け、食器洗い』で“女性”の割合が最も高いのは女性40代(83.7%)であり、女性50代(80.9%)が続きます。

『掃除』で“女性”の割合が最も高いのは女性40代(83.0%)であり、女性30代と男性40代(それぞれ82.3%)が続きます。

『洗濯』で“女性”の割合が最も高いのは女性70歳以上(86.1%)であり、女性30代(85.5%)が続きます。

⑤ ゴミ出し

	全体	主に夫（男性）	妻（女性）が主で補助	夫婦（男女）で概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答	
全体	930	23.2	9.8	13.0	34.6	13.7	0.8	0.2	4.7	
女性	女性合計	542	20.7	8.7	12.2	40.6	13.5	0.9	3.5	
	10代・20代	12	25.0	16.7	16.7	25.0	8.3	-	8.3	
	30代	62	29.0	11.3	11.3	32.3	16.1	-	-	
	40代	123	21.1	5.7	12.2	47.2	11.4	0.8	1.6	
	50代	110	15.5	13.6	10.9	44.5	12.7	0.9	1.8	
	60代	127	16.5	5.5	11.0	41.7	17.3	0.8	7.1	
	70歳以上	108	25.0	8.3	14.8	34.3	11.1	1.9	4.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
男性	男性合計	377	27.3	11.4	14.3	25.2	14.1	0.5	0.5	6.6
	10代・20代	5	60.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-
	30代	33	30.3	27.3	15.2	15.2	12.1	-	-	-
	40代	62	24.2	9.7	12.9	37.1	12.9	3.2	-	-
	50代	57	24.6	3.5	14.0	33.3	15.8	-	1.8	7.0
	60代	78	24.4	15.4	12.8	28.2	11.5	-	-	7.7
	70歳以上	142	29.6	9.9	16.2	17.6	15.5	-	0.7	10.6
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	9.1	9.1	9.1	63.6	9.1	-	-	-	

⑥ 日常の買い物

	全体	主に夫（男性）	妻（女性）が主で補助	夫婦（男女）で概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答	
全体	930	2.5	3.8	15.2	50.1	22.5	0.3	0.5	5.2	
女性	女性合計	542	1.8	2.8	12.9	54.6	23.2	0.6	0.2	3.9
	10代・20代	12	-	-	8.3	58.3	25.0	-	-	8.3
	30代	62	-	-	9.7	58.1	32.3	-	-	-
	40代	123	1.6	0.8	9.8	64.2	21.1	0.8	-	1.6
	50代	110	2.7	2.7	14.5	53.6	22.7	0.9	0.9	1.8
	60代	127	1.6	5.5	16.5	42.5	26.0	-	-	7.9
	70歳以上	108	2.8	3.7	13.0	56.5	17.6	0.9	-	5.6
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
男性	男性合計	377	3.4	5.3	18.3	43.0	22.0	-	0.8	7.2
	10代・20代	5	-	-	20.0	-	80.0	-	-	-
	30代	33	-	3.0	27.3	33.3	36.4	-	-	-
	40代	62	1.6	4.8	17.7	46.8	27.4	-	-	1.6
	50代	57	1.8	5.3	15.8	47.4	22.8	-	-	7.0
	60代	78	5.1	3.8	20.5	39.7	20.5	-	-	10.3
	70歳以上	142	4.9	7.0	16.2	45.1	14.8	-	-	1.4
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	-	-	18.2	72.7	-	-	-	9.1	

⑦ 日常の家計の管理

	全体	主に夫（男性）	妻（女性）が主で補助	夫婦（男女）で概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答	
全体	930	9.7	6.5	11.8	60.8	3.8	0.1	2.3	5.2	
女性	女性合計	542	10.0	5.0	11.1	64.0	4.4	0.2	1.5	3.9
	10代・20代	12	8.3	8.3	8.3	50.0	-	-	16.7	8.3
	30代	62	9.7	3.2	14.5	67.7	1.6	-	3.2	-
	40代	123	11.4	7.3	12.2	56.9	8.1	0.8	1.6	1.6
	50代	110	11.8	4.5	10.0	67.3	3.6	-	0.9	1.8
	60代	127	10.2	3.1	11.8	62.2	4.7	-	-	7.9
	70歳以上	108	6.5	5.6	8.3	70.4	2.8	-	0.9	5.6
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
男性	男性合計	377	9.0	8.8	13.3	56.0	2.9	-	2.9	7.2
	10代・20代	5	-	-	60.0	40.0	-	-	-	-
	30代	33	12.1	15.2	15.2	48.5	3.0	-	6.1	-
	40代	62	16.1	8.1	16.1	54.8	1.6	-	3.2	-
	50代	57	5.3	7.0	12.3	63.2	3.5	-	1.8	7.0
	60代	78	9.0	9.0	11.5	59.0	2.6	-	1.3	7.7
	70歳以上	142	7.0	8.5	11.3	54.2	3.5	-	3.5	12.0
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	18.2	-	-	63.6	-	-	18.2	-	

⑧ 高額な商品購入の決定

	全体	主に夫（男性）	妻（女性）が主で補助	夫婦（男女）で概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答	
全体	930	16.6	17.6	41.3	13.0	4.6	-	1.6	5.3	
女性	女性合計	542	19.0	17.0	39.1	14.0	5.7	-	1.3	3.9
	10代・20代	12	25.0	8.3	58.3	-	-	-	-	8.3
	30代	62	17.7	12.9	40.3	12.9	12.9	-	3.2	-
	40代	123	18.7	15.4	40.7	18.7	4.1	-	0.8	1.6
	50代	110	18.2	14.5	41.8	17.3	3.6	-	0.9	3.6
	60代	127	19.7	18.9	39.4	9.4	5.5	-	-	7.1
	70歳以上	108	19.4	22.2	31.5	13.0	6.5	-	2.8	4.6
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
男性	男性合計	377	12.7	18.8	44.3	11.4	3.2	-	2.1	7.4
	10代・20代	5	20.0	20.0	40.0	-	-	-	20.0	-
	30代	33	18.2	18.2	48.5	9.1	3.0	-	3.0	-
	40代	62	12.9	21.0	48.4	14.5	3.2	-	-	-
	50代	57	8.8	8.8	43.9	22.8	7.0	-	1.8	7.0
	60代	78	10.3	19.2	51.3	9.0	-	-	1.3	9.0
	70歳以上	142	14.1	21.8	38.0	7.7	3.5	-	2.8	12.0
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	27.3	9.1	45.5	18.2	-	-	-	-	

『ゴミ出し』で“女性”の割合が最も高いのは女性 60 代 (59.0%) であり、女性 40 代 (58.6%) が続きます。“男性”の割合が最も高いのは女性 30 代 (40.3%) であり、男性 60 代 (39.8%) が続きます。

『日常の買い物』で“女性”の割合が最も高いのは女性 30 代 (90.4%) であり、女性 40 代 (85.3%) が続きます。

『日常の家計の管理』で“女性”の割合が最も高いのは女性 70 歳以上 (73.2%) であり、女性 50 代 (70.9%) が続きます。

『高額な商品購入の決定』で「夫婦（男女）で概ね半々」の割合が最も高いのは男性 60 代 (51.3%) であり、男性 40 代 (48.4%) が続きます。“男性”の割合が最も高いのは女性 70 歳以上 (41.6%) であり、女性 60 代 (38.6%) が続きます。

**⑨ 預貯金など財産の管理**

		全体	主に夫（男性）	妻（女性）が主で補助	夫婦（男女）が概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答
全体		930	17.0	10.0	23.5	38.4	3.5	-	2.0	5.5
女性	女性合計	542	17.5	9.6	22.5	40.8	3.7	-	1.7	4.2
	10代・20代	12	33.3	8.3	8.3	41.7	-	-	-	8.3
	30代	62	11.3	6.5	25.8	48.4	3.2	-	4.8	-
	40代	123	19.5	12.2	20.3	41.5	2.4	-	1.6	2.4
	50代	110	20.0	6.4	23.6	41.8	3.6	-	1.8	2.7
	60代	127	17.3	10.2	26.8	33.9	3.9	-	-	7.9
	70歳以上	108	14.8	11.1	18.5	42.6	5.6	-	1.9	5.6
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
男性	男性合計	377	15.9	10.6	24.7	35.3	3.4	-	2.7	7.4
	10代・20代	5	-	-	40.0	40.0	-	-	20.0	-
	30代	33	21.2	9.1	24.2	39.4	3.0	-	3.0	-
	40代	62	19.4	12.9	25.8	38.7	3.2	-	-	-
	50代	57	12.3	5.3	21.1	47.4	5.3	-	1.8	7.0
	60代	78	15.4	11.5	28.2	30.8	2.6	-	2.6	9.0
	70歳以上	142	15.5	12.0	23.2	30.3	3.5	-	3.5	12.0
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
無回答	11	27.3	9.1	36.4	27.3	-	-	-	-	

**⑩ 子育て全般**

		全体	主に夫（男性）	妻（女性）が主で補助	夫婦（男女）が概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答
全体		930	0.1	0.9	15.3	38.4	20.8	0.2	16.0	8.4
女性	女性合計	542	-	0.7	13.8	40.8	21.6	0.4	16.6	6.1
	10代・20代	12	-	-	8.3	8.3	33.3	-	41.7	8.3
	30代	62	-	1.6	16.1	37.1	25.8	-	19.4	-
	40代	123	-	-	18.7	40.7	27.6	-	11.4	1.6
	50代	110	-	-	17.3	31.8	22.7	-	23.6	4.5
	60代	127	-	0.8	11.0	41.7	22.8	-	14.2	9.4
	70歳以上	108	-	1.9	7.4	54.6	8.3	1.9	13.9	12.0
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
男性	男性合計	377	0.3	1.1	16.7	34.7	20.2	-	15.1	11.9
	10代・20代	5	-	-	-	-	40.0	-	60.0	-
	30代	33	-	3.0	15.2	30.3	39.4	-	9.1	3.0
	40代	62	-	-	22.6	38.7	30.6	-	8.1	-
	50代	57	-	-	17.5	33.3	26.3	-	12.3	10.5
	60代	78	-	-	25.6	32.1	10.3	-	19.2	12.8
	70歳以上	142	0.7	2.1	9.9	37.3	13.4	-	16.9	19.7
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
無回答	11	-	-	36.4	45.5	-	-	18.2	-	

**⑪ 病気の時の子の看護**

		全体	主に夫（男性）	妻（女性）が主で補助	夫婦（男女）が概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答
全体		930	0.2	0.5	9.5	52.3	13.8	0.1	15.8	7.8
女性	女性合計	542	-	-	6.1	60.9	11.1	-	16.2	5.7
	10代・20代	12	-	-	-	41.7	8.3	-	41.7	8.3
	30代	62	-	-	8.1	50.0	22.6	-	19.4	-
	40代	123	-	-	9.8	62.6	15.4	-	10.6	1.6
	50代	110	-	-	4.5	60.9	8.2	-	22.7	3.6
	60代	127	-	-	4.7	62.2	8.7	-	15.0	9.4
	70歳以上	108	-	-	4.6	65.7	5.6	-	13.0	11.1
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
男性	男性合計	377	0.5	1.3	14.1	39.3	18.0	0.3	15.4	11.1
	10代・20代	5	-	-	20.0	20.0	-	-	60.0	-
	30代	33	-	3.0	18.2	36.4	30.3	3.0	9.1	-
	40代	62	-	1.6	8.1	59.7	24.2	-	6.5	-
	50代	57	-	1.8	12.3	40.4	24.6	-	10.5	10.5
	60代	78	-	1.3	15.4	37.2	12.8	-	20.5	12.8
	70歳以上	142	1.4	0.7	16.2	32.4	12.7	-	18.3	18.3
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
無回答	11	-	-	18.2	72.7	-	-	9.1	-	

**⑫ 子どものしつけ・教育方針の決定**

		全体	主に夫（男性）	妻（女性）が主で補助	夫婦（男女）が概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答
全体		930	0.2	3.8	35.5	21.4	13.9	-	16.8	8.5
女性	女性合計	542	0.2	2.8	31.4	25.8	16.2	-	17.3	6.3
	10代・20代	12	-	-	16.7	16.7	16.7	-	41.7	8.3
	30代	62	-	-	33.9	27.4	16.1	-	22.6	-
	40代	123	-	5.7	30.9	27.6	21.1	-	12.2	2.4
	50代	110	-	0.9	32.7	23.6	16.4	-	22.7	3.6
	60代	127	0.8	3.9	28.3	23.3	20.5	-	15.0	10.2
	70歳以上	108	-	1.9	34.3	31.5	5.6	-	14.8	12.0
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
男性	男性合計	377	0.3	5.3	40.8	14.9	10.9	-	15.9	11.9
	10代・20代	5	-	-	40.0	-	-	-	60.0	-
	30代	33	-	3.0	57.6	12.1	18.2	-	9.1	-
	40代	62	-	3.2	59.7	17.7	11.3	-	8.1	-
	50代	57	-	10.5	43.9	15.8	8.8	-	10.5	10.5
	60代	78	-	6.4	34.6	14.1	10.3	-	21.8	12.8
	70歳以上	142	0.7	4.2	31.0	14.8	10.6	-	18.3	20.4
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
無回答	11	-	-	54.5	27.3	-	-	18.2	-	

『預貯金など財産の管理』で“女性”の割合が最も高いのは男性 50 代（52.7%）であり、女性 30 代（51.6%）が続きます。

『子育て全般』で“女性”の割合が最も高いのは男性 40 代（69.3%）であり、女性 40 代（68.3%）が続きます。

『病気の時の子の看護』で“女性”の割合が最も高いのは男性 40 代（83.9%）であり、女性 40 代（78.0%）が続きます。

『子どものしつけ・教育方針の決定』で「夫婦（男女）で概ね半々」の割合が最も高いのは男性 40 代（59.7%）であり、男性 50 代（43.9%）が続きます。“女性”の割合が最も高いのは女性 40 代（48.7%）であり、女性 30 代（43.5%）が続きます。

⑬地域（学校を含む）行事への参加

⑭高齢者・障がいのある家族・親族等の介護

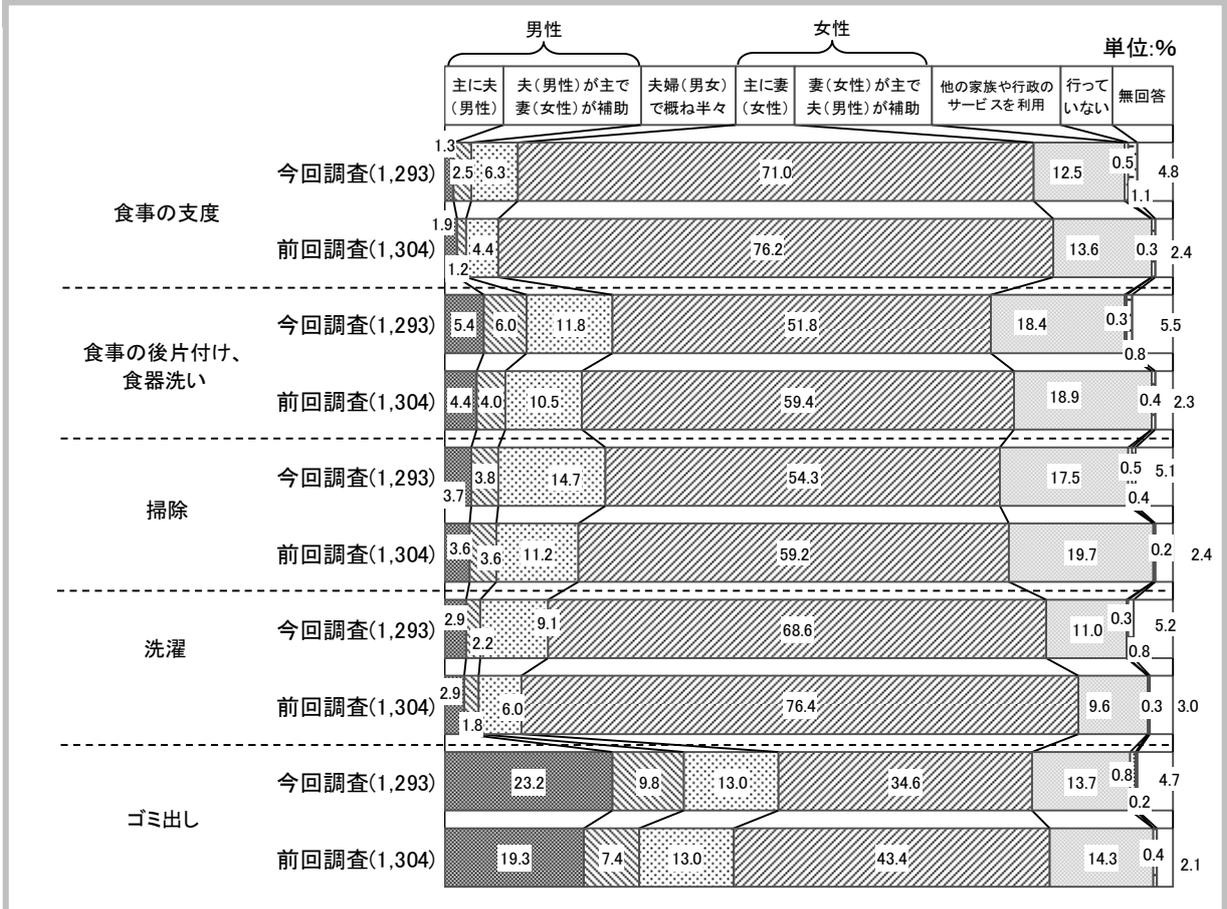
		全体	主に夫（男性）	妻（男性）が主で補助	夫婦（男女）が概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答
全体		930	3.0	3.9	15.5	42.6	12.4	0.2	14.7	7.7
性・年代別	女性合計	542	2.4	2.6	12.2	50.2	12.2	0.2	14.6	5.7
	10代・20代	12	-	-	-	16.7	25.0	-	50.0	8.3
	30代	62	1.6	-	12.9	45.2	12.9	-	25.8	1.6
	40代	123	0.8	3.3	13.8	57.7	12.2	0.8	9.8	1.6
	50代	110	-	3.6	15.5	41.8	17.3	-	17.3	4.5
	60代	127	2.4	3.1	11.0	53.5	11.0	-	11.0	7.9
	70歳以上	108	7.4	1.9	9.3	52.8	6.5	-	11.1	11.1
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	男性合計	377	3.7	5.6	19.9	31.3	13.0	0.3	15.4	10.9
	10代・20代	5	-	-	-	-	40.0	-	60.0	-
30代	33	-	-	24.2	30.3	15.2	-	27.3	3.0	
40代	62	1.6	1.6	24.2	45.2	22.6	-	4.8	-	
50代	57	5.3	3.5	28.1	33.3	14.0	-	5.3	10.5	
60代	78	3.8	7.7	21.8	26.9	9.0	-	19.2	11.5	
70歳以上	142	4.9	8.5	13.4	28.2	9.2	0.7	17.6	17.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	9.1	9.1	27.3	54.5	-	-	-	-	

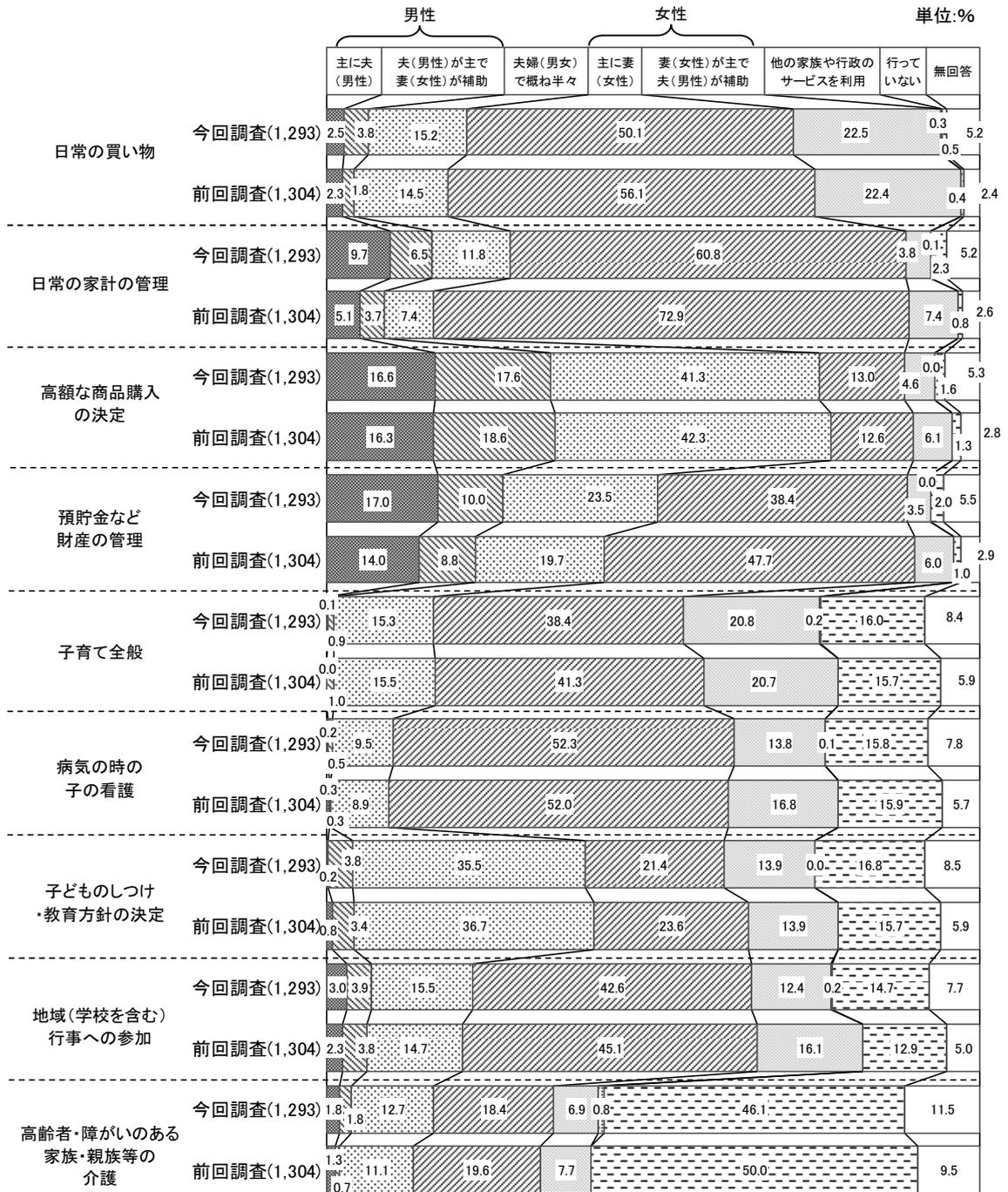
		全体	主に夫（男性）	妻（女性）が主で補助	夫婦（男女）が概ね半々	主に妻（女性）	妻（女性）が主で補助	他の家族や行政のサービスを利用	行っていない	無回答
全体		930	1.8	1.8	12.7	18.4	6.9	0.8	46.1	11.5
性・年代別	女性合計	542	1.1	1.3	12.0	22.1	7.0	1.1	47.2	8.1
	10代・20代	12	-	-	8.3	-	-	-	83.3	8.3
	30代	62	-	-	6.5	6.5	-	-	82.3	4.8
	40代	123	0.8	1.6	9.8	15.4	6.5	1.6	61.8	2.4
	50代	110	1.8	-	19.1	26.4	7.3	-	40.9	4.5
	60代	127	1.6	2.4	14.2	30.7	11.8	1.6	26.0	11.8
	70歳以上	108	0.9	1.9	8.3	26.9	6.5	1.9	38.0	15.7
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	男性合計	377	2.9	2.7	14.1	13.0	6.6	0.3	44.3	16.2
	10代・20代	5	-	-	-	-	20.0	-	80.0	-
30代	33	-	-	18.2	3.0	-	-	75.8	3.0	
40代	62	1.6	-	9.7	16.1	4.8	-	67.7	-	
50代	57	1.8	1.8	17.5	10.5	14.0	-	35.1	19.3	
60代	78	1.3	6.4	16.7	12.8	6.4	-	37.2	19.2	
70歳以上	142	5.6	2.8	12.7	15.5	5.6	0.7	33.1	23.9	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
無回答	11	-	-	-	18.2	9.1	-	54.5	18.2	

『地域（学校を含む）行事への参加』で“女性”の割合が最も高いのは女性40代（69.9%）であり、男性40代（67.8%）が続きます。

『高齢者・障がいのある家族・親族等の介護』で“女性”の割合が最も高いのは女性60代（42.5%）であり、女性50代（33.7%）が続きます。

▼ 前回調査との比較





※「他の家族や行政のサービスを利用」「行ってない」は前回調査では「該当事項なし」。

### ●前回調査との比較

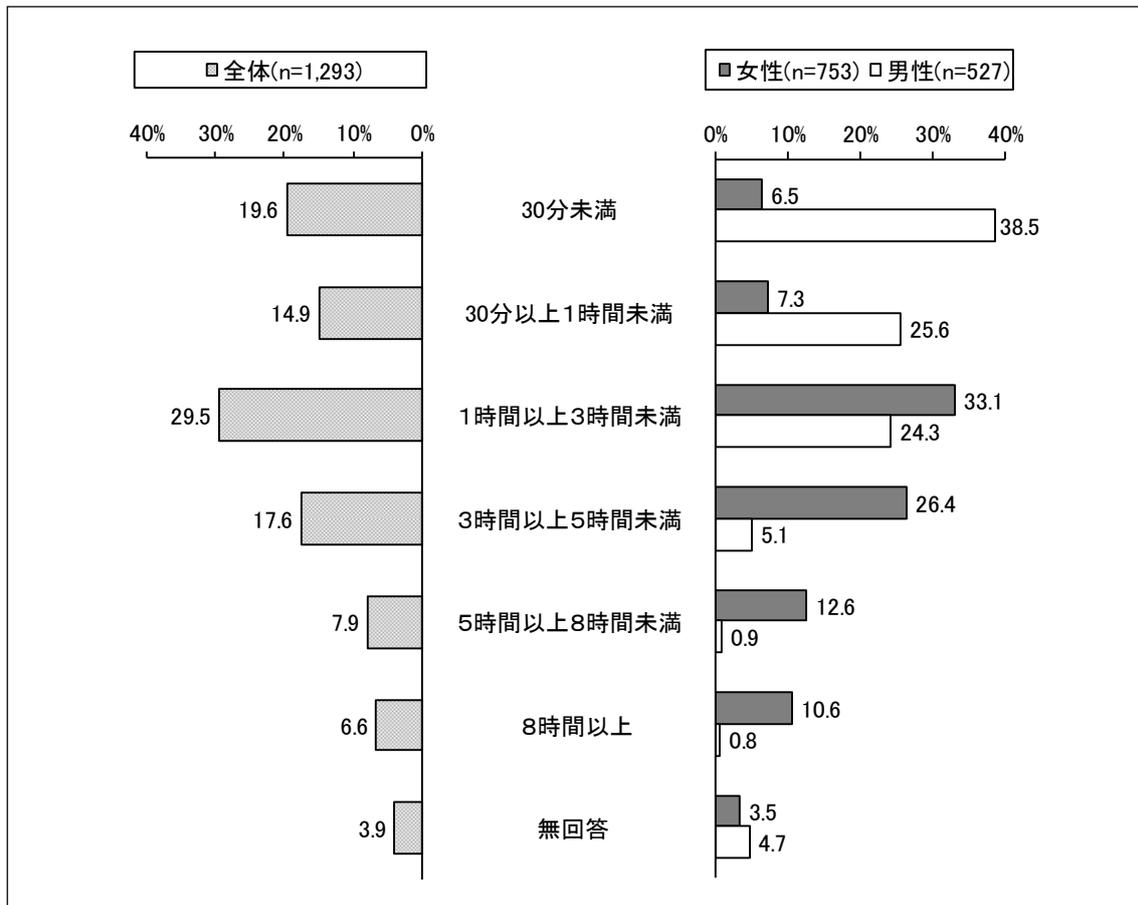
多くの項目について、前回調査から今回調査にかけて「主に妻（女性）」の割合が減少しており、『日常の家計の管理』ではその差が12ポイントとなっています。

### 問 13 家事・育児に費やす時間

あなたが家事・育児に携わる1日あたりの平均的な時間はどのくらいですか。

(〇は1つつつ)

#### (1) 平日



#### ○全体の傾向

平日に家事・育児に携わる平均的な時間としては、「1時間以上3時間未満」が29.5%で最も高く、次いで「30分未満」(19.6%)、「3時間以上5時間未満」(17.6%)、「30分以上1時間未満」(14.9%)となっています。“3時間未満”(「30分未満」「30分以上1時間未満」「1時間以上3時間未満」の合計)は64.0%です。

#### ○男女別の傾向

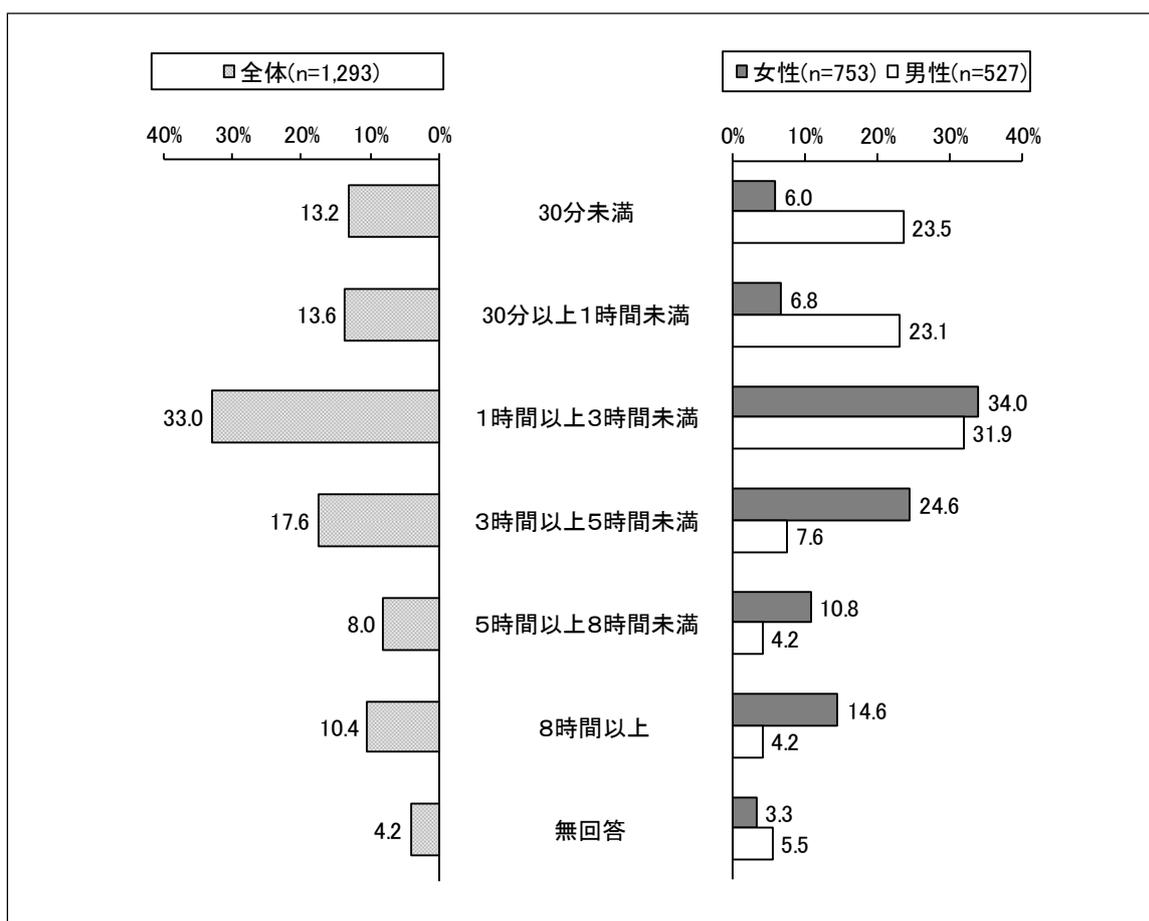
女性の“3時間以上”(「3時間以上5時間未満」「5時間以上8時間未満」「8時間以上」の合計)は49.6%であり、男性(6.8%)を42ポイント上回っています。一方、男性の“1時間未満”(「30分未満」「30分以上1時間未満」の合計)は64.1%であり、女性(13.8%)を50ポイント上回っています。

		全体	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上5時間未満	5時間以上8時間未満	8時間以上	無回答		
全体		1,293 100.0	254 19.6	193 14.9	381 29.5	227 17.6	102 7.9	85 6.6	51 3.9		
性・年代別	女性	女性合計	753 100.0	49 6.5	55 7.3	249 33.1	199 26.4	95 12.6	80 10.6	26 3.5	
		10代・20代	57 100.0	27 47.4	11 19.3	7 12.3	4 7.0	1 1.8	5 8.8	2 3.5	
		30代	79 100.0	5 6.3	3 3.8	17 21.5	11 13.9	17 21.5	25 31.6	1 1.3	
		40代	147 100.0	7 4.8	8 5.4	48 32.7	35 23.8	20 13.6	27 18.4	2 1.4	
		50代	129 100.0	1 0.8	13 10.1	60 46.5	33 25.6	13 10.1	8 6.2	1 0.8	
		60代	148 100.0	1 0.7	11 7.4	54 36.5	54 36.5	20 13.5	4 2.7	4 2.7	
		70歳以上	192 100.0	8 4.2	9 4.7	63 32.8	61 31.8	24 12.5	11 5.7	16 8.3	
		無回答	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	
		男性	男性合計	527 100.0	203 38.5	135 25.6	128 24.3	27 5.1	5 0.9	4 0.8	25 4.7
		10代・20代	48 100.0	29 60.4	10 20.8	6 12.5	-	-	-	3 6.3	
		30代	53 100.0	20 37.7	16 30.2	12 22.6	5 9.4	-	-	-	
		40代	84 100.0	37 44.0	22 26.2	18 21.4	4 4.8	-	2 2.4	1 1.2	
		50代	79 100.0	38 48.1	13 16.5	24 30.4	2 2.5	-	-	2 2.5	
		60代	97 100.0	29 29.9	31 32.0	23 23.7	3 3.1	3 3.1	-	8 8.2	
		70歳以上	166 100.0	50 30.1	43 25.9	45 27.1	13 7.8	2 1.2	2 1.2	11 6.6	
	無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *		
	無回答	13 100.0	2 15.4	3 23.1	4 30.8	1 7.7	2 15.4	1 7.7	-		

### ○男女・年代別の傾向

「1時間以上3時間未満」は女性50代（46.5%）で最も割合が高く、女性60代（36.5%）、女性70歳以上（32.8%）が続きます。「30分未満」は男性10代・20代（60.4%）で最も割合が高く、男性50代（48.1%）、女性10代・20代（47.4%）が続きます。また、「3時間以上5時間未満」では女性60代（36.5%）が最も割合が高く、女性70歳以上（31.8%）、女性50代（25.6%）が続きます。

## (2) 休日



### ○全体の傾向

休日に家事・育児に携わる平均的な時間としては、「1時間以上3時間未満」が33.0%で最も高く、「3時間以上5時間未満」(17.6%)、「30分以上1時間未満」(13.6%)が続きます。“3時間未満”は59.8%です。

### ○男女別の傾向

女性の“3時間以上”は50.0%であり、男性(16.0%)を34ポイント上回っています。一方、男性の“1時間未満”は46.6%であり、女性(12.8%)を33ポイント上回っています。

	全体	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上5時間未満	5時間以上8時間未満	8時間以上	無回答		
全体	1,293 100.0	171 13.2	176 13.6	427 33.0	227 17.6	104 8.0	134 10.4	54 4.2		
性・年代別	女性	女性合計	753 100.0	45 6.0	51 6.8	256 34.0	185 24.6	81 10.8	110 14.6	25 3.3
		10代・20代	57 100.0	20 35.1	12 21.1	15 26.3	2 3.5	-	6 10.5	2 3.5
		30代	79 100.0	6 7.6	3 3.8	15 19.0	5 6.3	11 13.9	38 48.1	1 1.3
		40代	147 100.0	5 3.4	8 5.4	45 30.6	29 19.7	23 15.6	36 24.5	1 0.7
		50代	129 100.0	2 1.6	6 4.7	60 46.5	37 28.7	13 10.1	10 7.8	1 0.8
		60代	148 100.0	3 2.0	10 6.8	55 37.2	55 37.2	17 11.5	5 3.4	3 2.0
		70歳以上	192 100.0	9 4.7	12 6.3	66 34.4	56 29.2	17 8.9	15 7.8	17 8.9
		無回答	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-
		男性	男性合計	527 100.0	124 23.5	122 23.1	168 31.9	40 7.6	22 4.2	22 4.2
	10代・20代		48 100.0	26 54.2	6 12.5	11 22.9	1 2.1	-	1 2.1	3 6.3
	30代		53 100.0	10 18.9	12 22.6	9 17.0	8 15.1	7 13.2	7 13.2	-
	40代		84 100.0	12 14.3	15 17.9	32 38.1	8 9.5	7 8.3	8 9.5	2 2.4
	50代		79 100.0	18 22.8	15 19.0	29 36.7	8 10.1	5 6.3	1 1.3	3 3.8
	60代		97 100.0	13 13.4	31 32.0	38 39.2	4 4.1	1 1.0	2 2.1	8 8.2
	70歳以上		166 100.0	45 27.1	43 25.9	49 29.5	11 6.6	2 1.2	3 1.8	13 7.8
無回答	- *		- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
無回答	13 100.0	2 15.4	3 23.1	3 23.1	2 15.4	1 7.7	2 15.4	-		

### ○男女・年代別の傾向

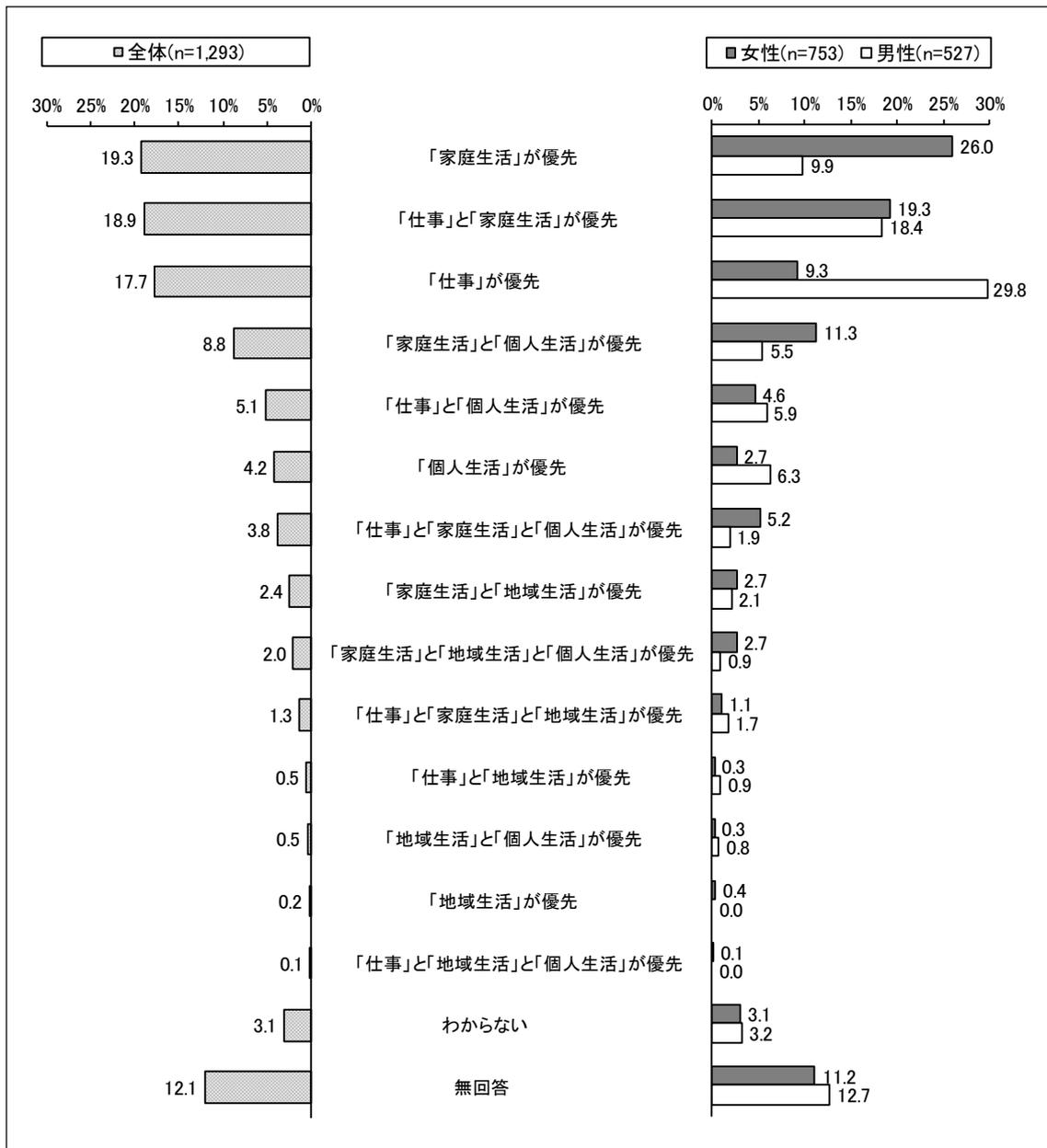
「1時間以上3時間未満」は女性50代（46.5%）で最も割合が高く、男性60代（39.2%）、男性40代（38.1%）が続きます。「3時間以上5時間未満」は女性60代（37.2%）で最も割合が高く、女性70歳以上（29.2%）、女性50代（28.7%）が続きます。

## 問 14 生活における「仕事」「家庭生活」「地域生活」「個人生活」の優先度

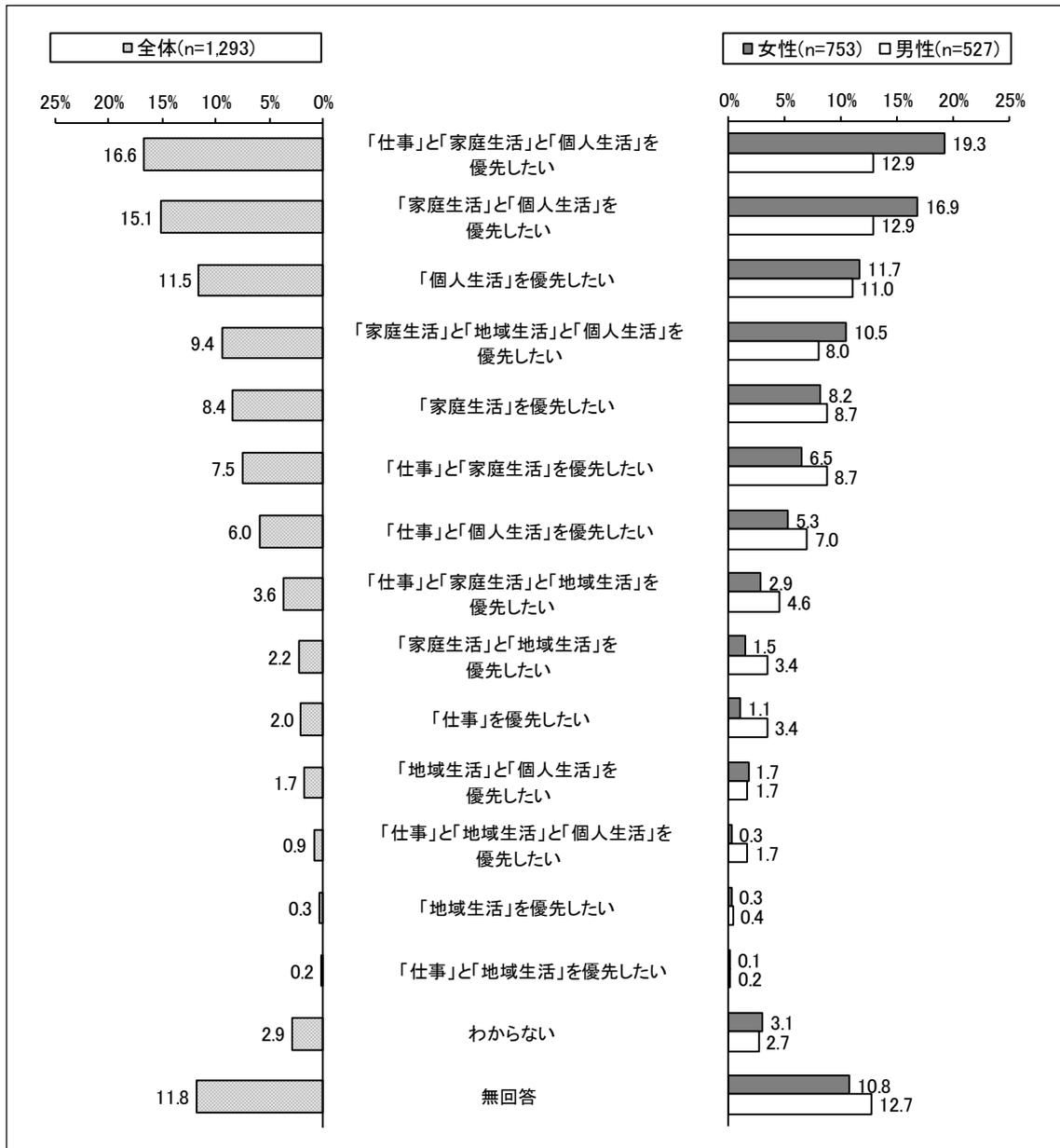
あなたの生活での「仕事」、「家庭生活」、「地域生活」、「個人生活」の優先度について、①あなたの現実（現状）と②あなたの希望に最も近い項目を選んで番号を記入してください。現在仕事を行っていない方は、今後のお考えをお答えください。

（番号は、①現実、②希望ともそれぞれ1つだけ）

### 現実



## 希望



### ○全体の傾向

生活での「仕事」「家庭生活」「地域生活」「個人生活」の優先度について、『現実』は、「家庭生活」が優先（19.3%）、「仕事」と「家庭生活」が優先（18.9%）がともに高く、「仕事」が優先（17.7%）、「家庭生活」と「個人生活」が優先（8.8%）が続きます。

『希望』としては、「仕事」と「家庭生活」と「個人生活」を優先したいが16.6%で最も高く、「家庭生活」と「個人生活」を優先したい（15.1%）、「個人生活」を優先したい（11.5%）、「家庭生活」と「地域生活」と「個人生活」を優先したい（9.4%）が続きます。

### ○男女別の傾向

『現実』では、女性の26.0%が「家庭生活」が優先」と回答しており、男性を16ポイント上回っています。一方、男性の29.8%は「仕事」が優先」と回答しており、女性を20ポイント上回っています。

『希望』では、男女とも「仕事」と「家庭生活」と「個人生活」を優先したい」が最も高くなっており、女性（19.3%）が男性（12.9%）を6ポイント上回っています。

### 現実

性・年代別	全体	優先順位										わからない	無回答					
		「仕事」が優先	「家庭生活」が優先	「地域生活」が優先	「個人生活」が優先	「仕事」と「家庭生活」が優先	「仕事」と「地域生活」が優先	「仕事」と「個人生活」が優先	「家庭生活」と「地域生活」が優先	「家庭生活」と「個人生活」が優先	「地域生活」と「個人生活」が優先							
全体	1,293 100.0	229 17.7	249 19.3	3 0.2	54 4.2	245 18.9	7 0.5	66 5.1	31 2.4	114 8.8	6 0.5	17 1.3	49 3.8	1 0.1	26 2.0	40 3.1	156 12.1	
女性	女性合計	753 100.0	70 9.3	196 26.0	3 0.4	20 2.7	145 19.3	2 0.3	35 4.6	20 2.7	85 11.3	2 0.3	8 1.1	39 5.2	1 0.1	20 2.7	23 3.1	84 11.2
	10代・20代	57 100.0	14 24.6	4 7.0	-	6 10.5	9 15.8	-	9 15.8	1 1.8	4 7.0	-	-	3 5.3	-	7 12.3	4 7.0	3 5.3
	30代	79 100.0	11 13.9	25 31.6	1 1.3	-	24 30.4	-	6 7.6	1 1.3	6 7.6	-	2 2.5	1 1.3	-	-	-	2 2.5
	40代	147 100.0	15 10.2	48 32.7	-	-	36 24.5	1 0.7	8 5.4	5 3.4	10 6.8	-	3 2.0	9 6.1	-	2 1.4	2 1.4	8 5.4
	50代	129 100.0	17 13.2	28 21.7	-	1 0.8	44 34.1	-	3 2.3	2 1.6	10 7.8	-	12 9.3	1 0.8	3 2.3	3 2.3	5 3.9	5 3.9
	60代	148 100.0	9 6.1	42 28.4	1 0.7	6 4.1	17 11.5	1 0.7	3 2.0	6 4.1	30 20.3	1 0.7	2 1.4	7 4.7	-	7 4.7	4 2.7	12 8.1
	70歳以上	192 100.0	4 2.1	49 25.5	1 0.5	7 3.6	15 7.8	-	6 3.1	5 2.6	25 13.0	1 0.5	1 0.5	7 3.6	-	8 4.2	9 4.7	54 28.1
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
男性	男性合計	527 100.0	187 29.8	82 9.9	-	33 6.3	97 18.4	5 0.9	31 5.9	11 2.1	29 5.5	4 0.8	9 1.7	10 1.9	-	5 0.9	17 3.2	67 12.7
	10代・20代	48 100.0	18 37.5	-	-	9 18.8	4 8.3	-	3 6.2	2 4.2	-	-	-	-	-	-	6 12.5	3 6.3
	30代	53 100.0	25 47.2	2 3.8	-	2 3.8	16 30.2	-	3 5.7	-	-	-	-	1 1.9	-	-	-	4 7.5
	40代	84 100.0	40 47.6	3 3.6	-	4 4.8	20 23.8	1 1.2	4 4.8	1 1.2	1 1.2	-	3 2.4	2 2.4	-	-	-	7 8.3
	50代	79 100.0	33 41.8	7 8.9	-	17 21.5	3 3.8	-	7 8.9	-	1 1.3	-	2 2.5	-	-	-	3 3.8	5 6.3
	60代	97 100.0	21 21.6	14 14.4	-	3 3.1	26 26.8	1 1.0	5 5.2	2 2.1	7 7.2	3 3.1	3 2.1	2 2.1	-	1 1.0	1 1.0	8 8.2
	70歳以上	166 100.0	20 12.0	26 15.7	-	15 9.0	14 8.4	-	6 3.6	8 4.8	18 10.8	1 0.6	3 1.8	3 1.8	-	4 2.4	7 4.2	41 24.7
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	13 100.0	2 15.4	1 7.7	-	1 7.7	3 23.1	-	1 7.7	3 23.1	-	-	-	-	-	1 7.7	-	5 38.5	

### 希望

性・年代別	全体	優先順位										わからない	無回答					
		「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域生活」を優先したい	「個人生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」を優先したい	「仕事」と「地域生活」を優先したい	「仕事」と「個人生活」を優先したい	「家庭生活」と「地域生活」を優先したい	「家庭生活」と「個人生活」を優先したい	「地域生活」と「個人生活」を優先したい							
全体	1,293 100.0	26 2.0	108 8.4	4 0.3	149 11.5	97 7.5	2 0.2	77 6.0	29 2.2	195 15.1	22 1.7	47 3.6	215 16.6	11 0.9	122 9.4	37 2.9	152 11.8	
女性	女性合計	753 100.0	8 1.1	62 8.2	2 0.3	88 11.7	49 6.5	1 0.1	40 5.3	11 1.5	127 16.9	13 1.7	22 2.9	145 19.3	2 0.3	79 10.5	23 3.1	81 10.8
	10代・20代	57 100.0	1 1.8	3 5.3	-	10 17.5	10 17.5	-	8 14.0	1 1.8	6 10.5	1 1.8	1 1.8	13 22.8	-	1 1.8	1 1.8	1 1.8
	30代	79 100.0	1 1.3	13 16.5	-	4 5.1	11 13.9	-	3 3.8	-	11 13.9	-	2 2.5	26 32.9	-	5 6.3	1 1.3	2 2.5
	40代	147 100.0	4 2.7	14 9.5	1 0.7	13 8.8	12 8.2	1 0.7	8 5.4	-	29 19.7	-	8 5.4	43 29.3	-	5 3.4	2 1.4	7 4.8
	50代	129 100.0	-	11 8.5	-	22 17.1	5 3.9	-	7 5.4	-	26 20.2	-	3 2.3	37 28.7	-	12 9.3	-	6 4.7
	60代	148 100.0	1 0.7	10 6.8	1 0.7	10 11.5	3 2.0	-	8 5.4	1 0.7	36 24.3	3 2.0	3 2.7	17 11.5	1 0.7	28 18.9	8 5.4	10 6.8
	70歳以上	192 100.0	1 0.5	11 5.7	-	22 11.5	8 4.2	-	8 3.1	9 4.7	19 9.9	9 4.7	4 2.1	9 4.7	1 0.5	28 14.6	10 5.2	55 28.6
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
男性	男性合計	527 100.0	18 3.4	46 8.7	2 0.4	58 11.0	46 8.7	1 0.2	37 7.0	18 3.4	68 12.9	9 1.7	24 4.6	68 12.9	9 1.7	42 8.0	14 2.7	67 12.7
	10代・20代	48 100.0	5 10.4	3 6.3	-	8 16.7	5 10.4	-	6 12.5	-	8 16.7	-	1 2.1	8 16.7	-	-	1 2.1	2 4.2
	30代	53 100.0	3 5.7	6 11.3	-	4 7.5	8 15.1	-	7 13.2	2 3.8	4 7.5	-	1 1.9	11 20.8	-	2 3.8	-	5 9.4
	40代	84 100.0	3 3.6	10 11.9	-	9 10.7	5 6.0	-	5 6.0	5 6.0	18 21.4	-	3 3.6	16 19.0	1 1.2	3 3.6	1 1.2	5 6.0
	50代	79 100.0	1 1.3	9 11.4	-	9 11.4	12 15.2	1 1.3	3 3.8	1 1.3	9 11.4	1 1.3	5 6.3	15 19.0	1 1.3	5 6.3	2 2.5	5 6.3
	60代	97 100.0	3 3.1	9 9.3	-	14 14.4	10 10.3	-	6 6.2	3 3.1	8 8.2	1 1.0	9 9.3	9 9.3	4 4.1	4 4.1	2 2.1	10 10.3
	70歳以上	166 100.0	3 1.8	9 5.4	2 1.2	14 8.4	6 3.6	-	10 6.0	7 4.2	21 12.7	6 3.6	5 3.0	9 5.4	3 1.8	23 13.9	8 4.8	40 24.1
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	13 100.0	-	-	-	3 23.1	2 15.4	-	2 15.4	-	-	-	-	-	-	1 7.7	-	4 30.8	

○男女・年代別の傾向

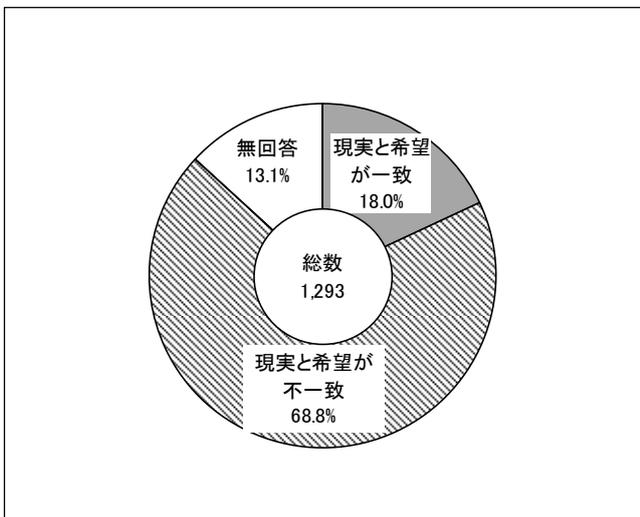
『現実』で「家庭生活」が優先」の割合が最も高いのは女性 40 代（32.7%）であり、「仕事」と「家庭生活」が優先」の割合が最も高いのは女性 50 代（34.1%）であり、「仕事」が優先」の割合が最も高いのは男性 40 代（47.6%）となっています。

『希望』で「仕事」と「家庭生活」と「個人生活」を優先したい」の割合が最も高いのは女性 30 代（32.9%）であり、「家庭生活」と「個人生活」を優先したい」の割合が最も高いのは女性 60 代（24.3%）となっています。

～現実と希望の一致状況～

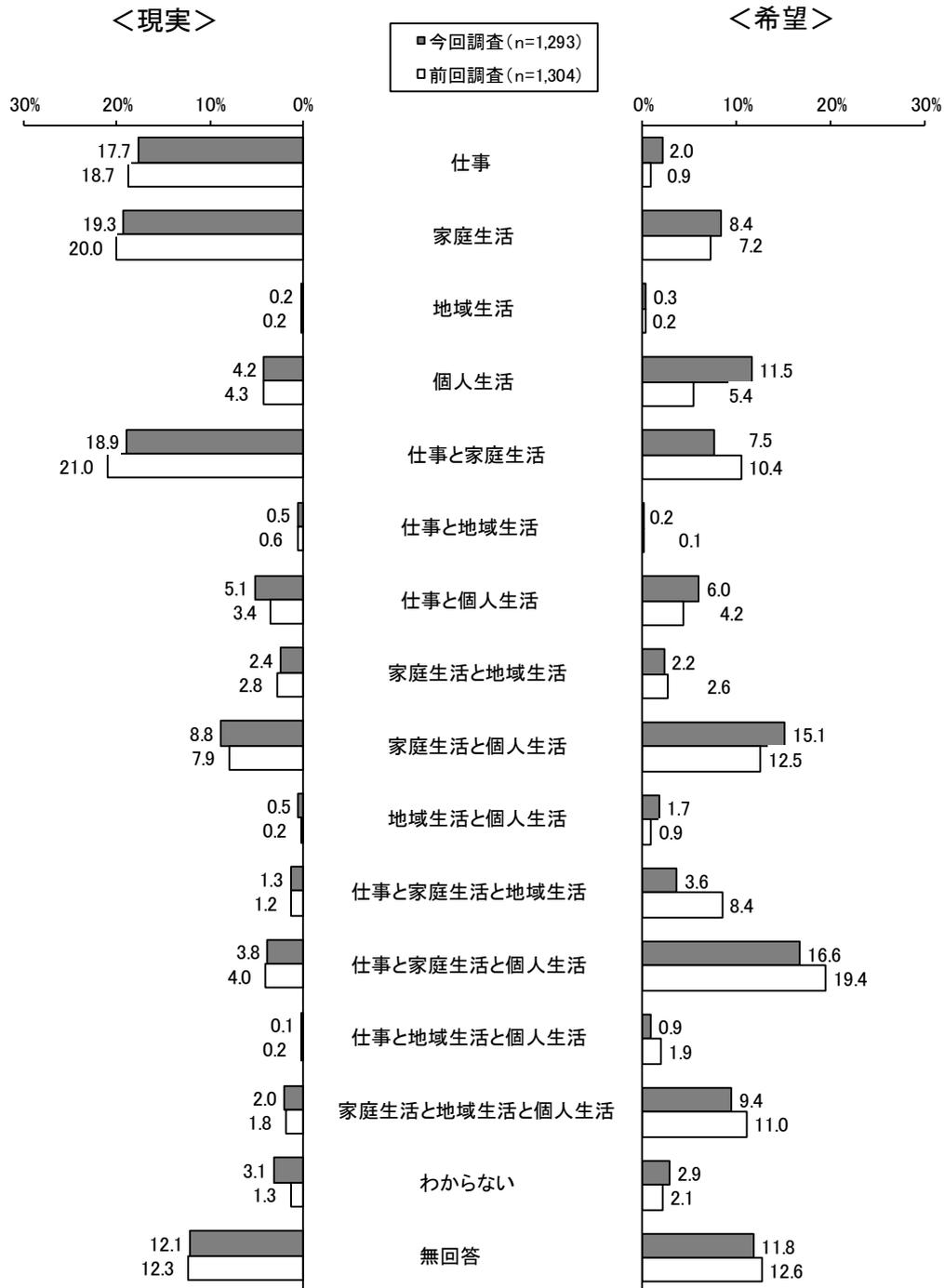
『現実』の回答状況と『希望』の回答状況を分析すると、次のとおりとなります。

	全体	希望														わからない	無回答
		仕事	家庭生活	地域生活	個人生活	仕事と家庭生活	仕事と地域生活	仕事と個人生活	家庭生活と地域生活	家庭生活と個人生活	地域生活と個人生活	仕事と家庭生活と地域生活	仕事と家庭生活と個人生活	仕事と地域生活と個人生活	家庭生活と地域生活と個人生活		
全体	1,293	26	108	4	149	97	2	77	29	195	22	47	215	11	122	37	152
	100.0	2.0	8.4	0.3	11.5	7.5	0.2	6.0	2.2	15.1	1.7	3.6	16.6	0.9	9.4	2.9	11.8
仕事	229	10	30	-	41	36	-	23	6	30	2	7	34	2	6	1	1
	100.0	4.4	13.1	-	17.9	15.7	-	10.0	2.6	13.1	0.9	3.1	14.8	0.9	2.6	0.4	0.4
家庭生活	249	3	49	2	37	23	-	6	11	44	6	4	35	1	23	3	2
	100.0	1.2	19.7	0.8	14.9	9.2	-	2.4	4.4	17.7	2.4	1.6	14.1	0.4	9.2	1.2	0.8
地域生活	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
個人生活	54	5	1	-	13	1	-	7	2	9	5	1	5	-	3	2	-
	100.0	9.3	1.9	-	24.1	1.9	-	13.0	3.7	16.7	9.3	1.9	9.3	-	5.6	3.7	-
仕事と家庭生活	245	4	20	2	21	26	-	15	3	45	-	16	73	-	14	2	4
	100.0	1.6	8.2	0.8	8.6	10.6	-	6.1	1.2	18.4	-	6.5	29.8	-	5.7	0.8	1.6
仕事と地域生活	7	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	2	1	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-	28.6	14.3	14.3	-	-
仕事と個人生活	66	-	-	-	8	3	-	15	-	4	-	3	19	5	6	1	2
	100.0	-	-	-	12.1	4.5	-	22.7	-	6.1	-	4.5	28.8	7.6	9.1	1.5	3.0
家庭生活と地域生活	31	2	1	-	1	2	-	2	3	3	3	1	1	-	14	1	-
	100.0	6.5	3.2	-	3.2	6.5	-	6.5	9.7	9.7	3.2	3.2	3.2	-	45.2	3.2	-
家庭生活と個人生活	114	1	1	-	8	-	-	4	2	45	1	2	12	1	29	4	3
	100.0	0.9	0.9	-	7.0	-	-	0.9	3.5	1.8	39.5	0.9	1.8	10.5	0.9	25.4	3.5
地域生活と個人生活	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	16.7	-	16.7	-	-	-
仕事と家庭生活と地域生活	17	-	-	-	2	1	-	-	2	-	5	1	1	-	5	-	-
	100.0	-	-	-	11.8	5.9	-	-	11.8	-	29.4	5.9	5.9	-	29.4	-	-
仕事と家庭生活と個人生活	49	1	2	-	6	1	-	3	-	4	-	1	28	-	3	-	-
	100.0	2.0	4.1	-	12.2	2.0	-	6.1	-	8.2	-	2.0	57.1	-	6.1	-	-
仕事と地域生活と個人生活	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
家庭生活と地域生活と個人生活	26	-	-	-	1	-	-	1	-	3	1	3	2	-	14	-	1
	100.0	-	-	-	3.8	-	-	3.8	-	11.5	3.8	11.5	7.7	-	53.8	-	3.8
わからない	40	-	2	-	6	1	-	2	1	2	-	-	3	-	1	21	1
	100.0	-	5.0	-	15.0	2.5	-	5.0	2.5	5.0	-	-	7.5	-	2.5	52.5	2.5
無回答	156	-	1	-	3	3	-	1	1	3	-	1	1	-	2	2	138
	100.0	-	0.6	-	1.9	1.9	-	0.6	0.6	1.9	-	0.6	0.6	-	1.3	1.3	88.5



表の網掛け部分（『現実』で「仕事が優先」、『希望』で「仕事を優先したい」など同じ項目を選択）を「現実と希望が一致している」、それ以外の部分を「現実と希望が一致していない」と整理します。現実と希望が一致しているのは全体の18.0%にとどまっており、全体の68.8%は現実と希望が一致していません。

▼ 前回調査との比較



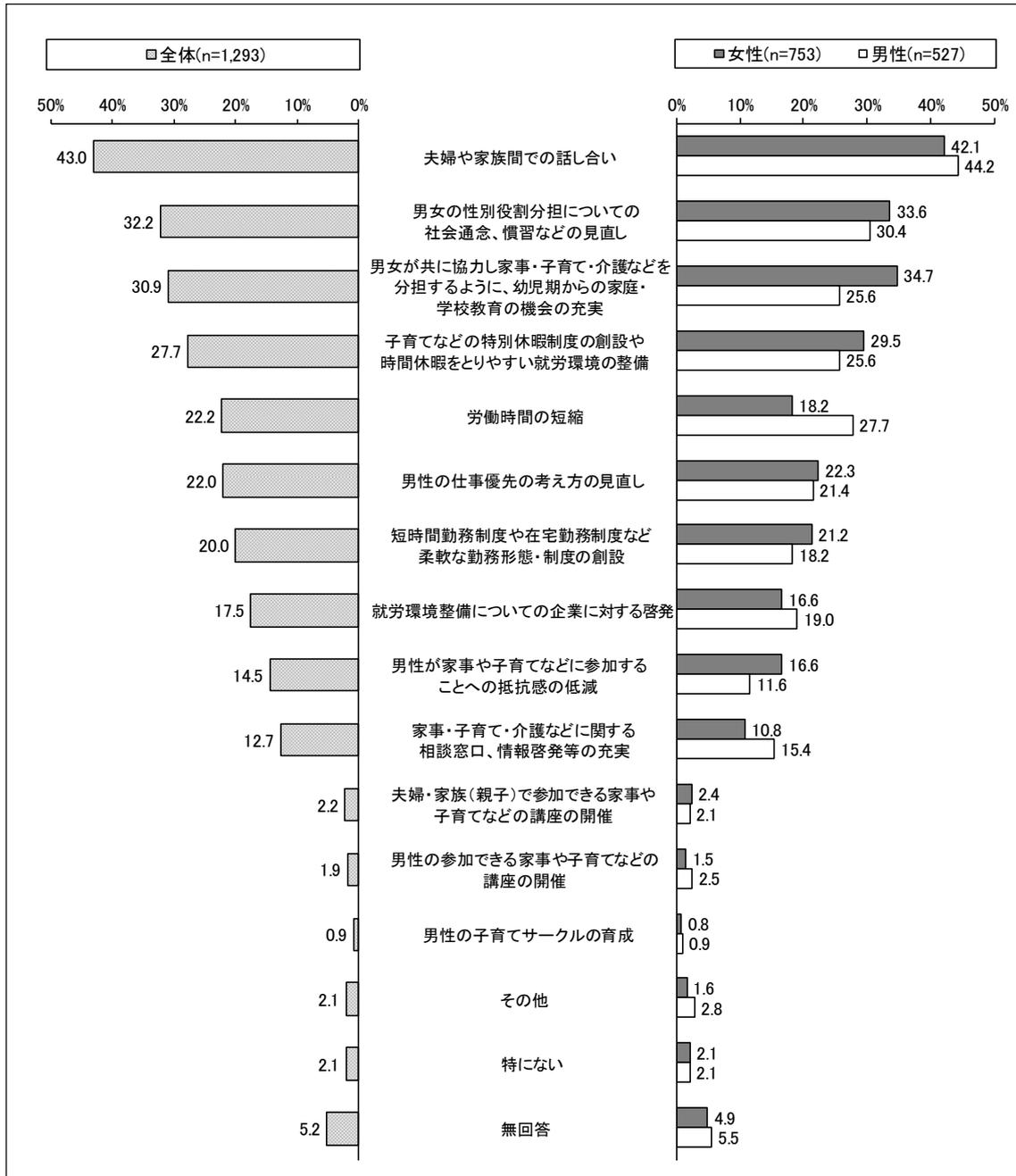
● 前回調査との比較

『現実』について、前回調査から今回調査にかけて数値に大きな変動はありません。

『希望』については、「個人生活」が前回調査から今回調査にかけて6ポイント増加しています。

## 問 15 男女がともに家事・子育て・介護などに参加するために必要なこと

あなたは、男女がともに家事・子育て・介護などに参加するためにはどのようなことが特に必要だと思いますか。(〇は3つまで)



### ○全体の傾向

「夫婦や家族間での話し合い」が43.0%で最も高く、次いで「男女の性別役割分担についての社会通念、慣習などの見直し」(32.2%)、「男女が共に協力し家事・子育て・介護などを分担するように、幼児期からの家庭・学校教育の機会の充実」(30.9%)、「子育てなどの特別休暇制度の創設や時間休暇をとりやすい就労環境の整備」(27.7%)となっています。

## ○男女別の傾向

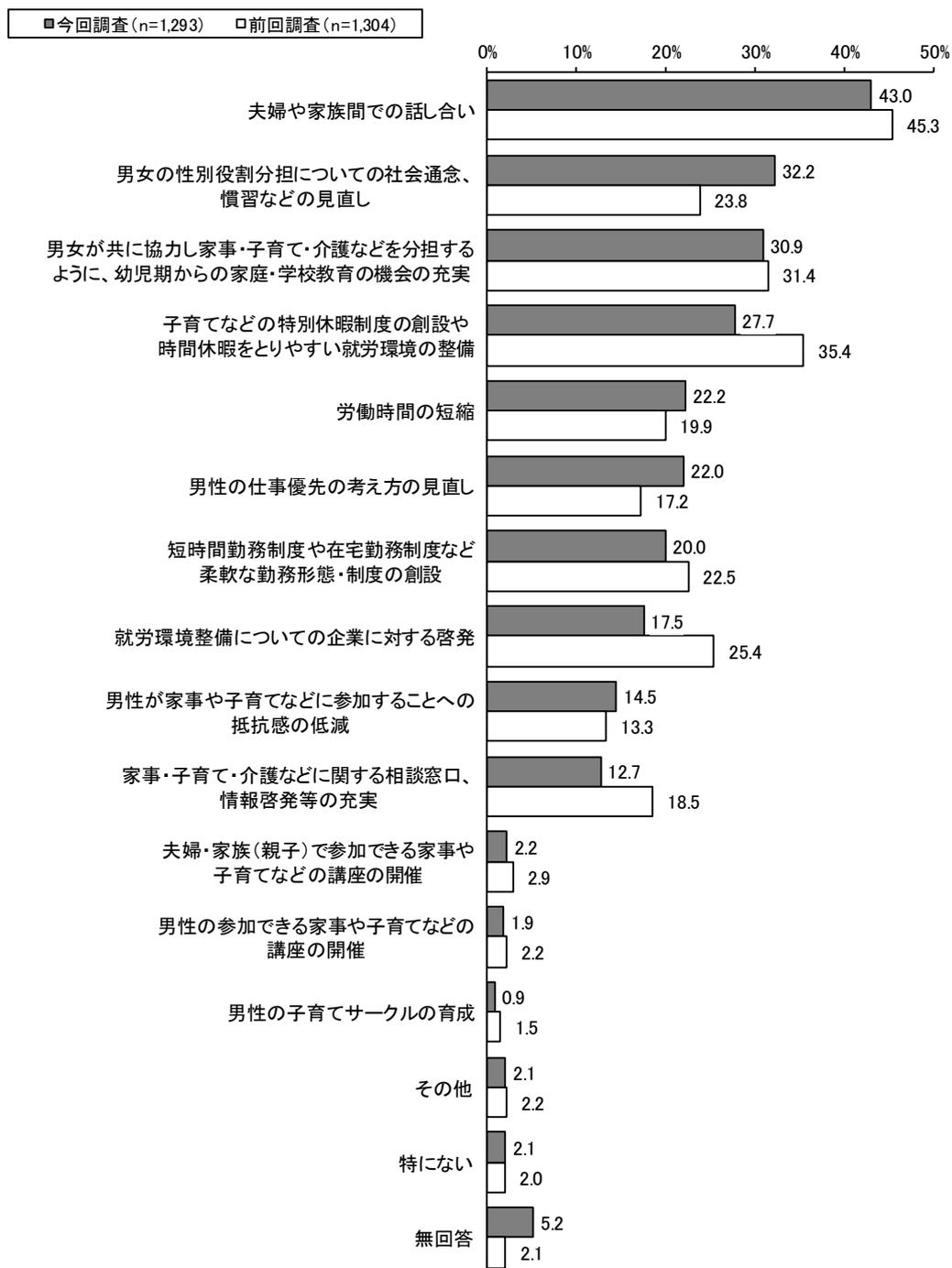
男女ともに「夫婦や家族間での話し合い」が最も高くなっています。女性の「男女が共に協力し家事・子育て・介護などを分担するように、幼児期からの家庭・学校教育の機会の充実」は34.7%であり、男性を9ポイント上回っています。一方、男性の「労働時間の短縮」は27.7%であり、女性を9ポイント上回っています。

	全体	家事・子育て・介護などの充実 窓口、情報啓発等の充実	男女の性別役割分担についての社会通念、慣習などの見直し	夫婦や家族間での話し合い	男女が共に協力し家事・子育て・介護などを分担するように、幼児期からの家庭・学校教育の機会の充実	男性の仕事優先の考え方の見直し	労働時間の短縮	子育てなどの特別休暇制度の創設や時間休暇をとりやすい就業環境の整備	短時間勤務制度や在宅勤務制度など柔軟な勤務形態・制度の創設	男性が家事や子育てなどに参加することへの抵抗感の低減	男性の参加できる家事や子育てなどの講座の開催	夫婦・家族（親子）で参加できる家事や子育てなどの講座の開催	男性の子育てサークルの育成	就業環境整備についての企業に対する啓発	その他	特になし	無回答	
全体	1,293 100.0	164 12.7	416 32.2	556 43.0	399 30.9	284 22.0	287 22.2	358 27.7	258 20.0	187 14.5	24 1.9	29 2.2	11 0.9	226 17.5	27 2.1	27 2.1	67 5.2	
女性	女性合計	753 100.0	81 10.8	253 33.6	317 42.1	261 34.7	168 22.3	222 29.5	160 21.2	125 16.6	11 1.5	18 2.4	6 0.8	125 16.6	12 1.6	16 2.1	37 4.9	
	10代・20代	57 100.0	1 1.8	31 54.4	30 52.6	14 24.6	8 14.0	14 24.6	35 61.4	12 21.1	10 17.5	-	1 1.8	-	4 7.0	-	1 1.8	-
	30代	79 100.0	2 2.5	31 39.2	24 30.4	26 32.9	24 30.4	25 31.6	32 40.5	16 20.3	15 19.0	3 3.8	1 1.3	-	13 16.5	3 3.8	-	3 3.8
	40代	147 100.0	6 4.1	53 36.1	68 46.3	48 32.7	37 25.2	33 22.4	33 22.4	40 27.2	30 20.4	1 0.7	4 2.7	-	22 15.0	2 1.4	2 1.4	6 4.1
	50代	129 100.0	14 10.9	53 41.1	57 44.2	44 34.1	39 30.2	23 17.8	34 26.4	35 27.1	15 11.6	1 0.8	1 0.8	1 0.8	30 23.3	3 2.3	-	4 3.1
	60代	148 100.0	17 11.5	43 29.1	67 45.3	62 41.9	32 21.6	22 14.9	45 30.4	35 23.6	22 14.9	-	3 2.0	2 1.4	21 14.2	1 0.7	3 2.0	7 4.7
	70歳以上	192 100.0	41 21.4	41 21.4	71 37.0	67 34.9	28 14.6	20 10.4	43 22.4	22 11.5	32 16.7	6 3.1	8 4.2	3 1.6	34 17.7	3 1.6	10 5.2	17 8.9
	無回答	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-
	男性合計	527 100.0	81 15.4	160 30.4	233 44.2	135 25.6	113 21.4	146 27.7	135 25.6	96 18.2	61 11.6	13 2.5	11 2.1	5 0.9	100 19.0	15 2.8	11 2.1	29 5.5
	10代・20代	48 100.0	8 16.7	17 35.4	27 56.3	7 14.6	6 12.5	16 33.3	17 35.4	4 8.3	10 20.8	1 2.1	3 6.3	1 2.1	5 10.4	-	1 2.1	1 2.1
30代	53 100.0	3 5.7	16 30.2	24 45.3	11 20.8	8 15.1	24 45.3	18 34.0	14 26.4	4 7.5	1 1.9	2 3.8	-	14 26.4	4 7.5	-	1 1.9	
40代	84 100.0	7 8.3	28 33.3	31 36.9	21 25.0	25 29.8	28 33.3	27 32.1	19 22.6	9 10.7	-	-	-	17 20.2	4 4.8	1 1.2	3 3.6	
50代	79 100.0	11 13.9	24 30.4	30 38.0	18 22.8	16 20.3	24 30.4	14 17.7	19 24.1	11 13.9	1 1.3	2 2.5	-	15 19.0	4 5.1	2 2.5	4 5.1	
60代	97 100.0	18 18.6	36 37.1	50 51.5	29 29.9	22 22.7	23 23.7	23 23.7	17 17.5	6 6.2	2 2.1	1 1.0	2 2.1	22 22.7	-	-	5 5.2	
70歳以上	166 100.0	34 20.5	39 23.5	71 42.8	49 29.5	36 21.7	31 18.7	36 21.7	23 13.9	21 12.7	8 4.8	3 1.8	2 1.2	27 16.3	3 1.8	7 4.2	15 9.0	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	13 100.0	2 15.4	3 23.1	6 46.2	3 23.1	3 23.1	4 30.8	1 7.7	2 15.4	1 7.7	-	-	-	1 7.7	-	-	1 7.7	

## ○男女・年代別の傾向

「夫婦や家族間での話し合い」は男性10代・20代（56.3%）で最も割合が高く、女性10代・20代（52.6%）、男性60代（51.5%）が続きます。「男女の性別役割分担についての社会通念、慣習などの見直し」は女性10代・20代（54.4%）で最も割合が高く、女性50代（41.1%）、女性30代（39.2%）が続きます。「男女が共に協力し家事・子育て・介護などを分担するように、幼児期からの家庭・学校教育の機会の充実」は、女性60代（41.9%）で最も割合が高く、女性70歳以上（34.9%）、女性50代（34.1%）が続きます。

## ▼ 前回調査との比較



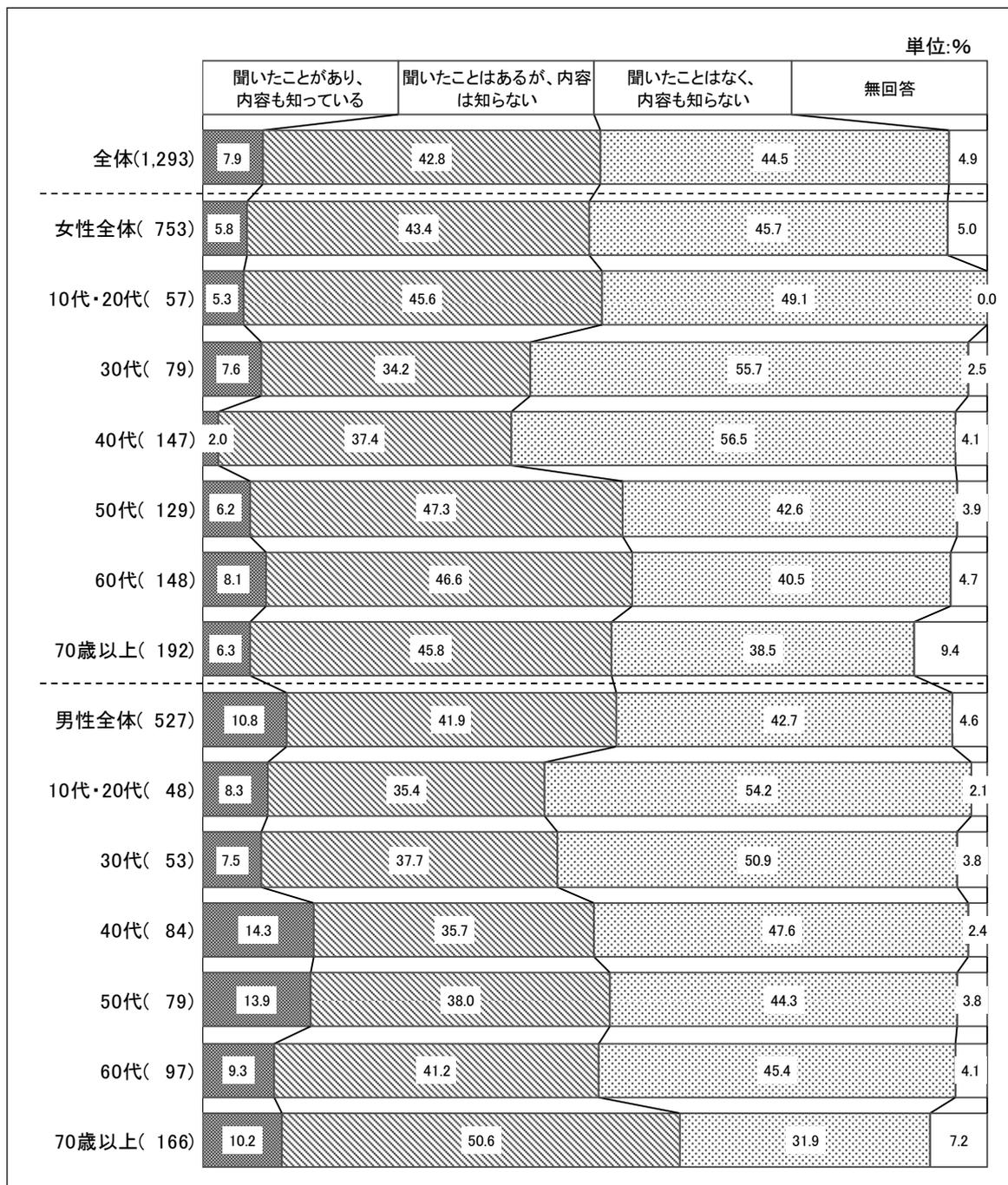
### ● 前回調査との比較

「男女の性別役割分担についての社会通念、慣習などの見直し」は、前回調査から今回調査にかけて8ポイント増加しています。一方、「子育てなどの特別休暇制度の創設や時間休暇をとりやすい就労環境の整備」「就労環境整備についての企業に対する啓発」「家事・子育て・介護などに関する相談窓口、情報啓発等の充実」は、前回調査から今回調査にかけて5ポイント以上減少しています。

## 4 女性の活躍推進について

### 問 16 「女性活躍推進法」という言葉の認知状況

あなたは、「女性活躍推進法」という言葉を知っていますか。 (○は1つだけ)



#### ○全体の傾向

「聞いたことがあり、内容も知っている」が7.9%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が42.8%であり、全体の5割強が「女性活躍推進法」という言葉を聞いたことがわかります。「聞いたことはなく、内容も知らない」は44.5%となっています。

### ○男女別の傾向

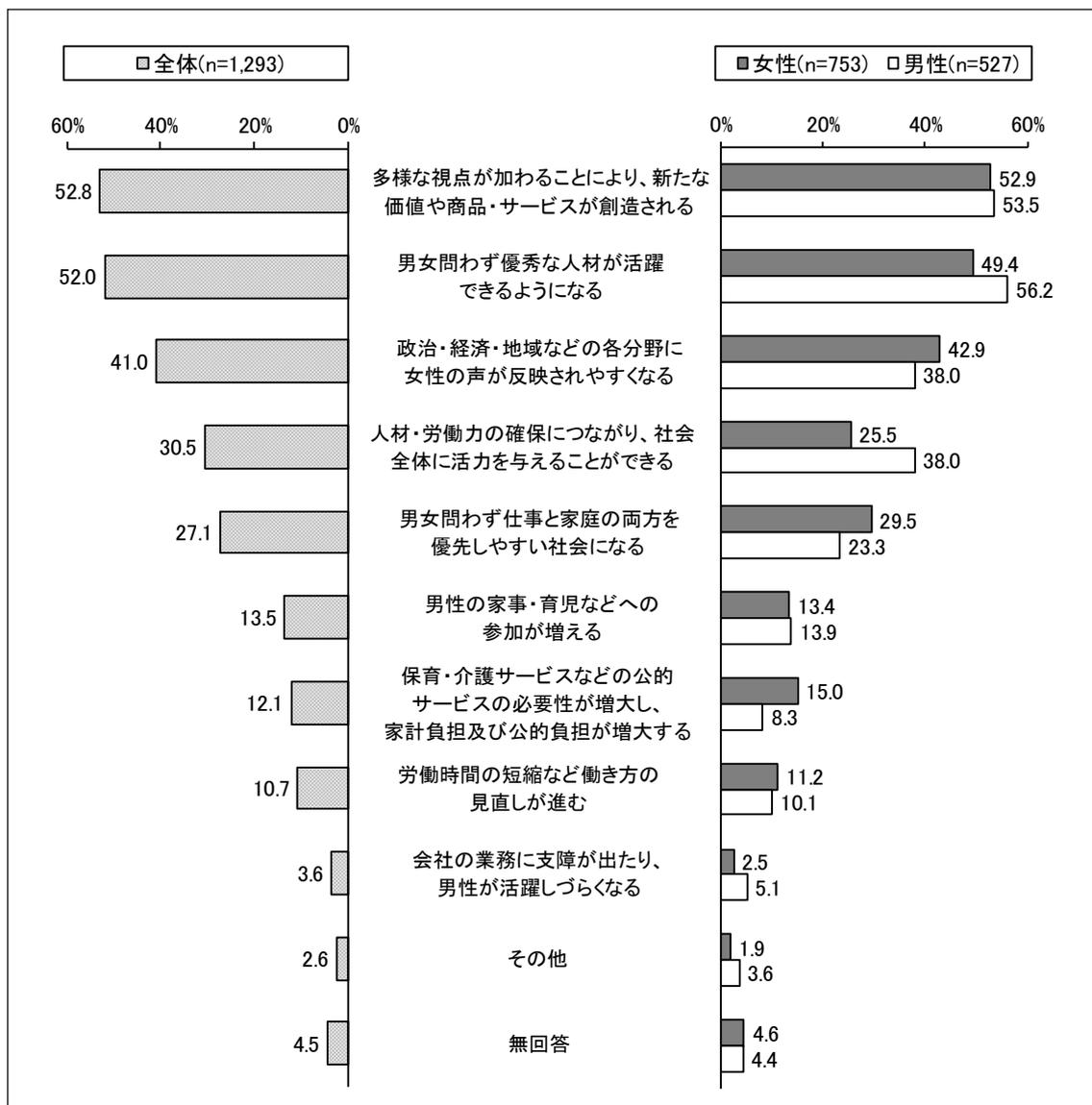
男性の「聞いたことがあり、内容も知っている」は10.8%であり、女性を5ポイント上回っています。

### ○男女・年代別の傾向

「聞いたことはあるが、内容は知らない」は男性70歳以上(50.6%)で最も割合が高く、女性50代(47.3%)、女性60代(46.6%)が続きます。「聞いたことはなく、内容も知らない」は女性40代(56.5%)で最も割合が高く、女性30代(55.7%)、男性10代・20代(54.2%)が続きます。

## 問 17 政策・方針決定の過程に女性が增加することに伴う影響

政治や企業活動、地域などあらゆる分野において女性の参画が進み、女性のリーダーが増える  
とどのような影響があると思いますか。(〇は3つまで)



### ○全体の傾向

「多様な視点が加わるにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」(52.8%)、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」(52.0%)がともに高く、「政治・経済・地域などの各分野に女性の声が反映されやすくなる」(41.0%)、「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる」(30.5%)が続きます。

### ○男女別の傾向

女性の「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる」は29.5%、「保育・介護サービスなどの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する」は

15.0%であり、いずれも男性を6ポイント上回っています。一方、男性の「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる」は38.0%で女性を12ポイント上回っているほか、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」は56.2%で女性を6ポイント上回っています。

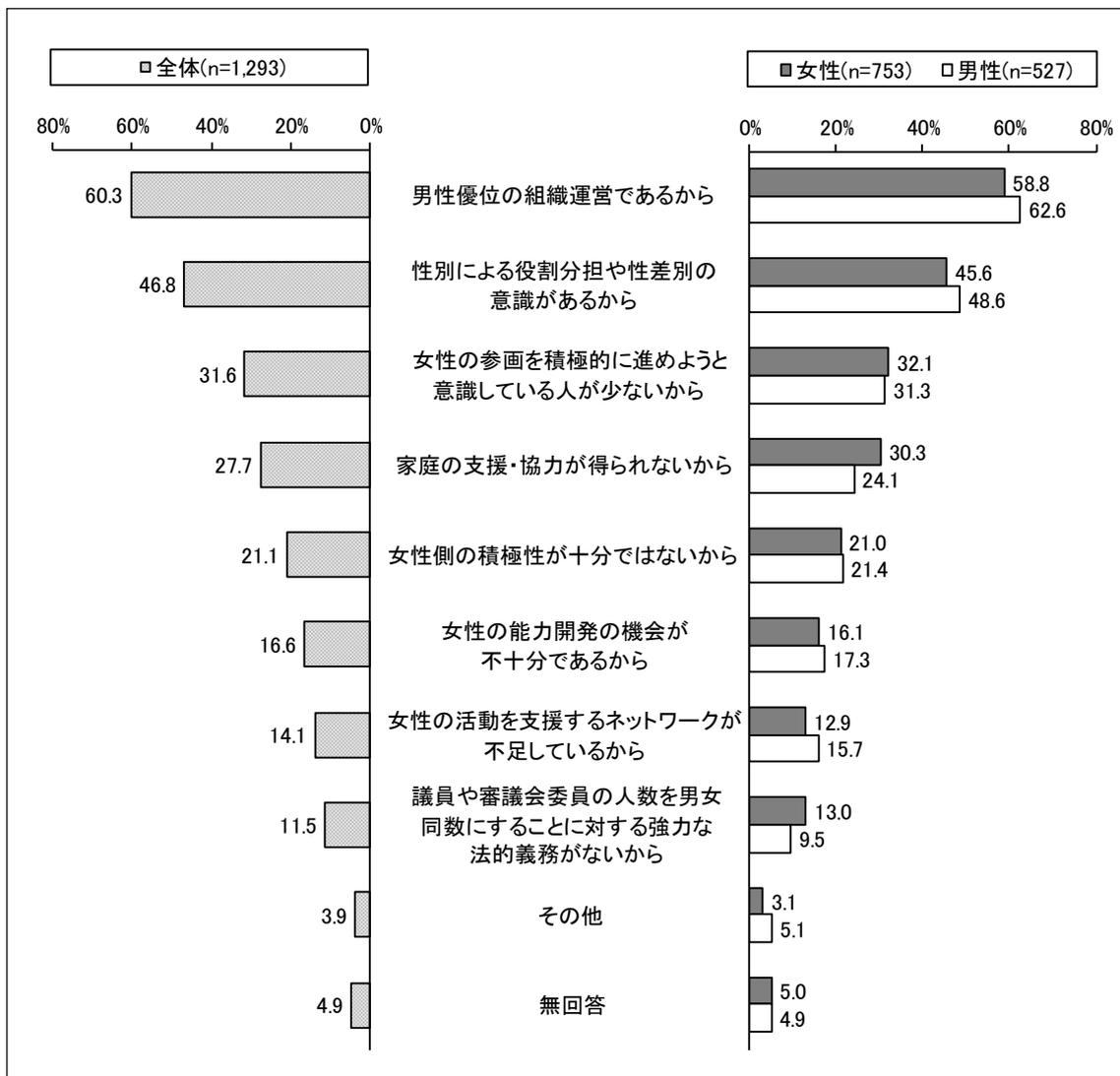
	全体	人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる	多様な視点加わるにより、新たな価値や商品・サービスが創造される	政治・経済・地域などの各分野に女性の声が反映されやすくなる	男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる	男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる	労働時間の短縮など働き方の見直しが進む	男性の家事・育児などへの参加が増える	会社の業務に支障が出たり、男性が活躍しづらくなる	保育・介護サービスなどの公的サービスの必要性が増大し、家計負担が増大する	その他	無回答	
全体	1,293 100.0	395 30.5	683 52.8	530 41.0	672 52.0	351 27.1	138 10.7	175 13.5	46 3.6	157 12.1	33 2.6	58 4.5	
性・年代別	女性合計	753 100.0	192 25.5	398 52.9	323 42.9	372 49.4	222 29.5	84 11.2	101 13.4	19 2.5	113 15.0	14 1.9	35 4.6
	10代・20代	57 100.0	10 17.5	27 47.4	31 54.4	27 47.4	23 40.4	10 17.5	7 12.3	2 3.5	4 7.0	-	-
	30代	79 100.0	16 20.3	44 55.7	23 29.1	34 43.0	33 41.8	11 13.9	17 21.5	1 1.3	13 16.5	2 2.5	2 2.5
	40代	147 100.0	32 21.8	87 59.2	57 38.8	78 53.1	43 29.3	20 13.6	19 12.9	4 2.7	21 14.3	4 2.7	5 3.4
	50代	129 100.0	30 23.3	74 57.4	61 47.3	69 53.5	33 25.6	14 10.9	15 11.6	3 2.3	19 14.7	4 3.1	4 3.1
	60代	148 100.0	38 25.7	85 57.4	74 50.0	78 52.7	41 27.7	9 6.1	22 14.9	2 1.4	22 14.9	2 1.4	8 5.4
	70歳以上	192 100.0	66 34.4	81 42.2	77 40.1	86 44.8	49 25.5	20 10.4	20 10.4	7 3.6	34 17.7	2 1.0	16 8.3
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
	男性合計	527 100.0	200 38.0	282 53.5	200 38.0	296 56.2	123 23.3	53 10.1	73 13.9	27 5.1	44 8.3	19 3.6	23 4.4
	10代・20代	48 100.0	14 29.2	24 50.0	9 18.8	25 52.1	20 41.7	6 12.5	7 14.6	4 8.3	3 6.3	1 2.1	1 2.1
	30代	53 100.0	15 28.3	38 71.7	8 15.1	28 52.8	18 34.0	6 11.3	10 18.9	3 5.7	3 5.7	5 9.4	2 3.8
	40代	84 100.0	20 23.8	53 63.1	35 41.7	50 59.5	24 28.6	6 7.1	8 9.5	2 2.4	5 6.0	5 6.0	2 2.4
	50代	79 100.0	30 38.0	45 57.0	28 35.4	48 60.8	12 15.2	7 8.9	10 12.7	5 6.3	8 10.1	6 7.6	3 3.8
	60代	97 100.0	43 44.3	57 58.8	46 47.4	58 59.8	20 20.6	12 12.4	12 12.4	5 5.2	7 7.2	-	4 4.1
	70歳以上	166 100.0	78 47.0	65 39.2	74 44.6	87 52.4	29 17.5	16 9.6	26 15.7	8 4.8	18 10.8	2 1.2	11 6.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	13 100.0	3 23.1	3 23.1	7 53.8	4 30.8	6 46.2	1 7.7	1 7.7	-	-	-	-

### ○男女・年代別の傾向

「多様な視点加わるにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」は男性30代(71.7%)で最も割合が高く、男性40代(63.1%)、女性40代(59.2%)が続きます。「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」は男性50代(60.8%)で最も割合が高く、男性60代(59.8%)、男性40代(59.5%)が続きます。また、「政治・経済・地域などの各分野に女性の声が反映されやすくなる」は、女性10代・20代(54.4%)で最も割合が高く、女性60代(50.0%)、男性60代(47.4%)が続きます。

## 問 18 政策・方針決定の過程に参加する女性が少ない理由

あなたは、政治や企業活動、地域などあらゆる分野において政策方針の決定過程に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。(〇は3つまで)



### ○全体の傾向

「男性優位の組織運営であるから」が60.3%で最も高く、次いで「性別による役割分担や性差別の意識があるから」(46.8%)、「女性の参画を積極的に進めようとして意識している人が少ないから」(31.6%)、「家庭の支援・協力が得られないから」(27.7%)となっています。

### ○男女別の傾向

「男性優位の組織運営であるから」は、女性で6割弱、男性では6割強となっています。女性の「家庭の支援・協力が得られないから」は30.3%であり、男性を6ポイント上回っています。

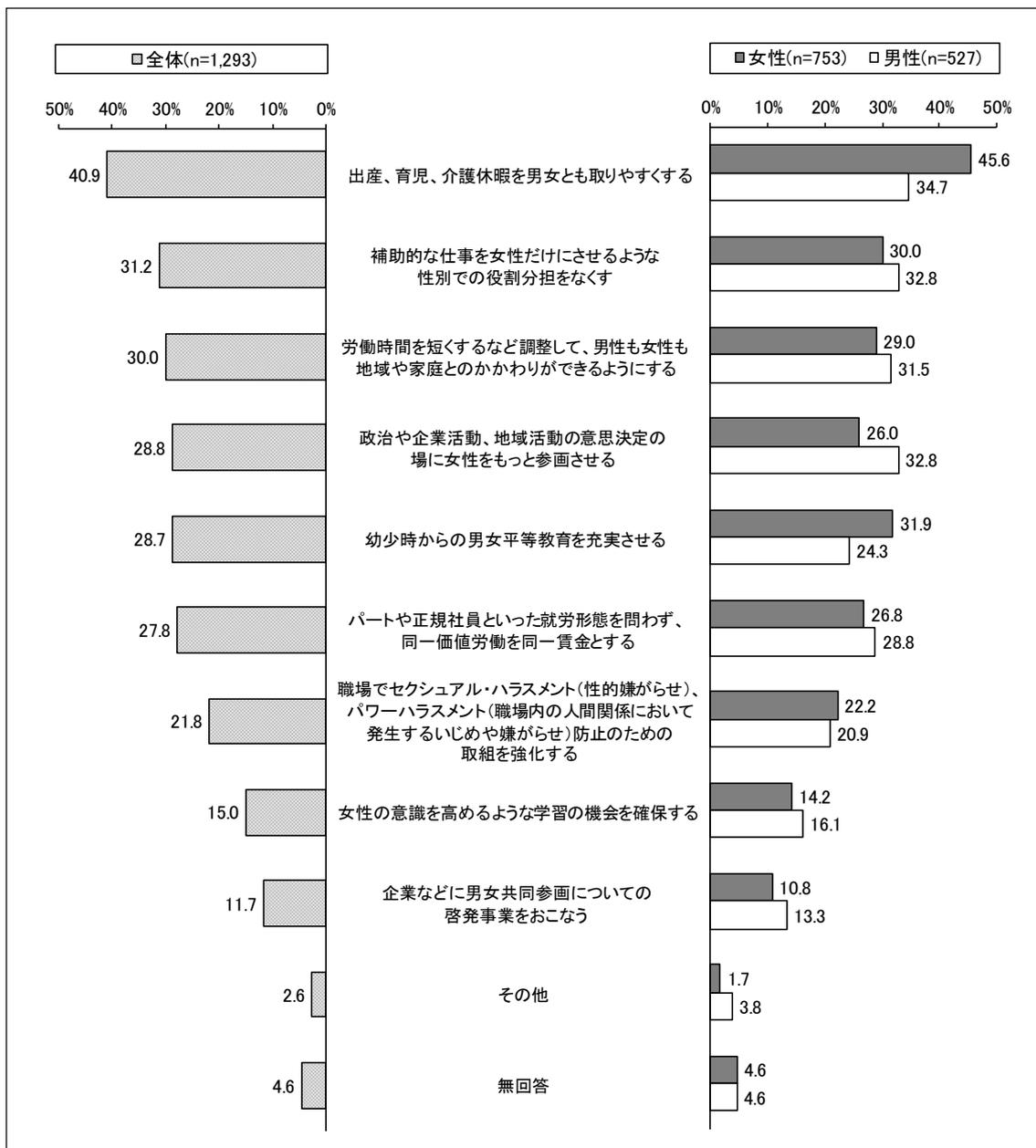
		全体	性別による役割分担や性差別の意識があるから	男性優位の組織運営であるから	家庭の支援・協力が得られないから	女性の能力開発の機会が十分であるから	女性の活動を支援するネットワークが不足しているから	女性側の積極性が十分ではないから	女性の参画を積極的に進めようとして意識している人が少ないから	議員や審議会委員の人数を男力な法的義務がないから	その他	無回答		
全体		1,293 100.0	605 46.8	780 60.3	358 27.7	215 16.6	182 14.1	273 21.1	409 31.6	149 11.5	50 3.9	64 4.9		
性・年代別	女性	女性合計	753 100.0	343 45.6	443 58.8	228 30.3	121 16.1	97 12.9	158 21.0	242 32.1	98 13.0	23 3.1	38 5.0	
		10代・20代	57 100.0	37 64.9	36 63.2	14 24.6	3 5.3	8 14.0	12 21.1	14 24.6	7 12.3	1 1.8	- -	
		30代	79 100.0	42 53.2	54 68.4	22 27.8	5 6.3	12 15.2	9 11.4	25 31.6	9 11.4	3 3.8	2 2.5	
		40代	147 100.0	65 44.2	87 59.2	51 34.7	23 15.6	18 12.2	27 18.4	49 33.3	18 12.2	4 2.7	6 4.1	
		50代	129 100.0	64 49.6	84 65.1	36 27.9	22 17.1	10 7.8	24 18.6	33 25.6	22 17.1	4 3.1	6 4.7	
		60代	148 100.0	67 45.3	80 54.1	48 32.4	25 16.9	24 16.2	32 21.6	52 35.1	20 13.5	4 2.7	8 5.4	
		70歳以上	192 100.0	67 34.9	101 52.6	57 29.7	43 22.4	25 13.0	54 28.1	68 35.4	22 11.5	7 3.6	16 8.3	
		無回答	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	
		男性	男性合計	527 100.0	256 48.6	330 62.6	127 24.1	91 17.3	83 15.7	113 21.4	165 31.3	50 9.5	27 5.1	26 4.9
		10代・20代	48 100.0	27 56.3	29 60.4	9 18.8	8 16.7	11 22.9	3 6.3	14 29.2	4 8.3	1 2.1	1 2.1	
		30代	53 100.0	23 43.4	34 64.2	10 18.9	5 9.4	12 22.6	9 17.0	18 34.0	4 7.5	5 9.4	2 3.8	
		40代	84 100.0	39 46.4	57 67.9	24 28.6	7 8.3	13 15.5	13 15.5	23 27.4	9 10.7	7 8.3	4 4.8	
		50代	79 100.0	40 50.6	35 44.3	21 26.6	8 10.1	6 7.6	18 22.8	30 38.0	11 13.9	5 6.3	4 5.1	
		60代	97 100.0	49 50.5	69 71.1	28 28.9	23 23.7	14 14.4	26 26.8	34 35.1	6 6.2	4 4.1	5 5.2	
		70歳以上	166 100.0	78 47.0	106 63.9	35 21.1	40 24.1	27 16.3	44 26.5	46 27.7	16 9.6	5 3.0	10 6.0	
		無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
		無回答	13 100.0	6 46.2	7 53.8	3 23.1	3 23.1	2 15.4	2 15.4	2 15.4	1 7.7	-	-	

### ○男女・年代別の傾向

「男性優位の組織運営であるから」は男性 60 代（71.1%）で最も割合が高く、女性 30 代（68.4%）、男性 40 代（67.9%）が続きます。「性別による役割分担や性差別の意識があるから」は女性 10 代・20 代（64.9%）で最も割合が高く、男性 10 代・20 代（56.3%）、女性 30 代（53.2%）が続きます。また、「女性の参画を積極的に進めようとして意識している人が少ないから」は、男性 50 代（38.0%）で最も割合が高く、女性 70 歳以上（35.4%）、男性 60 代（35.1%）が続きます。

## 問 19 女性活躍推進に必要なこと

あなたは、女性が政治や企業活動、地域などあらゆる分野において活躍するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



### ○全体の傾向

「出産、育児、介護休暇を男女とも取りやすくする」が40.9%で最も高く、次いで「補助的な仕事を女性だけにさせるような性別での役割分担をなくす」(31.2%)、「労働時間を短くするなど調整して、男性も女性も地域や家庭とのかかわりができるようにする」(30.0%)、「政治や企業活動、地域活動の意思決定の場に女性をもっと参画させる」(28.8%)となっています。

## ○男女別の傾向

女性の「出産、育児、介護休暇を男女とも取りやすくする」は45.6%であり、男性を10ポイント上回っています。また、女性の「幼少時からの男女平等教育を充実させる」は31.9%であり、男性を7ポイント上回っています。一方、男性の「政治や企業活動、地域活動の意思決定の場に女性をもっと参画させる」は32.8%であり、女性を6ポイント上回っています。

	全体	パートや正規社員と同一価値労働を同一賃金とする	労働時間も地域や家庭とのかかわりができるようにする	政治や企業活動、地域活動の意思決定の場に女性をもっと参画させる	補助的な仕事を女性だけにさせるような性別での役割分担をなくす	出産、育児、介護休暇を男女とも取りやすくする	職場でセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)、パワー・ハラスメント(職場内の人間関係において発生するいじめや嫌がらせ)防止のための取組を強化する	女性の意識を高めるような学習の機会を確保する	幼少時からの男女平等教育を充実させる	企業などに男女共同参画についての啓発事業をおこなう	その他	無回答		
全体	1,293 100.0	359 27.8	388 30.0	372 28.8	404 31.2	529 40.9	282 21.8	194 15.0	371 28.7	151 11.7	34 2.6	59 4.6		
女性	女性合計	753 100.0	202 26.8	218 29.0	196 26.0	226 30.0	343 45.6	167 22.2	107 14.2	240 31.9	81 10.8	13 1.7	35 4.6	
	10代・20代	57 100.0	11 19.3	19 33.3	14 24.6	16 28.1	33 57.9	20 35.1	4 7.0	19 33.3	1 1.8	2 3.5	1 1.8	
	30代	79 100.0	19 24.1	27 34.2	18 22.8	25 31.6	48 60.8	11 13.9	8 10.1	26 32.9	8 10.1	3 3.8	2 2.5	
	40代	147 100.0	35 23.8	48 32.7	36 24.5	43 29.3	57 38.8	34 23.1	21 14.3	53 36.1	14 9.5	4 2.7	2 1.4	
	50代	129 100.0	34 26.4	41 31.8	26 20.2	41 31.8	66 51.2	33 25.6	14 10.9	44 34.1	9 7.0	1 0.8	5 3.9	
	60代	148 100.0	46 31.1	38 25.7	42 28.4	43 29.1	73 49.3	31 20.9	25 16.9	43 29.1	22 14.9	2 1.4	8 5.4	
	70歳以上	192 100.0	57 29.7	45 23.4	60 31.3	57 29.7	66 34.4	37 19.3	35 18.2	55 28.6	26 13.5	1 0.5	17 8.9	
	無回答	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	
	男性	男性合計	527 100.0	152 28.8	166 31.5	173 32.8	173 32.8	183 34.7	110 20.9	85 16.1	128 24.3	70 13.3	20 3.8	24 4.6
		10代・20代	48 100.0	10 20.8	16 33.3	13 27.1	18 37.5	21 43.8	14 29.2	3 6.3	11 22.9	4 8.3	1 2.1	2 4.2
30代		53 100.0	9 17.0	26 49.1	10 18.9	19 35.8	21 39.6	12 22.6	11 20.8	9 17.0	4 7.5	2 3.8	2 3.8	
40代		84 100.0	23 27.4	30 35.7	22 26.2	25 29.8	37 44.0	15 17.9	12 14.3	23 27.4	7 8.3	5 6.0	2 2.4	
50代		79 100.0	22 27.8	25 31.6	23 29.1	20 25.3	19 24.1	19 24.1	18 22.8	19 24.1	14 17.7	4 5.1	1 1.3	
60代		97 100.0	37 38.1	28 28.9	37 38.1	29 29.9	40 41.2	18 18.6	12 12.4	27 27.8	16 16.5	3 3.1	6 6.2	
70歳以上		166 100.0	51 30.7	41 24.7	68 41.0	62 37.3	45 27.1	32 19.3	29 17.5	39 23.5	25 15.1	5 3.0	11 6.6	
無回答		- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
無回答	13 100.0	5 38.5	4 30.8	3 23.1	5 38.5	3 23.1	5 38.5	2 15.4	3 23.1	-	1 7.7	-		

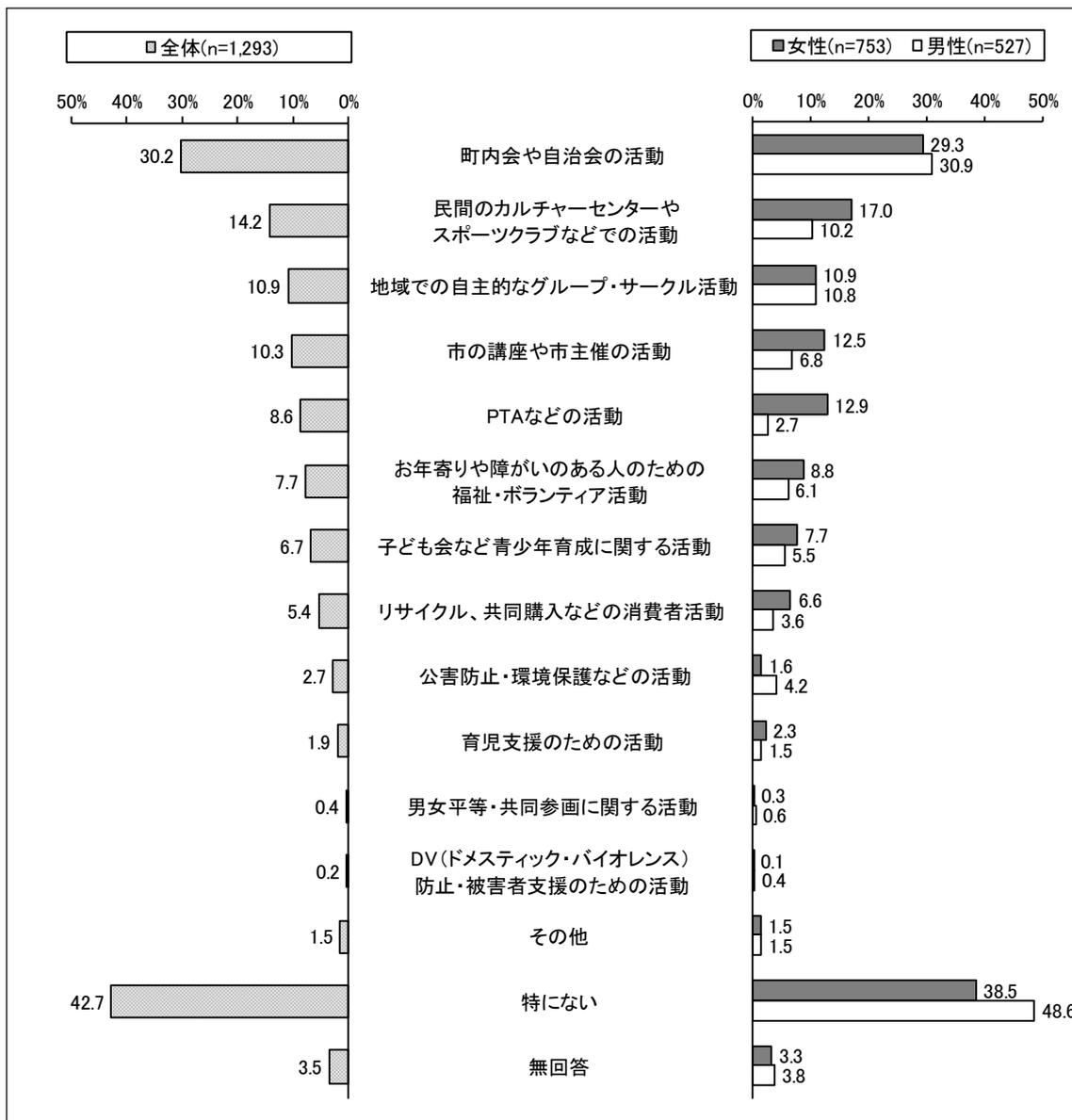
## ○男女・年代別の傾向

「出産、育児、介護休暇を男女とも取りやすくする」は女性30代(60.8%)で最も割合が高く、女性10代・20代(57.9%)、女性50代(51.2%)が続きます。「補助的な仕事を女性だけにさせるような性別での役割分担をなくす」は、男性10代・20代(37.5%)で最も割合が高く、男性70歳以上(37.3%)、男性30代(35.8%)が続いています。また、「労働時間を短くするなど調整して、男性も女性も地域や家庭とのかかわりができるようにする」は男性30代(49.1%)で最も割合が高く、男性40代(35.7%)、女性30代(34.2%)が続きます。

## 5 社会参加・地域参加について

### 問 20 仕事や学校以外でどのような活動に参加したか

あなたはこの1～2年の間に、仕事や学校以外で次のような活動に参加したことがありますか。(〇はあてはまるものすべて)



#### ○全体の傾向

仕事や学校以外で参加した活動として、「町内会や自治会の活動」が30.2%、「民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどでの活動」が14.2%、「地域での自主的なグループ・サークル活動」が10.9%、「市の講座や市主催の活動」が10.3%となっています。一方、「特にない」が全体の42.7%を占めています。

## ○男女別の傾向

女性の「PTAなどの活動」は12.9%であり、男性を10ポイント上回っています。また、女性の「民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどでの活動」は17.0%、「市の講座や市主催の活動」は12.5%であり、いずれも男性を5ポイント以上上回っています。一方、男性の「特にない」は48.6%であり、女性を10ポイント上回っています。

	全体	子ども会など青少年育成に関する活動	PTAなどの活動	育児支援のための活動	町内会や自治会の活動	リサイクル、共同購入などの消費者活動	公害防止・環境保護などの活動	お年寄りや障がいのある人のための福祉・ボランティア活動	地域での自主的なグループ・サークル活動	民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどでの活動	市の講座や市主催の活動	男女平等・共同参画に関する活動	DV(ドメスティック・バイオレンス)防止・被害者支援のための活動	その他	特にない	無回答		
全体	1,293 100.0	87 6.7	111 8.6	25 1.9	390 30.2	70 5.4	35 2.7	99 7.7	141 10.9	184 14.2	133 10.3	5 0.4	3 0.2	19 1.5	552 42.7	45 3.5		
女性	女性合計	753 100.0	58 7.7	97 12.9	17 2.3	221 29.3	50 6.6	12 1.6	66 8.8	82 10.9	128 17.0	94 12.5	2 0.1	1 0.1	11 1.5	290 38.5	25 3.3	
	10代・20代	57 100.0	3 5.3	1 1.8	2 3.5	6 10.5	2 3.5	-	3 5.3	-	3 7.0	4 7.0	-	-	2 3.5	40 70.2	1 1.8	
	30代	79 100.0	8 10.1	8 10.1	5 6.3	16 20.3	5 6.3	-	1 1.3	3 3.8	8 10.1	8 10.1	-	-	-	41 51.9	4 5.1	
	40代	147 100.0	26 17.7	58 39.5	4 2.7	44 29.9	8 5.4	2 1.4	5 3.4	6 4.1	17 11.6	15 10.2	-	-	2 1.4	47 32.0	-	
	50代	129 100.0	6 4.7	10 7.8	2 1.6	37 28.7	10 7.8	2 1.6	14 10.9	13 10.1	23 17.8	12 9.3	1 0.8	-	0.8	53 41.1	4 3.1	
	60代	148 100.0	10 6.8	9 6.1	-	56 37.8	13 8.8	3 2.0	17 11.5	26 17.6	37 25.0	25 16.9	-	-	-	43 29.1	4 2.7	
	70歳以上	192 100.0	5 2.6	11 5.7	4 2.1	62 32.3	11 5.7	5 2.6	25 13.0	34 17.7	40 20.8	30 15.6	1 0.5	1 0.5	6 3.1	66 34.4	12 6.3	
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男性	男性合計	527 100.0	29 5.5	14 2.7	8 1.5	163 30.9	19 3.6	22 4.2	32 6.1	57 10.8	54 10.2	36 6.8	3 0.6	2 0.4	8 1.5	256 48.6	20 3.8
		10代・20代	48 100.0	1 2.1	-	-	3 6.3	-	2 4.2	3 6.3	-	1 2.1	-	1 2.1	-	-	39 81.3	2 4.2
30代		53 100.0	2 3.8	2 3.8	4 7.5	7 13.2	1 1.9	1 1.9	1 1.9	3 5.7	1 1.9	3 3.8	1 1.9	-	-	37 69.8	2 3.8	
40代		84 100.0	8 9.5	7 8.3	2 2.4	28 33.3	5 6.0	2 2.4	5 6.0	8 9.5	8 9.5	4 4.8	-	1 1.2	2 2.4	37 44.0	1 1.2	
50代		79 100.0	5 6.3	2 2.5	-	29 36.7	6 7.6	3 3.8	1 1.3	12 15.2	13 16.5	4 5.1	1 1.3	-	2 2.5	30 38.0	2 2.5	
60代		97 100.0	4 4.1	2 2.1	2 2.1	28 28.9	1 1.0	8 8.2	3 3.1	5 5.2	7 7.2	9 9.3	-	-	2 2.1	56 57.7	5 5.2	
70歳以上		166 100.0	9 5.4	1 0.6	-	68 41.0	6 3.6	6 3.6	19 11.4	29 17.5	24 14.5	17 10.2	-	-	2 1.2	57 34.3	8 4.8	
無回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答		13 100.0	-	-	-	6 46.2	1 7.7	1 7.7	1 7.7	2 15.4	2 15.4	3 23.1	-	-	-	6 46.2	-	

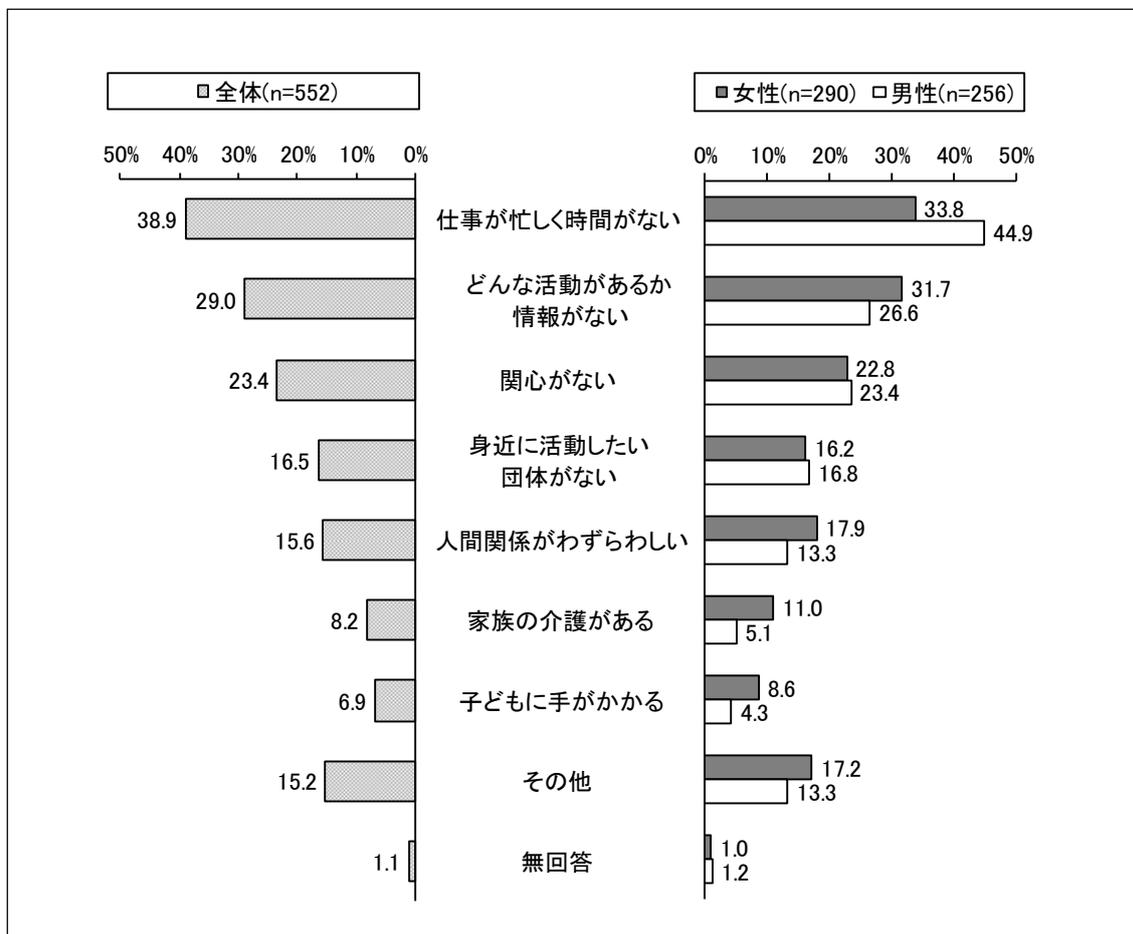
## ○男女・年代別の傾向

「町内会や自治会の活動」は男性70歳以上(41.0%)で最も割合が高く、女性60代(37.8%)、男性50代(36.7%)が続きます。「民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどでの活動」は女性60代(25.0%)で最も割合が高く、女性70歳以上(20.8%)、女性50代(17.8%)が続きます。「特にない」は男性10代・20代(81.3%)で最も割合が高く、女性10代・20代(70.2%)、男性30代(69.8%)が続きます。

## 問 20-1 参加していない理由

問20で「特にない」に○をつけた方にお伺いします。

あなたが活動をしていないのは、なぜですか。(○はあてはまるものすべて)



### ○全体の傾向

仕事や学校以外での活動に参加しない理由として、「仕事が忙しく時間がない」が38.9%で最も高く、次いで「どんな活動があるか情報が無い」(29.0%)、「関心がない」(23.4%)、「身近に活動したい団体がない」(16.5%)となっています。

### ○男女別の傾向

女性の「どんな活動があるか情報が無い」は31.7%、「家族の介護がある」は11.0%であり、いずれも男性を5ポイント上回っています。一方、男性の「仕事が忙しく時間がない」は44.9%であり、女性を11ポイント上回っています。

		全体	仕事が忙しく時間がない	子どもに手がかかる	家族の介護がある	どんな活動があるか情報がない	人間関係がわずらわしい	関心がない	身近に活動したい団体がない	その他	無回答		
全体		552 100.0	215 38.9	38 6.9	45 8.2	160 29.0	86 15.6	129 23.4	91 16.5	84 15.2	6 1.1		
性・年代別	女性	女性合計	290 100.0	98 33.8	25 8.6	32 11.0	92 31.7	52 17.9	66 22.8	47 16.2	50 17.2	3 1.0	
		10代・20代	40 100.0	12 30.0	3 7.5	-	16 40.0	6 15.0	18 45.0	9 22.5	1 2.5	-	
		30代	41 100.0	22 53.7	14 34.1	-	26 63.4	7 17.1	12 29.3	6 14.6	1 2.4	-	
		40代	47 100.0	21 44.7	7 14.9	4 8.5	13 27.7	8 17.0	12 25.5	9 19.1	2 4.3	-	
		50代	53 100.0	29 54.7	-	9 17.0	17 32.1	10 18.9	8 15.1	12 22.6	6 11.3	-	
		60代	43 100.0	8 18.6	-	10 23.3	5 11.6	12 27.9	7 16.3	5 11.6	15 34.9	2 4.7	
		70歳以上	66 100.0	6 9.1	1 1.5	9 13.6	15 22.7	9 13.6	9 13.6	6 9.1	25 37.9	1 1.5	
		無回答	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
		男性	男性合計	256 100.0	115 44.9	11 4.3	13 5.1	68 26.6	34 13.3	60 23.4	43 16.8	34 13.3	3 1.2
	10代・20代		39 100.0	15 38.5	-	-	11 28.2	5 12.8	20 51.3	5 12.8	1 2.6	1 2.6	
	30代		37 100.0	22 59.5	4 10.8	-	7 18.9	3 8.1	9 24.3	6 16.2	4 10.8	-	
	40代		37 100.0	25 67.6	6 16.2	1 2.7	15 40.5	5 13.5	3 8.1	6 16.2	1 2.7	-	
	50代		30 100.0	19 63.3	-	6 20.0	6 20.0	3 10.0	6 20.0	5 16.7	3 10.0	-	
	60代		56 100.0	27 48.2	-	4 7.1	17 30.4	9 16.1	11 19.6	5 8.9	6 10.7	1 1.8	
	70歳以上		57 100.0	7 12.3	1 1.8	2 3.5	12 21.1	9 15.8	11 19.3	16 28.1	19 33.3	1 1.8	
無回答	- *		- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
無回答	6 100.0	2 33.3	2 33.3	-	-	-	3 50.0	1 16.7	-	-			

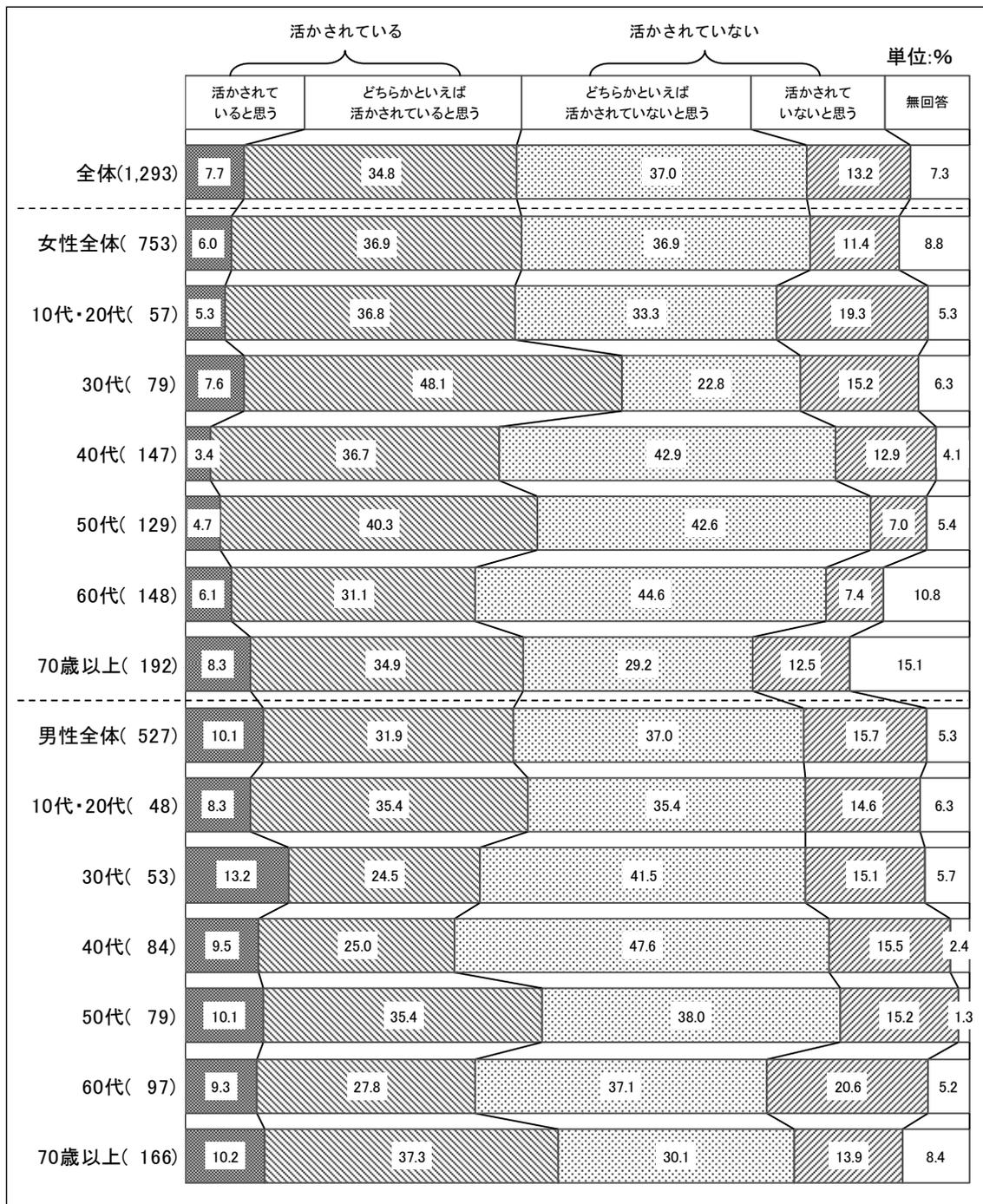
### ○男女・年代別の傾向

女性50代では「仕事が忙しく時間がない」が54.7%であり、女性回答者全体の割合を20ポイント上回っています。男性70歳以上では「身近に活動したい団体がない」が28.1%であり、男性回答者全体の割合を11ポイント上回っています。

## 6 防災について

### 問 21 防災分野に女性の視点は活かされているか

災害はいつ私たちの身に降りかかるかわかりません。あなたは、防災（災害復興も含む）活動に関して、女性の視点が活かされていると思いますか。（〇は1つだけ）



#### ○全体の傾向

防災活動に女性の視点が“活かされている”（「活かされていると思う」「どちらかといえば活かされていると思う」の合計）が 42.5%であり、“活かされていない”（「活かされていない

いと思う」「どちらかといえば活かされていないと思う」の合計)が50.2%となっています。

#### ○男女別の傾向

男女ともに“活かされていない”が“活かされている”を上回っています。男性の“活かされていない”は5割強となっています。

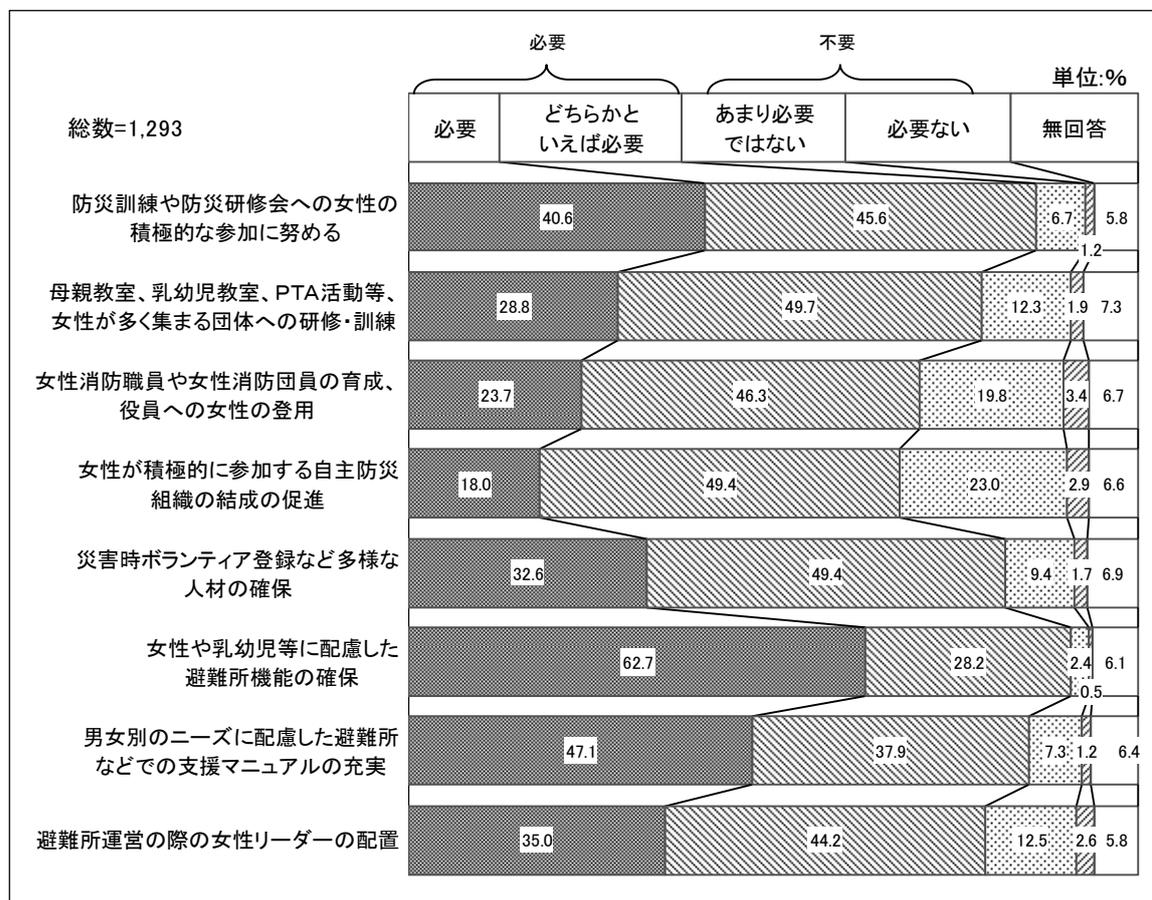
#### ○男女・年代別の傾向

“活かされている”は女性30代(55.7%)で最も割合が高く、男性70歳以上(47.5%)、男性50代(45.5%)が続きます。女性は60代を除く各年代とも“活かされている”が4割強となっています。

一方、“活かされていない”は男性40代(63.1%)で最も割合が高く、男性60代(57.7%)、男性30代(56.6%)が続きます。

## 問 22 防災分野で女性の視点を活かすために重要なこと

あなたは、防災（災害復興も含む）活動に関して女性の視点を活かしていくためには、特にどのようなことが必要と考えますか。各項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。（○は各項目に1つずつ）



### ○全体の傾向

防災活動に関して女性の視点を活かしていくために必要なこととして、各項目とも“必要”（「必要」「どちらかといえば必要」の合計）が6割以上を占めており、『女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保』『防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加に努める』『男女別のニーズに配慮した避難所などでの支援マニュアルの充実』では9割前後となっています。特に『女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保』は「必要」が62.7%となっており、回答者が必要性を強く意識していることがわかります。一方、『女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促進』『女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用』では“不要”（「あまり必要ではない」「必要でない」の合計）が2割台となっています。



○男女・年代別の傾向

①防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加に努める

		全体	必要	どちらかとい えば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答		
全体		1,293	40.6	45.6	6.7	1.2	5.8		
性・年代別	女性	女性合計	753	37.6	48.7	6.9	0.8	6.0	
		10代・20代	57	22.8	63.2	12.3	-	1.8	
		30代	79	31.6	50.6	13.9	1.3	2.5	
		40代	147	36.1	55.8	5.4	0.7	2.0	
		50代	129	38.0	51.9	6.2	-	3.9	
		60代	148	39.2	48.6	4.1	1.4	6.8	
		70歳以上	192	44.3	36.5	5.7	1.0	12.5	
		無回答	1	-	-	100.0	-	-	
		男性	男性合計	527	44.4	41.7	6.3	1.9	5.7
		10代・20代	48	31.3	45.8	12.5	6.3	4.2	
		30代	53	30.2	47.2	11.3	5.7	5.7	
		40代	84	40.5	47.6	9.5	-	2.4	
		50代	79	48.1	45.6	2.5	2.5	1.3	
		60代	97	46.4	40.2	6.2	1.0	6.2	
	70歳以上	166	51.8	34.9	3.0	0.6	9.6		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
	無回答	13	61.5	23.1	15.4	-	-		

②母親教室、乳幼児教室、PTA活動等、女性が多く集まる団体への研修・訓練

		全体	必要	どちらかとい えば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答		
全体		1,293	28.8	49.7	12.3	1.9	7.3		
性・年代別	女性	女性合計	753	29.0	49.3	12.9	1.7	7.2	
		10代・20代	57	28.1	50.9	15.8	3.5	1.8	
		30代	79	34.2	49.4	10.1	3.8	2.5	
		40代	147	32.7	54.4	10.2	0.7	2.0	
		50代	129	30.2	53.5	13.2	-	3.1	
		60代	148	24.3	50.0	15.5	2.7	7.4	
		70歳以上	192	27.1	41.7	12.5	1.6	17.2	
		無回答	1	-	-	100.0	-	-	
		男性	男性合計	527	27.9	51.2	11.8	1.9	7.2
		10代・20代	48	20.8	62.5	6.3	6.3	4.2	
		30代	53	22.6	50.9	18.9	1.9	5.7	
		40代	84	31.0	52.4	14.3	-	2.4	
		50代	79	29.1	54.4	12.7	2.5	1.3	
		60代	97	30.9	48.5	12.4	1.0	7.2	
	70歳以上	166	27.7	47.6	9.0	1.8	13.9		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
	無回答	13	53.8	15.4	-	7.7	23.1		

③女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用

		全体	必要	どちらかとい えば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答		
全体		1,293	23.7	46.3	19.8	3.4	6.7		
性・年代別	女性	女性合計	753	21.0	49.8	19.0	3.2	7.0	
		10代・20代	57	28.1	43.9	21.1	5.3	1.8	
		30代	79	20.3	53.2	20.3	3.8	2.5	
		40代	147	23.8	50.3	21.1	2.7	2.0	
		50代	129	22.5	51.9	22.5	-	3.1	
		60代	148	18.9	57.4	12.8	4.1	6.8	
		70歳以上	192	17.7	42.7	18.2	4.2	17.2	
		無回答	1	-	-	100.0	-	-	
		男性	男性合計	527	27.5	41.6	21.3	3.6	6.1
		10代・20代	48	33.3	29.2	27.1	6.3	4.2	
		30代	53	20.8	35.8	28.3	9.4	5.7	
		40代	84	34.5	39.3	20.2	3.6	2.4	
		50代	79	32.9	40.5	20.3	5.1	1.3	
		60代	97	25.8	49.5	18.6	1.0	5.2	
	70歳以上	166	22.9	44.0	19.9	1.8	11.4		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
	無回答	13	30.8	38.5	7.7	7.7	15.4		

④女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促進

		全体	必要	どちらかとい えば必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答		
全体		1,293	18.0	49.4	23.0	2.9	6.6		
性・年代別	女性	女性合計	753	15.1	52.6	22.6	2.7	7.0	
		10代・20代	57	14.0	43.9	33.3	5.3	3.5	
		30代	79	16.5	57.0	21.5	2.5	2.5	
		40代	147	17.7	53.7	23.8	2.7	2.0	
		50代	129	14.0	58.1	24.8	-	3.1	
		60代	148	13.5	48.0	27.0	4.7	6.8	
		70歳以上	192	15.1	52.6	13.5	2.1	16.7	
		無回答	1	-	-	100.0	-	-	
		男性	男性合計	527	21.4	45.2	24.3	3.2	5.9
		10代・20代	48	12.5	47.9	22.9	12.5	4.2	
		30代	53	11.3	39.6	39.6	3.8	5.7	
		40代	84	31.0	39.3	26.2	1.2	2.4	
		50代	79	20.3	41.8	31.6	5.1	1.3	
		60代	97	25.8	49.5	18.6	1.0	5.2	
	70歳以上	166	20.5	48.2	18.7	1.8	10.8		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
	無回答	13	46.2	38.5	-	7.7	7.7		

『防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加に努める』で“必要”の割合が最も高いのは男性50代(93.7%)であり、女性40代(91.9%)が続きます。「必要」の割合が最も高いのは男性70歳以上(51.8%)であり、男性50代(48.1%)が続きます。

『母親教室、乳幼児教室、PTA活動等、女性が多く集まる団体への研修・訓練』で“必要”の割合が最も高いのは女性40代(87.1%)であり、女性50代(83.7%)が続きます。

『女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用』で“必要”の割合が最も高いのは女性60代(76.3%)であり、男性60代(75.3%)が続きます。

『女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促進』で“必要”の割合が最も高いのは男性60代(75.3%)であり、女性30代(73.5%)が続きます。

**⑤災害時ボランティア登録など多様な人材の確保**

		全体	必要	どちらかとい えは必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	32.6	49.4	9.4	1.7	6.9
性・年代別	女性合計	753	32.5	50.7	8.8	1.2	6.8
	10代・20代	57	28.1	49.1	15.8	5.3	1.8
	30代	79	25.3	60.8	8.9	-	5.1
	40代	147	33.3	56.5	8.2	0.7	1.4
	50代	129	35.7	53.5	7.8	-	3.1
	60代	148	31.1	52.0	8.1	1.4	7.4
	70歳以上	192	35.4	40.1	7.8	1.6	15.1
	無回答	1	-	-	100.0	-	-
	男性合計	527	32.4	47.6	10.6	2.3	7.0
	10代・20代	48	27.1	52.1	10.4	6.3	4.2
	30代	53	32.1	47.2	9.4	5.7	5.7
	40代	84	38.1	41.7	16.7	-	3.6
	50代	79	40.5	45.6	10.1	2.5	1.3
	60代	97	32.0	45.4	14.4	2.1	6.2
70歳以上	166	27.7	51.8	6.0	1.2	13.3	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	38.5	46.2	-	7.7	7.7	

**⑥女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保**

		全体	必要	どちらかとい えは必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	62.7	28.2	2.4	0.5	6.1
性・年代別	女性合計	753	66.4	25.9	1.7	0.3	5.7
	10代・20代	57	70.2	26.3	1.8	-	1.8
	30代	79	82.3	13.9	1.3	-	2.5
	40代	147	72.1	25.9	0.7	-	1.4
	50代	129	69.0	26.4	1.6	-	3.1
	60代	148	67.6	25.0	2.0	-	5.4
	70歳以上	192	52.1	30.7	2.6	1.0	13.5
	無回答	1	-	100.0	-	-	-
	男性合計	527	57.7	31.5	3.4	0.9	6.5
	10代・20代	48	58.3	29.2	8.3	-	4.2
	30代	53	60.4	30.2	1.9	1.9	5.7
	40代	84	67.9	27.4	2.4	-	2.4
	50代	79	68.4	26.6	1.3	2.5	1.3
	60代	97	51.5	39.2	3.1	1.0	5.2
70歳以上	166	50.0	32.5	4.2	0.6	12.7	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	53.8	30.8	-	-	15.4	

**⑦男女別のニーズに配慮した避難所などでの支援マニュアルの充実**

		全体	必要	どちらかとい えは必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	47.1	37.9	7.3	1.2	6.4
性・年代別	女性合計	753	50.1	36.4	6.4	0.9	6.2
	10代・20代	57	59.6	29.8	7.0	1.8	1.8
	30代	79	62.0	29.1	6.3	-	2.5
	40代	147	49.7	41.5	5.4	1.4	2.0
	50代	129	45.0	44.2	7.0	0.8	3.1
	60代	148	54.1	33.1	6.8	0.7	5.4
	70歳以上	192	43.2	34.4	6.3	1.0	15.1
	無回答	1	-	100.0	-	-	-
	男性合計	527	42.9	40.0	8.9	1.7	6.5
	10代・20代	48	39.6	41.7	10.4	4.2	4.2
	30代	53	35.8	47.2	9.4	1.9	5.7
	40代	84	52.4	40.5	4.8	-	2.4
	50代	79	53.2	35.4	7.6	2.5	1.3
	60代	97	40.2	41.2	12.4	1.0	5.2
70歳以上	166	38.0	38.6	9.0	1.8	12.7	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	46.2	38.5	-	-	15.4	

**⑧避難所運営の際の女性リーダーの配置**

		全体	必要	どちらかとい えは必要	あまり必要で はない	必要ない	無回答
全体		1,293	35.0	44.2	12.5	2.6	5.8
性・年代別	女性合計	753	35.3	45.2	12.1	1.7	5.7
	10代・20代	57	28.1	52.6	14.0	3.5	1.8
	30代	79	32.9	45.6	16.5	2.5	2.5
	40代	147	35.4	48.3	12.9	2.0	1.4
	50代	129	34.9	46.5	15.5	-	3.1
	60代	148	36.5	46.6	8.1	2.7	6.1
	70歳以上	192	38.0	38.0	9.9	1.0	13.0
	無回答	1	-	100.0	-	-	-
	男性合計	527	34.3	42.7	13.3	3.8	5.9
	10代・20代	48	20.8	50.0	18.8	6.3	4.2
	30代	53	22.6	35.8	28.3	7.5	5.7
	40代	84	36.9	45.2	14.3	2.4	1.2
	50代	79	38.0	46.8	8.9	5.1	1.3
	60代	97	39.2	45.4	6.2	4.1	5.2
70歳以上	166	36.1	38.0	12.7	1.8	11.4	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	46.2	46.2	-	-	7.7	

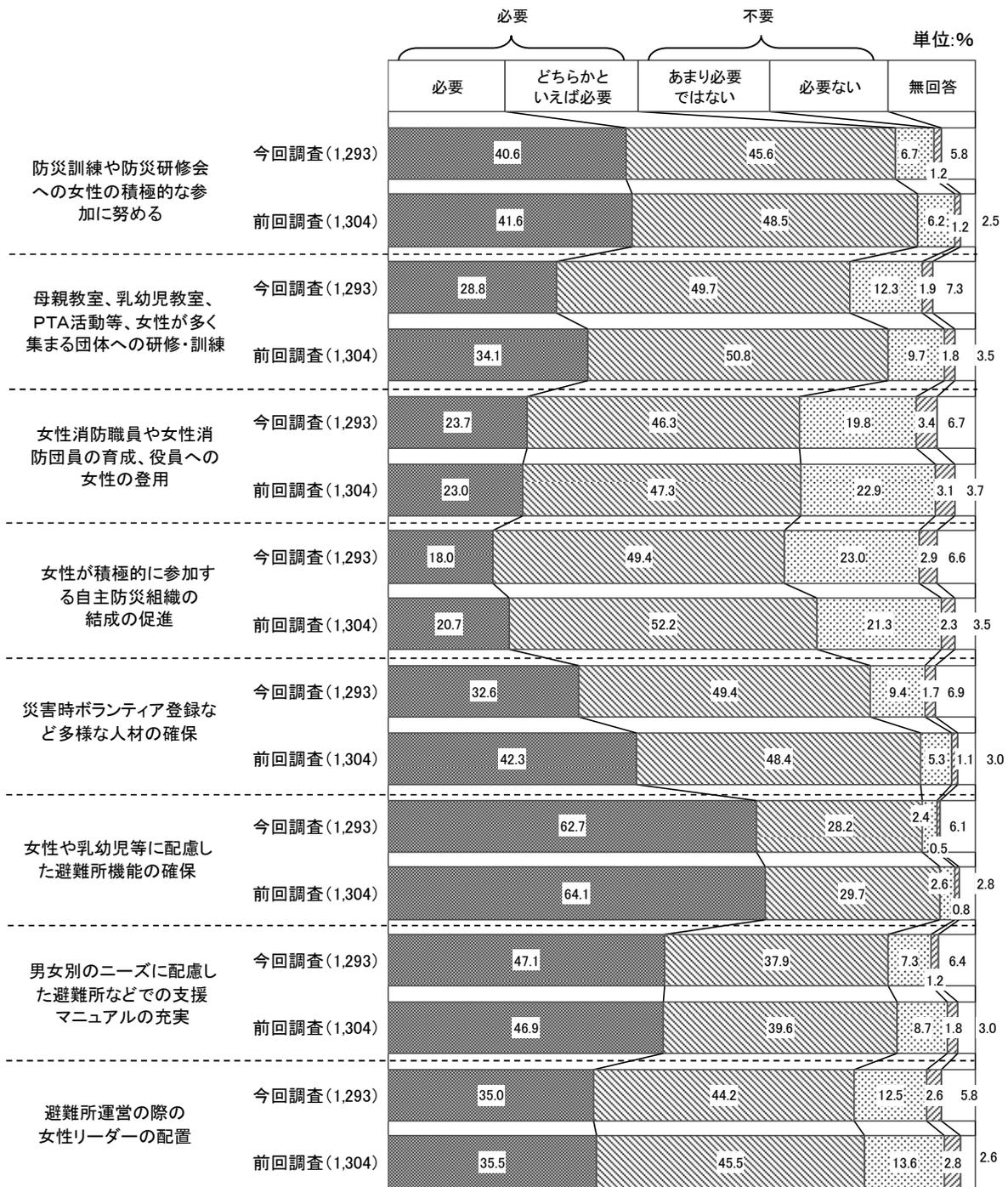
『災害時ボランティア登録など多様な人材の確保』で“必要”の割合が最も高いのは女性40代（89.8%）であり、女性50代（89.2%）が続きます。

『女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保』で「必要」の割合が最も高いのは女性30代（82.3%）であり、女性40代（72.1%）が続きます。

『男女別のニーズに配慮した避難所などでの支援マニュアルの充実』で“必要”の割合が最も高いのは男性40代（92.9%）であり、女性40代（91.2%）が続きます。「必要」の割合が最も高いのは女性30代（62.0%）であり、女性10代・20代（59.6%）が続きます。

『避難所運営の際の女性リーダーの配置』で“必要”の割合が最も高いのは男性50代（84.8%）であり、男性60代（84.6%）が続きます。

▼ 前回調査との比較



● 前回調査との比較

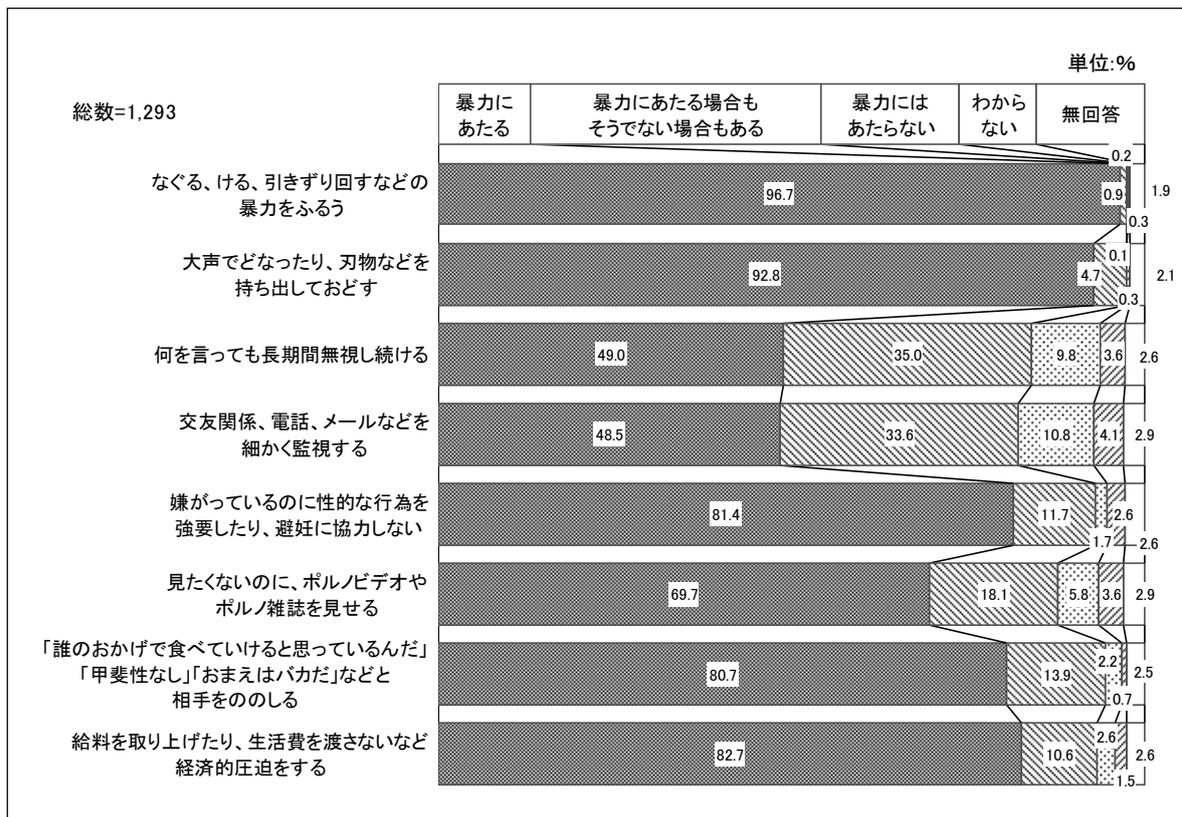
前回調査・今回調査とも“必要”が多数を占めていますが、“必要”の割合は各項目とも前回調査から今回調査にかけて減少しています。『母親教室、乳幼児教室、PTA活動等、女性が多く集まる団体への研修・訓練』『女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促進』『災害時ボランティア登録など多様な人材の確保』では、“必要”が5ポイント以上減少しています。

## 7 人権について

### 問 23 配偶者・パートナー間における暴力行為への考え方

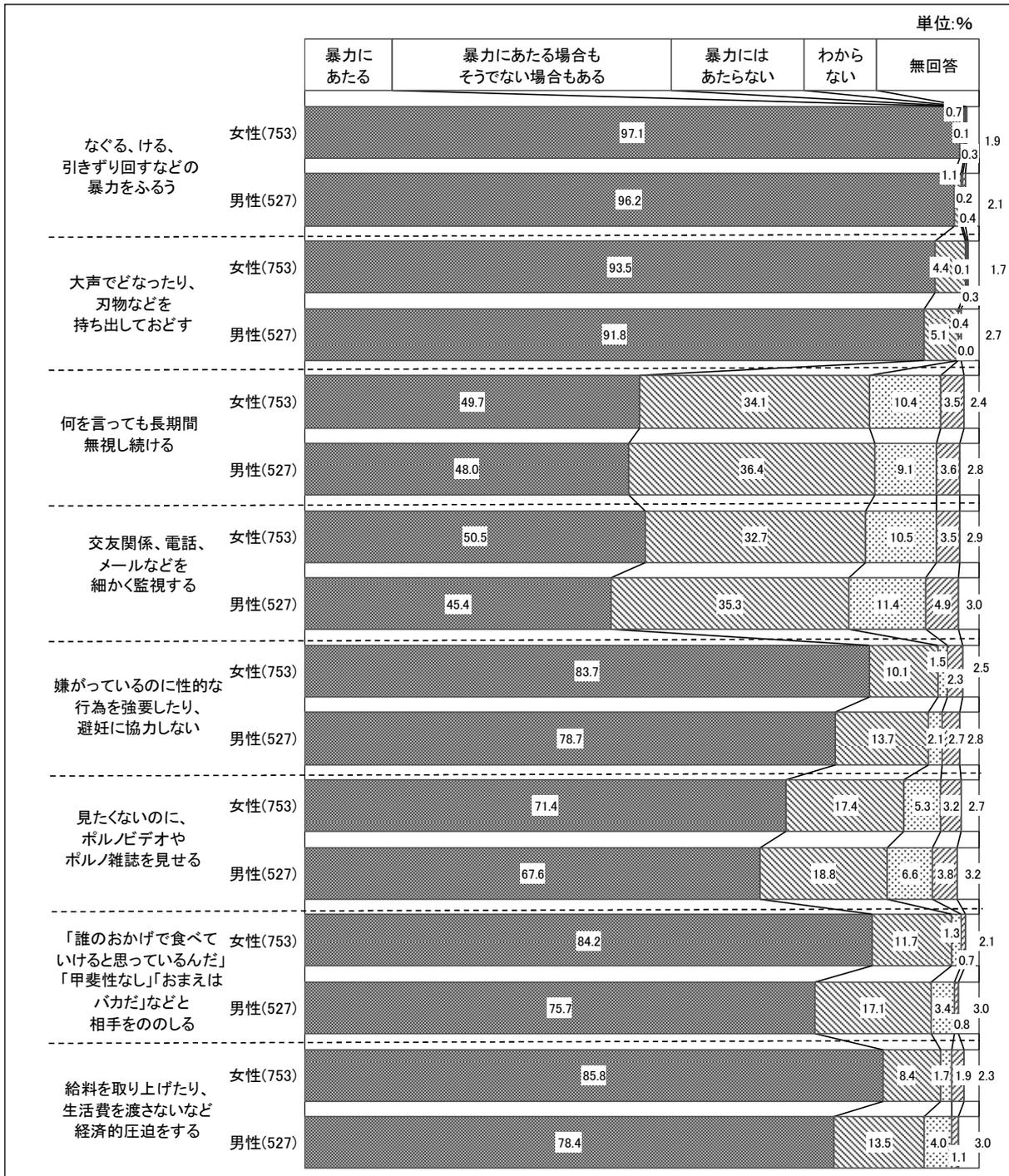
あなたは、次のようなことが配偶者や恋人などパートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。各項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。

(○は各項目に1つずつ)



#### ○全体の傾向

配偶者・パートナーとの間に行われた行為について、『なぐる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるう』『大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす』『嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない』『「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと相手をののしる』『給料を取り上げたり、生活費を渡さないなど経済的圧迫をする』では「暴力にあたる」が8割以上を占めています。一方、『何を言っても長期間無視し続ける』『交友関係、電話、メールなどを細かく監視する』では「暴力にあたる」が5割をやや下回っており、「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」が3割台となっています。



### ○男女別の傾向

『交友関係、電話、メールなどを細かく監視する』『嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない』『「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと相手をののしる』『給料を取り上げたり、生活費を渡さない』では、女性の「暴力にあたる」の割合が男性を5ポイント以上上回っています。

○男女・年代別の傾向

①なぐる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるう

		全体	暴力にあたる	暴力にあたる場合もある	暴力にはあたら ない	わからない	無回答
全体		1,293	96.7	0.9	0.2	0.3	1.9
性・年代別	女性合計	753	97.1	0.7	0.1	0.3	1.9
	10代・20代	57	96.5	3.5	-	-	-
	30代	79	100.0	-	-	-	-
	40代	147	99.3	-	0.7	-	-
	50代	129	99.2	-	-	-	0.8
	60代	148	98.6	-	-	-	1.4
	70歳以上	192	91.7	1.6	-	1.0	5.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	96.2	1.1	0.2	0.4	2.1
	10代・20代	48	95.8	-	-	-	4.2
30代	53	96.2	1.9	-	-	1.9	
40代	84	97.6	2.4	-	-	-	
50代	79	98.7	-	-	-	1.3	
60代	97	97.9	1.0	-	1.0	-	
70歳以上	166	93.4	1.2	0.6	0.6	4.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	92.3	7.7	-	-	-	

②大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす

		全体	暴力にあたる	暴力にあたる場合もある	暴力にはあたら ない	わからない	無回答
全体		1,293	92.8	4.7	0.1	0.3	2.1
性・年代別	女性合計	753	93.5	4.4	0.1	0.3	1.7
	10代・20代	57	93.0	7.0	-	-	-
	30代	79	98.7	1.3	-	-	-
	40代	147	93.9	5.4	0.7	-	-
	50代	129	96.1	3.1	-	-	0.8
	60代	148	95.3	3.4	-	-	1.4
	70歳以上	192	88.0	5.7	-	1.0	5.2
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	91.8	5.1	-	0.4	2.7
	10代・20代	48	93.8	-	-	2.1	4.2
30代	53	92.5	5.7	-	-	1.9	
40代	84	92.9	7.1	-	-	-	
50代	79	92.4	5.1	-	-	2.5	
60代	97	92.8	6.2	-	1.0	-	
70歳以上	166	89.8	4.8	-	-	5.4	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	92.3	7.7	-	-	-	

③何を言っても長期間無視し続ける

		全体	暴力にあたる	暴力にあたる場合もある	暴力にはあたら ない	わからない	無回答
全体		1,293	49.0	35.0	9.8	3.6	2.6
性・年代別	女性合計	753	49.7	34.1	10.4	3.5	2.4
	10代・20代	57	33.3	31.6	29.8	5.3	-
	30代	79	41.8	45.6	7.6	5.1	-
	40代	147	51.7	34.0	8.8	4.8	0.7
	50代	129	62.0	27.1	7.0	3.1	0.8
	60代	148	60.1	29.1	7.4	0.7	2.7
	70歳以上	192	39.6	39.1	11.5	3.6	6.3
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	48.0	36.4	9.1	3.6	2.8
	10代・20代	48	45.8	41.7	6.3	2.1	4.2
30代	53	49.1	41.5	5.7	1.9	1.9	
40代	84	48.8	35.7	13.1	2.4	-	
50代	79	58.2	27.8	8.9	3.8	1.3	
60代	97	53.6	35.1	8.2	3.1	-	
70歳以上	166	39.8	38.6	9.6	5.4	6.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	46.2	30.8	7.7	7.7	7.7	

④交友関係、電話、メールなどを細かく監視する

		全体	暴力にあたる	暴力にあたる場合もある	暴力にはあたら ない	わからない	無回答
全体		1,293	48.5	33.6	10.8	4.1	2.9
性・年代別	女性合計	753	50.5	32.7	10.5	3.5	2.9
	10代・20代	57	35.1	40.4	22.8	1.8	-
	30代	79	45.6	34.2	15.2	5.1	-
	40代	147	55.8	33.3	7.5	3.4	-
	50代	129	60.5	27.1	9.3	2.3	0.8
	60代	148	58.8	31.1	6.8	2.0	1.4
	70歳以上	192	39.6	34.4	10.9	5.2	9.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	45.4	35.3	11.4	4.9	3.0
	10代・20代	48	41.7	31.3	14.6	6.3	6.3
30代	53	41.5	41.5	15.1	-	1.9	
40代	84	41.7	42.9	8.3	7.1	-	
50代	79	60.8	22.8	12.7	2.5	1.3	
60代	97	52.6	33.0	11.3	3.1	-	
70歳以上	166	38.0	38.0	10.2	7.2	6.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	61.5	23.1	7.7	7.7	-	

『なぐる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるう』『大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす』では、男女の大半の年代で「暴力にあたる」が9割以上となっています。

『何を言っても長期間無視し続ける』で「暴力にあたる」の割合が最も高いのは女性50代(62.0%)であり、女性60代(60.1%)が続きます。一方、女性10代・20代のほぼ3割が「暴力にはあたらぬ」と回答しています。

『交友関係、電話、メールなどを細かく監視する』で「暴力にあたる」の割合が最も高いのは男性50代(60.8%)であり、女性50代(60.5%)が続きます。一方、女性10代・20代の22.8%が「暴力にはあたらぬ」と回答しています。

⑤嫌がっているのに性的な行為を強要したり、

避妊に協力しない

		全体	暴力にあたる	暴力にあたる場合もある	暴力にあたる場合もない	わからない	無回答
全体		1,293	81.4	11.7	1.7	2.6	2.6
性・年代別	女性合計	753	83.7	10.1	1.5	2.3	2.5
	10代・20代	57	93.0	7.0	-	-	-
	30代	79	93.7	6.3	-	-	-
	40代	147	90.5	4.1	2.7	2.0	0.7
	50代	129	89.9	8.5	-	0.8	0.8
	60代	148	81.8	14.9	0.7	1.4	1.4
	70歳以上	192	68.8	14.6	3.1	5.7	7.8
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	78.7	13.7	2.1	2.7	2.8
10代・20代	48	85.4	4.2	2.1	4.2	4.2	
30代	53	86.8	11.3	-	-	1.9	
40代	84	84.5	11.9	2.4	1.2	-	
50代	79	81.0	13.9	-	3.8	1.3	
60代	97	85.6	11.3	2.1	1.0	-	
70歳以上	166	66.3	19.3	3.6	4.2	6.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	61.5	23.1	-	15.4	-	

⑥見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌

誌を見せる

		全体	暴力にあたる	暴力にあたる場合もある	暴力にあたる場合もない	わからない	無回答
全体		1,293	69.7	18.1	5.8	3.6	2.9
性・年代別	女性合計	753	71.4	17.4	5.3	3.2	2.7
	10代・20代	57	61.4	28.1	7.0	3.5	-
	30代	79	79.7	15.2	2.5	2.5	-
	40代	147	73.5	17.0	5.4	3.4	0.7
	50代	129	75.2	19.4	2.3	2.3	0.8
	60代	148	79.1	14.9	4.1	0.7	1.4
	70歳以上	192	60.9	16.1	8.9	5.7	8.3
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	67.6	18.8	6.6	3.8	3.2
10代・20代	48	68.8	14.6	6.3	4.2	6.3	
30代	53	77.4	13.2	7.5	-	1.9	
40代	84	77.4	15.5	4.8	2.4	-	
50代	79	67.1	22.8	6.3	2.5	1.3	
60代	97	73.2	20.6	4.1	2.1	-	
70歳以上	166	56.0	20.5	9.0	7.2	7.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	53.8	30.8	-	15.4	-	

⑦「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと相手をののしる

性なし」「おまえはバカだ」などと相手をののしる

		全体	暴力にあたる	暴力にあたる場合もある	暴力にあたる場合もない	わからない	無回答
全体		1,293	80.7	13.9	2.2	0.7	2.5
性・年代別	女性合計	753	84.2	11.7	1.3	0.7	2.1
	10代・20代	57	78.9	17.5	1.8	1.8	-
	30代	79	87.3	12.7	-	-	-
	40代	147	87.8	10.2	2.0	-	-
	50代	129	88.4	9.3	0.8	0.8	0.8
	60代	148	89.2	8.8	0.7	-	1.4
	70歳以上	192	75.0	14.6	2.1	1.6	6.8
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	75.7	17.1	3.4	0.8	3.0
10代・20代	48	75.0	10.4	4.2	4.2	6.3	
30代	53	79.2	15.1	3.8	-	1.9	
40代	84	78.6	21.4	-	-	-	
50代	79	73.4	21.5	2.5	1.3	1.3	
60代	97	83.5	11.3	4.1	1.0	-	
70歳以上	166	69.9	18.7	4.8	-	6.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	76.9	15.4	7.7	-	-	

⑧給料を取り上げたり、生活費を渡さないなど経済的圧迫をする

ど経済的圧迫をする

		全体	暴力にあたる	暴力にあたる場合もある	暴力にあたる場合もない	わからない	無回答
全体		1,293	82.7	10.6	2.6	1.5	2.6
性・年代別	女性合計	753	85.8	8.4	1.7	1.9	2.3
	10代・20代	57	75.4	19.3	3.5	1.8	-
	30代	79	88.6	10.1	-	1.3	-
	40代	147	90.5	6.1	2.7	0.7	-
	50代	129	94.6	3.1	0.8	0.8	0.8
	60代	148	87.2	7.4	0.7	3.4	1.4
	70歳以上	192	77.1	10.4	2.6	2.6	7.3
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	78.4	13.5	4.0	1.1	3.0
10代・20代	48	75.0	8.3	6.3	4.2	6.3	
30代	53	83.0	13.2	1.9	-	1.9	
40代	84	81.0	16.7	2.4	-	-	
50代	79	81.0	11.4	5.1	1.3	1.3	
60代	97	84.5	11.3	3.1	1.0	-	
70歳以上	166	71.7	15.7	4.8	1.2	6.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	76.9	23.1	-	-	-	

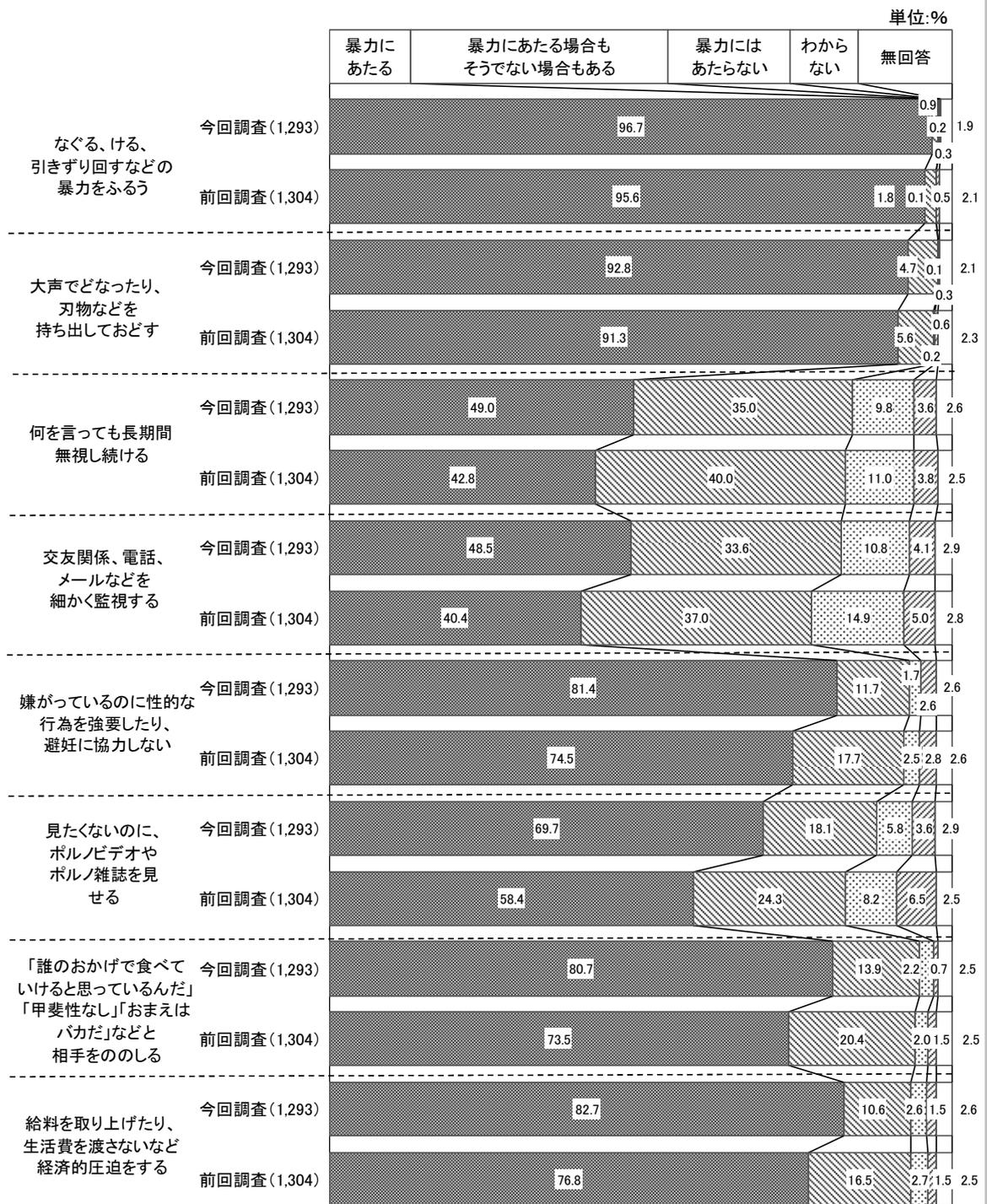
『嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない』で「暴力にあたる」の割合が最も高いのは女性30代（93.7%）であり、女性10代・20代（93.0%）が続きます。

『見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる』で「暴力にあたる」の割合が最も高いのは女性30代（79.7%）であり、女性60代（79.1%）が続きます。

『「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと相手をののしる』で「暴力にあたる」の割合が最も高いのは女性60代（89.2%）であり、女性50代（88.4%）が続きます。

『給料を取り上げたり、生活費を渡さないなど経済的圧迫をする』で「暴力にあたる」の割合が最も高いのは女性50代（94.6%）であり、女性40代（90.5%）が続きます。

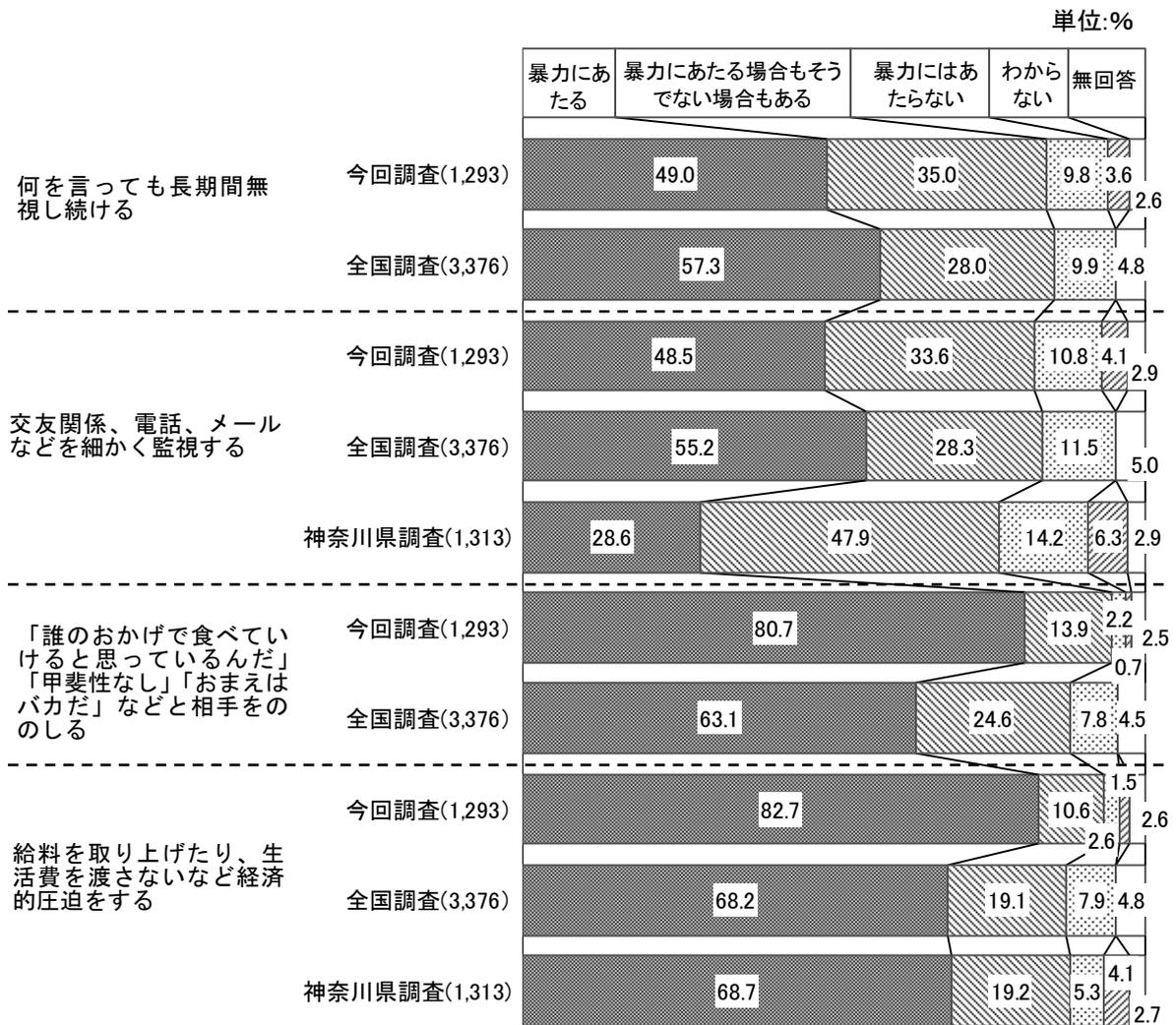
▼ 前回調査との比較



● 前回調査との比較

各行為とも、前回調査から今回調査にかけて「暴力にあたる」の割合が増加しています。特に、今回調査の『見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる』の「暴力にあたる」の割合は、前回調査を11ポイント上回っています。

▼ 他調査との比較



※全国調査では「わからない」なし。  
 ※暴力行為の表現は各調査で一部異なる。

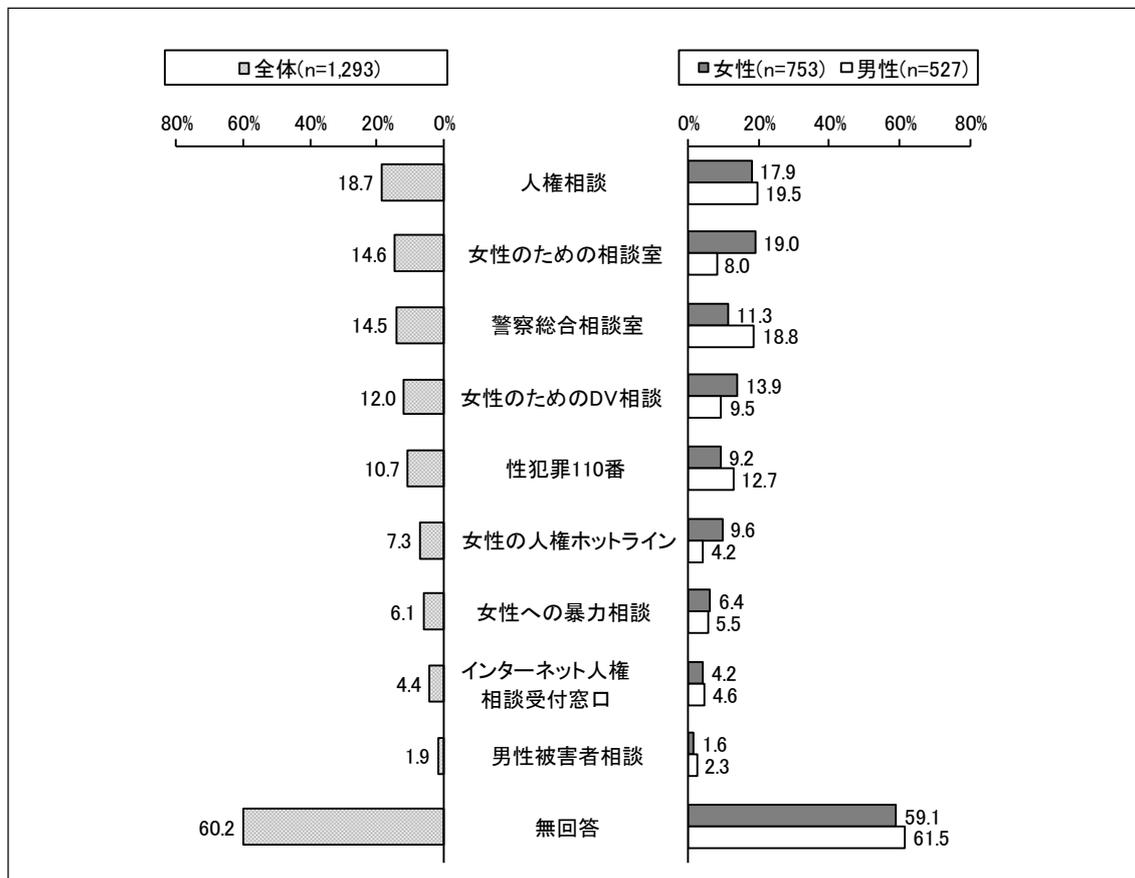
●他調査との比較

『何を言っても長期間無視し続ける』『交友関係、電話、メールなどを細かく監視する』では、今回調査の「暴力にあたる」の割合が全国調査を下回っています。一方、『「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと相手をののしる』『給料を取り上げたり、生活費を渡さないなど経済的圧迫をする』では、今回調査の「暴力にあたる」が8割強であり、全国調査、神奈川県調査の割合を14ポイント以上上回っています。

## 問 24 配偶者・パートナーからの暴力被害等の相談先窓口の認知状況

あなたは、配偶者や恋人などパートナーからの暴力被害等の相談先として次のような窓口を知っていますか。知っている相談先の番号に○をしてください。

(○はあてはまるものすべて)



### ○全体の傾向

「人権相談」が 18.7%で最も高く、次いで「女性のための相談室」(14.6%)、「警察総合相談室」(14.5%)、「女性のためのDV相談」(12.0%)となっています。

### ○男女別の傾向

女性の「女性のための相談室」は 19.0%で最も割合が高くなっているほか、男性を 11 ポイント上回っています。女性の「女性の人権ホットライン」は 9.6%であり、男性を 5 ポイント上回っています。

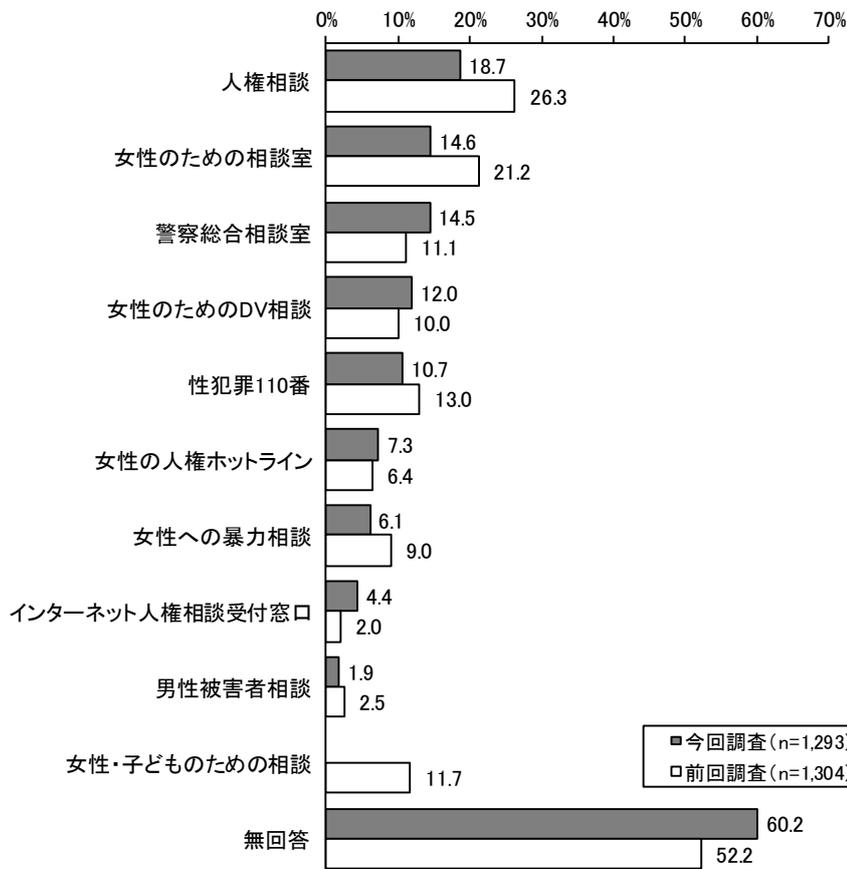
男性の「警察総合相談室」は 18.8%であり、女性を 7 ポイント上回っています。

	全体	女性のための相談室	人権相談	女性のためのDV相談	女性への暴力相談	男性被害者相談	女性の人権ホットライン	インターネット人権相談受付窓口	警察総合相談室	性犯罪110番	無回答			
全体	1,293 100.0	189 14.6	242 18.7	155 12.0	79 6.1	24 1.9	95 7.3	57 4.4	187 14.5	138 10.7	778 60.2			
性・年代別	女性	女性合計	753 100.0	143 19.0	135 17.9	105 13.9	48 6.4	72 9.6	32 4.2	85 11.3	69 9.2	445 59.1		
		10代・20代	57 100.0	6 10.5	1 1.8	10 17.5	4 7.0	-	8 14.0	4 7.0	3 5.3	5 8.8	30 52.6	
		30代	79 100.0	9 11.4	5 6.3	6 7.6	3 3.8	1 1.3	7 8.9	3 3.8	3 3.8	3 3.8	60 75.9	
		40代	147 100.0	24 16.3	25 17.0	26 17.7	8 5.4	4 2.7	19 12.9	10 6.8	13 8.8	10 6.8	90 61.2	
		50代	129 100.0	31 24.0	17 13.2	23 17.8	10 7.8	1 0.8	17 13.2	4 3.1	13 10.1	7 5.4	76 58.9	
		60代	148 100.0	29 19.6	35 23.6	20 13.5	9 6.1	2 1.4	13 8.8	8 5.4	17 11.5	14 9.5	84 56.8	
		70歳以上	192 100.0	43 22.4	51 26.6	19 9.9	13 6.8	4 2.1	7 3.6	2 1.0	36 18.8	30 15.6	105 54.7	
		無回答	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	
		男性	男性合計	527 100.0	42 8.0	103 19.5	50 9.5	29 5.5	12 2.3	22 4.2	24 4.6	99 18.8	67 12.7	324 61.5
			10代・20代	48 100.0	5 10.4	6 12.5	8 16.7	3 6.3	1 2.1	3 6.3	4 8.3	8 16.7	4 8.3	32 66.7
			30代	53 100.0	2 3.8	3 5.7	3 5.7	1 1.9	1 1.9	2 3.8	3 5.7	4 7.5	3 5.7	39 73.6
			40代	84 100.0	4 4.8	9 10.7	8 9.5	1 1.2	-	5 6.0	2 2.4	9 10.7	7 8.3	65 77.4
			50代	79 100.0	8 10.1	15 19.0	11 13.9	7 8.9	4 5.1	6 7.6	6 7.6	14 17.7	12 15.2	49 62.0
			60代	97 100.0	8 8.2	23 23.7	8 8.2	5 5.2	3 3.1	3 3.1	7 7.2	23 23.7	14 14.4	58 59.8
70歳以上	166 100.0		15 9.0	47 28.3	12 7.2	12 7.2	3 1.8	3 1.8	2 1.2	41 24.7	27 16.3	81 48.8		
無回答	- *		- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *		
無回答	13 100.0	4 30.8	4 30.8	-	2 15.4	-	1 7.7	1 7.7	3 23.1	2 15.4	9 69.2			

○男女・年代別の傾向

「人権相談」は男性70歳以上（28.3%）で最も割合が高く、女性70歳以上（26.6%）、男性60代（23.7%）が続きます。「女性のための相談室」は女性50代（24.0%）で、「警察総合相談室」は男性70歳以上（24.7%）で最も割合が高くなっています。

## ▼ 前回調査との比較



※今回調査では「女性・子どものための相談」なし。

※「女性のためのDV相談」は前回調査では「かながわ県民センター窓口「DV相談」」

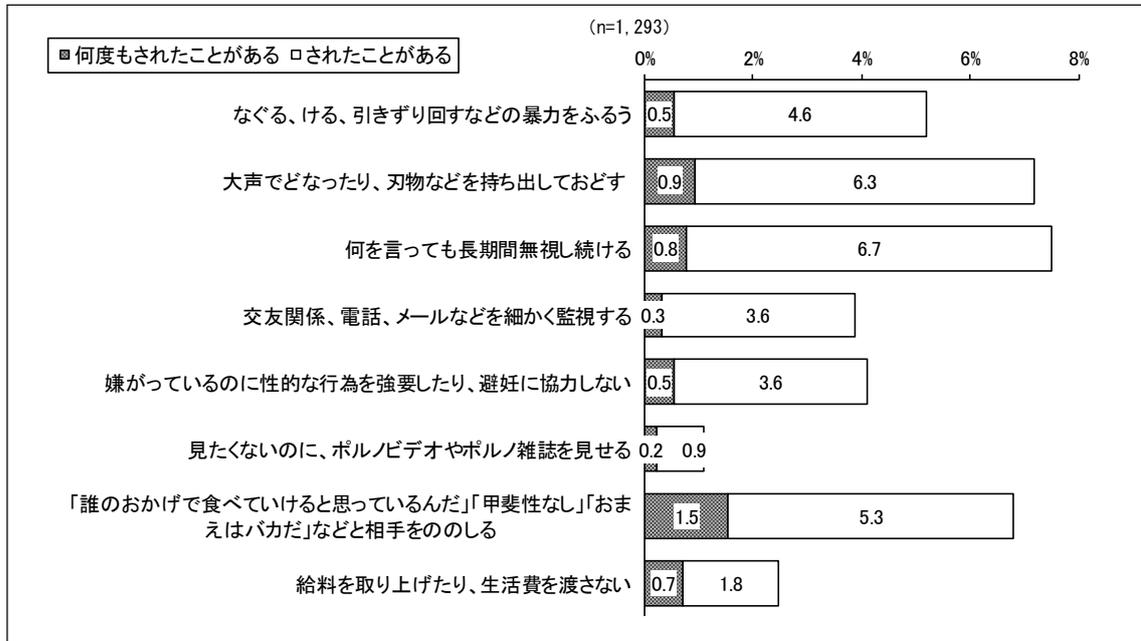
### ● 前回調査との比較

前回調査から今回調査にかけて、「人権相談」の割合が7ポイント、「女性のための相談室」の割合が6ポイント減少しています。

## 問 25 配偶者・パートナー間における暴力の経験

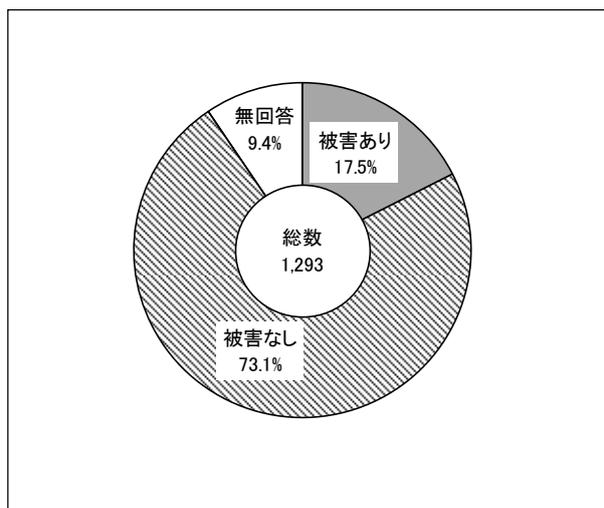
配偶者や恋人などパートナーからの暴力が社会問題になっていますが、次の各項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。  
(○はあてはまるものすべて)

### (1) 被害経験

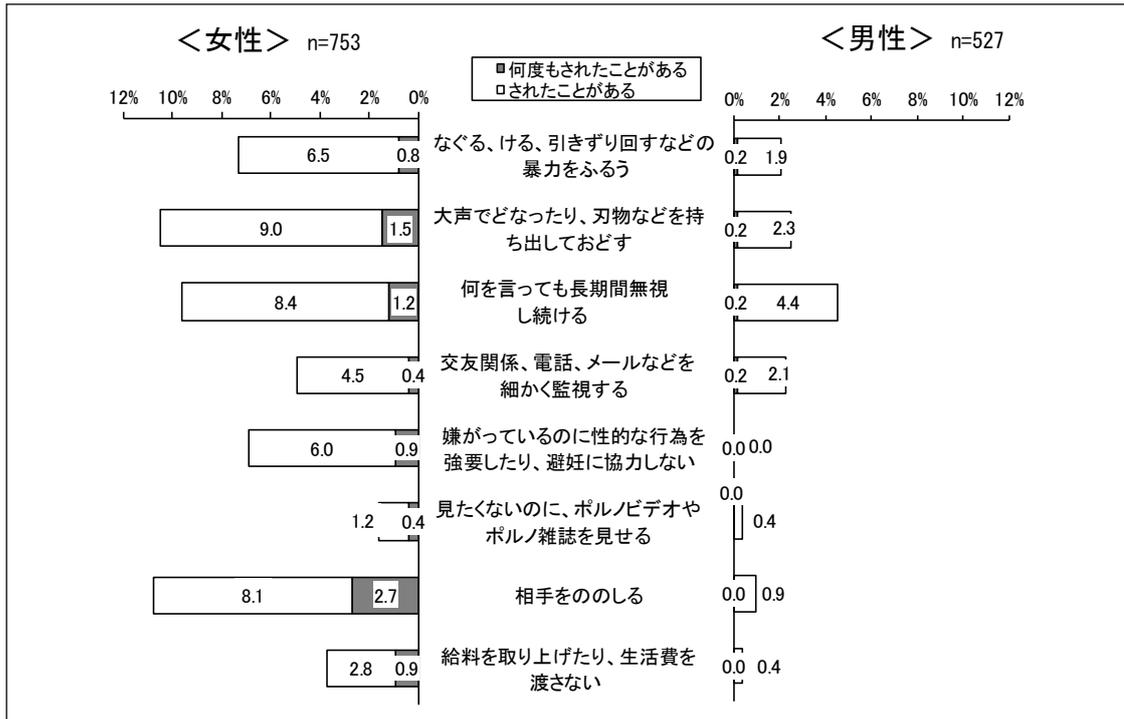


### ○全体の傾向

配偶者・パートナーからの暴力被害の経験について、“被害あり”（「何度もされたことがある」「されたことがある」の合計）はいずれも1割に達していません。



配偶者・パートナーから何らかの暴力被害を受けた（調査票で示した8つの形態の暴力のうち、「何度もされたことがある」「されたことがある」が1つ以上である）と回答している人は、全体の17.5%となっています。



○男女別の傾向

各項目とも、女性の“被害あり”の割合が男性を上回っています。『大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす』『何を言っても長期間無視し続ける』『誰のおかげで食べていけると思っているんだ』『甲斐性なし』『おまえはバカだ』などと相手をののしる』では、女性の“被害あり”の割合が1割前後であり、男性を5ポイント以上上回っています。

○男女・年代別の傾向

①なぐる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるう

②大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす

③何を言っても長期間無視し続ける

性・年代別	全体	被害割合 (%)			
		全体	何度もある	されたこともない	
全体	1,293	0.5	4.6	79.8	
女性	女性合計	753	0.8	6.5	78.9
	10代・20代	57	-	3.5	82.5
	30代	79	-	7.6	74.7
	40代	147	0.7	7.5	80.3
	50代	129	0.8	10.1	80.6
	60代	148	-	2.0	88.5
	70歳以上	192	2.1	6.8	70.3
	無回答	1	-	100.0	-
男性	男性合計	527	0.2	1.9	81.0
	10代・20代	48	-	2.1	79.2
	30代	53	-	5.7	81.1
	40代	84	-	3.6	90.5
	50代	79	-	-	82.3
	60代	97	-	3.1	75.3
	70歳以上	166	0.6	-	79.5
	無回答	-	*	*	*
無回答	13	-	7.7	84.6	

性・年代別	全体	被害割合 (%)			
		全体	何度もある	されたこともない	
全体	1,293	0.9	6.3	76.9	
女性	女性合計	753	1.5	9.0	76.0
	10代・20代	57	-	3.5	84.2
	30代	79	1.3	15.2	69.6
	40代	147	2.7	8.2	77.6
	50代	129	0.8	10.9	79.1
	60代	148	0.7	5.4	85.8
	70歳以上	192	2.1	9.9	65.6
	無回答	1	-	100.0	-
男性	男性合計	527	0.2	2.3	78.2
	10代・20代	48	-	2.1	85.4
	30代	53	-	-	86.8
	40代	84	-	4.8	83.3
	50代	79	-	2.5	75.9
	60代	97	-	5.2	71.1
	70歳以上	166	0.6	-	75.9
	無回答	-	*	*	*
無回答	13	-	7.7	76.9	

性・年代別	全体	被害割合 (%)			
		全体	何度もある	されたこともない	
全体	1,293	0.8	6.7	72.5	
女性	女性合計	753	1.2	8.4	71.8
	10代・20代	57	-	5.3	78.9
	30代	79	3.8	10.1	68.4
	40代	147	1.4	9.5	74.1
	50代	129	-	11.6	76.0
	60代	148	1.4	6.1	76.4
	70歳以上	192	1.0	7.3	63.5
	無回答	1	-	-	-
男性	男性合計	527	0.2	4.4	73.6
	10代・20代	48	-	-	85.4
	30代	53	-	1.9	83.0
	40代	84	1.2	3.6	78.6
	50代	79	-	13.9	67.1
	60代	97	-	4.1	71.1
	70歳以上	166	-	2.4	69.3
	無回答	-	*	*	*
無回答	13	-	7.7	69.2	

『なぐる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるう』で“被害あり”の割合が最も高いのは女性50代（10.9%）であり、女性70歳以上（8.9%）が続きます。

『大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす』で“被害あり”の割合が最も高いのは女性30代（16.5%）であり、女性70歳以上（12.0%）が続きます。

『何を言っても長期間無視し続ける』で“被害あり”の割合が最も高いのは、女性30代と男性50代（それぞれ13.9%）となっています。

**④交友関係、電話、メールなどを細かく監視する**

		全体	何度もされたことがある	されたことがある	されたこともない
全体		1,293	0.3	3.6	81.2
性・年代別	女性合計	753	0.4	4.5	80.7
	10代・20代	57	-	3.5	78.9
	30代	79	-	11.4	75.9
	40代	147	0.7	4.8	83.7
	50代	129	0.8	5.4	85.3
	60代	148	-	1.4	87.2
	70歳以上	192	0.5	3.6	72.9
	無回答	1	-	-	100.0
男性	男性合計	527	0.2	2.1	82.0
	10代・20代	48	2.1	2.1	85.4
	30代	53	-	3.8	83.0
	40代	84	-	3.6	90.5
	50代	79	-	5.1	79.7
	60代	97	-	-	81.4
	70歳以上	166	-	0.6	77.7
	無回答	-	*	*	*
無回答	13	-	7.7	76.9	

**⑤嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない**

		全体	何度もされたことがある	されたことがある	されたこともない
全体		1,293	0.5	3.6	82.0
性・年代別	女性合計	753	0.9	6.0	81.3
	10代・20代	57	1.8	3.5	80.7
	30代	79	2.5	7.6	81.0
	40代	147	0.7	6.8	83.7
	50代	129	-	6.2	87.6
	60代	148	-	3.4	88.5
	70歳以上	192	1.6	6.8	70.3
	無回答	1	-	100.0	-
男性	男性合計	527	-	-	83.1
	10代・20代	48	-	-	85.4
	30代	53	-	-	88.7
	40代	84	-	-	92.9
	50代	79	-	-	86.1
	60代	97	-	-	79.4
	70歳以上	166	-	-	76.5
	無回答	-	*	*	*
無回答	13	-	7.7	76.9	

**⑥見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる**

		全体	何度もされたことがある	されたことがある	されたこともない
全体		1,293	0.2	0.9	85.8
性・年代別	女性合計	753	0.4	1.2	87.8
	10代・20代	57	-	1.8	89.5
	30代	79	1.3	-	93.7
	40代	147	0.7	1.4	90.5
	50代	129	-	2.3	91.5
	60代	148	-	-	92.6
	70歳以上	192	0.5	1.6	76.6
	無回答	1	-	-	100.0
男性	男性合計	527	-	0.4	82.7
	10代・20代	48	-	-	87.5
	30代	53	-	-	86.8
	40代	84	-	1.2	92.9
	50代	79	-	-	87.3
	60代	97	-	1.0	78.4
	70歳以上	166	-	-	75.3
	無回答	-	*	*	*
無回答	13	-	-	92.3	

『交友関係、電話、メールなどを細かく監視する』で“被害あり”の割合が最も高いのは女性30代（11.4%）であり、女性50代（6.2%）が続きます。

『嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない』で“被害あり”の割合が最も高いのは女性30代（10.1%）であり、女性70歳以上（8.3%）が続きます。

『見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる』の“被害あり”の割合は、各年代とも3%未満です。

⑦「誰のおかげで食べていけると思っ  
ているんだ」「甲斐性なし」「おまえ  
はバカだ」などと相手をののしる

		全体	何 度も され たこ とが ある	さ れ た こ と が あ る	し た こ と も な い 、 し た こ と も あ い
全体		1,293	1.5	5.3	77.6
性・ 年 代 別	女性合計	753	2.7	8.1	76.8
	10代・20代	57	-	10.5	75.4
	30代	79	3.8	3.8	86.1
	40代	147	4.1	4.8	81.0
	50代	129	1.6	10.9	78.3
	60代	148	2.0	6.8	83.8
	70歳以上	192	3.1	10.4	64.1
	無回答	1	-	100.0	-
	男性合計	527	-	0.9	79.3
	10代・20代	48	-	2.1	83.3
	30代	53	-	1.9	84.9
	40代	84	-	-	90.5
	50代	79	-	2.5	74.7
60代	97	-	-	77.3	
70歳以上	166	-	0.6	74.1	
無回答	-	*	*	*	
無回答	13	-	15.4	61.5	

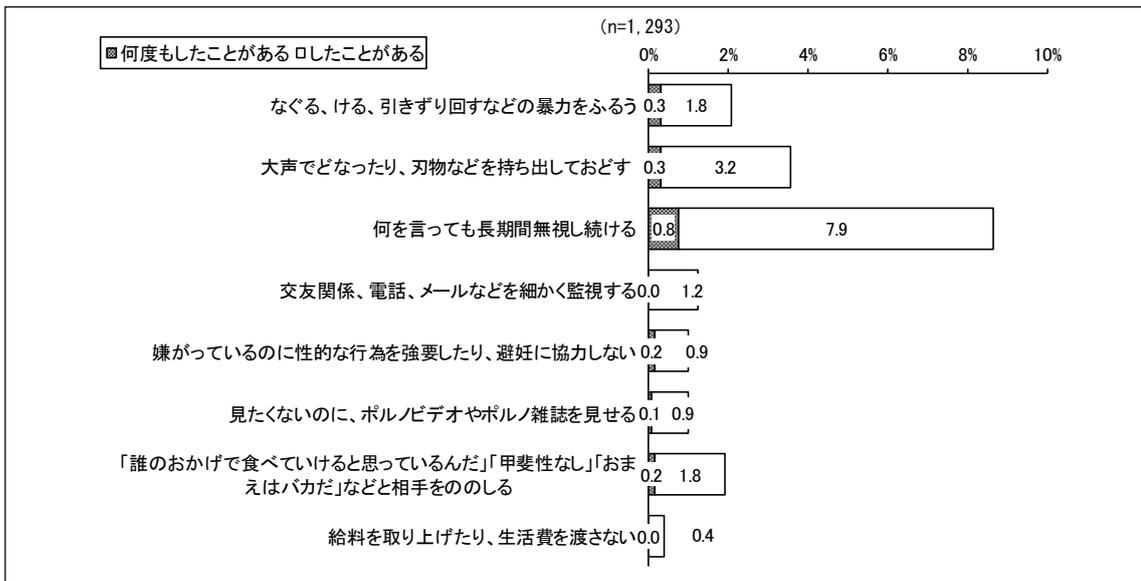
⑧給料を取り上げたり、生活  
費を渡さない

		全体	何 度も され たこ とが ある	さ れ た こ と が あ る	し た こ と も な い 、 し た こ と も あ い
全体		1,293	0.7	1.8	84.1
性・ 年 代 別	女性合計	753	0.9	2.8	85.0
	10代・20代	57	-	-	89.5
	30代	79	-	5.1	87.3
	40代	147	2.7	0.7	88.4
	50代	129	0.8	3.1	88.4
	60代	148	0.7	4.7	88.5
	70歳以上	192	0.5	2.6	75.0
	無回答	1	-	-	100.0
	男性合計	527	-	0.4	83.3
	10代・20代	48	-	-	87.5
	30代	53	-	-	86.8
	40代	84	-	-	90.5
	50代	79	-	1.3	81.0
60代	97	-	-	80.4	
70歳以上	166	-	0.6	80.1	
無回答	-	*	*	*	
無回答	13	15.4	-	69.2	

『「誰のおかげで食べていけると思っ  
ているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと  
相手をののしる』で“被害あり”の割合が最も高いのは女性 70 歳以上 (13.5%) であり、  
女性 50 代 (12.4%) が続きます。

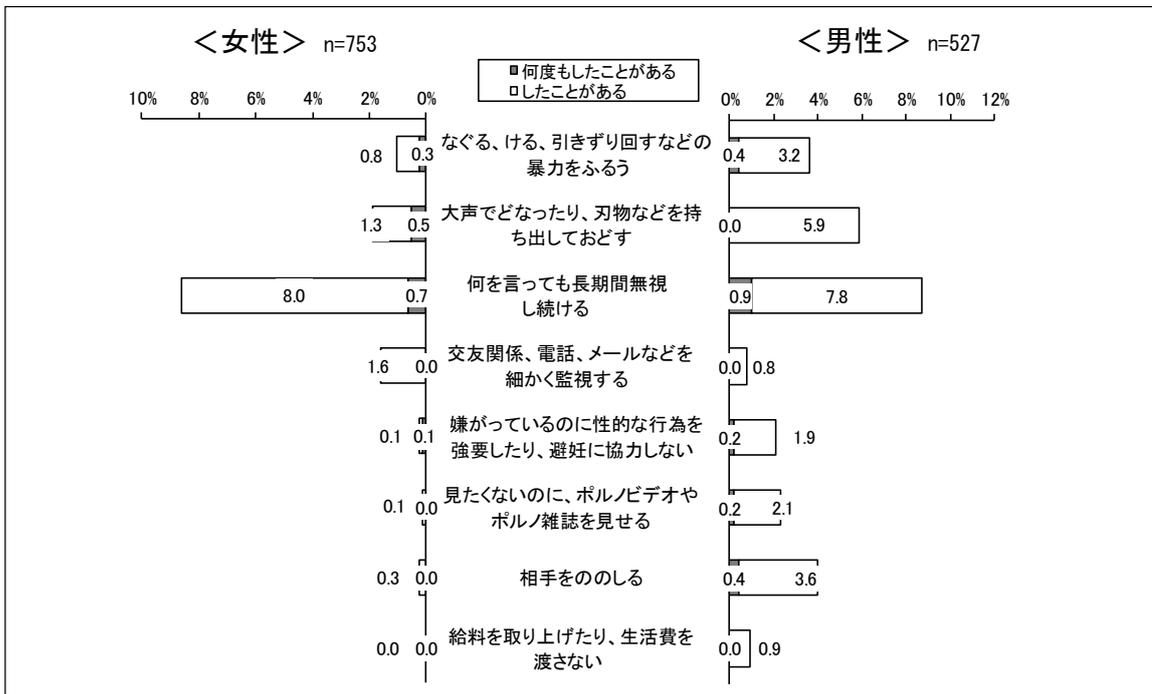
『給料を取り上げたり、生活費を渡さない』で“被害あり”の割合が最も高いのは女性 60  
代 (5.4%) であり、女性 30 代 (5.1%) が続きます。

## (2) 加害経験



### ○全体の傾向

配偶者・パートナーからの暴力加害の経験について、“加害あり”（「何度もしたことがある」「したことがある」の合計）は『何を言っても長期間無視し続ける』（8.7%）を除き5%に達していません。



### ○男女別の傾向

『何を言っても長期間無視し続ける』『交友関係、電話、メールなどを細かく監視する』を除く各項目とも、男性の“加害あり”の割合が女性を上回っています。『何を言っても長期間無視し続ける』では、男女とも“加害あり”が1割に近くなっています。

○男女・年代別の傾向

①なぐる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるう

		全体	何度もしたことがある	したことがある	されたことも、したこともない
全体		1,293	0.3	1.8	79.8
性・年代別	女性合計	753	0.3	0.8	78.9
	10代・20代	57	-	-	82.5
	30代	79	-	2.5	74.7
	40代	147	0.7	0.7	80.3
	50代	129	-	1.6	80.6
	60代	148	-	-	88.5
	70歳以上	192	0.5	0.5	70.3
	無回答	1	-	-	-
男性合計	527	0.4	3.2	81.0	
10代・20代	48	2.1	-	79.2	
30代	53	-	3.8	81.1	
40代	84	-	2.4	90.5	
50代	79	-	5.1	82.3	
60代	97	-	6.2	75.3	
70歳以上	166	0.6	1.8	79.5	
無回答	-	*	*	*	
無回答	13	-	-	84.6	

④交友関係、電話、メールなどを細かく監視する

		全体	何度もしたことがある	したことがある	されたことも、したこともない
全体		1,293	-	1.2	81.2
性・年代別	女性合計	753	-	1.6	80.7
	10代・20代	57	-	-	78.9
	30代	79	-	3.8	75.9
	40代	147	-	2.0	83.7
	50代	129	-	3.1	85.3
	60代	148	-	1.4	87.2
	70歳以上	192	-	-	72.9
	無回答	1	-	-	100.0
男性合計	527	-	0.8	82.0	
10代・20代	48	-	-	85.4	
30代	53	-	-	83.0	
40代	84	-	1.2	90.5	
50代	79	-	-	79.7	
60代	97	-	1.0	81.4	
70歳以上	166	-	1.2	77.7	
無回答	-	*	*	*	
無回答	13	-	-	76.9	

②大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす

		全体	何度もしたことがある	したことがある	されたことも、したこともない
全体		1,293	0.3	3.2	76.9
性・年代別	女性合計	753	0.5	1.3	76.0
	10代・20代	57	-	-	84.2
	30代	79	1.3	3.8	69.6
	40代	147	0.7	1.4	77.6
	50代	129	-	2.3	79.1
	60代	148	-	0.7	85.8
	70歳以上	192	1.0	0.5	65.6
	無回答	1	-	-	-
男性合計	527	-	5.9	78.2	
10代・20代	48	-	-	85.4	
30代	53	-	-	86.8	
40代	84	-	8.3	83.3	
50代	79	-	10.1	75.9	
60代	97	-	8.2	71.1	
70歳以上	166	-	4.8	75.9	
無回答	-	*	*	*	
無回答	13	-	7.7	76.9	

⑤嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない

		全体	何度もしたことがある	したことがある	されたことも、したこともない
全体		1,293	0.2	0.9	82.0
性・年代別	女性合計	753	0.1	0.1	81.3
	10代・20代	57	-	-	80.7
	30代	79	-	-	81.0
	40代	147	-	-	83.7
	50代	129	-	-	87.6
	60代	148	-	0.7	88.5
	70歳以上	192	0.5	-	70.3
	無回答	1	-	-	-
男性合計	527	0.2	1.9	83.1	
10代・20代	48	-	2.1	85.4	
30代	53	-	-	88.7	
40代	84	-	-	92.9	
50代	79	-	1.3	86.1	
60代	97	-	3.1	79.4	
70歳以上	166	0.6	3.0	76.5	
無回答	-	*	*	*	
無回答	13	-	-	76.9	

③何を言っても長期間無視し続ける

		全体	何度もしたことがある	したことがある	されたことも、したこともない
全体		1,293	0.8	7.9	72.5
性・年代別	女性合計	753	0.7	8.0	71.8
	10代・20代	57	1.8	1.8	78.9
	30代	79	-	13.9	68.4
	40代	147	0.7	7.5	74.1
	50代	129	-	9.3	76.0
	60代	148	-	9.5	76.4
	70歳以上	192	1.6	5.2	63.5
	無回答	1	-	100.0	-
男性合計	527	0.9	7.8	73.6	
10代・20代	48	-	2.1	85.4	
30代	53	-	3.8	83.0	
40代	84	3.6	9.5	78.6	
50代	79	-	7.6	67.1	
60代	97	1.0	9.3	71.1	
70歳以上	166	0.6	9.0	69.3	
無回答	-	*	*	*	
無回答	13	-	7.7	69.2	

⑥見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

		全体	何度もしたことがある	したことがある	されたことも、したこともない
全体		1,293	0.1	0.9	85.8
性・年代別	女性合計	753	-	0.1	87.8
	10代・20代	57	-	-	89.5
	30代	79	-	-	93.7
	40代	147	-	-	90.5
	50代	129	-	-	91.5
	60代	148	-	0.7	92.6
	70歳以上	192	-	-	76.6
	無回答	1	-	-	100.0
男性合計	527	0.2	2.1	82.7	
10代・20代	48	-	2.1	87.5	
30代	53	-	-	86.8	
40代	84	-	-	92.9	
50代	79	-	-	87.3	
60代	97	-	3.1	78.4	
70歳以上	166	0.6	4.2	75.3	
無回答	-	*	*	*	
無回答	13	-	-	92.3	

『なぐる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるう』で“加害あり”の割合が最も高いのは男性60代(6.2%)であり、男性50代(5.1%)が続きます。

『大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす』で“加害あり”の割合が最も高いのは男性50代(10.1%)であり、男性40代(8.3%)が続きます。

『何を言っても長期間無視し続ける』で“加害あり”の割合が最も高いのは女性30代(13.9%)であり、男性40代(13.1%)が続きます。

『交友関係、電話、メールなどを細かく監視する』『嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない』『見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる』の“加害

あり”の割合は、各年代とも5%未満です。

⑦「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと相手をののしる

		全体	何 度 も し た こ と が あ る	し た こ と が あ る	さ れ た こ と も な い		
全体		1,293	0.2	1.8	77.6		
性・年代別	女性	女性合計	753	-	0.3	76.8	
		10代・20代	57	-	-	75.4	
		30代	79	-	-	86.1	
		40代	147	-	0.7	81.0	
		50代	129	-	0.8	78.3	
		60代	148	-	-	83.8	
		70歳以上	192	-	-	64.1	
		無回答	1	-	-	-	
		男性	男性合計	527	0.4	3.6	79.3
		10代・20代	48	-	-	83.3	
	30代	53	-	1.9	84.9		
	40代	84	-	2.4	90.5		
	50代	79	-	7.6	74.7		
	60代	97	1.0	3.1	77.3		
	70歳以上	166	0.6	4.2	74.1		
	無回答	-	*	*	*		
無回答		13	-	15.4	61.5		

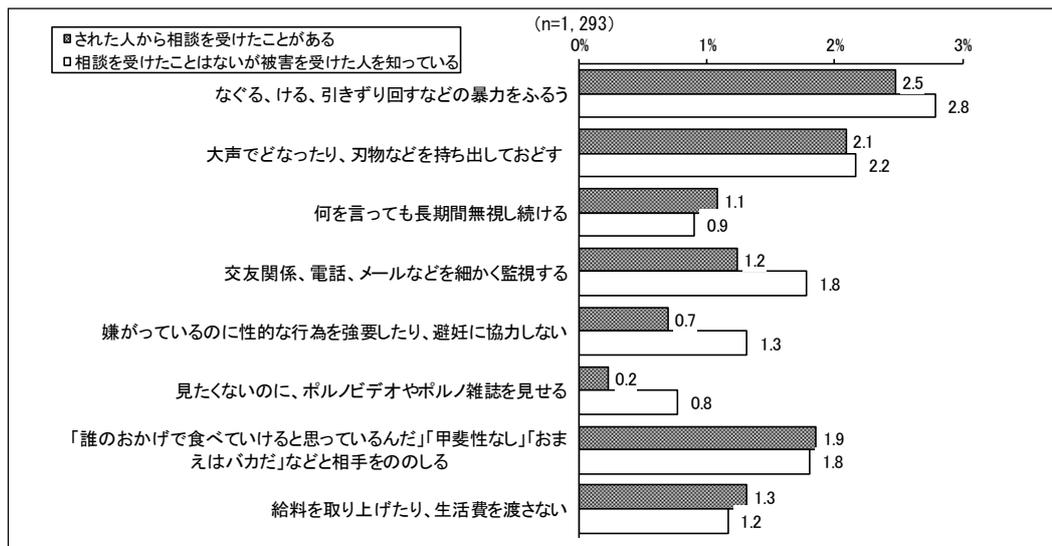
⑧給料を取り上げたり、生活費を渡さない

		全体	何 度 も し た こ と が あ る	し た こ と が あ る	さ れ た こ と も な い		
全体		1,293	-	0.4	84.1		
性・年代別	女性	女性合計	753	-	85.0		
		10代・20代	57	-	89.5		
		30代	79	-	87.3		
		40代	147	-	88.4		
		50代	129	-	88.4		
		60代	148	-	88.5		
		70歳以上	192	-	75.0		
		無回答	1	-	100.0		
		男性	男性合計	527	-	0.9	83.3
		10代・20代	48	-	-	87.5	
	30代	53	-	-	86.8		
	40代	84	-	2.4	90.5		
	50代	79	-	2.5	81.0		
	60代	97	-	1.0	80.4		
	70歳以上	166	-	-	80.1		
	無回答	-	*	*	*		
無回答		13	-	-	69.2		

『「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと相手をののしる』で“加害あり”の割合が最も高いのは男性50代（7.6%）であり、男性70歳以上（4.8%）が続きます。

『給料を取り上げたり、生活費を渡さない』の“加害あり”の割合は、各年代とも3%未満です。

(3) 相談



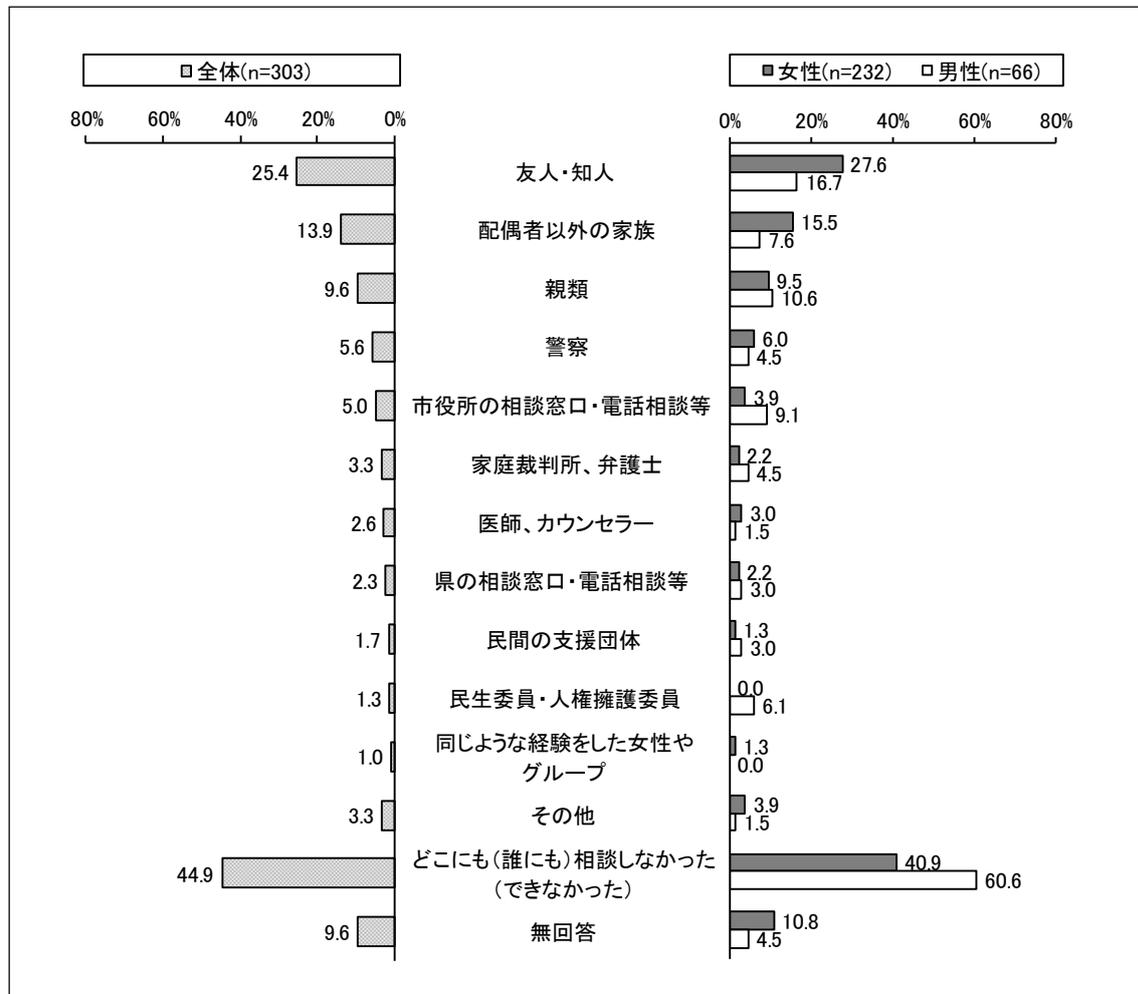
○全体の傾向

配偶者・パートナーからの暴力被害について、被害者から相談を受けたり、被害者を知っているという回答は、いずれも5%に達していません。

## 問 25-1 どこに（誰に）相談したか

問25で「何度もされたことがある」「されたことがある」「された人から相談を受けたことがある」「相談を受けたことはないが、被害を受けた人を知っている」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。

そのとき、あなたはどこに（誰に）相談しましたか。（○はあてはまるものすべて）



### ○全体の傾向

配偶者や恋人などパートナーから何らかの暴力被害を受けたと回答している人に対して、その暴力についての相談先を聞いたところ、相談先として「友人・知人」が 25.4%、「配偶者以外の家族」が 13.9%、「親類」が 9.6%、「警察」が 5.6%となっています。

なお、「どこにも（誰にも）相談しなかった（できなかった）」が 44.9%であり、被害のことを誰にも相談していない人が全体の 4 割台半ばを占めています。

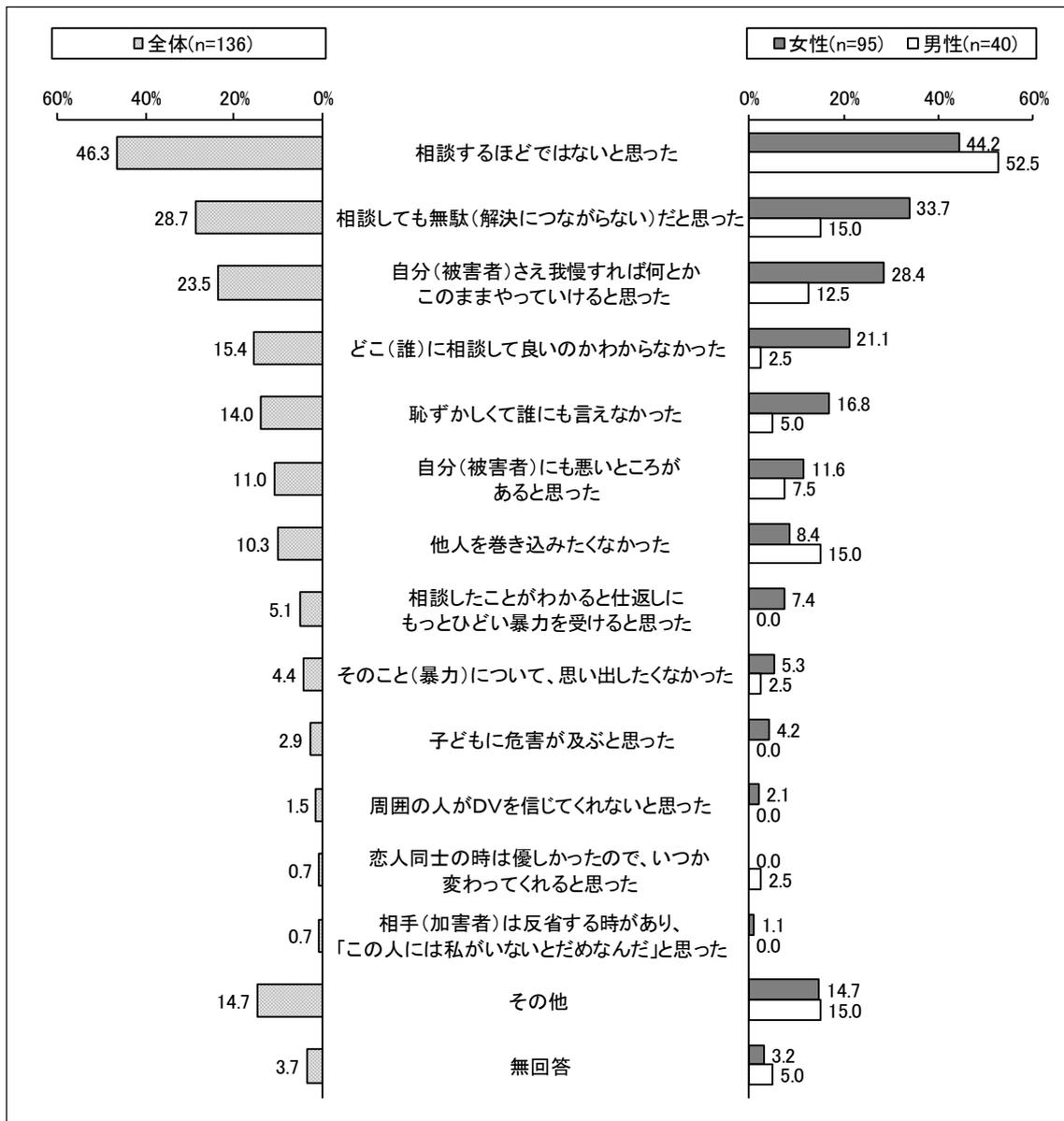
### ○男女別の傾向

女性の「友人・知人」は 27.6%、「配偶者以外の家族」は 15.5%であり、男性を 7 ポイント以上上回っています。一方、男性の「どこにも（誰にも）相談しなかった（できなかった）」は 60.6%であり、女性を 19 ポイント上回っています。

## 問 25-2 相談しなかった（できなかつた）理由

問25-1で「どこにも（誰にも）相談しなかった（できなかつた）」に○をつけた方にお伺いします。

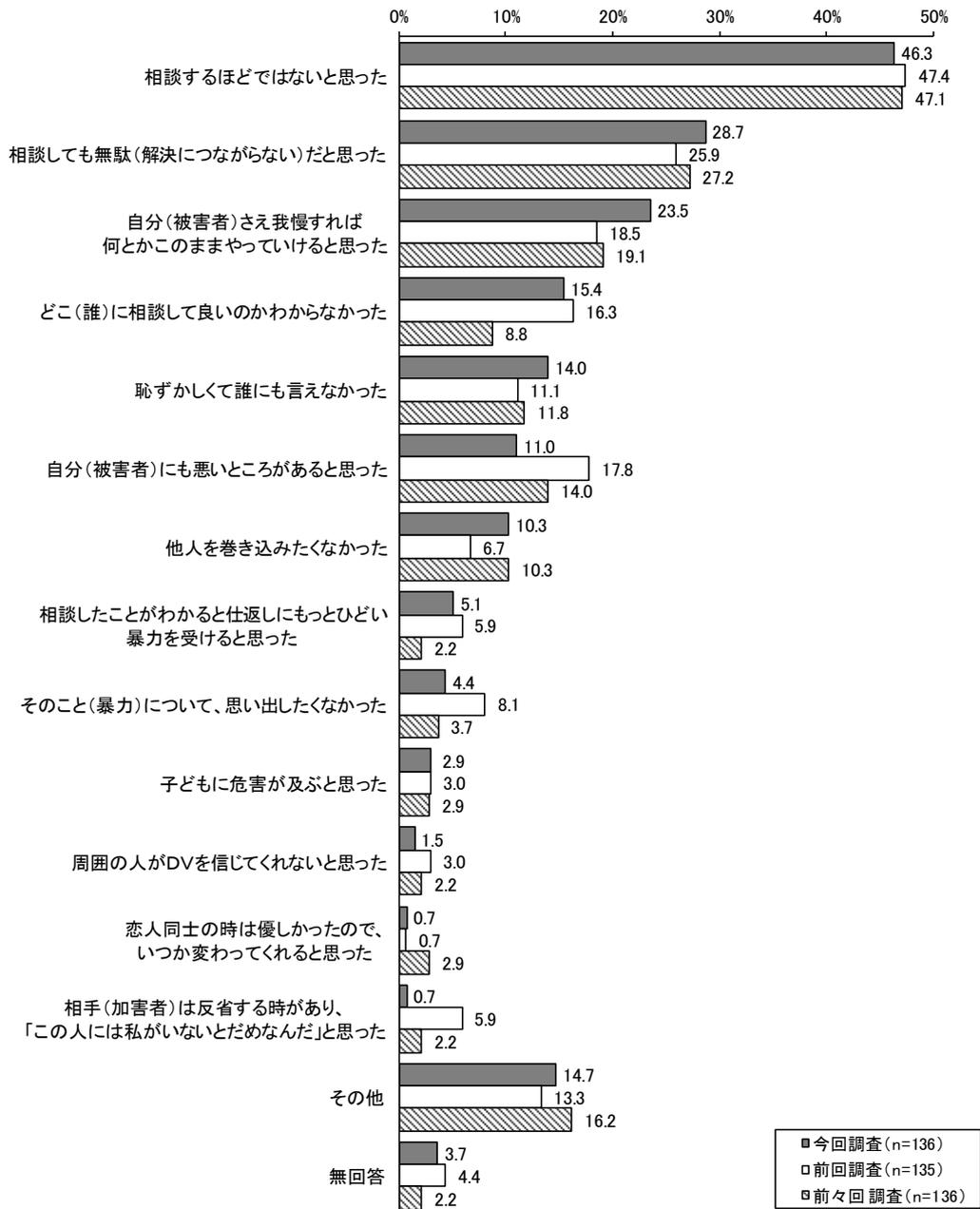
相談しなかった（できなかつた）のはなぜですか。（○はあてはまるものすべて）



### ○全体の傾向

配偶者や恋人などパートナーからの暴力被害を相談しなかったと回答している人に対してその理由を聞いたところ、「相談するほどではないと思った」が46.3%で最も高く、次いで「相談しても無駄（解決につながらない）だと思った」（28.7%）、「自分（被害者）さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思った」（23.5%）、「どこ（誰）に相談して良いのかわからなかった」（15.4%）となっています。

## ▼ 前回、前々回調査との比較



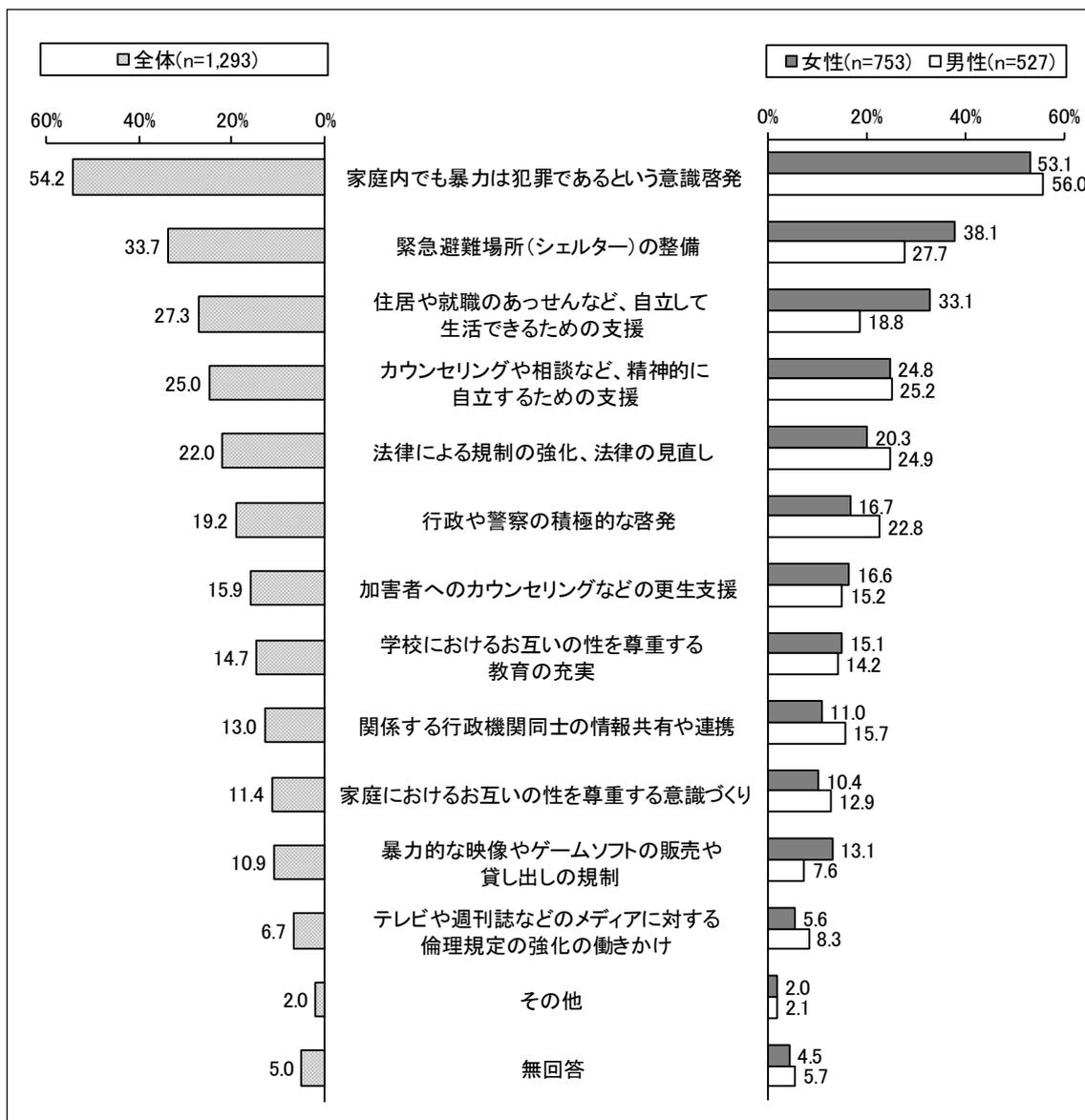
### ● 前回、前々回調査との比較

前々回調査・前回調査・今回調査とも「相談するほどではないと思った」が5割弱で最も高くなっています。

前回調査から今回調査にかけて「自分(被害者)さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思った」の割合が5ポイント増加しています。一方、前回調査から今回調査にかけて「自分(被害者)にも悪いところがあると思った」「相手(加害者)は反省する時があり、「この人には私がないとだめなんだ」と思った」の割合が5ポイント以上減少しています。

## 問 26 暴力の防止や被害者支援のために必要なこと

あなたは、配偶者や恋人などパートナーからの暴力の防止や被害者支援のために、どのような対策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)



### ○全体の傾向

「家庭内でも暴力は犯罪であるという意識啓発」が54.2%で最も高く、次いで「緊急避難場所(シェルター)の整備」(33.7%)、「住居や就職のあっせんなど、自立して生活できるための支援」(27.3%)、「カウンセリングや相談など、精神的に自立するための支援」(25.0%)となっています。

### ○男女別の傾向

女性の「緊急避難場所(シェルター)の整備」は38.1%、「住居や就職のあっせんなど、自立して生活できるための支援」は33.1%、「暴力的な映像やゲームソフトの販売や貸し出

しの規制」は13.1%であり、いずれも男性を5ポイント以上上回っています。一方、男性の「行政や警察の積極的な啓発」は22.8%であり、女性を6ポイント上回っています。

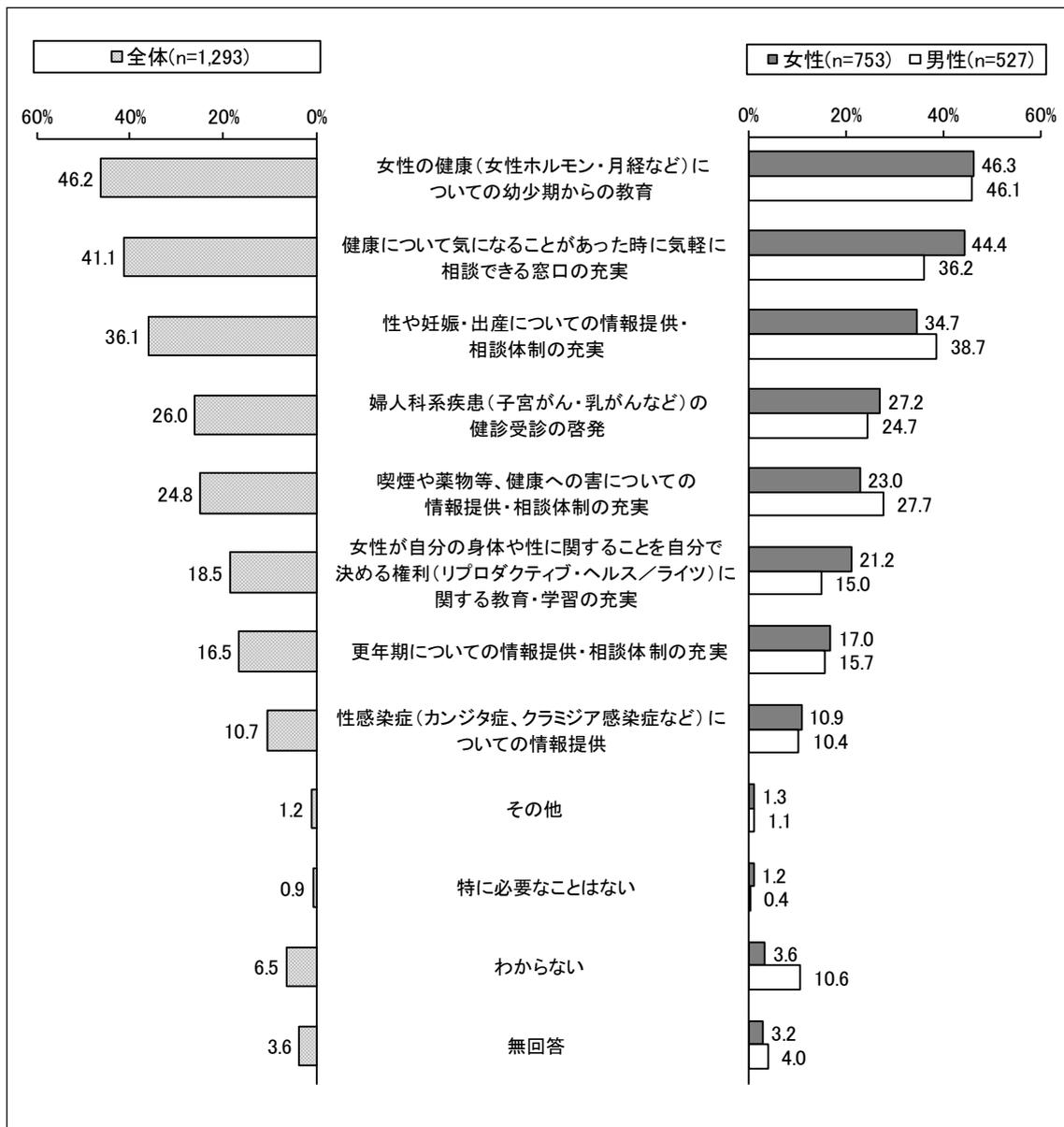
	全体	家庭内でも暴力は犯罪であるという意識啓発	緊急避難場所（シェルター）の整備	住居や就職のあっせんなど、自立して生活できるための支援	カウンセリングや相談など、精神的に自立するための支援	加害者へのカウンセリングなどの更生支援	家庭におけるお互いの性を尊重する意識づくり	学校におけるお互いの性を尊重する教育の充実	行政や警察の積極的な啓発	関係する行政機関同士の情報共有や連携	法律による規制の強化、法律の見直し	テレビや週刊誌などのメディアに対する倫理規定の強化の働きかけ	暴力的な映像やゲームソフトの販売や貸し出しの規制	その他	無回答	
全体	1,293 100.0	701 54.2	436 33.7	353 27.3	323 25.0	206 15.9	148 11.4	190 14.7	248 19.2	168 13.0	285 22.0	87 6.7	141 10.9	26 2.0	65 5.0	
性・年代別	女性合計	753 100.0	400 53.1	287 38.1	249 33.1	187 24.8	125 16.6	78 10.4	114 15.1	126 16.7	83 11.0	153 20.3	42 5.6	99 13.1	15 2.0	34 4.5
	10代・20代	57 100.0	27 47.4	19 33.3	17 29.8	11 19.3	9 15.8	9 15.8	11 19.3	14 24.6	11 19.3	18 31.6	4 7.0	1 1.8	-	1 1.8
	30代	79 100.0	29 36.7	40 50.6	24 30.4	21 26.6	10 12.7	11 13.9	17 21.5	14 17.7	7 8.9	18 22.8	4 5.1	8 10.1	2 2.5	3 3.8
	40代	147 100.0	75 51.0	62 42.2	46 31.3	43 29.3	37 25.2	14 9.5	22 15.0	21 14.3	11 7.5	38 25.9	4 2.7	19 12.9	2 1.4	4 2.7
	50代	129 100.0	71 55.0	59 45.7	48 37.2	29 22.5	25 19.4	9 7.0	16 12.4	23 17.8	12 9.3	33 25.6	6 4.7	11 8.5	3 2.3	5 3.9
	60代	148 100.0	85 57.4	59 39.9	54 36.5	44 29.7	24 16.2	15 10.1	22 14.9	23 15.5	18 12.2	24 16.2	10 6.8	26 17.6	-	2 1.4
	70歳以上	192 100.0	112 58.3	48 25.0	60 31.3	39 20.3	20 10.4	20 10.4	26 13.5	31 16.1	24 12.5	21 10.9	14 7.3	34 17.7	7 3.6	19 9.9
	無回答	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-
	男性合計	527 100.0	295 56.0	146 27.7	99 18.8	133 25.2	80 15.2	68 12.9	75 14.2	120 22.8	83 15.7	131 24.9	44 8.3	40 7.6	11 2.1	30 5.7
10代・20代	48 100.0	29 60.4	16 33.3	6 12.5	12 25.0	6 12.5	10 20.8	8 16.7	6 12.5	6 16.7	8 37.5	3 6.3	-	-	2 4.2	
30代	53 100.0	25 47.2	19 35.8	12 22.6	16 30.2	8 15.1	8 15.1	6 11.3	10 18.9	12 22.6	13 24.5	5 9.4	3 5.7	1 1.9	2 3.8	
40代	84 100.0	45 53.6	24 28.6	17 20.2	15 17.9	18 21.4	6 7.1	10 11.9	25 29.8	12 14.3	25 29.8	8 9.5	4 4.8	3 3.6	3 3.6	
50代	79 100.0	44 55.7	25 31.6	10 12.7	19 24.1	12 15.2	10 12.7	13 16.5	20 25.3	14 17.7	21 26.6	7 8.9	5 6.3	2 2.5	5 6.3	
60代	97 100.0	55 56.7	29 29.9	18 18.6	26 26.8	14 14.4	13 13.4	16 16.5	21 21.6	15 15.5	19 19.6	8 8.2	13 13.4	3 3.1	5 5.2	
70歳以上	166 100.0	97 58.4	33 19.9	36 21.7	45 27.1	22 13.3	21 12.7	22 13.3	38 22.9	22 13.3	35 21.1	13 7.8	15 9.0	2 1.2	13 7.8	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	13 100.0	6 46.2	3 23.1	5 38.5	3 23.1	1 7.7	2 15.4	1 7.7	2 15.4	2 15.4	1 7.7	1 7.7	2 15.4	-	1 7.7	

### ○男女・年代別の傾向

「家庭内でも暴力は犯罪であるという意識啓発」は男性10代・20代（60.4%）で最も割合が高く、男性70歳以上（58.4%）、女性70歳以上（58.3%）が続きます。「緊急避難場所（シェルター）の整備」は女性30代（50.6%）で最も割合が高く、女性50代（45.7%）、女性40代（42.2%）が続きます。また、「住居や就職のあっせんなど、自立して生活できるための支援」は女性50代（37.2%）が最も割合が高く、女性60代（36.5%）、女性40代と70歳以上（それぞれ31.3%）が続きます。

## 問 27 女性が健康を守り、性や妊娠・出産について自ら決めるうえで必要なこと

あなたは、女性の健康を守り、性や妊娠・出産について自ら決める上でどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



### ○全体の傾向

「女性の健康(女性ホルモン・月経など)についての幼少期からの教育」が46.2%で最も高く、次いで「健康について気になることがあった時に気軽に相談できる窓口の充実」(41.1%)、「性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実」(36.1%)、「婦人科系疾患(子宮がん・乳がんなど)の健診受診の啓発」(26.0%)となっています。

### ○男女別の傾向

女性の「健康について気になることがあった時に気軽に相談できる窓口の充実」は44.4%、

「女性が自分の身体や性に関することを自分で決める権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に関する教育・学習の充実」は21.2%であり、いずれも男性を6ポイント以上上回っています。

	全体	女性の健康（女性ホルモン・月経など）についての幼少期からの教育	性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実	喫煙や薬物等、健康への害についての情報提供・相談体制の充実	性感染症（カンジタ症、クラミジア感染症など）についての情報提供	更年期についての情報提供・相談体制の充実	健康について気になることがあった時に気軽に相談できる窓口の充実	婦人科系疾患（子宮がん・乳がんなど）の健診受診の啓発	女性が自分の身体や性に関することを自分で決める権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に関する教育・学習の充実	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答	
全体	1,293 100.0	597 46.2	467 36.1	321 24.8	138 10.7	213 16.5	532 41.1	336 26.0	239 18.5	16 1.2	11 0.9	84 6.5	47 3.6	
女性	女性合計	753 100.0	349 46.3	261 34.7	173 23.0	82 10.9	128 17.0	334 44.4	205 27.2	160 21.2	10 1.3	9 1.2	27 3.6	
	10代・20代	57 100.0	17 29.8	22 38.6	13 22.8	16 28.1	1 1.8	24 42.1	22 38.6	7 12.3	2 3.5	-	4 7.0	
	30代	79 100.0	41 51.9	34 43.0	11 13.9	9 11.4	7 8.9	29 36.7	39 49.4	15 19.0	-	3 3.8	3 3.8	
	40代	147 100.0	79 53.7	59 40.1	33 22.4	17 11.6	30 20.4	48 32.7	38 25.9	33 22.4	3 2.0	3 2.0	4 2.7	
	50代	129 100.0	59 45.7	46 35.7	25 19.4	7 5.4	31 24.0	46 35.7	32 24.8	47 36.4	3 2.3	-	4 3.1	
	60代	148 100.0	64 43.2	54 36.5	33 22.3	9 6.1	21 14.2	83 56.1	31 20.9	35 23.6	2 1.4	2 1.4	2 1.4	
	70歳以上	192 100.0	89 46.4	46 24.0	58 30.2	24 12.5	38 19.8	104 54.2	43 22.4	22 11.5	-	1 0.5	10 5.2	
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	
	男性	男性合計	527 100.0	243 46.1	204 38.7	146 27.7	55 10.4	83 15.7	191 36.2	130 24.7	79 15.0	6 1.1	2 0.4	56 10.6
		10代・20代	48 100.0	17 35.4	21 43.8	10 20.8	10 20.8	4 8.3	19 39.6	11 22.9	8 16.7	-	2 2.1	7 14.6
30代		53 100.0	32 60.4	26 49.1	15 28.3	9 17.0	4 7.5	13 24.5	11 20.8	8 15.1	1 1.9	1 1.9	4 7.5	
40代		84 100.0	35 41.7	38 45.2	24 28.6	6 7.1	8 9.5	31 36.9	22 26.2	9 10.7	3 3.6	-	12 14.3	
50代		79 100.0	44 55.7	25 31.6	17 21.5	10 12.7	19 24.1	23 29.1	24 30.4	15 19.0	-	-	5 6.3	
60代		97 100.0	39 40.2	44 45.4	20 20.6	6 6.2	22 22.7	47 48.5	26 26.8	21 21.6	1 1.0	-	7 7.2	
70歳以上		166 100.0	76 45.8	50 30.1	60 36.1	14 8.4	26 15.7	58 34.9	36 21.7	18 10.8	1 0.6	-	21 12.7	
無回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答		13 100.0	5 38.5	2 15.4	2 15.4	1 7.7	2 15.4	7 53.8	1 7.7	-	-	-	1 7.7	

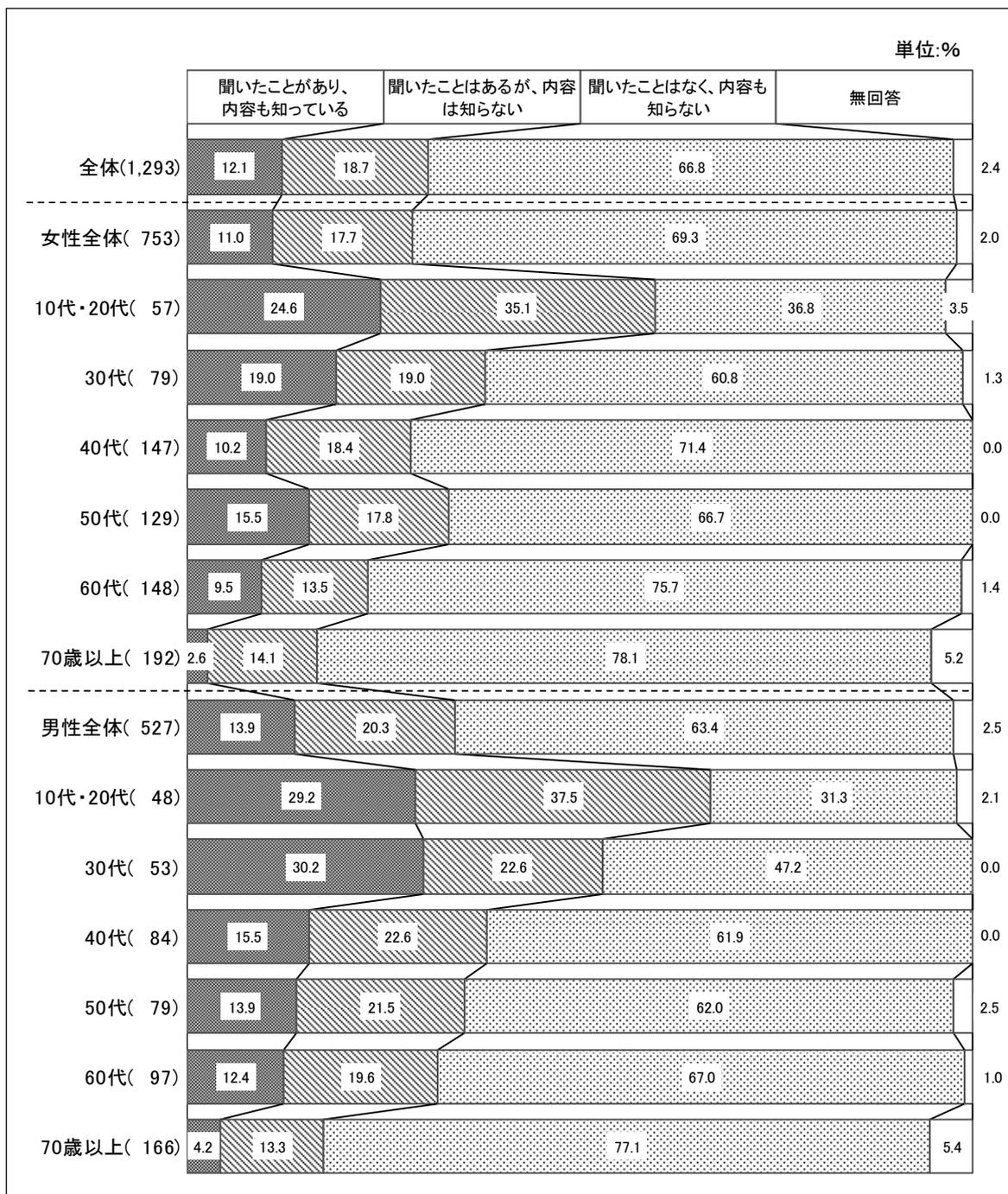
### ○男女・年代別の傾向

「女性の健康（女性ホルモン・月経など）についての幼少期からの教育」は男性30代（60.4%）で最も割合が高く、男性50代（55.7%）、女性40代（53.7%）が続きます。「健康について気になることがあった時に気軽に相談できる窓口の充実」は女性60代（56.1%）で最も割合が高く、女性70歳以上（54.2%）、男性60代（48.5%）が続きます。「性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実」は男性30代（49.1%）で最も割合が高く、男性60代（45.4%）、男性40代（45.2%）が続きます。

## 8 教育、性の表現について

### 問 28 「メディアリテラシー」という言葉の認知状況

あなたは、「メディアリテラシー」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)



#### ○全体の傾向

「聞いたことがあります、内容も知っている」が 12.1%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」は 18.7%であり、全体の3割強が「メディアリテラシー」という言葉を聞いたことが

あることがわかります。一方、「聞いたことはなく、内容も知らない」が 66.8%となっています。

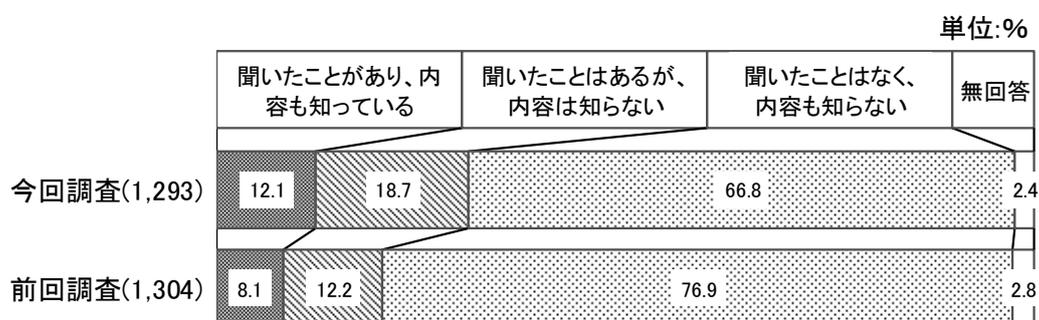
### ○男女別の傾向

女性の「聞いたことはなく、内容も知らない」は 69.3%であり、男性を 5 ポイント上回っています。

### ○男女・年代別の傾向

「聞いたことがあり、内容も知っている」は、男性 30 代 (30.2%) で最も割合が高く、男性 10 代・20 代 (29.2%)、女性 10 代・20 代 (24.6%) が続きます。「聞いたことはあるが、内容は知らない」は、男性 10 代・20 代 (37.5%) で最も割合が高く、女性 10 代・20 代 (35.1%)、男性 30 代と 40 代 (それぞれ 22.6%) が続きます。一方、「聞いたことはなく、内容も知らない」は、女性 70 歳以上 (78.1%) で最も割合が高く、男性 70 歳以上 (77.1%)、女性 60 代 (75.7%) が続きます。

### ▼ 前回調査との比較



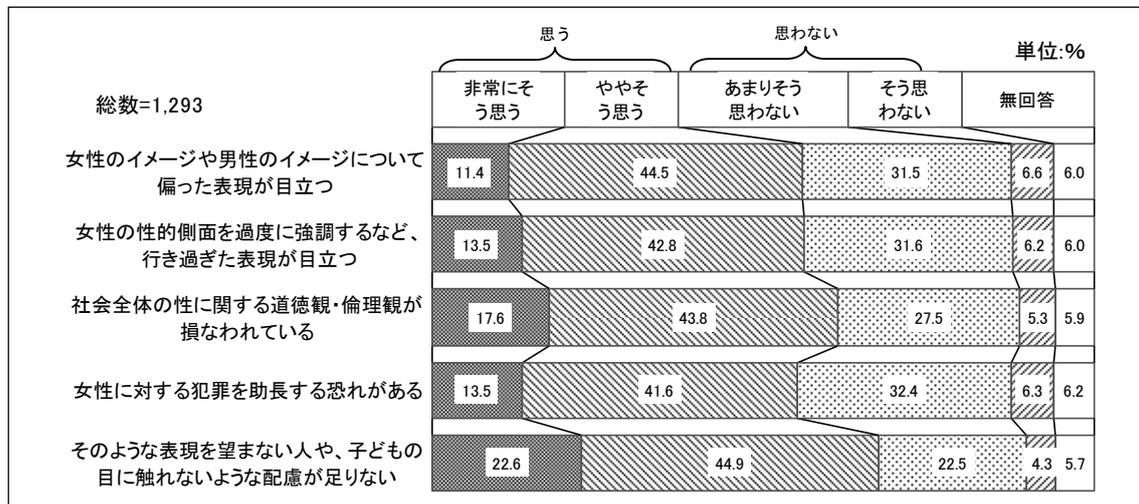
### ●前回調査との比較

前回調査から今回調査にかけて、「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の合計が 10 ポイント増加しており、「聞いたことはなく、内容も知らない」が 10 ポイント減少しています。

## 問 29 メディアでの性別役割分担や性・暴力表現に対する考え方

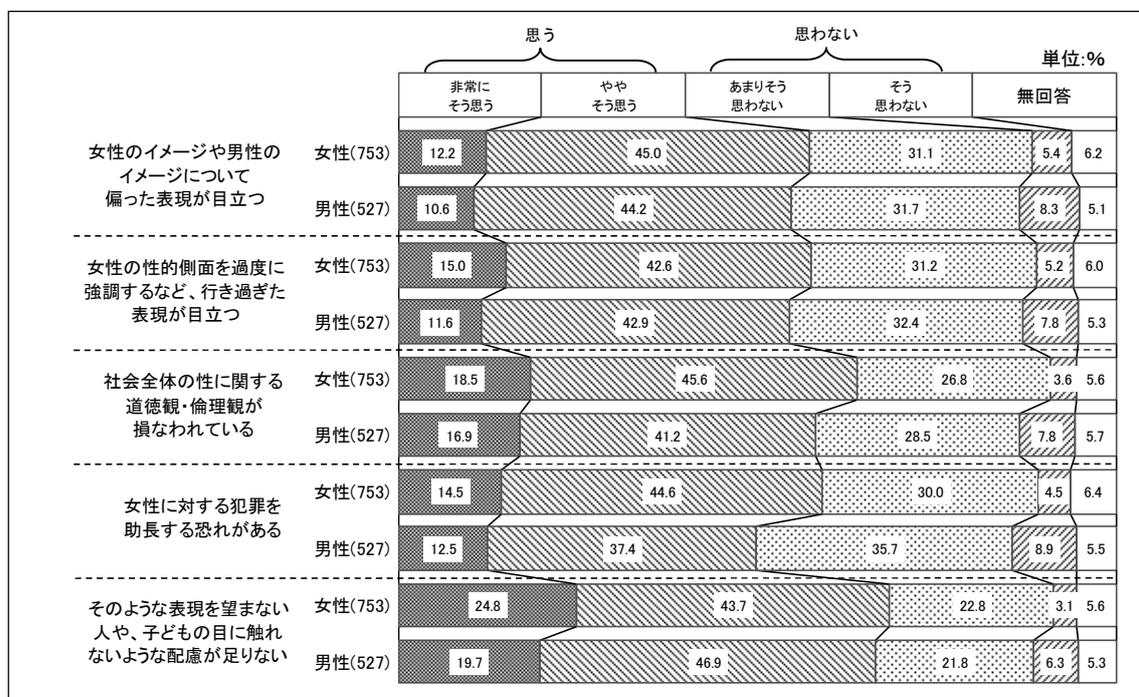
テレビ、新聞、雑誌などのメディアにおける性表現・暴力表現について、あなたはどのようにお考えですか。各項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。

(○は各項目に1つずつ)



### ○全体の傾向

各項目とも“思う”（「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計）が5割以上となっており、特に『そのような表現を望まない人や、子どもの目に触れないような配慮が足りない』『社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている』では6割台となっています。



### ○男女別の傾向

『社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている』『女性に対する犯罪を助長する

恐れがある』では、女性の“思う”の割合が男性を5ポイント以上上回っています。

○男女・年代別の傾向

①女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現が目立つ

	全体	非常に思う	ややそう思う	思わない	あまりそう思う	そう思わない	無回答
全体	1,293	11.4	44.5	31.5	6.6	6.0	
女性	女性合計	753	12.2	45.0	31.1	5.4	6.2
	10代・20代	57	3.5	47.4	38.6	7.0	3.5
	30代	79	10.1	44.3	34.2	10.1	1.3
	40代	147	16.3	43.5	32.0	6.8	1.4
	50代	129	11.6	47.3	37.2	1.6	2.3
	60代	148	10.1	51.4	29.1	4.7	4.7
	70歳以上	192	14.1	39.6	24.5	5.2	16.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
男性	男性合計	527	10.6	44.2	31.7	8.3	5.1
	10代・20代	48	14.6	47.9	27.1	8.3	2.1
	30代	53	18.9	37.7	32.1	7.5	3.8
	40代	84	7.1	41.7	40.5	9.5	1.2
	50代	79	16.5	43.0	25.3	11.4	3.8
	60代	97	8.2	48.5	36.1	5.2	2.1
	70歳以上	166	7.2	44.6	28.9	8.4	10.8
	無回答	-	*	*	*	*	*
無回答	13	-	23.1	46.2	-	30.8	

②女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ

	全体	非常に思う	ややそう思う	思わない	あまりそう思う	そう思わない	無回答
全体	1,293	13.5	42.8	31.6	6.2	6.0	
女性	女性合計	753	15.0	42.6	31.2	5.2	6.0
	10代・20代	57	1.8	40.4	47.4	7.0	3.5
	30代	79	6.3	38.0	44.3	10.1	1.3
	40代	147	17.0	44.9	30.6	6.1	1.4
	50代	129	14.7	45.7	35.7	2.3	1.6
	60代	148	14.9	48.0	27.7	4.7	4.7
	70歳以上	192	20.8	37.5	21.4	4.2	16.1
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
男性	男性合計	527	11.6	42.9	32.4	7.8	5.3
	10代・20代	48	8.3	41.7	37.5	10.4	2.1
	30代	53	13.2	39.6	35.8	7.5	3.8
	40代	84	7.1	36.9	41.7	11.9	2.4
	50代	79	12.7	45.6	27.8	11.4	2.5
	60代	97	12.4	51.5	30.9	3.1	2.1
	70歳以上	166	13.3	41.0	28.3	6.0	11.4
	無回答	-	*	*	*	*	*
無回答	13	-	46.2	23.1	-	30.8	

③社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている

	全体	非常に思う	ややそう思う	思わない	あまりそう思う	そう思わない	無回答
全体	1,293	17.6	43.8	27.5	5.3	5.9	
女性	女性合計	753	18.5	45.6	26.8	3.6	5.6
	10代・20代	57	3.5	40.4	45.6	7.0	3.5
	30代	79	11.4	35.4	48.1	3.8	1.3
	40代	147	17.0	48.3	28.6	4.8	1.4
	50代	129	14.0	48.8	34.9	0.8	1.6
	60代	148	23.0	53.4	14.9	4.1	4.7
	70歳以上	192	26.0	41.1	15.1	3.1	14.6
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
男性	男性合計	527	16.9	41.2	28.5	7.8	5.7
	10代・20代	48	16.7	39.6	33.3	8.3	2.1
	30代	53	15.1	37.7	39.6	5.7	1.9
	40代	84	10.7	35.7	40.5	10.7	2.4
	50代	79	19.0	41.8	22.8	11.4	5.1
	60代	97	16.5	50.5	25.8	5.2	2.1
	70歳以上	166	19.9	39.8	21.7	6.6	12.0
	無回答	-	*	*	*	*	*
無回答	13	-	46.2	23.1	-	30.8	

④女性に対する犯罪を助長する恐れがある

	全体	非常に思う	ややそう思う	思わない	あまりそう思う	そう思わない	無回答
全体	1,293	13.5	41.6	32.4	6.3	6.2	
女性	女性合計	753	14.5	44.6	30.0	4.5	6.4
	10代・20代	57	8.8	33.3	42.1	12.3	3.5
	30代	79	11.4	43.0	39.2	5.1	1.3
	40代	147	15.6	42.2	35.4	5.4	1.4
	50代	129	14.0	48.1	35.7	-	2.3
	60代	148	13.5	56.8	21.6	3.4	4.7
	70歳以上	192	17.2	39.1	21.4	5.2	17.2
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
男性	男性合計	527	12.5	37.4	35.7	8.9	5.5
	10代・20代	48	8.3	25.0	50.0	14.6	2.1
	30代	53	11.3	32.1	41.5	11.3	3.8
	40代	84	3.6	39.3	44.0	10.7	2.4
	50代	79	12.7	49.4	24.1	10.1	3.8
	60代	97	16.5	37.1	42.3	2.1	2.1
	70歳以上	166	16.3	36.1	27.1	9.0	11.4
	無回答	-	*	*	*	*	*
無回答	13	-	38.5	38.5	-	23.1	

⑤そのような表現を望まない人や、子どもの目に触れないような配慮が足りない

	全体	非常に思う	ややそう思う	思わない	あまりそう思う	そう思わない	無回答
全体	1,293	22.6	44.9	22.5	4.3	5.7	
女性	女性合計	753	24.8	43.7	22.8	3.1	5.6
	10代・20代	57	14.0	45.6	31.6	5.3	3.5
	30代	79	11.4	46.8	32.9	7.6	1.3
	40代	147	26.5	42.9	24.5	4.8	1.4
	50代	129	25.6	41.1	31.8	-	1.6
	60代	148	31.1	44.6	19.6	1.4	3.4
	70歳以上	192	26.6	43.8	11.5	2.6	15.6
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
男性	男性合計	527	19.7	46.9	21.8	6.3	5.3
	10代・20代	48	16.7	29.2	31.3	20.8	2.1
	30代	53	17.0	39.6	34.0	5.7	3.8
	40代	84	13.1	52.4	23.8	8.3	2.4
	50代	79	19.0	51.9	20.3	5.1	3.8
	60代	97	23.7	52.6	18.6	3.1	2.1
	70歳以上	166	22.9	45.8	16.9	3.6	10.8
	無回答	-	*	*	*	*	*
無回答	13	7.7	30.8	30.8	-	30.8	

『女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現が目立つ』で“思う”の割合が最も高いのは男性10代・20代（62.5%）であり、女性60代（61.5%）が続きます。

『女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ』で“思う”の割合が最も高いのは男性60代（63.9%）であり、女性60代（62.8%）が続きます。

『社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている』で“思う”の割合が最も高いのは女性60代（76.4%）であり、女性70歳以上（67.1%）が続きます。

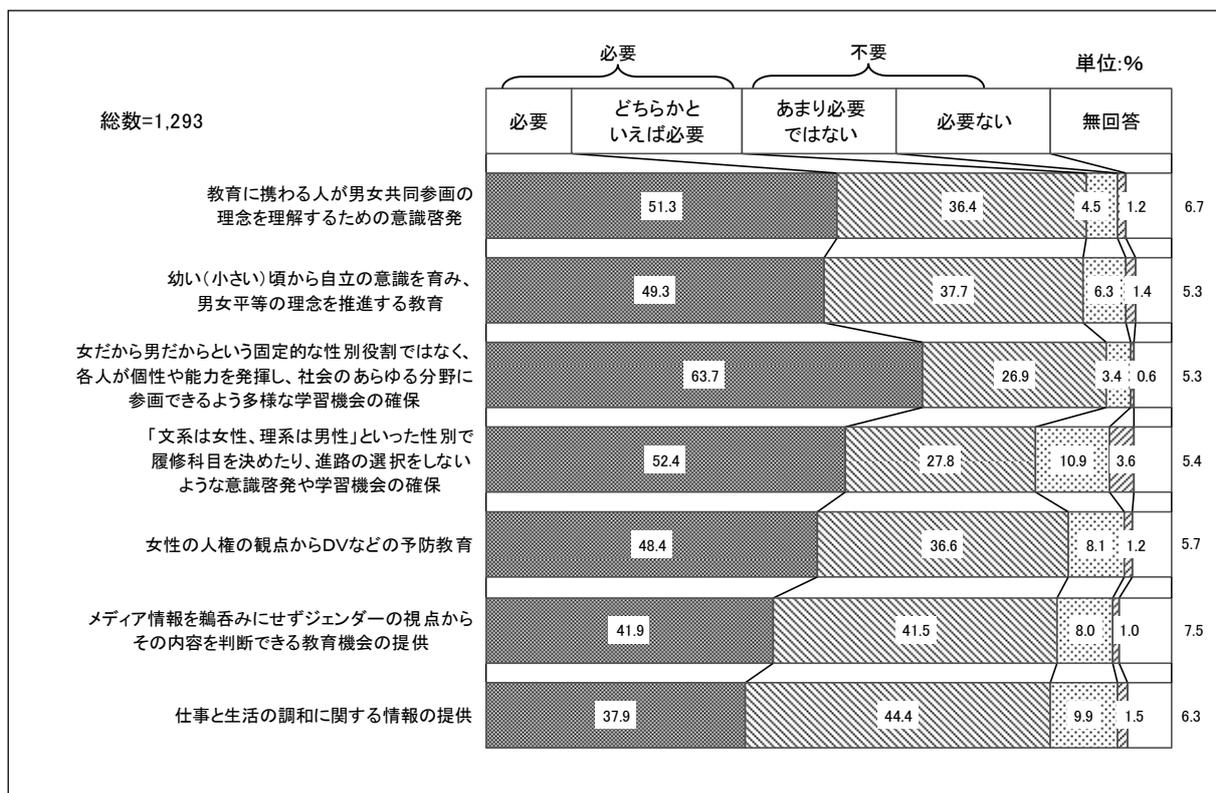
『女性に対する犯罪を助長する恐れがある』で“思う”の割合が最も高いのは女性60代（70.3%）であり、男女の50代（それぞれ62.1%）が続きます。

『そのような表現を望まない人や、子どもの目に触れないような配慮が足りない』で“思う”の割合が最も高いのは男性60代（76.3%）であり、女性60代（75.7%）が続きます。

### 問 30 男女共同参画社会の実現のために教育で必要な取組

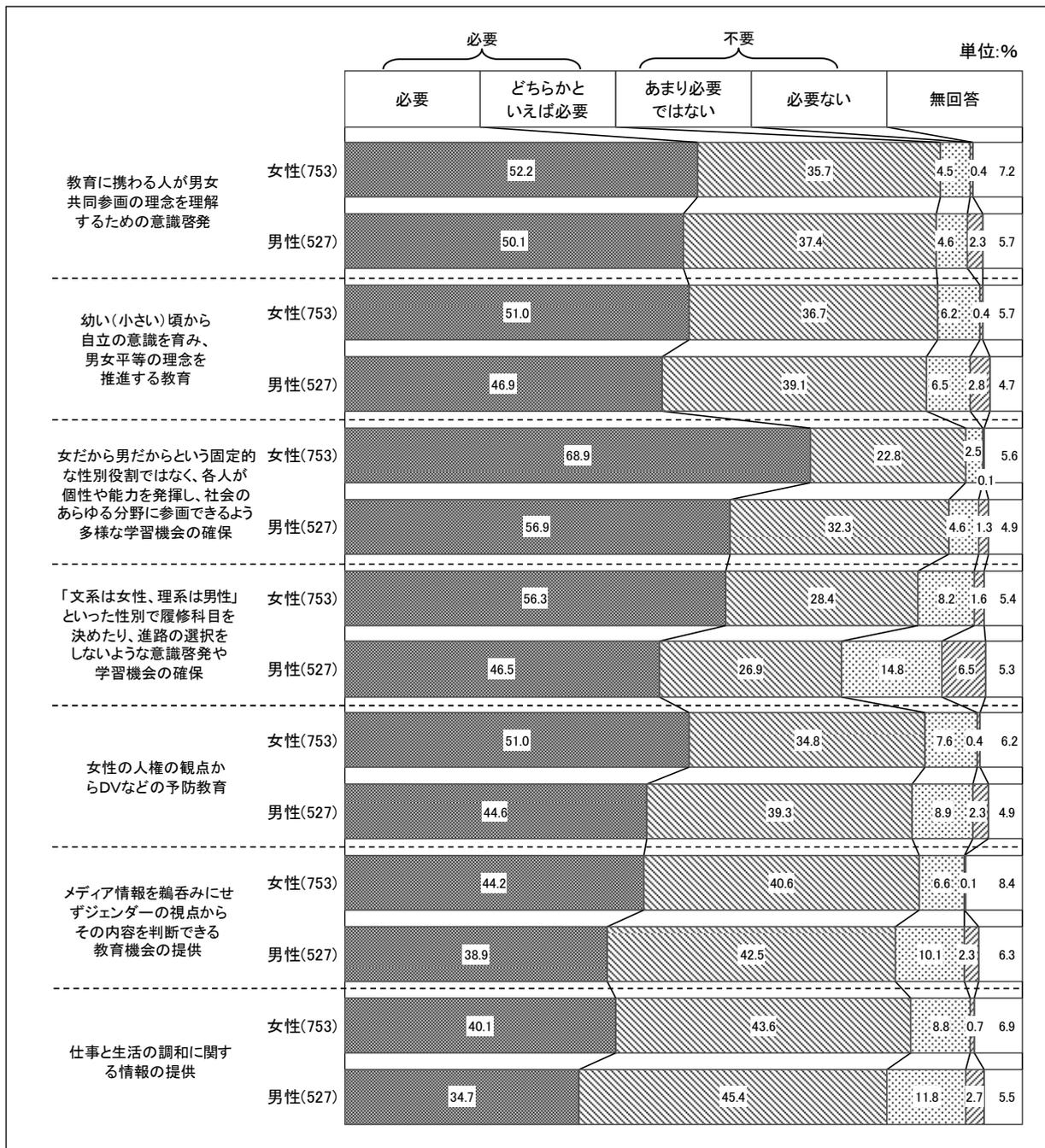
男女共同参画社会の実現に向けて、学校や社会教育の場でどのような取組が必要だと思いますか。各項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。

(○は各項目に1つずつ)



#### ○全体の傾向

各項目とも“必要”（「必要」「どちらかといえば必要」の合計）が8割以上を占めており、『女だから男だからという固定的な性別役割ではなく、各人が個性や能力を発揮し、社会のあらゆる分野に参画できるよう多様な学習機会の確保』では9割に達しています。『女だから男だからという固定的な性別役割ではなく、各人が個性や能力を発揮し、社会のあらゆる分野に参画できるよう多様な学習機会の確保』は「必要」が63.7%となっており、回答者が必要性を強く意識していることがわかります。



### ○男女別の傾向

『「文系は女性、理系は男性」といった性別で履修科目を決めたり、進路の選択をしないような意識啓発や学習機会の確保』では、女性の“必要”の割合が男性を11ポイント上回っています。また、『女だから男だからという固定的な性別役割ではなく、各人が個性や能力を発揮し、社会のあらゆる分野に参画できるよう多様な学習機会の確保』では女性の「必要」が68.9%であり、男性を12ポイント上回っています。

○男女・年代別の傾向

①教育に携わる人が男女共同参画の理念を理解するための意識啓発

		全体	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない	無回答
全体		1,293	51.3	36.4	4.5	1.2	6.7
性・年代別	女性合計	753	52.2	35.7	4.5	0.4	7.2
	10代・20代	57	42.1	50.9	7.0	-	-
	30代	79	50.6	41.8	5.1	-	2.5
	40代	147	49.7	38.1	7.5	-	4.8
	50代	129	55.0	38.0	3.9	-	3.1
	60代	148	57.4	33.1	2.0	1.4	6.1
	70歳以上	192	51.6	27.6	3.6	0.5	16.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	50.1	37.4	4.6	2.3	5.7
	10代・20代	48	45.8	41.7	8.3	2.1	2.1
30代	53	41.5	52.8	1.9	-	3.8	
40代	84	48.8	39.3	4.8	4.8	2.4	
50代	79	54.4	34.2	5.1	2.5	3.8	
60代	97	48.5	38.1	6.2	2.1	5.2	
70歳以上	166	53.6	31.3	3.0	1.8	10.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	46.2	38.5	-	-	15.4	

②幼い(小さい)頃から自立の意識を育み、男女平等の理念を推進する教育

		全体	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない	無回答
全体		1,293	49.3	37.7	6.3	1.4	5.3
性・年代別	女性合計	753	51.0	36.7	6.2	0.4	5.7
	10代・20代	57	47.4	42.1	10.5	-	-
	30代	79	58.2	36.7	2.5	-	2.5
	40代	147	55.8	32.7	7.5	-	4.1
	50代	129	54.3	41.1	3.1	-	1.6
	60代	148	50.7	37.2	5.4	0.7	6.1
	70歳以上	192	43.8	34.4	8.3	1.0	12.5
	無回答	1	-	100.0	-	-	-
	男性合計	527	46.9	39.1	6.5	2.8	4.7
	10代・20代	48	45.8	43.8	6.3	2.1	2.1
30代	53	39.6	47.2	5.7	3.8	3.8	
40代	84	51.2	36.9	3.6	6.0	2.4	
50代	79	59.5	26.6	11.4	-	2.5	
60代	97	46.4	39.2	6.2	3.1	5.2	
70歳以上	166	41.6	42.2	6.0	2.4	7.8	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	53.8	46.2	-	-	-	

③女だから男だからという固定的な性別役割ではなく、各人が個性や能力を發揮し、社会のあらゆる分野に参画できるよう多様な学習機会の確保

		全体	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない	無回答
全体		1,293	63.7	26.9	3.4	0.6	5.3
性・年代別	女性合計	753	68.9	22.8	2.5	0.1	5.6
	10代・20代	57	75.4	22.8	1.8	-	-
	30代	79	78.5	19.0	-	-	2.5
	40代	147	69.4	24.5	2.7	-	3.4
	50代	129	72.9	22.5	3.1	-	1.6
	60代	148	66.9	23.0	3.4	-	6.8
	70歳以上	192	61.5	23.4	2.6	0.5	12.0
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	56.9	32.3	4.6	1.3	4.9
	10代・20代	48	68.8	25.0	4.2	-	2.1
30代	53	60.4	28.3	9.4	-	1.9	
40代	84	59.5	31.0	3.6	3.6	2.4	
50代	79	60.8	30.4	5.1	-	3.8	
60代	97	56.7	32.0	3.1	2.1	6.2	
70歳以上	166	49.4	37.3	4.2	1.2	7.8	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	38.5	46.2	7.7	-	7.7	

④「文系は女性、理系は男性」といった性別で履修科目を決めたり、進路の選択をしないような意識啓発や学習機会の確保

		全体	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない	無回答
全体		1,293	52.4	27.8	10.9	3.6	5.4
性・年代別	女性合計	753	56.3	28.4	8.2	1.6	5.4
	10代・20代	57	52.6	40.4	5.3	1.8	-
	30代	79	68.4	21.5	5.1	2.5	2.5
	40代	147	55.1	29.3	9.5	1.4	4.8
	50代	129	54.3	35.7	6.2	2.3	1.6
	60代	148	58.1	25.0	10.8	-	6.1
	70歳以上	192	53.1	25.0	8.9	2.1	10.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	46.5	26.9	14.8	6.5	5.3
	10代・20代	48	56.3	25.0	8.3	8.3	2.1
30代	53	39.6	28.3	17.0	9.4	5.7	
40代	84	57.1	26.2	10.7	3.6	2.4	
50代	79	53.2	24.1	11.4	7.6	3.8	
60代	97	46.4	29.9	15.5	2.1	6.2	
70歳以上	166	37.3	27.1	19.3	8.4	7.8	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	61.5	23.1	7.7	-	7.7	

『教育に携わる人が男女共同参画の理念を理解するための意識啓発』で“必要”の割合が最も高いのは男性30代(94.3%)であり、女性10代・20代と50代(それぞれ93.0%)が続きます。

『幼い(小さい)頃から自立の意識を育み、男女平等の理念を推進する教育』で“必要”の割合が最も高いのは女性50代(95.4%)であり、女性30代(94.9%)が続きます。

『女だから男だからという固定的な性別役割ではなく、各人が個性や能力を發揮し、社会

のあらゆる分野に参画できるよう多様な学習機会の確保』で“必要”の割合が最も高いのは女性10代・20代(98.2%)であり、女性30代(97.5%)が続きます。「必要」の割合が最も高いのは女性30代(78.5%)であり、女性10代・20代(75.4%)が続きます。

『「文系は女性、理系は男性」といった性別で履修科目を決めたり、進路の選択をしないような意識啓発や学習機会の確保』で“必要”の割合が最も高いのは女性10代・20代(93.0%)であり、女性50代(90.0%)が続きます。

**⑤ 女性の人権の観点からDVなどの予防教育**

		全体	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない	無回答
全体		1,293	48.4	36.6	8.1	1.2	5.7
性・年代別	女性合計	753	51.0	34.8	7.6	0.4	6.2
	10代・20代	57	45.6	47.4	7.0	-	-
	30代	79	50.6	34.2	11.4	-	3.8
	40代	147	50.3	38.1	6.1	1.4	4.1
	50代	129	56.6	33.3	7.8	-	2.3
	60代	148	51.4	35.8	6.1	-	6.8
	70歳以上	192	49.0	29.2	8.3	0.5	13.0
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	44.6	39.3	8.9	2.3	4.9
	10代・20代	48	50.0	35.4	10.4	2.1	2.1
30代	53	30.2	52.8	5.7	7.5	3.8	
40代	84	48.8	38.1	9.5	1.2	2.4	
50代	79	53.2	29.1	10.1	3.8	3.8	
60代	97	44.3	41.2	7.2	1.0	6.2	
70歳以上	166	41.6	40.4	9.6	1.2	7.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	53.8	30.8	7.7	-	7.7	

**⑥ メディア情報を鵜呑みにせずジェンダーの視点からその内容を判断できる教育機会の提供**

		全体	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない	無回答
全体		1,293	41.9	41.5	8.0	1.0	7.5
性・年代別	女性合計	753	44.2	40.6	6.6	0.1	8.4
	10代・20代	57	36.8	54.4	5.3	1.8	1.8
	30代	79	50.6	40.5	5.1	-	3.8
	40代	147	46.9	40.8	6.8	-	5.4
	50代	129	51.2	41.9	5.4	-	1.6
	60代	148	41.2	41.2	8.1	-	9.5
	70歳以上	192	39.1	35.4	7.3	-	18.2
	無回答	1	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	38.9	42.5	10.1	2.3	6.3
	10代・20代	48	52.1	35.4	8.3	2.1	2.1
30代	53	32.1	50.9	9.4	3.8	3.8	
40代	84	52.4	38.1	4.8	2.4	2.4	
50代	79	46.8	36.7	8.9	2.5	5.1	
60代	97	33.0	41.2	18.6	1.0	6.2	
70歳以上	166	30.1	47.6	9.0	2.4	10.8	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	30.8	53.8	7.7	-	7.7	

**⑦ 仕事と生活の調和に関する情報の提供**

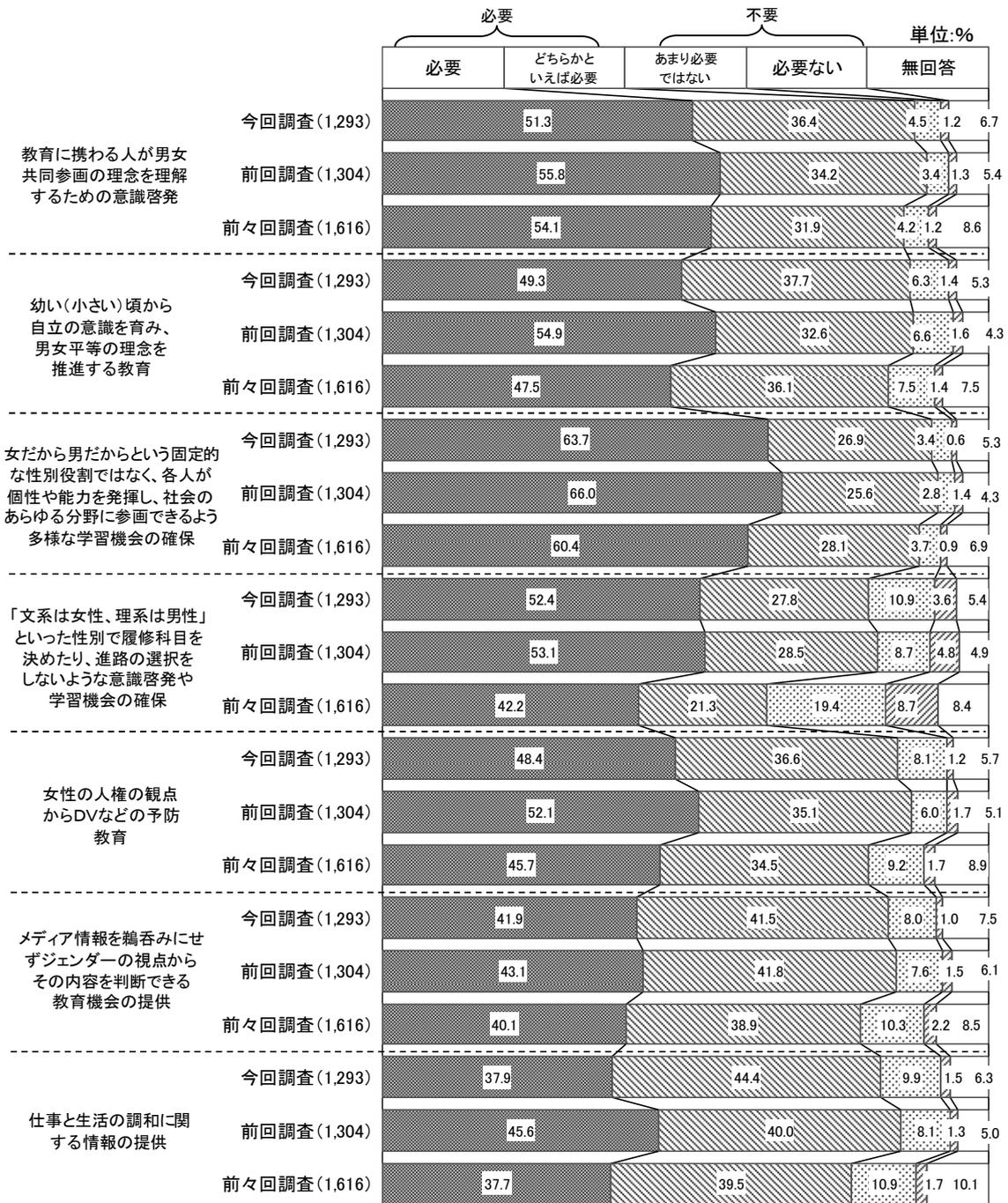
		全体	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない	無回答
全体		1,293	37.9	44.4	9.9	1.5	6.3
性・年代別	女性合計	753	40.1	43.6	8.8	0.7	6.9
	10代・20代	57	36.8	52.6	7.0	3.5	-
	30代	79	45.6	41.8	8.9	1.3	2.5
	40代	147	46.3	42.2	6.8	-	4.8
	50代	129	33.3	55.0	10.1	-	1.6
	60代	148	40.5	41.9	8.8	1.4	7.4
	70歳以上	192	38.5	35.9	9.9	-	15.6
	無回答	1	-	100.0	-	-	-
	男性合計	527	34.7	45.4	11.8	2.7	5.5
	10代・20代	48	39.6	47.9	10.4	-	2.1
30代	53	37.7	45.3	7.5	5.7	3.8	
40代	84	46.4	39.3	9.5	2.4	2.4	
50代	79	38.0	45.6	7.6	3.8	5.1	
60代	97	28.9	51.5	11.3	2.1	6.2	
70歳以上	166	28.3	44.0	16.9	2.4	8.4	
無回答	-	*	*	*	*	*	
無回答	13	38.5	53.8	-	-	7.7	

『女性の人権の観点からDVなどの予防教育』で“必要”の割合が最も高いのは女性10代・20代(93.0%)であり、女性50代(89.9%)が続きます。

『メディア情報を鵜呑みにせずジェンダーの視点からその内容を判断できる教育機会の提供』で“必要”の割合が最も高いのは女性50代(93.1%)であり、女性10代・20代(91.2%)が続きます。

『仕事と生活の調和に関する情報の提供』で“必要”の割合が最も高いのは女性10代・20代(89.4%)であり、女性40代(88.5%)が続きます。

▼ 前回、前々回調査との比較



※ 「文系は女性、理系は男性」といった性別で履修科目を決めたり、進路の選択をしないような意識啓発や学習機会の確保」は前々回調査では「教科や進路選択で男は理系、女は文系という考え方の改変」。

● 前回、前々回調査との比較

前々回調査から今回調査にかけて、各項目とも“必要”が多数を占めています。“必要”の割合は、各項目とも前回調査と今回調査で大きな違いはありません。

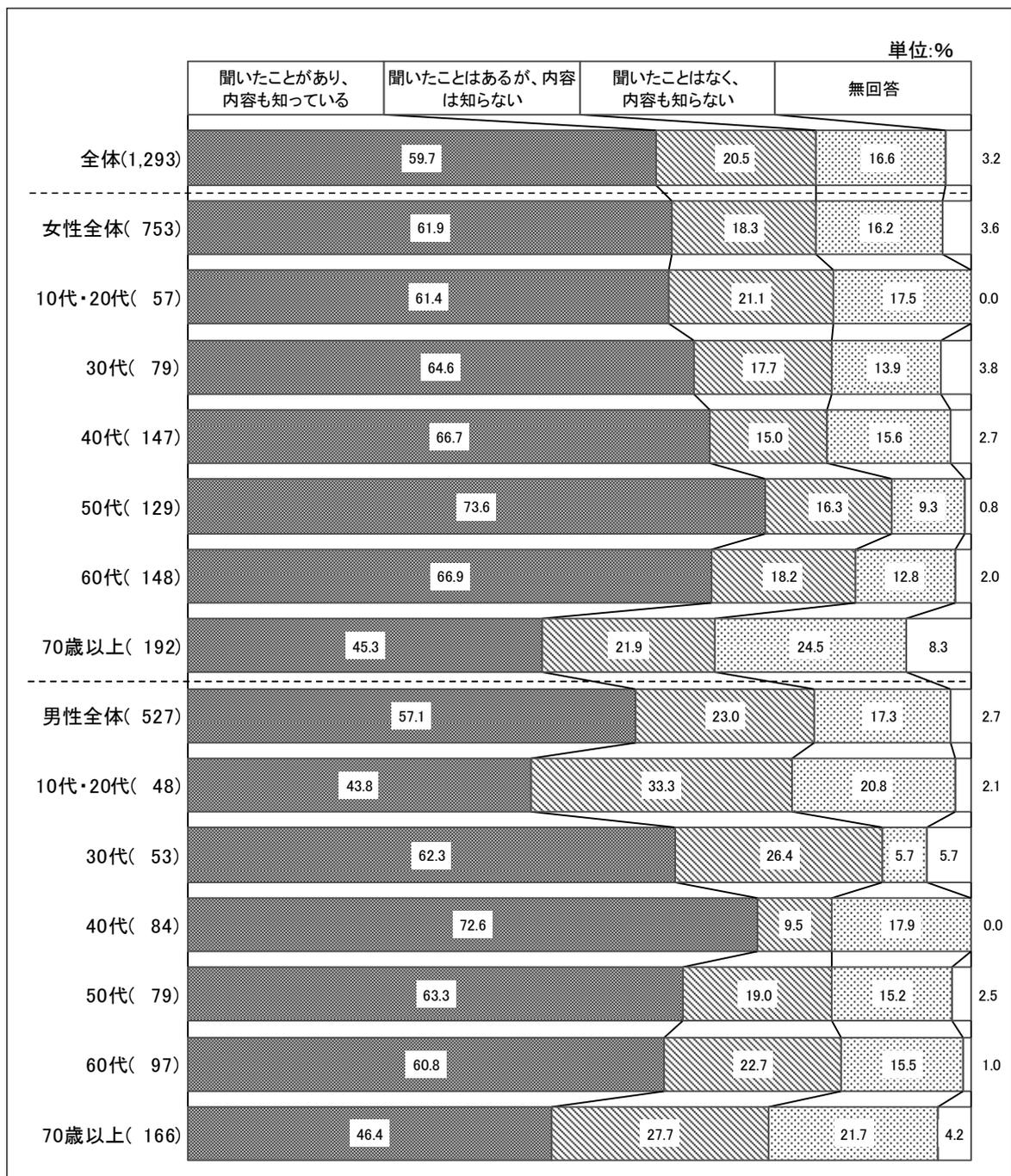
『幼い(小さい)頃から自立の意識を育み、男女平等の理念を推進する教育』では前回調査から今回調査にかけて「必要」の割合が5ポイント減少しているほか、『仕事と生活の調和に関する情報の提供』では7ポイント減少しています。

## 9 性の多様性について

### 問 31 「性的マイノリティ」という言葉の認知状況

あなたは、「性的マイノリティ（性的少数者）」という言葉を知っていますか。

(〇は1つだけ)



#### ○全体の傾向

「聞いたことがあります、内容も知っている」が 59.7%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 20.5%であり、全体の8割が「性的マイノリティ」という言葉を聞いたことがある

ことがわかります。「聞いたことはなく、内容も知らない」は16.6%です。

### ○男女別の傾向

性別による大きな傾向の違いはありません。

### ○男女・年代別の傾向

「聞いたことがあり、内容も知っている」は女性50代(73.6%)で最も割合が高く、男性40代(72.6%)、女性60代(66.9%)が続きます。「聞いたことはあるが、内容は知らない」は男性10代・20代(33.3%)で最も割合が高く、男性70歳以上(27.7%)、男性30代(26.4%)が続きます。「聞いたことはなく、内容も知らない」は女性70歳以上(24.5%)で最も割合が高く、男性70歳以上(21.7%)、男性10代・20代(20.8%)とともに全体の2割強となっています。

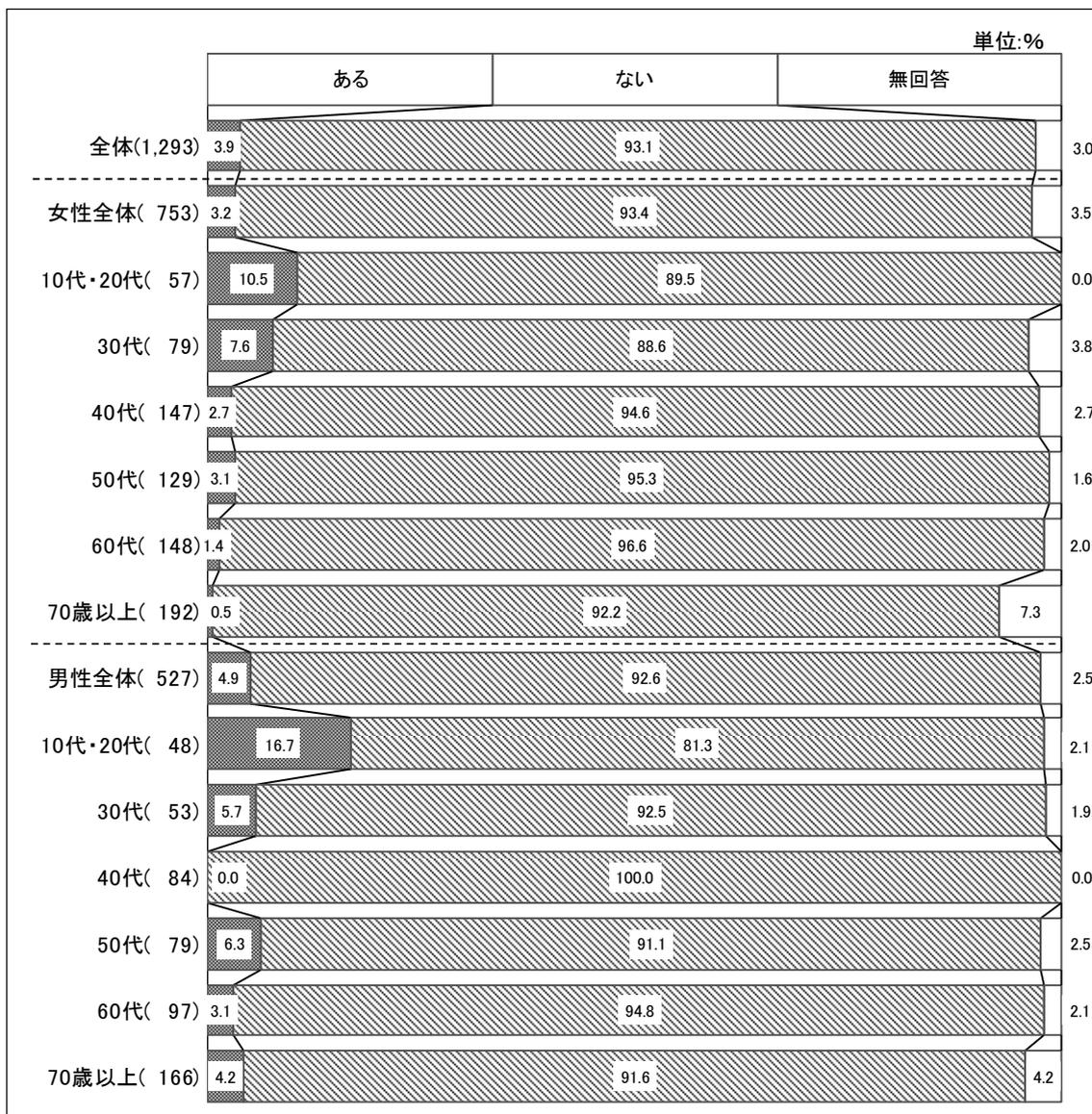
		全体	り、聞いたことがあり、内容も知っている	が、聞いたことはあるが、内容は知らない	く、聞いたことはなく、内容も知らない	無回答	
全体		1,293 100.0	772 59.7	265 20.5	215 16.6	41 3.2	
性・婚姻状況別	女性	女性合計	753 100.0	466 61.9	138 18.3	122 16.2	27 3.6
		結婚している	542 100.0	355 65.5	90 16.6	84 15.5	13 2.4
		結婚していない	201 100.0	108 53.7	46 22.9	34 16.9	13 6.5
		無回答	10 100.0	3 30.0	2 20.0	4 40.0	1 10.0
	男性	男性合計	527 100.0	301 57.1	121 23.0	91 17.3	14 2.7
		結婚している	377 100.0	227 60.2	77 20.4	64 17.0	9 2.4
		結婚していない	147 100.0	72 49.0	44 29.9	26 17.7	5 3.4
		無回答	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-
		無回答	13 100.0	5 38.5	6 46.2	2 15.4	-

### ○男女・婚姻状況別の傾向

結婚している女性の「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合は65.5%、結婚している男性の割合は60.2%となっています。結婚している女性の割合は結婚していない女性を11ポイント、結婚している男性の割合は結婚していない男性を11ポイント上回っています。

## 問 32 自己の性別や恋愛対象となる性別について悩んだことの有無

あなたは、今まで自分の性別や恋愛・性愛の対象となる性別などについて悩んだことはありましたか。(〇は1つだけ)



### ○全体の傾向

「ある」は3.9%、「ない」が93.1%となっています。

### ○男女別の傾向

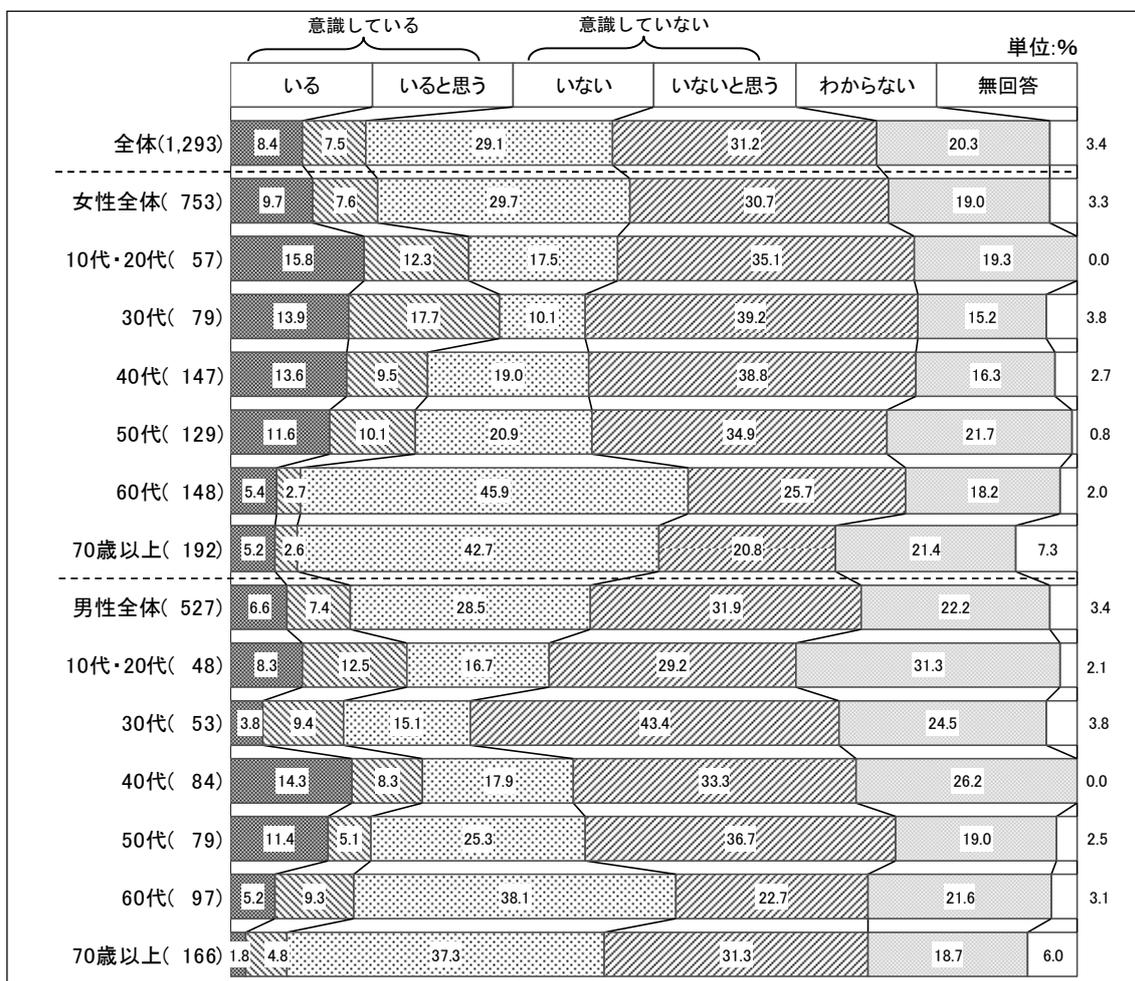
性別による大きな傾向の違いはありません。

### ○男女・年代別の傾向

「ある」は男性10代・20代(16.7%)で最も割合が高く、女性10代・20代(10.5%)が続きます。男女の30代以上では、いずれも1割に達していません。

### 問 33 周囲の性的マイノリティの存在

あなたの身近な方（職場の同僚や友人、親せきや家族）に性的マイノリティの人はいますか。（〇は1つだけ）



#### ○全体の傾向

「いる」は8.4%、「いると思う」は7.5%であり、周囲に性的マイノリティの人が存在することを意識しているのは全体の1割台半ばとなっています。一方、「いない」は全体の29.1%、「いないと思う」は31.2%であり、回答者全体の6割は性的マイノリティの人の存在を意識していません。

#### ○男女別の傾向

性別による大きな傾向の違いはありません。

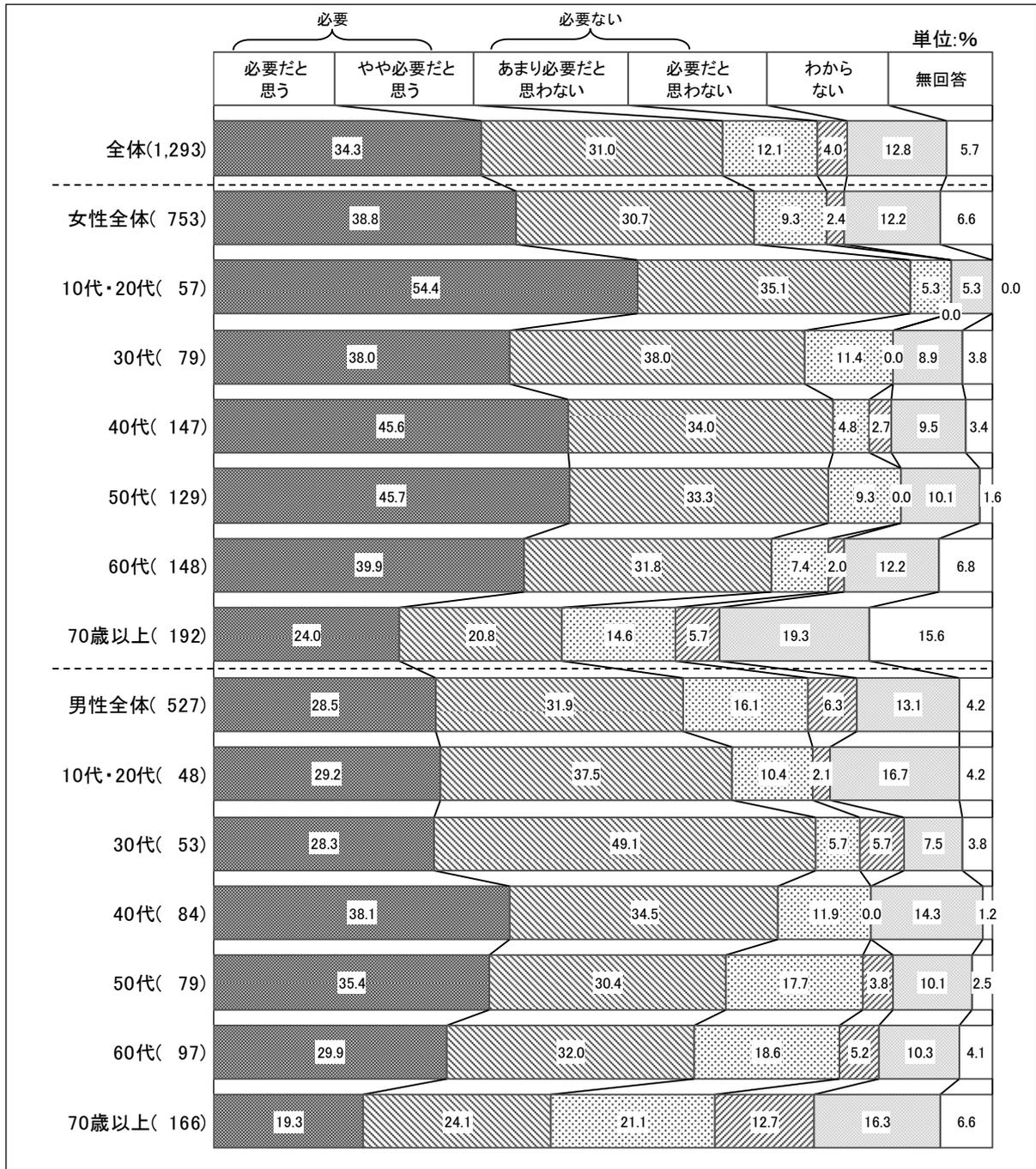
#### ○男女・年代別の傾向

性的マイノリティの人の存在を“意識している”（「いる」「いると思う」の合計）は、女性30代（31.6%）で最も割合が高く、女性10代・20代（28.1%）、女性40代（23.1%）が続きます。“意識していない”（「いない」「いないと思う」の合計）は男女ともにすべての年代で4割以上となっています。

### 問 34 性の多様性を認め合う社会構築のための取組についての認識

あなたは、性の多様性を認め合う社会をつくるための取組が必要だと思いますか。

(〇は1つだけ)



#### ○全体の傾向

「必要だと思ふ」は 34.3%、「やや必要だと思ふ」が 31.0%であり、取組を必要と意識する回答が全体の 6 割台半ばを占めています。「あまり必要だと思わない」は 12.1%、「必要だと思わない」は 4.0%です。

## ○男女別の傾向

女性の“必要”（「必要だと思う」「やや必要だと思う」の合計）は 69.5%であり、男性を 9 ポイント上回っています。一方、男性の“必要ない”（「あまり必要だと思わない」「必要だと思わない」の合計）は 22.4%であり、女性を 10 ポイント上回っています。

## ○男女・年代別の傾向

“必要”は女性 10 代・20 代（89.5%）で最も割合が高く、女性 40 代（79.6%）、女性 50 代（79.0%）が続きます。一方、“必要ない”は男性 70 歳以上（33.8%）で最も割合が高く、男性 60 代（23.8%）、男性 50 代（21.5%）が続きます。

		全体	必要 だと思う	やや 必要だ と思う	あ まり 必要 だと思 わ ない	必要 だと思 わ ない	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,293 100.0	444 34.3	401 31.0	157 12.1	52 4.0	165 12.8	74 5.7
言葉 の 認 知 状 況	聞いたことがあり、内容も 知っている	772 100.0	344 44.6	265 34.3	72 9.3	28 3.6	49 6.3	14 1.8
	聞いたことはあるが、内容 は知らない	265 100.0	59 22.3	86 32.5	40 15.1	17 6.4	52 19.6	11 4.2
	聞いたことはなく、内容も 知らない	215 100.0	40 18.6	49 22.8	45 20.9	7 3.3	63 29.3	11 5.1
	無回答	41 100.0	1 2.4	1 2.4	- -	- -	1 2.4	38 92.7
周 圍 の 性 的 マ イ ノ リ テ ィ の 存 在 マ イ ノ リ テ ィ	意識している	206 100.0	116 56.3	63 30.6	13 6.3	6 2.9	5 2.4	3 1.5
	意識していない	780 100.0	258 33.1	262 33.6	110 14.1	38 4.9	94 12.1	18 2.3
	わからない	263 100.0	69 26.2	76 28.9	33 12.5	8 3.0	66 25.1	11 4.2
	無回答	44 100.0	1 2.3	- -	1 2.3	- -	- -	42 95.5

## ○性的マイノリティの認知状況別の傾向

「性的マイノリティ」という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている人では、“必要”が 78.9%を占めており、聞いたことはあるが内容を知らない人（54.8%）、聞いたことはなく内容も知らない人（41.4%）の割合を 24 ポイント以上上回っています。

## ○周囲の性的マイノリティの存在別の傾向

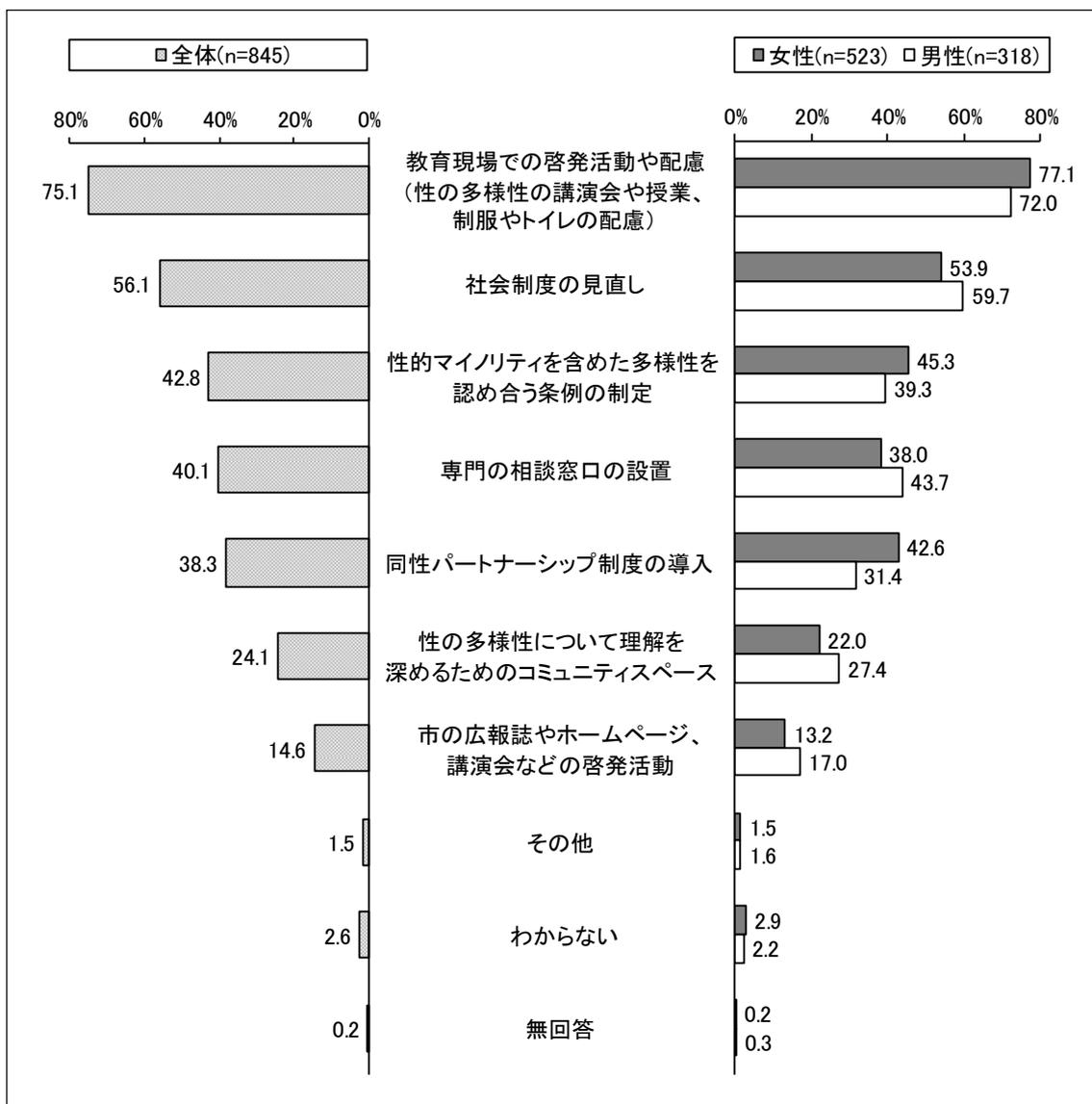
身近に性的マイノリティの人がいることを意識している人では、“必要”が 86.9%を占めており、意識していない人（66.7%）、わからないと考える人（55.1%）の割合を 20 ポイント以上上回っています。

## 問 34-1 性の多様性を認め合う社会構築のため必要な取組

問34で「必要だと思う」「やや必要だと思う」に○をつけた方にお伺いします。

どのような取組が必要だと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)



### ○全体の傾向

性の多様性を認め合う社会をつくるための取組が必要と意識している人に対して、必要な取組について聞いたところ、「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、制服やトイレの配慮）」が75.1%で最も高く、次いで「社会制度の見直し」（56.1%）、「性的マイノリティを含めた多様性を認め合う条例の制定」（42.8%）、「専門の相談窓口の設置」（40.1%）となっています。

### ○男女別の傾向

女性の「同性パートナーシップ制度の導入」は42.6%であり、男性を11ポイント上回っ

ています。「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、制服やトイレの配慮）」は77.1%、「性的マイノリティを含めた多様性を認め合う条例の制定」は45.3%であり、いずれも男性を5ポイント以上上回っています。

男性の「社会制度の見直し」は59.7%、「専門の相談窓口の設置」は43.7%、「性の多様性について理解を深めるためのコミュニティスペース」は27.4%であり、いずれも女性を5ポイント上回っています。

		全体	教育現場での啓発活動や配慮 (性の多様性の講演会や授 業、制服やトイレの配慮)	社会制度の見直し	専門の 相談窓口の 設置	市の広報誌やホームページ、 講演会などの啓発活動	性的多様性について理解を深 めるためのコミュニティス ペース	同性 パートナ ーシップ 制度の 導入	性的マイノリティを含めた多 様性を認め合う条例の制定	その他	わからない	無回答	
全体		845 100.0	635 75.1	474 56.1	339 40.1	123 14.6	204 24.1	324 38.3	362 42.8	13 1.5	22 2.6	2 0.2	
性・ 年代別	女性合計	523 100.0	403 77.1	282 53.9	199 38.0	69 13.2	115 22.0	223 42.6	237 45.3	8 1.5	15 2.9	1 0.2	
	10代・20代	51 100.0	37 72.5	28 54.9	10 19.6	4 7.8	14 27.5	27 52.9	20 39.2	3 5.9	1 2.0	-	
	30代	60 100.0	50 83.3	32 53.3	16 26.7	1 1.7	14 23.3	34 56.7	26 43.3	1 1.7	3 5.0	-	
	40代	117 100.0	94 80.3	57 48.7	45 38.5	12 10.3	21 17.9	50 42.7	57 48.7	-	4 3.4	-	
	50代	102 100.0	78 76.5	65 63.7	41 40.2	15 14.7	20 19.6	45 44.1	50 49.0	1 1.0	3 2.9	-	
	60代	106 100.0	81 76.4	56 52.8	43 40.6	16 15.1	17 16.0	45 42.5	50 47.2	2 1.9	3 2.8	1 0.9	
	70歳以上	86 100.0	62 72.1	44 51.2	43 50.0	21 24.4	29 33.7	22 25.6	34 39.5	1 1.2	1 1.2	-	
	無回答	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性合計	318 100.0	229 72.0	190 59.7	139 43.7	54 17.0	87 27.4	100 31.4	125 39.3	5 1.6	7 2.2	1 0.3	
	10代・20代	32 100.0	18 56.3	21 65.6	11 34.4	5 15.6	9 28.1	15 46.9	12 37.5	1 3.1	2 6.3	-	
	30代	41 100.0	23 56.1	20 48.8	14 34.1	2 4.9	9 22.0	18 43.9	12 29.3	2 4.9	1 2.4	-	
	40代	61 100.0	53 86.9	37 60.7	19 31.1	11 18.0	19 31.1	24 39.3	28 45.9	2 3.3	-	-	
	50代	52 100.0	38 73.1	36 69.2	26 50.0	7 13.5	18 34.6	17 32.7	26 50.0	-	1 1.9	-	
	60代	60 100.0	46 76.7	35 58.3	29 48.3	7 11.7	13 21.7	12 20.0	27 45.0	-	2 3.3	1 1.7	
	70歳以上	72 100.0	51 70.8	41 56.9	40 55.6	22 30.6	19 26.4	14 19.4	20 27.8	-	1 1.4	-	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4 100.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	-	2 50.0	1 25.0	-	-	-	-	-	

### ○男女・年代別の傾向

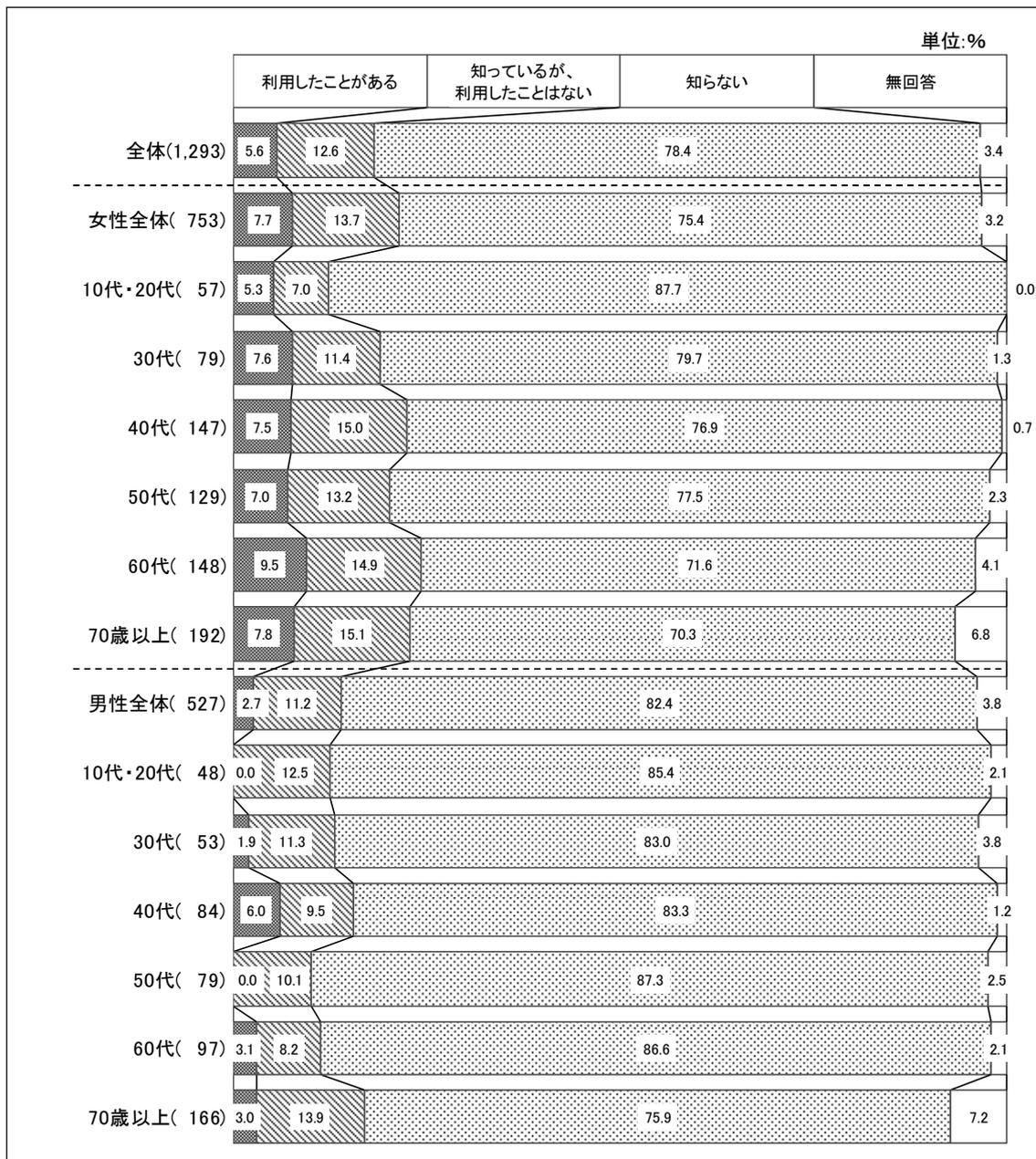
「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、制服やトイレの配慮）」は男性40代（86.9%）で最も割合が高く、女性30代（83.3%）、女性40代（80.3%）が続きます。「社会制度の見直し」は男性50代（69.2%）で最も割合が高く、男性10代・20代（65.6%）が続きます。また、「性的マイノリティを含めた多様性を認め合う条例の制定」は男性50代（50.0%）で最も割合が高く、女性50代（49.0%）、女性40代（48.7%）が続きます。

## 10 市の取組について

### 問 35 男女共同参画推進センターの利用、認知状況

あなたは、「茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ」を御存じですか。

(〇は1つだけ)



#### ○全体の傾向

「利用したことがある」が5.6%、「知っているが、利用したことはない」が12.6%であり、「知らない」が78.4%を占めています。

茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあの認知度（「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計）は18.2%です。

### ○男女別の傾向

茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあの認知度は女性 21.4%、男性 13.9%となっており、女性が男性を7ポイント上回っています。

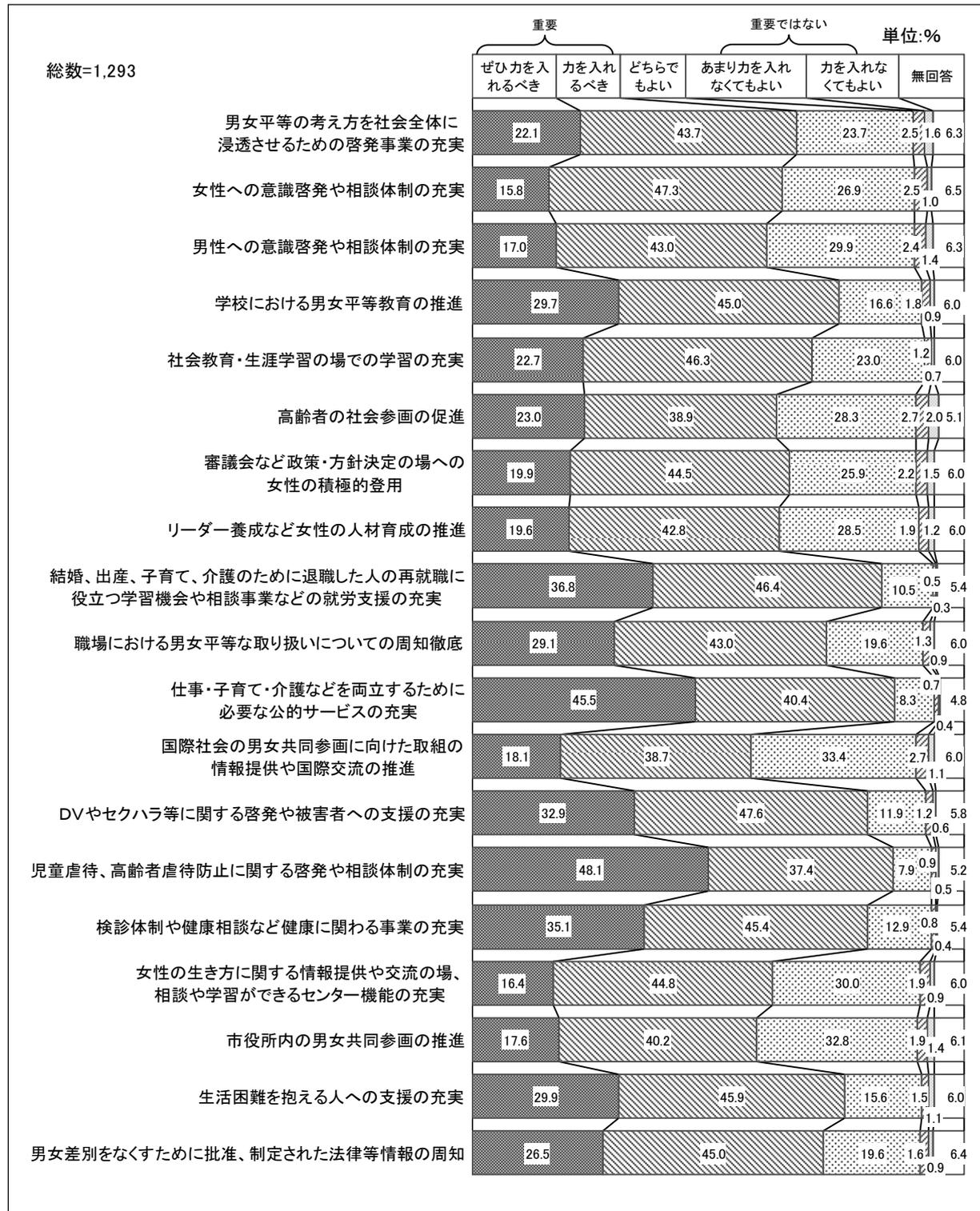
### ○男女・年代別の傾向

「利用したことがある」は、女性 60 代 (9.5%) で最も割合が高くなっていますが、男女の各年代とも1割に達していません。「知っているが、利用したことはない」は女性 70 歳以上 (15.1%) で最も割合が高くなっており、女性 40 代 (15.0%)、女性 60 代 (14.9%) が続きます。

### 問 36 男女共同参画社会の実現のために必要な市の取組

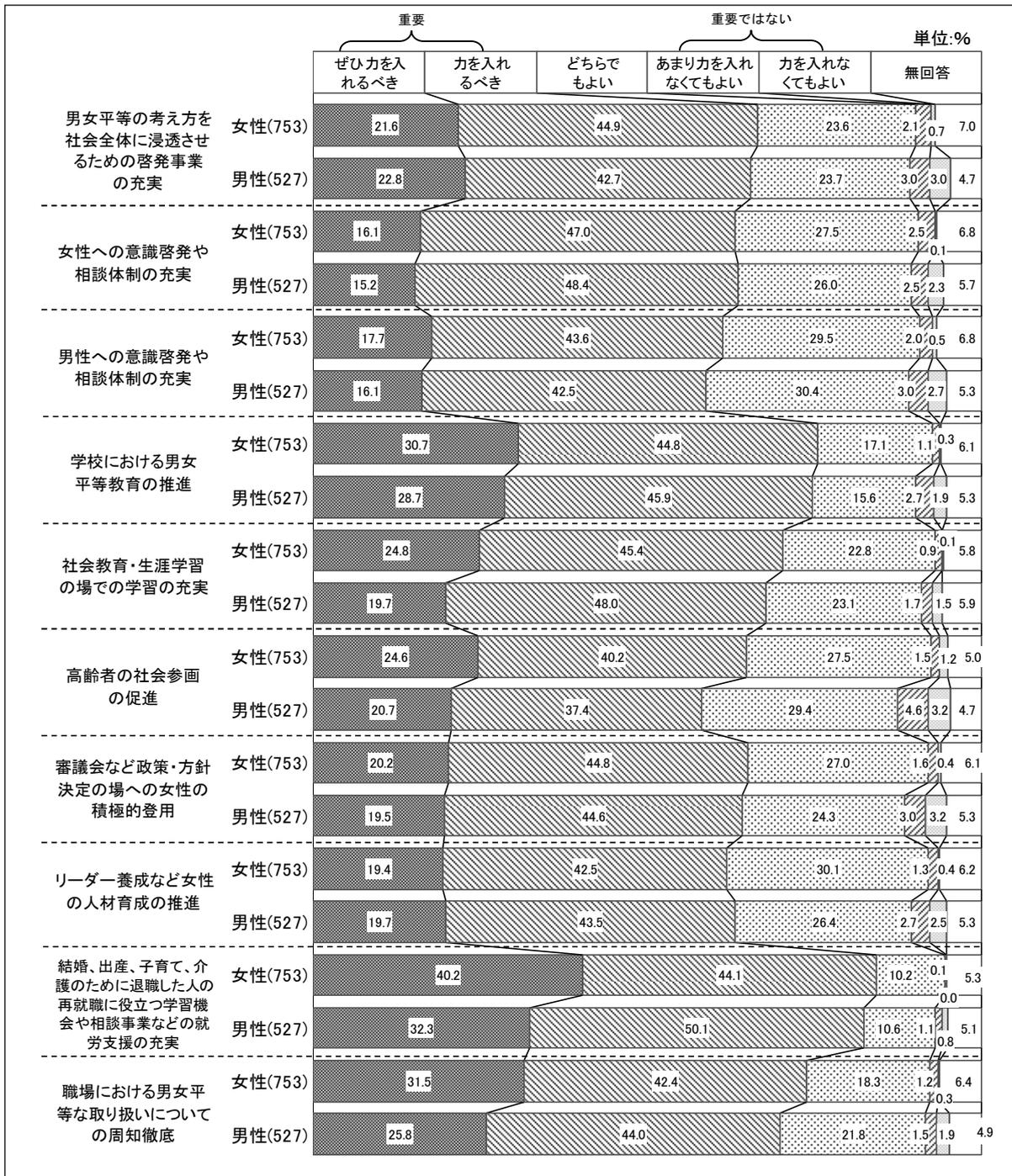
男女共同参画社会の実現に向けて、今後茅ヶ崎市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。各項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。

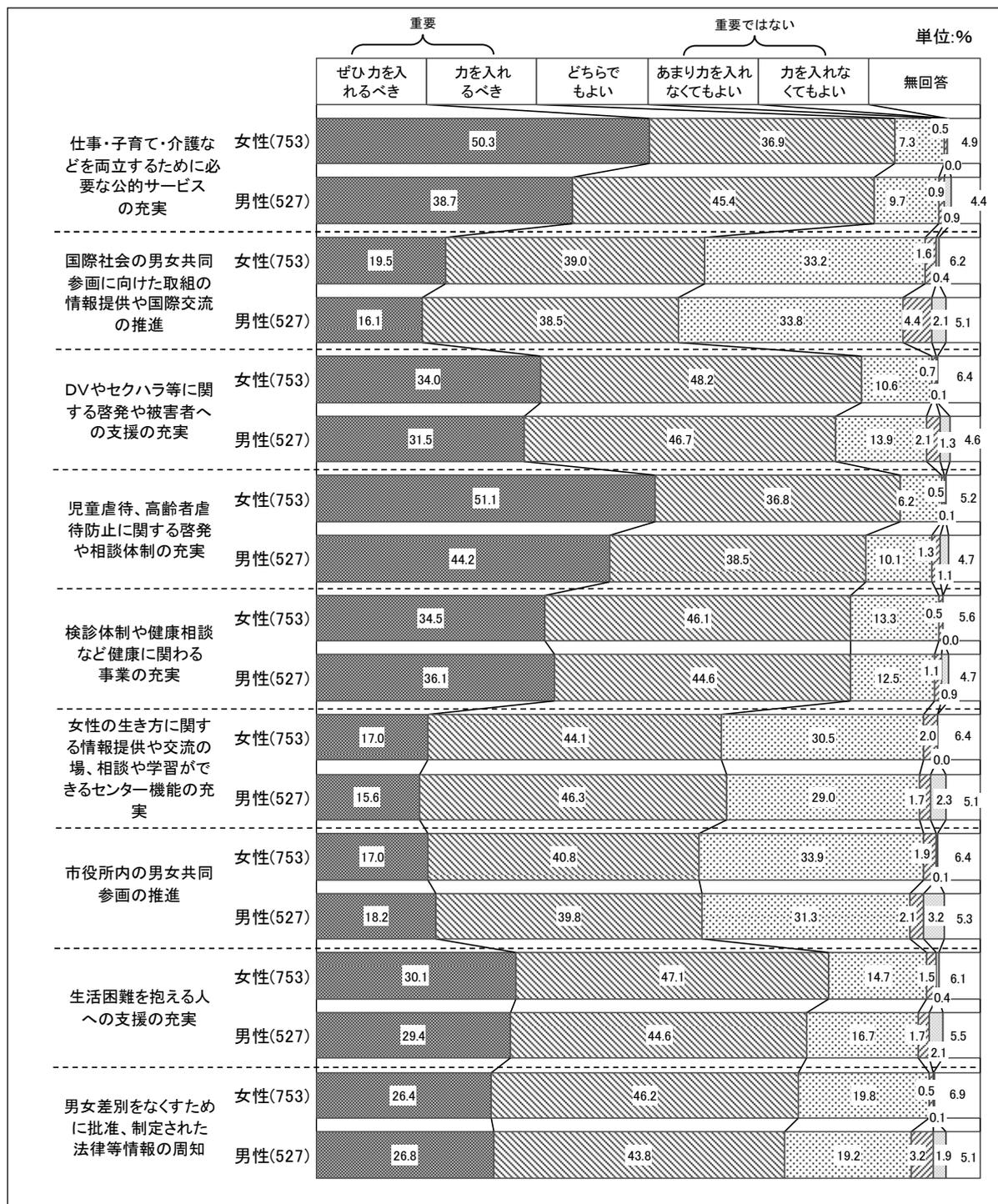
(〇は各項目に1つずつ)



## ○全体の傾向

各項目とも“重要”（「ぜひ力を入れるべき」「力を入れるべき」の合計）が5割以上を占めており、『仕事・子育て・介護などを両立するために必要な公的サービスの充実』『児童虐待、高齢者虐待防止に関する啓発や相談体制の充実』『結婚、出産、子育て、介護のために退職した人の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実』『検診体制や健康相談など健康に関わる事業の充実』『DVやセクハラ等に関する啓発や被害者への支援の充実』では8割以上となっています。特に『仕事・子育て・介護などを両立するために必要な公的サービスの充実』『児童虐待、高齢者虐待防止に関する啓発や相談体制の充実』は「ぜひ力を入れるべき」が4割台半ばから5割弱となっており、回答者がこれらの取組を特に重要視していることがわかります。





### ○男女別の傾向

『高齢者の社会参画の促進』『児童虐待、高齢者虐待防止に関する啓発や相談体制の充実』では、女性の“重要”の割合が男性を5ポイント以上上回っています。また、『児童虐待、高齢者虐待防止に関する啓発や相談体制の充実』『仕事・子育て・介護などを両立するために必要な公的サービスの充実』では女性の「ぜひ力を入れるべき」の割合が5割強となっており、男性を6ポイント以上上回っています。

○男女・年代別の傾向

①男女平等の考え方を社会全体に浸透させるための啓発事業の充実

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答
全体		1,293	22.1	43.7	23.7	2.5	1.6	6.3
性・年代別	女性合計	753	21.6	44.9	23.6	2.1	0.7	7.0
	10代・20代	57	21.1	43.9	33.3	1.8	-	-
	30代	79	24.1	40.5	27.8	3.8	1.3	2.5
	40代	147	23.8	43.5	25.2	4.1	2.0	1.4
	50代	129	20.9	50.4	24.0	1.6	-	3.1
	60代	148	20.9	50.7	20.3	0.7	0.7	6.8
	70歳以上	192	20.3	39.6	20.3	1.6	-	18.2
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	22.8	42.7	23.7	3.0	3.0	4.7
	10代・20代	48	22.9	37.5	31.3	4.2	2.1	2.1
30代	53	20.8	28.3	34.0	5.7	5.7	5.7	
40代	84	28.6	38.1	23.8	4.8	3.6	1.2	
50代	79	25.3	41.8	22.8	5.1	3.8	1.3	
60代	97	21.6	53.6	16.5	2.1	2.1	4.1	
70歳以上	166	19.9	45.2	22.9	0.6	2.4	9.0	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	23.1	15.4	30.8	-	-	30.8	

②女性への意識啓発や相談体制の充実

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答
全体		1,293	15.8	47.3	26.9	2.5	1.0	6.5
性・年代別	女性合計	753	16.1	47.0	27.5	2.5	0.1	6.8
	10代・20代	57	12.3	49.1	33.3	5.3	-	-
	30代	79	24.1	39.2	31.6	3.8	-	1.3
	40代	147	24.5	39.5	29.9	4.8	-	1.4
	50代	129	13.2	54.3	30.2	1.6	-	0.8
	60代	148	11.5	56.1	23.6	0.7	0.7	7.4
	70歳以上	192	13.0	43.2	23.4	1.6	-	18.8
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	15.2	48.4	26.0	2.5	2.3	5.7
	10代・20代	48	14.6	47.9	31.3	-	2.1	4.2
30代	53	13.2	39.6	32.1	3.8	5.7	5.7	
40代	84	20.2	46.4	25.0	6.0	1.2	1.2	
50代	79	19.0	53.2	24.1	-	2.5	1.3	
60代	97	18.6	50.5	21.6	3.1	2.1	4.1	
70歳以上	166	9.6	48.8	26.5	1.8	1.8	11.4	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	23.1	23.1	30.8	-	-	23.1	

③男性への意識啓発や相談体制の充実

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答
全体		1,293	17.0	43.0	29.9	2.4	1.4	6.3
性・年代別	女性合計	753	17.7	43.6	29.5	2.0	0.5	6.8
	10代・20代	57	12.3	43.9	38.6	5.3	-	-
	30代	79	21.5	43.0	31.6	1.3	1.3	1.3
	40代	147	24.5	38.8	29.9	4.1	1.4	1.4
	50代	129	19.4	45.0	32.6	1.6	-	1.6
	60代	148	14.9	53.4	23.6	0.7	0.7	6.8
	70歳以上	192	13.5	39.1	27.6	1.0	-	18.8
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	16.1	42.5	30.4	3.0	2.7	5.3
	10代・20代	48	14.6	45.8	31.3	2.1	4.2	2.1
30代	53	20.8	26.4	35.8	5.7	5.7	5.7	
40代	84	17.9	47.6	28.6	3.6	1.2	1.2	
50代	79	19.0	44.3	32.9	-	2.5	1.3	
60代	97	16.5	44.3	28.9	4.1	3.1	3.1	
70歳以上	166	12.7	42.2	28.9	3.0	1.8	11.4	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	15.4	30.8	30.8	-	-	23.1	

④学校における男女平等教育の推進

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答
全体		1,293	29.7	45.0	16.6	1.8	0.9	6.0
性・年代別	女性合計	753	30.7	44.8	17.1	1.1	0.3	6.1
	10代・20代	57	42.1	31.6	22.8	1.8	-	1.8
	30代	79	43.0	38.0	17.7	-	-	1.3
	40代	147	32.7	41.5	21.8	2.0	0.7	1.4
	50代	129	30.2	51.9	14.0	2.3	-	1.6
	60代	148	25.0	53.4	14.9	0.7	0.7	5.4
	70歳以上	192	25.5	42.7	15.1	-	-	16.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-
	男性合計	527	28.7	45.9	15.6	2.7	1.9	5.3
	10代・20代	48	31.3	43.8	20.8	2.1	-	2.1
30代	53	26.4	37.7	22.6	-	5.7	7.5	
40代	84	34.5	40.5	19.0	3.6	1.2	1.2	
50代	79	40.5	38.0	15.2	1.3	3.8	1.3	
60代	97	29.9	48.5	15.5	2.1	1.0	3.1	
70歳以上	166	19.3	54.2	10.2	4.2	1.2	10.8	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	15.4	23.1	30.8	7.7	-	23.1	

『男女平等の考え方を社会全体に浸透させるための啓発事業の充実』で“重要”の割合が最も高いのは男性60代（75.2%）であり、女性60代（71.6%）が続きます。

『女性への意識啓発や相談体制の充実』で“重要”の割合が最も高いのは男性50代（72.2%）であり、男性60代（69.1%）が続きます。

『男性への意識啓発や相談体制の充実』で“重要”の割合が最も高いのは女性60代（68.3%）であり、男性40代（65.5%）となっています。

『学校における男女平等教育の推進』で“重要”の割合が最も高いのは女性50代（82.1%）であり、女性30代（81.0%）が続きます。

⑤社会教育・生涯学習の場での学習の充実

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答	
全体		1,293	22.7	46.3	23.0	1.2	0.7	6.0	
性・年代別	女性	女性合計	753	24.8	45.4	22.8	0.9	0.1	5.8
	10代・20代	57	28.1	38.6	28.1	5.3	-	-	
	30代	79	38.0	35.4	25.3	-	-	1.3	
	40代	147	29.9	46.3	21.1	0.7	-	2.0	
	50代	129	22.5	45.0	29.5	0.8	-	2.3	
	60代	148	19.6	50.7	23.0	0.7	0.7	5.4	
	70歳以上	192	20.3	47.4	16.7	0.5	-	15.1	
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	
	男性	男性合計	527	19.7	48.0	23.1	1.7	1.5	5.9
	10代・20代	48	25.0	43.8	29.2	-	-	2.1	
30代	53	15.1	45.3	24.5	5.7	3.8	5.7		
40代	84	27.4	41.7	27.4	1.2	1.2	1.2		
50代	79	30.4	43.0	22.8	-	2.5	1.3		
60代	97	20.6	48.5	23.7	2.1	2.1	3.1		
70歳以上	166	10.2	55.4	18.7	1.8	0.6	13.3		
無回答	-	*	*	*	*	*	*		
無回答	13	15.4	30.8	30.8	-	-	23.1		

⑥高齢者の社会参画の促進

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答	
全体		1,293	23.0	38.9	28.3	2.7	2.0	5.1	
性・年代別	女性	女性合計	753	24.6	40.2	27.5	1.5	1.2	5.0
	10代・20代	57	14.0	31.6	45.6	5.3	3.5	-	
	30代	79	21.5	34.2	40.5	-	2.5	1.3	
	40代	147	32.7	39.5	23.8	1.4	1.4	1.4	
	50代	129	26.4	44.2	27.1	0.8	-	1.6	
	60代	148	22.3	44.6	25.0	0.7	0.7	6.8	
	70歳以上	192	23.4	39.6	21.9	2.1	1.0	12.0	
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	
	男性	男性合計	527	20.7	37.4	29.4	4.6	3.2	4.7
	10代・20代	48	8.3	35.4	41.7	6.3	6.3	2.1	
30代	53	13.2	30.2	32.1	9.4	9.4	5.7		
40代	84	28.6	33.3	32.1	2.4	2.4	1.2		
50代	79	29.1	35.4	27.8	2.5	3.8	1.3		
60代	97	27.8	38.1	26.8	3.1	2.1	2.1		
70歳以上	166	14.5	42.8	25.9	5.4	1.2	10.2		
無回答	-	*	*	*	*	*	*		
無回答	13	23.1	23.1	30.8	-	-	23.1		

⑦審議会など政策・方針決定の場への女性の積極的登用

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答	
全体		1,293	19.9	44.5	25.9	2.2	1.5	6.0	
性・年代別	女性	女性合計	753	20.2	44.8	27.0	1.6	0.4	6.1
	10代・20代	57	21.1	38.6	36.8	3.5	-	-	
	30代	79	32.9	31.6	30.4	3.8	-	1.3	
	40代	147	21.1	43.5	30.6	2.7	0.7	1.4	
	50代	129	18.6	54.3	25.6	-	-	1.6	
	60代	148	20.9	45.3	26.4	0.7	0.7	6.1	
	70歳以上	192	14.6	46.4	20.8	1.0	0.5	16.7	
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	
	男性	男性合計	527	19.5	44.6	24.3	3.0	3.2	5.3
	10代・20代	48	22.9	37.5	35.4	2.1	-	2.1	
30代	53	11.3	39.6	28.3	5.7	9.4	5.7		
40代	84	25.0	46.4	22.6	1.2	3.6	1.2		
50代	79	26.6	39.2	20.3	3.8	6.3	3.8		
60代	97	17.5	55.7	18.6	3.1	1.0	4.1		
70歳以上	166	16.3	43.4	25.9	3.0	1.8	9.6		
無回答	-	*	*	*	*	*	*		
無回答	13	15.4	30.8	30.8	-	-	23.1		

⑧リーダー養成など女性の人材育成の推進

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答	
全体		1,293	19.6	42.8	28.5	1.9	1.2	6.0	
性・年代別	女性	女性合計	753	19.4	42.5	30.1	1.3	0.4	6.2
	10代・20代	57	15.8	43.9	38.6	1.8	-	-	
	30代	79	30.4	27.8	36.7	3.8	-	1.3	
	40代	147	20.4	42.9	33.3	1.4	0.7	1.4	
	50代	129	17.8	48.8	31.8	-	-	1.6	
	60代	148	18.9	45.3	28.4	-	0.7	6.8	
	70歳以上	192	16.7	41.1	22.9	2.1	0.5	16.7	
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	
	男性	男性合計	527	19.7	43.5	26.4	2.7	2.5	5.3
	10代・20代	48	14.6	45.8	37.5	-	-	2.1	
30代	53	24.5	24.5	34.0	5.7	5.7	5.7		
40代	84	21.4	45.2	27.4	1.2	3.6	1.2		
50代	79	26.6	35.4	29.1	2.5	5.1	1.3		
60代	97	20.6	49.5	21.6	2.1	2.1	4.1		
70歳以上	166	15.1	48.2	21.7	3.6	0.6	10.8		
無回答	-	*	*	*	*	*	*		
無回答	13	23.1	30.8	23.1	-	-	23.1		

『社会教育・生涯学習の場での学習の充実』で“重要”の割合が最も高いのは女性 40 代 (76.2%) であり、女性 30 代と男性 50 代 (それぞれ 73.4%) が続きます。

『高齢者の社会参画の促進』で“重要”の割合が最も高いのは女性 40 代 (72.2%) であり、女性 50 代 (70.6%) が続きます。一方、男女の 10 代・20 代と男性 30 代では、“重要”が 4 割強にとどまっています。

『審議会など政策・方針決定の場への女性の積極的登用』で“重要”の割合が最も高いのは男性 60 代 (73.2%) であり、女性 50 代 (72.9%) が続きます。

『リーダー養成など女性の人材育成の推進』で“重要”の割合が最も高いのは男性 60 代 (70.1%) であり、女性 50 代と男性 40 代 (それぞれ 66.6%) が続きます。

**⑨結婚、出産、子育て、介護のために退職した人の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実**

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答	
全体		1,293	36.8	46.4	10.5	0.5	0.3	5.4	
性・年代別	女性	女性合計	753	40.2	44.1	10.2	0.1	5.3	
		10代・20代	57	54.4	35.1	10.5	-	-	
		30代	79	62.0	27.8	8.9	-	1.3	
		40代	147	43.5	45.6	10.2	-	0.7	
		50代	129	36.4	52.7	9.3	-	1.6	
		60代	148	34.5	51.4	7.4	-	6.8	
		70歳以上	192	31.8	40.6	13.5	0.5	13.5	
		無回答	1	-	100.0	-	-	-	
		男性	男性合計	527	32.3	50.1	10.6	1.1	0.8
		10代・20代	48	31.3	47.9	18.8	-	-	2.1
	30代	53	35.8	43.4	9.4	1.9	1.9	7.5	
	40代	84	45.2	41.7	9.5	1.2	1.2	1.2	
	50代	79	39.2	50.6	7.6	-	1.3	1.3	
	60代	97	35.1	50.5	9.3	2.1	-	3.1	
	70歳以上	166	19.9	56.6	11.4	1.2	0.6	10.2	
	無回答	-	*	*	*	*	*	*	
無回答		13	23.1	30.8	23.1	-	-	23.1	

**⑩職場における男女平等な取り扱いについての周知徹底**

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答	
全体		1,293	29.1	43.0	19.6	1.3	0.9	6.0	
性・年代別	女性	女性合計	753	31.5	42.4	18.3	1.2	0.3	
		10代・20代	57	42.1	38.6	19.3	-	-	
		30代	79	45.6	30.4	19.0	2.5	-	
		40代	147	37.4	36.1	23.8	1.4	0.7	
		50代	129	27.1	52.7	17.1	0.8	-	
		60代	148	29.1	48.0	12.8	2.0	0.7	
		70歳以上	192	22.9	42.2	18.2	0.5	-	
		無回答	1	-	-	100.0	-	-	
		男性	男性合計	527	25.8	44.0	21.8	1.5	1.9
		10代・20代	48	33.3	45.8	18.8	-	-	
	30代	53	26.4	34.0	28.3	1.9	3.8		
	40代	84	31.0	45.2	19.0	2.4	1.2		
	50代	79	32.9	41.8	20.3	-	3.8		
	60代	97	28.9	43.3	21.6	1.0	1.0		
	70歳以上	166	15.7	47.6	22.9	2.4	1.8		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
無回答		13	23.1	38.5	7.7	-	-	30.8	

**⑪仕事・子育て・介護などを両立するために必要な公的サービスの充実**

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答	
全体		1,293	45.5	40.4	8.3	0.7	0.4	4.8	
性・年代別	女性	女性合計	753	50.3	36.9	7.3	0.5	4.9	
		10代・20代	57	64.9	28.1	7.0	-	-	
		30代	79	63.3	26.6	7.6	1.3	-	
		40代	147	53.1	40.1	6.8	-	-	
		50代	129	51.2	38.8	8.5	-	1.6	
		60代	148	51.4	37.2	4.7	0.7	-	
		70歳以上	192	37.5	39.6	8.9	1.0	13.0	
		無回答	1	-	100.0	-	-	-	
		男性	男性合計	527	38.7	45.4	9.7	0.9	4.4
		10代・20代	48	41.7	35.4	20.8	-	-	
	30代	53	43.4	35.8	7.5	5.7	1.9		
	40代	84	50.0	36.9	13.1	-	-		
	50代	79	41.8	46.8	6.3	-	3.8		
	60代	97	44.3	46.4	6.2	-	3.1		
	70歳以上	166	25.9	54.2	9.0	1.2	0.6		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
無回答		13	38.5	38.5	7.7	-	-	15.4	

**⑫国際社会の男女共同参画に向けた取組の情報提供や国際交流の推進**

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答	
全体		1,293	18.1	38.7	33.4	2.7	1.1	6.0	
性・年代別	女性	女性合計	753	19.5	39.0	33.2	1.6	0.4	
		10代・20代	57	24.6	28.1	45.6	1.8	-	
		30代	79	29.1	22.8	44.3	1.3	1.3	
		40代	147	24.5	38.8	32.0	2.7	0.7	
		50代	129	14.0	40.3	43.4	0.8	-	
		60代	148	16.9	48.0	23.6	2.7	0.7	
		70歳以上	192	16.1	41.7	26.0	0.5	-	
		無回答	1	-	-	100.0	-	-	
		男性	男性合計	527	16.1	38.5	33.8	4.4	2.1
		10代・20代	48	12.5	43.8	35.4	6.3	-	
	30代	53	15.1	28.3	37.7	9.4	3.8		
	40代	84	20.2	39.3	32.1	2.4	4.8		
	50代	79	24.1	38.0	30.4	2.5	3.8		
	60代	97	16.5	39.2	33.0	7.2	1.0		
	70歳以上	166	11.4	39.8	34.9	2.4	0.6		
	無回答	-	*	*	*	*	*		
無回答		13	15.4	23.1	30.8	-	-	30.8	

『結婚、出産、子育て、介護のために退職した人の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実』で“重要”の割合が最も高いのは女性30代と男性50代(それぞれ89.8%)であり、女性10代・20代(89.5%)が続きます。女性の50代以下と男性50代で“重要”はほぼ9割です。

『職場における男女平等な取り扱いについての周知徹底』で“重要”の割合が最も高いのは女性10代・20代(80.7%)であり、女性50代(79.8%)が続きます。

『仕事・子育て・介護などを両立するために必要な公的サービスの充実』で“重要”の割合が最も高いのは女性40代(93.2%)であり、女性10代・20代(93.0%)が続きます。

『国際社会の男女共同参画に向けた取組の情報提供や国際交流の推進』で“重要”の割合

が最も高いのは女性 60 代（64.9%）であり、女性 40 代（63.3%）が続きます。

**⑬ DV やセクハラ等に関する啓発や被害者への支援の充実**

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答
全体		1,293	32.9	47.6	11.9	1.2	0.6	5.8
女性	女性合計	753	34.0	48.2	10.6	0.7	0.1	6.4
	10代・20代	57	36.8	43.9	19.3	-	-	-
	30代	79	36.7	48.1	11.4	1.3	-	2.5
	40代	147	38.8	48.3	10.9	0.7	-	1.4
	50代	129	31.8	55.8	10.9	-	-	1.6
	60代	148	31.8	52.7	7.4	-	0.7	7.4
	70歳以上	192	31.3	41.1	9.9	1.6	-	16.1
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-
	男性合計	527	31.5	46.7	13.9	2.1	1.3	4.6
	10代・20代	48	39.6	37.5	18.8	-	-	4.2
30代	53	26.4	37.7	17.0	7.5	5.7	5.7	
40代	84	35.7	47.6	15.5	1.2	-	-	
50代	79	39.2	45.6	10.1	1.3	2.5	1.3	
60代	97	34.0	51.5	11.3	1.0	-	2.1	
70歳以上	166	23.5	49.4	13.9	2.4	1.2	9.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	23.1	46.2	7.7	-	-	23.1	

**⑭ 児童虐待、高齢者虐待防止に関する啓発や相談体制の充実**

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答
全体		1,293	48.1	37.4	7.9	0.9	0.5	5.2
女性	女性合計	753	51.1	36.8	6.2	0.5	0.1	5.2
	10代・20代	57	50.9	28.1	17.5	3.5	-	-
	30代	79	50.6	43.0	5.1	-	-	1.3
	40代	147	51.7	39.5	6.8	0.7	-	1.4
	50代	129	51.2	40.3	6.2	-	-	2.3
	60代	148	50.7	38.5	3.4	-	0.7	6.8
	70歳以上	192	51.0	31.3	5.2	0.5	-	12.0
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-
	男性合計	527	44.2	38.5	10.1	1.3	1.1	4.7
	10代・20代	48	41.7	35.4	18.8	2.1	-	2.1
30代	53	39.6	32.1	13.2	5.7	3.8	5.7	
40代	84	50.0	39.3	9.5	-	-	1.2	
50代	79	45.6	38.0	10.1	1.3	3.8	1.3	
60代	97	51.5	35.1	10.3	-	-	3.1	
70歳以上	166	38.6	43.4	6.6	1.2	0.6	9.6	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	30.8	30.8	15.4	-	-	23.1	

**⑮ 検診体制や健康相談など健康に関わる事業の充実**

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答
全体		1,293	35.1	45.4	12.9	0.8	0.4	5.4
女性	女性合計	753	34.5	46.1	13.3	0.5	-	5.6
	10代・20代	57	36.8	42.1	17.5	3.5	-	-
	30代	79	48.1	39.2	8.9	-	-	3.8
	40代	147	32.0	50.3	16.3	-	-	1.4
	50代	129	31.0	53.5	14.0	-	-	1.6
	60代	148	32.4	43.9	14.9	1.4	-	7.4
	70歳以上	192	33.9	43.8	9.9	-	-	12.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-
	男性合計	527	36.1	44.6	12.5	1.1	0.9	4.7
	10代・20代	48	33.3	41.7	20.8	2.1	-	2.1
30代	53	30.2	39.6	17.0	1.9	5.7	5.7	
40代	84	42.9	42.9	11.9	1.2	-	1.2	
50代	79	44.3	44.3	8.9	1.3	-	1.3	
60代	97	40.2	43.3	13.4	-	1.0	2.1	
70歳以上	166	28.9	48.8	10.2	1.2	0.6	10.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	30.8	38.5	7.7	-	-	23.1	

**⑯ 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談や学習ができるセンター機能の充実**

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答
全体		1,293	16.4	44.8	30.0	1.9	0.9	6.0
女性	女性合計	753	17.0	44.1	30.5	2.0	-	6.4
	10代・20代	57	17.5	42.1	36.8	3.5	-	-
	30代	79	24.1	35.4	34.2	2.5	-	3.8
	40代	147	22.4	41.5	30.6	4.1	-	1.4
	50代	129	11.6	47.3	38.0	0.8	-	2.3
	60代	148	15.5	50.7	25.0	1.4	-	7.4
	70歳以上	192	14.6	43.2	26.0	1.0	-	15.1
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-
	男性合計	527	15.6	46.3	29.0	1.7	2.3	5.1
	10代・20代	48	16.7	43.8	33.3	2.1	2.1	2.1
30代	53	13.2	43.4	30.2	1.9	5.7	5.7	
40代	84	21.4	39.3	33.3	2.4	1.2	2.4	
50代	79	21.5	49.4	24.1	-	3.8	1.3	
60代	97	15.5	46.4	32.0	1.0	2.1	3.1	
70歳以上	166	10.2	50.0	25.9	2.4	1.2	10.2	
無回答	-	*	*	*	*	*	*	
無回答	13	15.4	23.1	38.5	-	-	23.1	

『DV やセクハラ等に関する啓発や被害者への支援の充実』で“重要”の割合が最も高いのは女性 50 代（87.6%）であり、女性 40 代（87.1%）が続きます。

『児童虐待、高齢者虐待防止に関する啓発や相談体制の充実』で“重要”の割合が最も高いのは女性 30 代（93.6%）であり、女性 50 代（91.5%）が続きます。

『検診体制や健康相談など健康に関わる事業の充実』で“重要”の割合が最も高いのは男性 50 代（88.6%）であり、女性 30 代（87.3%）が続きます。

『女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談や学習ができるセンター機能の充実』で“重要”の割合が最も高いのは男性 50 代（70.9%）であり、女性 60 代（66.2%）が続きます。

ます。

⑰市役所内の男女共同参画の推進

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答		
全体		1,293	17.6	40.2	32.8	1.9	1.4	6.1		
性・年代別	女性	女性合計	753	17.0	40.8	33.9	1.9	0.1	6.4	
		10代・20代	57	21.1	33.3	43.9	1.8	-	-	
		30代	79	22.8	27.8	43.0	2.5	-	3.8	
		40代	147	21.1	38.8	37.4	1.4	-	1.4	
		50代	129	14.7	42.6	39.5	1.6	-	1.6	
		60代	148	15.5	49.3	23.6	2.7	0.7	8.1	
		70歳以上	192	13.0	42.2	28.1	1.6	-	15.1	
		無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	
		男性	男性合計	527	18.2	39.8	31.3	2.1	3.2	5.3
		10代・20代	48	25.0	29.2	43.8	-	-	2.1	
	30代	53	13.2	30.2	32.1	5.7	13.2	5.7		
	40代	84	22.6	33.3	34.5	3.6	3.6	2.4		
	50代	79	29.1	35.4	30.4	-	3.8	1.3		
	60代	97	14.4	42.3	37.1	1.0	2.1	3.1		
	70歳以上	166	12.7	50.0	22.9	2.4	1.2	10.8		
	無回答	-	*	*	*	*	*	*		
無回答		13	23.1	23.1	30.8	-	-	23.1		

⑱生活困難を抱える人への支援の充実

		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答		
全体		1,293	29.9	45.9	15.6	1.5	1.1	6.0		
性・年代別	女性	女性合計	753	30.1	47.1	14.7	1.5	0.4	6.1	
		10代・20代	57	29.8	49.1	19.3	1.8	-	-	
		30代	79	27.8	38.0	27.8	1.3	1.3	3.8	
		40代	147	29.9	46.3	19.7	2.7	-	1.4	
		50代	129	25.6	54.3	17.1	1.6	-	1.6	
		60代	148	35.8	45.3	8.8	1.4	1.4	7.4	
		70歳以上	192	29.7	47.9	7.3	0.5	-	14.6	
		無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	
		男性	男性合計	527	29.4	44.6	16.7	1.7	2.1	5.5
		10代・20代	48	37.5	33.3	22.9	4.2	-	2.1	
	30代	53	22.6	35.8	30.2	-	5.7	5.7		
	40代	84	33.3	41.7	19.0	2.4	2.4	1.2		
	50代	79	32.9	39.2	21.5	-	3.8	2.5		
	60代	97	33.0	45.4	15.5	1.0	2.1	3.1		
	70歳以上	166	23.5	54.2	7.8	2.4	0.6	11.4		
	無回答	-	*	*	*	*	*	*		
無回答		13	30.8	23.1	23.1	-	-	23.1		

⑲男女差別をなくすために批准、制定された法律等情報の周知

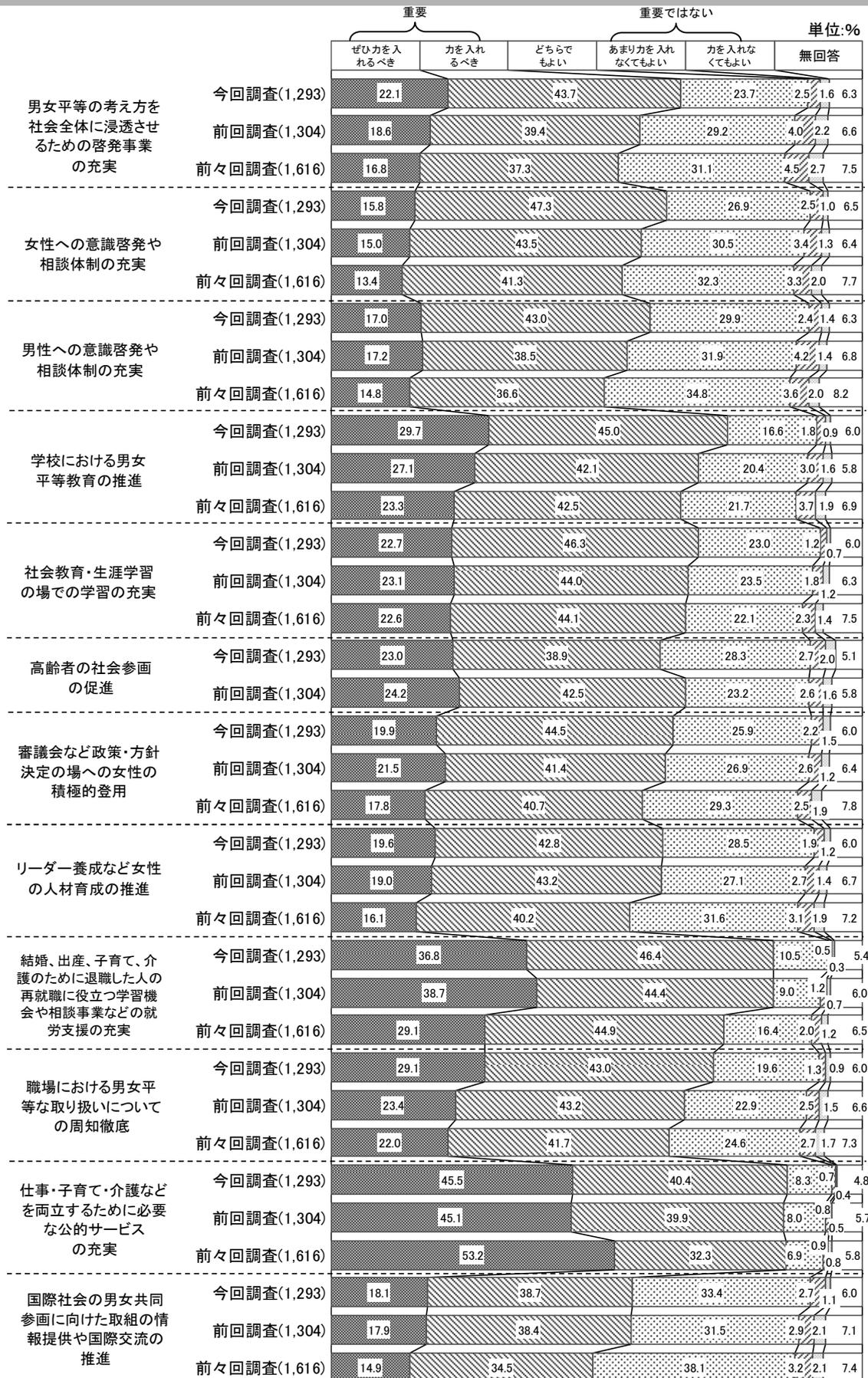
		全体	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい	無回答		
全体		1,293	26.5	45.0	19.6	1.6	0.9	6.4		
性・年代別	女性	女性合計	753	26.4	46.2	19.8	0.5	0.1	6.9	
		10代・20代	57	29.8	35.1	33.3	-	-	1.8	
		30代	79	26.6	36.7	31.6	1.3	-	3.8	
		40代	147	29.3	46.9	21.8	0.7	-	1.4	
		50代	129	24.0	58.9	14.7	0.8	-	1.6	
		60代	148	23.6	52.7	12.8	0.7	0.7	9.5	
		70歳以上	192	27.1	39.6	17.7	-	-	15.6	
		無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	
		男性	男性合計	527	26.8	43.8	19.2	3.2	1.9	5.1
		10代・20代	48	29.2	45.8	20.8	2.1	-	2.1	
	30代	53	18.9	30.2	26.4	9.4	9.4	5.7		
	40代	84	32.1	41.7	21.4	4.8	-	-		
	50代	79	32.9	44.3	17.7	-	3.8	1.3		
	60代	97	29.9	41.2	21.6	2.1	1.0	4.1		
	70歳以上	166	21.1	50.0	14.5	3.0	0.6	10.8		
	無回答	-	*	*	*	*	*	*		
無回答		13	23.1	23.1	23.1	-	-	30.8		

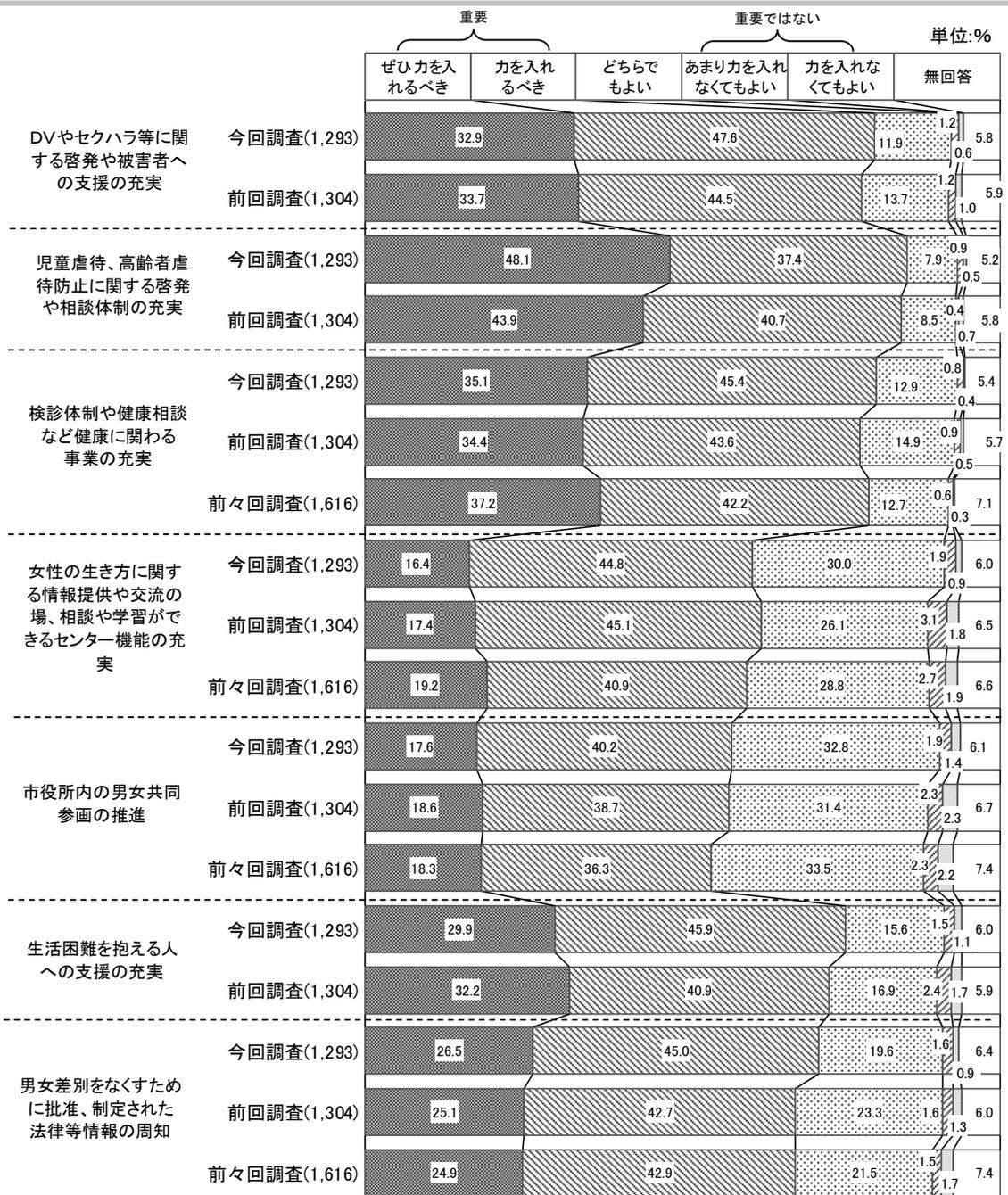
『市役所内の男女共同参画の推進』で“重要”の割合が最も高いのは女性60代(64.8%)であり、男性50代(64.5%)が続きます。

『生活困難を抱える人への支援の充実』で“重要”の割合が最も高いのは女性60歳(81.1%)であり、女性50代(79.9%)が続きます。

『男女差別をなくすために批准、制定された法律等情報の周知』で“重要”の割合が最も高いのは女性50代(82.9%)であり、男性50代(77.2%)が続きます。一方、男性の30代では5割弱にとどまっています。

▼ 前回、前々回調査との比較





※「結婚、出産、子育て、介護のために退職した人の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実」は前々回調査では「女性の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実」。

### ●前回、前々回調査との比較

多くの項目について、前々回調査から今回調査にかけて“重要”の割合が増加を続けており、『男女平等の考え方を社会全体に浸透させるための啓発事業の充実』『学校における男女平等教育の推進』『職場における男女平等な取り扱いについての周知徹底』では今回調査の“重要”が前回調査及び前々回調査を5ポイント以上上回っています。

## 11 自由意見

男女共同参画社会の実現に向けたまちづくりについて意見や要望等を求めたところ、回答者のうち 361 人から御意見をいただきました。

ここでは、いただいた御意見のうち、主な意見を紹介します。

※ 1 人の回答者が複数の趣旨の意見を記入している場合があるため、意見件数の内訳の計は意見提出者数と一致しません。

### 主な意見と件数

#### 1 男女の平等についての意見

内容	件数
男女平等のための取組の必要性について	20
男女の違いを意識し、男女それぞれの特性を活かすことについて	19
固定的性別役割分担意識について	15
男女平等のための意識改革の必要性について	15
性別にかかわらず、一人ひとりが生き生きと暮らせる社会を目指すことについて	13
過度な女性優遇への批判について	12
男女平等が自然に実現することへの期待について	2
その他	6

#### (主な意見)

- ・「世界男女平等ランキング 2018」、日本は 110 位で G7 ダントツの最下位です。その現状を鑑み、やはり上位の北欧諸国から多くを学んでより良い国、よりよい茅ヶ崎を目指すべきと思料致します。《60 代男性》
- ・社会全体の意識がまだまだなんだと思います。意識の高い人も増え、声に出す人が増えてきたのは嬉しいことですが、まだまだ昔ながらの意識が抜けない人も多いと思います（例え若い人でも）。《60 代女性》
- ・法改正や既存サービスの推進や周知も大事だと思いますが、昔ながらの固定概念や、古い考え方を変えなければ根本的な解決にはならないと思います。人は年をとると考えが固まって新しい概念を受け入れにくくなると思うので、容易なことではないですが、一番大切な部分だと思います。《10 代・20 代女性》
- ・性別とか関わりなく人間として個人が生きやすい社会になるようにと願います。様々な人が様々な立場から協力し合うことが出来る社会になりますように。《60 代女性》
- ・男女共同参画というと女性の社会進出等言われることが多いが、男性の特性、女性の特性（身体的、精神的）を活かしてそれぞれの良い面を出していければ良いと思う。何でも平等という考えは少し違和感がある。《50 代女性》

## 2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についての意見

内容	件数
女性の働き方について	12
就労の場への女性の参画、就労継続、一度離職した女性の再就職について	11
仕事と育児、介護の両立のための公的な支援策について	10
職場における男女の待遇について	9
ワーク・ライフ・バランスについて	7
企業の従業員向けの両立支援策について	4
男性の長時間労働の抑制について	2

### （主な意見）

- ・ 出産、子育てをしながら働く、大変な日々を過ごしている全ての女性を社会全体で見守ってあげ、安心して女性が働ける社会になってほしいと思います。《60代女性》
- ・ 保育園や学童に入れるかが不安→仕事を続けられなくなるかも知れないという状況をなくしてほしい。《10代・20代女性》
- ・ 子育てを終えて仕事に復帰した後でも新たなキャリアを築くことが出来るような社会になれば良いと感じています。《40代女性》
- ・ 出産後に女性が働きやすい環境を整えることが大事だと思います。特に男性の育児休暇を利用できる社会になれば、多少改善されるのではないのでしょうか。《30代男性》

## 3 女性の活躍推進についての意見

内容	件数
政策・方針決定の場への女性の登用を期待	10
数値目標のみを前提とした安易な女性登用を懸念	8
女性の活躍に好意的な意見	6

### （主な意見）

- ・ これからの時代は女性も積極的に社会に出て、恵まれた環境で、自分のスキルをどんどん生かして行ってほしいと願います。《70歳以上女性》
- ・ 男女共同参画社会実現のためには女性が主要ポストに就くことが一番だと思います。女性がリーダーシップをとって、共同参画を実現させることを望みます。《70歳以上男性》
- ・ 男女共同参画社会の実現は必要だし、賛成だが、数の上での帳尻あわせのように、頭数を平等にしても意味がない。ありがちなのは企業で女性管理職を〇〇%以上、のような目標を定めた場合、女性だからという理由だけで管理職に登用することなど。スキルなどの中身を含めて平等にするべき。絵に描いた餅は不要。《50代男性》

#### 4 社会参加・地域参加についての意見

内容	件数
自治会、PTA等の地域活動団体への参加について	7
団体活動における課題について	7
女性の社会進出について	2
その他	1

##### (主な意見)

- ・年配の女性が元気があります。体操教室など通って外へ出て、ご主人が留守番という家庭も見かけます。そんな女性の力を使って、夫婦参画での促進が地域の力になるのでは。《50代女性》
- ・自治会活動や地域での活動では女性の活躍は大きな力となっていると思います。上部へ行くに連れて、活動が減っているような気がします。女性がもっと活動する機会が上部組織にもあれば参加の機会が増えるのではないのでしょうか。《70歳以上男性》
- ・女性の社会参画への覚悟を持つ。《60代男性》

#### 5 防災についての意見

内容	件数
防災について	2

##### (主な意見)

- ・今後、起こるであろう大災害時にも男女共同参画を考えて行かなければならないと思います。《60代女性》

#### 6 人権についての意見

内容	件数
各種ハラスメントについて	7
DVについて	2

##### (主な意見)

- ・パワハラやセクハラのない職場づくり。《50代女性》
- ・DV、ハラスメントは相手の取り方次第で難しい問題であり永遠のテーマとされます。《70歳以上男性》

#### 7 教育、性の表現についての意見

内容	件数
子どもの頃からの教育について	16
学校外での教育について	2

内容	件数
学校教育や学校の教員の対応について	2
メディアにおける性表現について	1
その他	1

(主な意見)

- ・男女差別は、小さい頃から始まり、そのまま社会参加する人が多いと思います。そのため、将来に向かって、小・中学校の頃から授業の中での勉強が必要かと思います。《70歳以上男性》
- ・義務教育の場における、性教育や性の多様性などは教員では授業できないのではないのでしょうか。専門的な観点から、市の文化生涯学習部、男女共同参画課職員が自ら出向き、生徒達に直接授業を行うべき。《50代男性》
- ・メディアに数々、問題がありすぎる（子どもに悪影響を及ぼしている）。《70歳以上男性》

## 8 性の多様性についての意見

内容	件数
性の多様性の理解について	4
性の多様性の理解促進のための取組について	1

(主な意見)

- ・神奈川県では同性パートナーシップ制度を導入している市はまだ少ないです。茅ヶ崎市も先進的に導入し、他の自治体よりも意欲的な取り組みの実践を示していただきたい。《40代男性》

## 9 市の取組について

内容	件数
市の男女共同参画施策のあり方、方向性について	1 2
市役所（男女共同参画課）、男女共同参画推進センターいこりあについて	1 1
市が今後力を入れるべき具体的な取組について	1 0
市民に対する情報提供について	9
その他	1

(主な意見)

- ・茅ヶ崎市は男女共同参画のトップランナーとして是非とも推進してほしいものです。《70歳以上男性》
- ・男女共同参画課は、まず一番に相談等できる大切な部署です。近年、多様化してきている問題を解決するにあたり十分な対応ができるような体制を常に確保しておいて下さい。男女共同参画というものを一人でも多くの人に理解してもらえるような社会となること

を、期待しています。《60代女性》

- ・シングルマザーが生活しやすい街にしてください。《女性・29歳以下》
- ・茅ヶ崎市が「男女共同参画社会の実現に向けてのまちづくり」をしていることの啓蒙活動をもっと推進すること。《60代男性》

その他..... 122件

**❖ 第3章 調査結果のまとめ ❖**



## 第3章 調査結果のまとめ

### 1 男女の平等について

- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的性別役割分担意識について、“賛成”（「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計）が28.5%、“反対”（「反対」「どちらかといえば反対」の合計）が52.2%となっており、多くの市民が固定的性別役割分担意識を否定的にとらえていることがわかります。前回調査から今回調査にかけて“賛成”が21ポイント減少し、“反対”が15ポイント増加しており、今回調査における本市の“反対”の割合は、全国調査の割合とおおむね同様の水準となっています。【問7】
  
- 『学校教育の場』で男女の地位が平等という回答が58.3%となっていますが、『政治の場』『社会通念、慣習、しきたりなど』をはじめ、多くの分野では“男性優遇”（「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）が多数を占めています。『社会全体』についても“男性優遇”が71.0%となっています。多くの分野について、本市の「平等」の割合は全国調査、神奈川県調査の割合を下回っているほか、前々回調査から今回調査にかけて、『家庭生活』『学校教育の場』『政治の場』における“男性優遇”の割合が拡大しています。また、一部の分野では、男性回答者で「平等」が、女性回答者で“男性優遇”が高い割合となっており、男女で意識の違いが見られます。【問8】
  
- 今後、男女があらゆる分野で平等になるために最も重要だと考えられていることとして、「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」（38.4%）、「女性の就業、社会進出を支援する施設やサービスの充実を図ること」（17.5%）、「法律や制度のうえで見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」（12.3%）が挙げられています。【問9】
  
- 固定的性別役割分担意識への反対が強くなっている一方で、実際に男女の地位が平等だと意識されている分野は多くありません。市による啓発等の強化や、女性の社会進出を支援する取組を進めることを通して、市民一人ひとりが仕事や家事、育児など、様々な分野で男女が協力しあうことを意識するだけにとどまらず、自身が具体的に取り組むという状態を目指す必要があります。男女の地位の平等については、男女間で異なる認識があることにも着目して、特に男性に対する意識啓発を充実させることが有効と考えられます。

### 2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

- 一般論としての女性の働き方について、「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」が41.8%を占めています。この割合は前回調査から今回調査にかけて増加しており、今回調査では「子どもができてみずっと職業を続ける方がよい」が「子どもができたなら職業を

やめ、大きくなったら再び職業（常勤）を持つ方がよい」「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業（パート）を持つ方がよい」の合計を上回りました。【問 10】

- 女性が働き続けるために必要なこととして、『保育所や介護施設及びサポート体制の充実』『女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力』『仕事と家庭の両立を支援する制度の整備・普及』では「必要」が7割以上であり、強いニーズが認められます。特に、『家事の分担などの固定的な性別役割分担意識の改革』『女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力』では、女性回答者の「必要」の割合が男性を10ポイント以上上回っています。【問 11】

- 前回調査から今回調査にかけて減少傾向が見られるものの、依然として家庭での家事・子育て・介護などの大半を主に妻（女性）が担っています。各項目とも女性回答者の「主に妻（女性）」の割合が男性回答者の「主に妻（女性）」の割合を上回っており、男女間で認識の違いがあることがわかります。実際に回答者が家事・育児に費やしている時間を見ると、平日で3時間以上という回答が女性49.6%、男性6.8%であり、休日では女性50.0%、男性16.0%となっています。平日・休日ともに女性が費やしている時間が男性を大幅に上回っています。【問 12、13】

- 結婚や出産にかかわらず、女性が職業を継続することが望ましいという考え方の広がりが見られる一方で、家庭における夫・妻（男女）の役割分担が十分に機能せず、妻（女性）のみが家事・育児の多くを担っている実態があります。職業を継続する女性を支える公的な仕組みの充実に加え、男女双方が実態を正しく認識し、それぞれの家庭の実情に応じて協力し合うようにするため、市による啓発や情報提供の充実が求められます。

- 「仕事」「家庭生活」「地域生活」「個人生活」の優先度について、「仕事と家庭生活と個人生活を優先したい」（16.6%）、「家庭生活と個人生活を優先したい」（15.1%）、「個人生活を優先したい」（11.5%）という意識がある一方で、現実には「家庭生活が優先」（19.3%）、「仕事と家庭生活が優先」（18.9%）、「仕事が優先」（17.7%）が多くを占めています。男性のほぼ3割が「仕事を優先」、女性の3割弱が「家庭生活を優先」としているほか、優先度の希望と現実が一致しているという回答は全体の2割弱にとどまっています。市民のワーク・ライフ・バランス実現は道半ばであると言えます。【問 14】

- 男女がともに家事・子育て・介護などに参加するために特に必要なこととして、「夫婦や家族間での話し合い」（43.0%）、「男女の性別役割分担についての社会通念、慣習などの見直し」（32.2%）、「男女が共に協力し家事・子育て・介護などを分担するように、幼児期からの家庭・学校教育の機会の充実」（30.9%）が挙げられています。【問 15】

- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について、市民一人ひとりの希望が実現

できるようにすることが重要です。男性が仕事のみを優先する例が多いことを念頭に、働き方改革の動向を見据えながら長時間労働の解消と男性の家庭・育児等への積極的な参画を促すことが必要です。また、女性が家庭生活のみを優先する例が多いことを念頭に、固定的性別役割分担意識の解消や、家庭における家事の分担についての意識啓発が必要です。

### 3 女性の活躍推進について

---

○女性活躍推進法の内容の認知度は 7.9%、言葉の認知度は 50.7%であり、法の内容が十分に理解されていないことがわかります。「聞いたことはなく、内容も知らない」は 44.5%であり、女性の 30代と 40代に限ると 6割弱を占めています。【問 16】

●今後は女性活躍推進法の内容に踏み込んだ周知啓発が欠かせません。とりわけ、企業等で現に働いている人も多い女性 30～40代で言葉自体が知られていないことから、特に女性に対する意識啓発が必要です。

○政治や企業活動、地域などあらゆる分野の政策方針決定過程に女性の参画が少ない理由として、「男性優位の組織運営であるから」(60.3%)、「性別による役割分担や性差別の意識があるから」(46.8%)、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないから」(31.6%)が挙げられています。【問 18】

○女性のリーダーが増えることによる影響として、「多様な視点加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」(52.8%)、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」(52.0%)、「政治・経済・地域などの各分野に女性の声が反映されやすくなる」(41.0%)が挙げられており、全体としてポジティブな変化が生じるという意識が見られます。【問 17】

○女性があらゆる分野において活躍するために必要なこととして、「出産、育児、介護休暇を男女とも取りやすくする」(40.9%)、「補助的な仕事を女性だけにさせるような性別での役割分担をなくす」(31.2%)、「労働時間を短くするなど調整して、男性も女性も地域や家庭とのかかわりができるようにする」(30.0%)が挙げられています。【問 19】

●現状として男性優位の組織運営であるため政策方針決定の過程に女性の参画が少ないこと、女性が参画することで新たな価値や商品・サービスが創造されたり優秀な人材が活用できるようになること、女性活躍推進のためには育児・介護のための休暇を取得しやすくすることや、職場における性別役割分担をなくすことが必要という意識が強いことがわかります。今後、これらを念頭に、事業者や地域団体等への啓発の強化が必要と考えられます。

## 4 社会参加・地域参加について

---

○この1～2年の間に参加した地域活動・社会活動として、「町内会や自治会の活動」(30.2%)、「民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどでの活動」(14.2%)、「地域での自主的なグループ・サークル活動」(10.9%)などが挙げられている一方で、「特になし」が全体の42.7%を占めています。活動に参加していない理由として、「仕事が忙しく時間がない」(38.9%)、「どんな活動があるか情報がない」(29.0%)、「関心がない」(23.4%)が挙げられています。理由のうち、「どんな活動があるか情報がない」「家族の介護がある」では女性の割合が男性を5ポイント上回っており、「仕事が忙しく時間がない」では男性の割合が女性を11ポイント上回っています。【問20、20-1】

●男性を中心に、仕事が忙しく時間がないことを理由として、各種地域活動・社会活動への参加ができていない実態があります。男性の長時間労働の解消に向けて、事業者・労働者の双方に対する働きかけを強める必要があります。

## 5 防災について

---

○防災活動に女性の視点が“活かされている”（「活かされていると思う」「どちらかといえば活かされていると思う」の合計）が42.5%であり、“活かされていない”（「活かされていないと思う」「どちらかといえば活かされていないと思う」の合計）が50.2%となっています。【問21】

○防災活動に女性の視点を活かしていくために必要なこととして、『女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保』では「必要」が6割強であり、強いニーズが認められます。全体として各項目とも「必要」「どちらかといえば必要」が多くなっていますが、『女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促成』『女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用』では「あまり必要ではない」「必要でない」の合計が2割台となっています。【問22】

●全国で大規模な地震や台風などの各種災害が頻発する中で、防災活動に女性の視点を活かすことは急務であると言えます。しかし、現状として女性の視点が活かされていないという意識が強いこと、女性が積極的に参加する自主防災組織の結成促進や女性消防職員・女性消防団員の育成、役員への女性登用について重要視しない意識が一定程度見られることは課題です。今後、市による丁寧な啓発活動を進めて市民の意識を高めるとともに、女性の視点を十分に活かした取組の実施が求められます。

## 6 人権について

---

○配偶者や恋人などパートナーとの間に行われた行為のうち、多くは「暴力にあたる」と認識されており、各行為とも前回調査から今回調査にかけてその割合が増加しています。一方、『何を言っても長期間無視し続ける』『交友関係、電話、メールなどを細かく監視する』では「暴力にあたる」が5割をやや下回っており、「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」が3割台となっています。この2つの行為にかかる「暴力にあたる」の割合は全国調査の値を下回っており、本市において精神的暴力を必ずしも暴力と認識しない傾向が見られます。【問 23】

○配偶者や恋人などパートナーから何らかの暴力の被害を受けたことがあるのは、全体の17.5%です。具体的には、『何を言っても長期間無視し続ける』『大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす』が全体の7%台で多くなっており、女性の『大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす』『「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと相手をののしる』では1割に達しています。

配偶者・パートナーへの加害経験があるのは、『何を言っても長時間無視し続ける』で8.7%となっています。【問 25】

○被害等の相談先として、「人権相談」(18.7%)、「女性のための相談室」(14.6%)、「警察総合相談室」(14.5%)が知られているものの、「人権相談」「女性のための相談室」の認知度は前回調査から今回調査にかけて低下しています。【問 24】

被害を受けた人や、被害者から相談を受けた人等の実際の相談先としては、「友人・知人」(25.4%)、「配偶者以外の家族」(13.9%)、「親類」(9.6%)が主に挙げられており、公的な機関を挙げる回答は少数にとどまっています。また、「どこにも（誰にも）相談しなかった（できなかった）」が44.9%と多数を占めています。相談しなかった理由としては、「相談するほどではないと思った」(46.3%)、「相談しても無駄（解決につながらない）だと思った」(28.7%)、「自分（被害者）さえ我慢すれば何とかこのままやっていたらいい」（23.5%）が挙げられています。【問 25-1、25-2】

○暴力の防止や被害者支援のために必要なこととして、「家庭内でも暴力は犯罪であるという意識啓発」(54.2%)、「緊急避難場所（シェルター）の整備」(33.7%)、「住居や就職のあっせんなど、自立して生活できるための支援」(27.3%)が挙げられています。【問 26】

○女性の健康を守り、性や妊娠・出産について自ら決める上で必要なこととして、「女性の健康（女性ホルモン・月経など）についての幼少期からの教育」(46.2%)、「健康について気になることがあった時に気軽に相談できる窓口の充実」(41.1%)、「性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実」(36.1%)が挙げられています。【問 27】

- 身体的暴力、性的暴力、経済的暴力については、多くの市民が暴力にあたると認識しているのに対し、精神的暴力は必ずしも暴力と言えないという意識が認められます。自身が受けたり・行ったりする行為が暴力であるという認識が欠けることにより、被害の深刻化や潜在化が懸念されるため、正しい意識を定着させるための取組が急務です。

暴力被害を受けた人の中には、自身が受けた被害を誰にも相談せず、抱え込んだままという人が少なくありません。その背景には被害者や周囲の人に適切な相談先が認識されていないことや、被害を相談するべきという意識が定着していないこと、相談先が期待されていないことがあるものと考えられます。被害者のみならず市民全体を対象に、相談先についての正しい知識の普及を図ることが必要です。

## 7 教育、性の表現について

---

- テレビ、新聞、雑誌などのメディアにおける性表現・暴力表現について、『そのような表現を望まない人や、子どもの目に触れないような配慮が足りない』『社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている』では“思う”（「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計）が6割台となっており、メディアにおける性表現・暴力表現について市民の間に懸念があることがわかります。【問 29】

- 男女共同参画社会の実現に向けて学校や社会教育の場で必要な取組として、『女だから男だからという固定的な性別役割ではなく、各人が個性や能力を発揮し、社会のあらゆる分野に参画できるよう多様な学習機会の確保』では「必要」が6割強であり、強いニーズが認められます。【問 30】

- メディアリテラシーの内容の認知度は12.1%、言葉の認知度は30.8%となっています。前回調査から今回調査にかけて「聞いたことはなく、内容も知らない」の割合は減少していますが、依然として回答者全体のほぼ3人に2人はこの言葉を聞いたことがありません。特に男女とも70歳以上では「聞いたことはなく、内容も知らない」が8割弱を占めています。【問 28】

- メディアにおける性表現・暴力表現について多くの市民が懸念を抱いていることを踏まえ、メディアに対する働きかけを意識する必要があります。教育における取組については、いずれも必要性が理解されていることから、総合的に推進することが重要ですが、高齢者を中心にメディアリテラシーという言葉が理解されていないことから、特にこの言葉と概念の理解促進を図る必要があります。

## 8 性の多様性について

---

○性的マイノリティ（性的少数者）の内容の認知度は59.7%、言葉の認知度は80.2%であり、市民の間で相当の理解が進んでいることがわかります。「聞いたことはなく、内容も知らない」は16.6%ですが、男性の10代・20代と男女の70歳以上では2割強となっています。

【問31】

○これまでの生活の中で、性別や恋愛・性愛の対象のことで悩んだ経験があるという回答者の割合は3.9%です。周囲に性的マイノリティの人が存在することを意識している（「いる」「いると思う」の合計）回答者の割合は15.9%となっています。【問32、33】

○性の多様性を認め合う社会をつくるための取組を必要だと意識している（「必要だと思う」「やや必要だと思う」の合計）回答者の割合は65.3%です。必要な対策としては、「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、制服やトイレの配慮）」（75.1%）、「社会制度の見直し」（56.1%）、「性的マイノリティを含めた多様性を認め合う条例の制定」（42.8%）が挙げられています。【問34、34-1】

●性の多様性についての社会的な理解が急速に進み、「性的マイノリティ」という言葉の意味を理解している人が多数を占めているほか、性の多様性を認め合う社会を構築するための取組の必要性も認識されています。今後、教育現場での対応や社会制度の見直しとともに、多様性を認め合う条例の制定など、市としての積極的な対応が求められます。一方、高齢者を中心に性的マイノリティについての理解がやや定着していない面が見られることから、こうした年代に焦点を当てた啓発を行うことも有効と考えられます。

## 9 市の取組について

---

○男女共同参画社会の実現のために必要な市の取組のうち、『仕事・子育て・介護などを両立するために必要な公的サービスの充実』『児童虐待、高齢者虐待防止に関する啓発や相談体制の充実』では「ぜひ力を入れるべき」が4割台半ばから5割弱であり、特に重要と意識されていることがわかります。これ以外の項目を含めて、いずれの項目とも“重要”（「ぜひ力を入れるべき」「力を入れるべき」）の割合が5割以上であるほか、多くの項目で“重要”の割合が前々回調査から今回調査にかけて増加しています。【問36】

○茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあを利用したことがあるのは5.6%、「知っているが、利用したことはない」は12.6%であり、センターを知らないという回答が78.4%を占めています。【問35】

●男女共同参画社会の実現に向けて、市民が様々な取組に力を入れることを求めています。

その中でも特に重要視されている事項については、早急な対応を図る必要があります。

茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあについては、施設の認知度が2割弱にとどまっていることが課題です。本市の男女共同参画実現に向けた拠点施設として、市民に広く認知され、市民とともに様々な活動を展開する状態を目指すことが今後必要です。

✿ 資料編 ✿



## 「男女共同参画に関する市民意識調査」御協力のお願い

市民の皆様には、日頃より市政に対して御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

近年、少子高齢社会の進展、労働力人口の減少など私たちを取り巻く社会情勢が急速に変動していく中で、男女がお互いに性別による固定的な役割分担意識にしばられることなく、家庭、地域、職場でそれぞれの個性と能力を十分に発揮することのできる社会づくりの重要性がますます高まっています。

茅ヶ崎市では、男女共同参画社会の実現に向けて「第2次ちがさき男女共同参画推進プラン」を策定し、男女共同参画推進センターいこりあを拠点として様々な取組を行ってまいりました。この度、今後の市の取組に反映させることを目的として、市民の皆様にご家庭、地域、職場など様々な場における意識や実態をお伺いしたいと考えております。

さて、茅ヶ崎市内にお住まいの18歳以上の男女3,000人を住民基本台帳より無作為に選ばせていただいた結果、そのお一人としてあなたに意識調査の御協力をお願いすることになりました。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、この調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名の個人を対象としており、結果はすべて統計的に処理します。また、調査票及び返信用封筒にお名前を記入していただく必要はありません。また、この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としており、この目的以外には使用することはありません。

令和元（2019）年8月

茅ヶ崎市長 佐藤 光

### 御回答にあたってのお願い

#### 1. 記入の方法

- ・この意識調査は個人を対象としていますので、御本人が直接御記入くださるか、御家族の方などに御協力をいただき御記入ください。
- ・設問に対するお答えは、用意されている選択肢の番号を○印で囲んでください。また、○印の数は、1つだけ選んでいただく設問と複数選んでいただく設問がありますので、御注意ください。なお、回答の中で、「その他」を選ばれた場合には、（ ）内に具体的な内容を記入してください。

#### 2. 提出

御記入が終わりまりましたら、記入もれがないかを御確認の上、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**9月13日（金）まで**に郵便ポストに投函してください。

#### 3. お問い合わせ

調査について御不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

茅ヶ崎市 文化生涯学習部 男女共同参画課  
電話 0467-57-1414（直通）  
E-mail danjo@city.chigasaki.kanagawa.jp

## はじめに、御自身・御家族のことについてお伺いします

問1 あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

1. 女性	2. 男性
3. その他	

※ この調査では、男女共同参画に関する意識や生活の実態を把握・分析するために、問で性別をお伺いします。また、性別は多様であるという観点から、女性・男性の選択肢に加えて「その他」を設けています。

問2 あなたの年齢を教えてください。（○は1つだけ）

1. 18歳～19歳	2. 20歳～29歳	3. 30歳～39歳
4. 40歳～49歳	5. 50歳～59歳	6. 60歳～64歳
7. 65歳～69歳	8. 70歳～74歳	9. 75歳以上

問3 あなたが現在一緒にお住まいの世帯の構成は、次の中のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

1. 単身（ひとり暮らし）	2. 夫婦のみ（事実婚含む）
3. 核家族世帯（親と未婚の子ども）	4. 二世帯世帯（親と子ども世帯）
5. 三世帯世帯（親と子ども世帯と孫）	6. その他（ ）

問3-1 問3で2～6のいずれかに○をつけた方にお伺いします。

あなたと一緒に暮らしている次のような御家族はいらっしゃいますか。（○はあてはまるものすべて）

1. 3歳未満の子ども	2. 3歳～就学前の子ども
3. 小・中学生	4. 介護・介助を必要とする人
5. 高校生・大学生	6. 1～5に当てはまる家族はいない

問4 すべての方にお伺いします。（○は1つだけ）

あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。

1. 仕事をしている	1と回答された方 ⇒問4-1ハ
2. 以前は仕事をしていましたが、今はしていません	2と回答された方 ⇒問4-4ハ
3. 仕事をしたことがない	3と回答された方 ⇒問5ハ

問4-1 問4で1に○をつけた方にお伺いします。

あなたの1日あたりの平均就労時間はおよそどのくらいになりますか。（○は1つだけ）

1. 3時間未満	2. 3時間～5時間未満
3. 5時間～8時間未満	4. 8時間～9時間未満
5. 9時間～12時間未満	6. 12時間以上

問4-2 問4で1に○をつけた方にお伺いします。

あなたの就業形態を教えてください。なお、勤め先での一時休業や産前・産後の休暇、育児休業\*、介護休業\*などで仕事を一時的に休んでいる方は、休業・休暇前の就業形態をお答えください。(○は1つだけ)

1. 正規の従業員
2. 官公庁などの正規の職員
3. 会社などの役員
4. 自営業主（農林漁業、商工業、サービス業等 家族従業者を含む）
5. 専門職・技術職（開業医、弁護士、芸術家等）
6. パートタイマー・アルバイト（契約社員・派遣社員・在宅ワークを含む）
7. その他（ ）

問4-3 問4で1に○をつけた方にお伺いします。

あなたの就業先の場所と、自宅からの通勤時間を教えてください。(○は1つずつ)

(1) 就業場所

1. 茅ヶ崎市内	2. 茅ヶ崎市外
----------	----------

(2) 通勤時間（片道）

1. 30分未満	2. 30分～1時間未満
3. 1時間～2時間未満	4. 2時間以上

問4-4 問4で2に○をつけた方にお伺いします。

あなたが以前の仕事を辞めた主な理由は何か。(○は3つまで)

1. 健康や体力の面で不安があったため
2. 結婚のため
3. 出産のため
4. 家族の転勤のため
5. 経済的に働く必要がなくなったため
6. 家族の看護や介護のため
7. 家事・育児に専念するため
8. 定年になったため
9. 勤務先の都合（人員整理、有期労働契約の不更新等）
10. 仕事が自分に合っていないため
11. 職場環境・仕事内容・労働条件等が悪かったため
12. 保育・介護サービスが受けられなかったため
13. 育児休業や介護休業等の制度が不十分だったため
14. その他（ ）

\*印の付いたことばの内容については、19ページの「男女共同参画に関することばの説明」もあわせて御確認ください。

問5 すべての方にお伺いします。

あなたは結婚されていますか。(○は1つだけ)

1. 結婚している・パートナーと同居している（事実婚含む）
2. 結婚していない
3. 結婚していたが離婚・死別した

1と回答された方 → 問5-1 A  
2、3と回答された方 → 問6 A

問5-1 問5で1に○をつけた方にお伺いします。

あなたの配偶者・パートナーの就業形態を教えてください。勤め先での一時休業や産前・産後の休暇、育児休業\*、介護休業\*などで仕事を一時的に休んでいる方は、休業・休暇前の就業形態をお答えください。(○は1つだけ)

1. 正規の従業員
2. 官公庁などの正規の職員
3. 会社などの役員
4. 自営業主（農林漁業、商工業、サービス業等 家族従業者を含む）
5. 専門職・技術職（開業医、弁護士、芸術家等）
6. パートタイマー・アルバイト（契約社員・派遣社員・在宅ワークを含む）
7. 学生
8. その他（ ）
9. 無職

問5-2 問5で1に○をつけた方にお伺いします。

あなたと配偶者・パートナーの最終学歴をそれぞれお答えください。(当てはまる番号を回答欄にそれぞれ1つだけ御記入ください)

1. 中学校卒業	【回答欄】	あなた
2. 高校中退		配偶者
3. 高校卒業		パートナー
4. 大学卒業		
5. 大学中退		
6. 短期大学・高等専門学校卒業		
7. 専修・専門学校卒業		
8. 大学院卒業		
9. その他（ ）		

問6 すべての方にお伺いします。

あなたの1年間の収入（税込みの年間所得）はおよそどのくらいになりますか。(○は1つだけ)

1. 収入なし	2. 100万円未満
3. 100万円～200万円未満	4. 200万円～400万円未満
5. 400万円～600万円未満	6. 600万円～800万円未満
7. 800万円～1,000万円未満	8. 1,000万円以上

男女の平等についてお伺いします

問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思われますか。  
(○は1つだけ)

1. 賛成	2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対	4. 反対
5. わからない	

問8 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。  
(○は各項目に1つずつ)

	男性の方が非常に優遇されている	平等	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
①家庭生活	1	3	4	5	6
②職場	1	3	4	5	6
③学校教育の場	1	3	4	5	6
④政治の場	1	3	4	5	6
⑤自治会やNPOなどの地域活動の場	1	3	4	5	6
⑥法律や制度の上	1	3	4	5	6
⑦社会通念、慣習、しきたりなど	1	3	4	5	6
⑧社会全体	1	3	4	5	6

問9 今後、男女があらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。  
(○は1つだけ)

1. 法律や制度のうえで見直しを行い、女性差別につながるものを改めること
2. 女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的社会通念、慣習、しきたりを改めること
3. 女性が経済力をつけたり、技術を習得するなど、積極的に能力の向上を図ること
4. 女性の就業、社会進出を支援する施設やサービスの充実を図ること
5. 官公庁や企業などの管理職に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
6. その他 ( )
7. 特になし
8. わからない

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）\* についてお伺いします

問10 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。次の中からあなたの考えに最も近いものをお選びください。  
(○は1つだけ)

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができては職業を持つ方がよい
4. 子どもができては職業を続ける方がよい
5. 子どもがきたら職業をやめ、大きくなったら再び職業（パート）を持つ方がよい
6. 子どもがきてきたら職業をやめ、大きくなったら再び職業（常勤）を持つ方がよい
7. わからない

問11 女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。①～⑯の項目について、あてはまる番号をお選びください。現在、働いていない方は、過去の経験やイメージでも結構ですでお答えください。  
(○は各項目に1つずつ)

	必要	どちらかといえば必要	必要はない
①企業における昇進・賃金等の男女間格差の解消	1	2	3
②保育所や介護施設及びサポート体制の充実	1	2	3
③仕事と家庭の両立を支援する制度の整備・普及	1	2	3
④男性の育児休業*・介護休業*の取得促進	1	2	3
⑤フレックスタイム制*や短時間勤務制度など柔軟な勤務形態の導入	1	2	3
⑥在宅勤務など多様な働き方の推進	1	2	3
⑦総労働時間の短縮	1	2	3
⑧育児休業・介護休業中の賃金等の充実	1	2	3
⑨結婚、出産、子育て、介護のために退職した従業員の再雇用制度の充実	1	2	3
⑩企業における女性の管理職等への登用の推進	1	2	3
⑪女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力	1	2	3
⑫女性自身の自覚と意欲の向上	1	2	3
⑬家事の分担などの固定的な性別役割分担意識*の改革	1	2	3
⑭企業の意識の変化	1	2	3
⑮非正規雇用労働者の処遇改善	1	2	3
⑯その他 ( )	1	2	3

問12 結婚している、もしくはパートナーと同居している方(問5で1に○をつけた方)にお  
伺いします。

実際にあなたの家庭では家事・子育て・介護などを、夫婦(男女)のどなたが担  
っていますか。①～④の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。  
(○は各項目に1つずつ)

	主に夫(男性)	妻(女性)が主として	概ね半々で	主に妻(女性)	夫婦(男性)が主として	妻(女性)が主として	夫(男性)が主として	その他の家族を行政の	行っていない
① 食事の支度	1	2	3	4	5	6	7		
② 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6	7		
③ 掃除	1	2	3	4	5	6	7		
④ 洗濯	1	2	3	4	5	6	7		
⑤ ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	7		
⑥ 日常の買い物	1	2	3	4	5	6	7		
⑦ 日常の家計の管理	1	2	3	4	5	6	7		
⑧ 高額な商品購入の決定	1	2	3	4	5	6	7		
⑨ 預貯金など財産の管理	1	2	3	4	5	6	7		
⑩ 子育て全般	1	2	3	4	5	6	7		
⑪ 病気の時の看護	1	2	3	4	5	6	7		
⑫ 子どものしつけ・教育方針の決定	1	2	3	4	5	6	7		
⑬ 地域(学校を含む)行事への参加	1	2	3	4	5	6	7		
⑭ 高齢者・障がいのある家族・親族等の介護	1	2	3	4	5	6	7		

問13 すべての方にお伺いします。  
あなたが家事・育児に携わる1日あたりの平均的な時間ほどのくらいですか。  
(○は1つずつ)

(1) 平日	(2) 休日
1. 30分未満	1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満	2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上3時間未満	3. 1時間以上3時間未満
4. 3時間以上5時間未満	4. 3時間以上5時間未満
5. 5時間以上8時間未満	5. 5時間以上8時間未満
6. 8時間以上	6. 8時間以上

問14 あなたの生活での「仕事\*1」、「家庭生活\*2」、「地域生活\*3」、「個人生活\*4」の優先  
度について、①あなたの現実(現状)と②あなたの希望に最も近い項目を選んで番号を  
記入してください。現在仕事を行っていない方は、今後のお考えをお答えください。  
(番号は、①現実、②希望ともそれぞれ1つだけ)

1. 「仕事」が(を)優先(したい)	2. 「家庭生活」が(を)優先(したい)	3. 「地域生活」が(を)優先(したい)	4. 「個人生活」が(を)優先(したい)	5. 「仕事」と「家庭生活」が(を)優先(したい)	6. 「仕事」と「地域生活」が(を)優先(したい)	7. 「仕事」と「個人生活」が(を)優先(したい)	8. 「家庭生活」と「地域生活」が(を)優先(したい)	9. 「家庭生活」と「個人生活」が(を)優先(したい)	10. 「地域生活」と「個人生活」が(を)優先(したい)	11. 「仕事」と「家庭生活」と「地域生活」が(を)優先(したい)	12. 「仕事」と「家庭生活」と「個人生活」が(を)優先(したい)	13. 「仕事」と「地域生活」と「個人生活」が(を)優先(したい)	14. 「家庭生活」と「地域生活」と「個人生活」が(を)優先(したい)	15. わからない

【現実(現状)と希望】

① 現実	
② 希望	

\*1 仕事: 自営業主、家族従業、雇員として、週1時間以上働いていること。常勤(フルタイム)、パート、アルバイト、嘱託などは問わない。  
\*2 家庭生活: 家族と過ごすこと。家事(食事の支度・片付け、掃除、洗濯、買い物等)、子育て、介護など。  
\*3 地域生活: 地域活動(ボランティア活動、社会参加活動、つきあい等)。  
\*4 個人生活: 学習、趣味など。

問15 あなたは、男女がともに家事・子育て・介護などに参加するためにはどのようなことが  
特に必要だと思いますか。  
(○は3つまで)

1. 家事・子育て・介護などに関する相談窓口、情報啓発等の充実
2. 男女の性別役割分担についての社会通念、慣習などの見直し
3. 夫婦や家族間での話し合い
4. 男女が共に協力し家事・子育て・介護などを分担するように、幼児期からの家庭・学校教育の職員の充実
5. 男性の仕事優先の考え方の見直し
6. 労働時間の短縮
7. 子育てなどの特別休暇制度の創設や時間休暇をとりやすい就業環境の整備
8. 短時間勤務制度や在宅勤務制度など柔軟な勤務形態・制度の創設
9. 男性が家事や子育てなどに参加することへの抵抗感の低減
10. 男性の参加できる家事や子育てなどの講座の開催
11. 夫婦・家族(親子)で参加できる家事や子育てなどの講座の開催
12. 男性の子育てサークルの育成
13. 就業環境整備についての企業に対する啓発
14. その他( )
15. 特になし

### 女性の活躍推進についてお伺いします

問16 あなたは、「女性活躍推進法\*」という言葉を知っていますか。 (〇は1つだけ)

- |                      |
|----------------------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている |
| 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 3. 聞いたことはなく、内容も知らない  |

問17 政治や企業活動、地域などあらゆる分野において女性の参画が進み、女性のリーダーが増えることのような影響があると思いますか。 (〇は3つまで)

- |   |
|---|
| 1. 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる           |
| 2. 多様な視点加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される          |
| 3. 政治・経済・地域などの各分野に女性の声が反映されやすくなる              |
| 4. 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる                      |
| 5. 男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる                  |
| 6. 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む                        |
| 7. 男性の家事・育児などへの参加が増える                         |
| 8. 会社の業務に支障が出たり、男性が活躍しづらくなる                   |
| 9. 保育・介護サービスなどの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する |
| 10. その他 ( )                                   |

問18 あなたは、政治や企業活動、地域などあらゆる分野において政策方針の決定過程に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。 (〇は3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 性別による役割分担や性差別の意識があるから                 |
| 2. 男性優位の組織運営であるから                        |
| 3. 家庭の支援・協力が得られないから                      |
| 4. 女性の能力開発の機会が不十分であるから                   |
| 5. 女性の活動を支援するネットワークが不足しているから             |
| 6. 女性側の積極性が十分ではないから                      |
| 7. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないから          |
| 8. 議員や審議会委員の人数を男女同数にすることに對する強力な法的義務がないから |
| 9. その他 ( )                               |

問19 あなたは、女性が政治や企業活動、地域などあらゆる分野において活躍するためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (〇は3つまで)

- |   |
|---|
| 1. パートや正社員といった就労形態を問わず、同一価値労働を同一賃金とする   |
| 2. 労働時間を短くするなど調整して、男性も女性も地域や家庭とのかがわりができるようにする                                 |
| 3. 政治や企業活動、地域活動の意思決定の場に女性をもっと参画させる  |
| 4. 補助的な仕事を女性だけにさせるような性別での役割分担をなくす   |
| 5. 出産、育児、介護休暇を男女とも取りやすくする   |
| 6. 職場でセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)、パワー・ハラスメント(職場内の人間関係において発生するいじめや嫌がらせ)防止のための取組を強化する |
| 7. 女性の意識を高めるような学習の機会を確保する   |
| 8. 幼少時からの男女平等教育を充実させる   |
| 9. 企業などに男女共同参画についての啓発事業をおこなう  |
| 10. その他 ( )   |

### 社会参加・地域参加についてお伺いします

問20 あなたはこの1～2年の間に、仕事や学校以外で次のような活動に参加したことがありますか。 (〇はあてはまるものすべて)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 子ども会など青少年育成に関する活動                  |
| 2. PTAなどの活動                           |
| 3. 育児支援のための活動                         |
| 4. 町内会や自治会の活動                         |
| 5. リサイクル、共同購入などの消費者活動                 |
| 6. 公害防止・環境保護などの活動                     |
| 7. お年寄りや障がいのある人のための福祉・ボランティア活動        |
| 8. 地域での自主的なグループ・サークル活動                |
| 9. 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどでの活動         |
| 10. 市の講座や市主催の活動                       |
| 11. 男女平等・共同参画に関する活動                   |
| 12. DV(ドメスティック・バイオレンス)*防止・被害者支援のための活動 |
| 13. その他 ( )                           |
| 14. 特になし                              |

14と回答された方

→問20-1へ

問20-1 問20で14に○をつけた方にお伺いします。(○はあてはまるものすべて)  
あなたが活動をしていないのは、なぜですか。

1. 仕事が忙しく時間が合わない	2. 子どもに手がかかる
3. 家族の介護がある	4. どんな活動があるか情報がない
5. 人間関係がわずらわしい	6. 関心がない
7. 身近に活動したい団体がない	8. その他( )

**防災についてお伺いします**

問21 災害はいつ私たちの身に降りかかるかわかりません。あなたは、防災（災害復興も含む）活動に関して、女性の視点が活かされていると思いますか。(○は1つだけ)

1. 活かされていると思う	2. どちらかといえば活かされていると思う	3. どちらかといえば活かされていないと思う	4. 活かされていないと思う
---------------	-----------------------	------------------------	----------------

問22 あなたは、防災（災害復興も含む）活動に関して女性の視点を活かしていくためには、特にとどのようなことが必要と考えますか。①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。(○は各項目に1つずつ)

	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない
①防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加に努める	1	2	3	4
②母親教室、乳幼児教室、PTA活動等、女性が多く集まる団体への研修・訓練	1	2	3	4
③女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用	1	2	3	4
④女性が積極的に参加する自主防災組織の結成の促進	1	2	3	4
⑤災害時ボランティア登録など多様な人材の確保	1	2	3	4
⑥女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保	1	2	3	4
⑦男女別のニーズに配慮した避難所などの支援マニュアルの充実	1	2	3	4
⑧避難所運営の際の女性リーダーの配置	1	2	3	4

**人権についてお伺いします**

問23 あなたは、次のようなことが配偶者や恋人などパートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。(○は各項目に1つずつ)

	暴力にあたる	あそこ力に当たる場合	い暴力にはあたらな	わからぬ
①なぐる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるう	1	2	3	4
②大声でどなり、刃物などを持ち出しておどす	1	2	3	4
③何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3	4
④交友関係、電話、メールなどを細かく監視する	1	2	3	4
⑤嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない	1	2	3	4
⑥見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3	4
⑦「誰のおかげで食べていけるか」と思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などと相手ののしる	1	2	3	4
⑧給料を取り上げたり、生活費を渡さないなど経済的圧迫をする	1	2	3	4

問24 あなたは、配偶者や恋人などパートナーからの暴力被害等の相談先として次のような窓口を知っていますか。知っている相談先の番号に○をしてください。(○はあてはまるものすべて)

名称	運営主体	連絡先
1. 女性のための相談室	茅ヶ崎 市	0467-84-4772
2. 人権相談	茅ヶ崎 市	0467-82-1111
3. 女性のためのDV相談	神奈川県配偶者暴力相談支援センター	0466-26-5550
4. 女性への暴力相談	神奈川県配偶者暴力相談支援センター	045-451-0740
5. 男性被害者相談	神奈川県配偶者暴力相談支援センター	0570-033-103
6. 女性の権利ホットライン	横浜 地方 法 務 局	0570-070-810
7. インターネット人権相談受付窓口	法 務 省	<a href="http://www.jinken.go.jp/">http://www.jinken.go.jp/</a>
8. 警察総合相談室	神 奈 川 県 警 察	045-664-9110
9. 性犯罪 110 番	神 奈 川 県 警 察	045-681-0110

問25 配偶者や恋人などパートナーからの暴力が社会問題になっていますが、次の①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。(○はあてはまるものすべて)

	何度もそれたことがある	それたことがある	それたこともない	したことがある	これかたあるから相談を受けた	被相談者を受け入れた人が相談を受けたことを知っていない
①なくる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるう	1	2	3	4	5	7
②大声でどなったり、刃物などを持ち出しておどす	1	2	3	4	5	7
③何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3	4	5	7
④交友関係、電話、メールなどを細かく監視する	1	2	3	4	5	7
⑤嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない	1	2	3	4	5	7
⑥見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3	4	5	7
⑦「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえは力だ」などと相手をののしる	1	2	3	4	5	7
⑧給料を取り上げたり、生活費を渡さない	1	2	3	4	5	7

各項目で3～5と回答された方 ⇒問26△  
1つでも1、2、6、7と回答された方 ⇒問25-1△

問25-1 問25で1、2、6、7のいずれか○をつけた方にお伺いします。そのとき、あなたはどこに(誰に)相談しましたか。(○はあてはまるものすべて)

1. 配偶者以外の家族
2. 親類
3. 友人・知人
4. 警察
5. 市役所の相談窓口・電話相談等
6. 県の相談窓口・電話相談等
7. 民生委員・人権擁護委員
8. 医師、カウンセラー
9. 家庭裁判所、弁護士
10. 同じような経験をした女性やグループ
11. 民間の支援団体
12. その他( )
13. どこにも(誰にも)相談しなかった(できなかった) ⇒問25-2△

問25-2 問25-1で13に○をつけた方にお伺いします。○はあてはまるものすべて) 相談しなかった(できなかった)のはなぜですか。(○はあてはまるものすべて)

1. どこ(誰)に相談して良いかわからなかった
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
3. 相談しても無駄(解決につながらない)だと思った
4. 周囲の人がDVを信じてくれないと思った
5. 相談したことがわかると仕返しにもっとひどい暴力を受けると思った
6. 自分(被害者)さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思った
7. 他人を巻き込みたくなかった
8. 子どもに危害が及ぶとと思った
9. 自分(被害者)にも悪いところがあると思った
10. 相談するほどではないと思った
11. そのこと(暴力)について、思い出しだくなかった
12. 恋人同士の際は慶しかったので、いつか変わってくれと思った
13. 相手(加害者)は反省する時があり、「この人には私がいけないとだめなんだ」と思った
14. その他( )

問26 すべての方にお伺いします。あなたは、配偶者や恋人などパートナーからの暴力の防止や被害者支援のために、どのような対策が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 家庭内でも暴力は犯罪であるという意識啓発
2. 緊急避難場所(シェルター)の整備
3. 住居や就職のあっせんなど、自立して生活できるための支援
4. カウンセリングや相談など、精神的に自立するための支援
5. 加害者へのカウンセリングなどの更生支援
6. 家庭におけるお互いの性を尊重する意識づくり
7. 学校におけるお互いの性を尊重する教育の充実
8. 行政や警察の積極的な啓発
9. 関係する行政機関同士の情報共有や連携
10. 法律による規制の強化、法律の見直し
11. テレビや週刊誌などのメディアに対する倫理規定の強化の働きかけ
12. 暴力的な映像やゲームソフトの販売や貸し出しの規制
13. その他( )

問27 すべての方にお伺いします。  
 あなたは、女性の健康を守り、性や妊娠・出産について自ら決める上でどのようなこと  
 とが必要だと思いますか。  
 (○は3つまで)

1. 女性の健康（女性ホルモン・月経など）についての幼少期からの教育
2. 性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実
3. 喫煙や薬物等、健康への害についての情報提供・相談体制の充実
4. 性感染症（カンジタ症、クラミジア感染症など）についての情報提供
5. 更年期についての情報提供・相談体制の充実
6. 健康について気になることがあった時に気軽に相談できる窓口の充実
7. 婦人科疾患（子宮がん・乳がんなど）の健診受診の啓発
8. 女性が自分の身体や性に関することを自分で決める権利（リプロダクティブ・ヘル ス/ライツ*）に関する教育・学習の充実
9. その他（ ）
10. 特に必要なことはない
11. わからない

### 教育、性の表現について伺います

問28 あなたは、「メディアリテラシー\*」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、内容は知らない
3. 聞いたことはなく、内容も知らない

問29 テレビ、新聞、雑誌などのメディアにおける性表現・暴力表現について、あなたはど  
 のようにお考えですか。①～⑥の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びくだ  
 さい。  
 (○は各項目に1つずつ)

	非 常 に さ う 思 う	や や さ う 思 う	あ ま り さ う 思 わ な い	さ う 思 わ な い
①女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現が目 立つ	1	2	3	4
②女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目 立つ	1	2	3	4
③社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている	1	2	3	4
④女性に対する犯罪を助長する恐れがある	1	2	3	4
⑤そのような表現を望まない人や、子どもの目に触れないよう な配慮が足りない	1	2	3	4

問30 男女共同参画社会の実現に向けて、学校や社会教育の場でどのような取組が必要だと  
 思いますか。①～⑦の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。  
 (○は各項目に1つずつ)

	必 要	と ら か し い ば 必 要	あ ま り 必 要 は な い	必 要 な い
①教育に携わる人が男女共同参画の理念を理解するための 意識啓発	1	2	3	4
②幼い(小さい)頃から自立の意識を育み、男女平等の理念を 推進する教育	1	2	3	4
③女だから男だからという固定的な性別役割ではなく、各人が 個性や能力を發揮し、社会のあらゆる分野に参画できるよう 多様な学習機会の確保	1	2	3	4
④「文系は女性、理系は男性」といった性別で履修科目を決め たり、進路の選択をしないような意識啓発や学習機会の確保	1	2	3	4
⑤女性の人権の観点からDVなどの予防教育	1	2	3	4
⑥メディア情報を観るにせずエンター*の視点からその 内容を判断できる教育機会の提供	1	2	3	4
⑦仕事と生活の調和に関する情報の提供	1	2	3	4

性の多様性について伺います

問31 あなたは、「性的マイノリティ（性的少数者）\*」という言葉を知っていますか。  
 (〇は1つだけ)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている	
2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	
3. 聞いたことはなく、内容も知らない	

問32 あなたは、今まで自分の性別や恋愛・性愛の対象となる性別などについて悩んだことはありましたか。  
 (〇は1つだけ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問33 あなたの身近な方（職場の同僚や友人、親せきや家族）に性的マイノリティの人はいますか。  
 (〇は1つだけ)

1. いる	2. いると思う
3. いない	4. いないと思う
5. わからない	

問34 あなたは、性の多様性を認め合う社会をつくるための取組が必要だと思いますか。  
 (〇は1つだけ)

1. 必要だと思う	1、2と回答された方 ⇒問34-1へ
2. やや必要だと思う	
3. あまり必要とは思わない	3～5と回答された方 ⇒問35へ
4. 必要とは思わない	
5. わからない	

問34-1 問34で1、2に〇をつけた方にお伺いします。  
 どのような取組が必要だと思いますか。 (〇はあてはまるものすべて)

1. 教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、制服やトイレの配慮）
2. 社会制度の見直し
3. 専門の相談窓口の設置
4. 市の広報誌やホームページ、講演会などの啓発活動
5. 性の多様性について理解を深めるためのコミュニケーションスペース
6. 同性パートナーシップ制度*の導入
7. 性的マイノリティを含めた多様性を認め合う条例の制定
8. その他（ ）
9. わからない

市の取組についてお伺いします

問35 あなたは、「茅ヶ崎市男女共同参画推進センター」についてご存じですか。  
 (〇は1つだけ)

1. 利用したことがある	2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない	

問36 男女共同参画社会の実現に向けて、今後茅ヶ崎市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。①～⑭の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。  
 (〇は各項目に1つずつ)

	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもよい	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい
①男女平等の考え方を社会全体に浸透させるための啓発事業の充実	1	2	3	4	5
②女性への意識啓発や相談体制の充実	1	2	3	4	5
③男性への意識啓発や相談体制の充実	1	2	3	4	5
④学校における男女平等教育の推進	1	2	3	4	5
⑤社会教育・生涯学習の場での学習の充実	1	2	3	4	5
⑥高齢者の社会参画の促進	1	2	3	4	5
⑦審議会など政策・方針決定の場への女性の積極的登用	1	2	3	4	5
⑧リーダー養成など女性の人材育成の推進	1	2	3	4	5
⑨結婚、出産、子育て、介護のために退職した人の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就業支援の充実	1	2	3	4	5
⑩職場における男女平等な取り扱いについての周知徹底	1	2	3	4	5
⑪仕事・子育て・介護などを両立するために必要な公的サービスの充実	1	2	3	4	5
⑫国際社会の男女共同参画に向けた取組の情報提供や国際交流の推進	1	2	3	4	5
⑬DVやセクハラ等に関する啓発や被害者への支援の充実	1	2	3	4	5
⑭児童虐待、高齢者虐待防止に関する啓発や相談体制の充実	1	2	3	4	5

**男女共同参画に関することばの説明**

\*カッコ内は調査票のページ番号

**育児休業**(p.2, 3, 5)  
労働者が原則として1歳に満たない子どもを養育するために取得する休業のことです。保育所に入れない等の場合は、子どもが1歳6か月に達するまで延長でき、1歳6か月に達した時点で保育所に入れない等の場合には、最長2歳まで延長できます。

**介護休業**(p.2, 3, 5)  
負傷、疾病または身体上もしくは精神上の障害により、2週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態にある対象家族を、労働者本人が介護するための休業のことです。

**仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)**(p.5)  
仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発・趣味など様々な活動について、誰もが自ら希望するバランスで展開でき、多様な生き方が選択・実現できるようになることです。

**フレックスタイム制**(p.5)  
一定の期間についてあらかじめ定められた総労働時間の範囲内で、労働者が日々の始業・終業時刻、労働時間を自ら決めることのできる制度のことです。

**固定的な性別役割分担意識**(p.5)  
例えば「男は仕事、女は家庭」「男性は主要業務、女性は補助的な業務」というように、性別を理由として役割を固定化してしまう考え方や意識のことです。

**女性活躍推進法**(p.8)  
平成27年に制定された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」のことです。これにより、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報公表が事業主(国や地方公共団体、民間企業等)に義務付けられました。

**DV(ドメスティック・バイオレンス)**(p.9)  
配偶者や恋人などからの暴力のことです。殴る、蹴るなどの“身体的暴力”、生活費を渡さない“経済的暴力”、大事なものを壊す、不快な言動をするなどの“心理的暴力”、無理な性交渉に及ぶ“性的暴力”など、様々な形があります。

**リプロダクティブ・ヘルス/ライツ**(p.14)  
性と生殖に関する健康と権利のことです。人間の生殖システム、その機能と活動過程のすべての側面において、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを指し、「性と生殖の健康を得る権利」とされています。

**メディアリテラシー**(p.14)  
メディアの情報を主体的に読み解く能力、メディアにアクセスし、活用する能力、メディアを通じてコミュニケーションする能力の3つを構成要素とする複合的な能力のことです。

**ジェンダー**(p.15)  
私たちの生活、慣習、意識の中で社会的、文化的につくられた性別概念のことです。男は強く、女は優しなどと性別による男らしさや女らしさの区別のこと、生物学的な性別とは区別して用いられます。

**性的マイノリティ(性的少数者)**(p.16)  
私たちのなかには、生物学的な性(からだの性)と性の自己意識(こころの性)が一致しない人、性的指向(人の恋愛・性愛がどういった対象に向かうのかを示す概念)が、同性や両性(男女両方)に向いている人などがいます。社会的には少数派となるそうした人たちのことを「性的マイノリティ」といいます。性的マイノリティのカラーを表す言葉の一つとして「LGBT」がありますが、このほかにも、様々なセクシュアリティが存在します。

**同性パートナーシップ制度**(p.16)  
男女の婚姻に相当する関係にある同性のカップルについて、一定の条件を満たした場合に、自治体がかパートナーの関係であることを証明する制度のことです。

	ぜひ力を入れるべき	力を入れるべき	どちらでもない	あまり力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい
⑮ 検診体制や健康相談など健康に関わる事業の充実	1	2	3	4	5
⑯ 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談や学習ができるセンター機能の充実	1	2	3	4	5
⑰ 市役所内の男女共同参画の推進	1	2	3	4	5
⑱ 生活困難を抱える人への支援の充実	1	2	3	4	5
⑲ 男女差別をなくすために批准、制定された法律等(「女子差別撤廃条約」、「男女共同参画社会基本法」、「DV防止法」等)情報の周知	1	2	3	4	5

問37 男女共同参画社会の実現に向けたまちづくりについて、御意見・御要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので自由に記入してください。

お忙しいところ、調査に御協力いただきまして、ありがとうございます。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、9月13日(金)までに投函してください。

茅ヶ崎市男女共同参画に関する市民意識調査報告書

令和2年1月発行

編集・発行 茅ヶ崎市文化生涯学習部男女共同参画課  
〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市新栄町12-12  
茅ヶ崎トラストビル4階  
TEL 0467-57-1414 FAX 0467-57-1666